





このたびは、NetVehicle-S20をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

NetVehicle-S20(以降 NetVehicleと略します)は、INSネット64などのISDN回線やOCN、DA64/ 128などのディジタル専用線を使用して、インターネットサービスプロバイダやルータとのLAN-WAN通 信を行うための小型ルータです。

NetVehicle ではWWW ブラウザを使用して、各種設定を簡単に行うことができます。また、設定画面はWWWのホームページと同じハイパーテキスト形式になっているので、設定方法や設定項目の説明をクリックひとつで参照できます。インターネットやLANをさらに活用するために、NetVehicleをご利用ください。

2002年8月

はじめに	1
説明書の構成と使いかた	10
マークについて	1 1
本書における商標の表記について	12

第1章 設定リファレンス	<u>13</u>
「詳細設定」で設定する	14
詳細設定メニューを表示する	
回線情報設定	
LAN 情報設定	
ルーティング情報設定(LAN 情報)	
相手情報設定	
ネットワーク情報設定	
接続先情報設定	
ポートルーティング情報設定	
ルーティング情報設定(ネットワーク情報)	
IP フィルタリング情報	
静的 NAT 情報設定	
不特定相手情報設定	
PPP 受諾認証情報	
装置情報設定	
パスワード情報設定	
E メールエージェント情報設定	
メールチェック情報設定	
宛先メールアドレス設定	
条件設定	
TEL メール情報設定	
ProxyDNS 情報	
ProxyDNS 情報設定 (順引き)	
ProxyDNS 情報設定 (逆引き)	
ホストデータベース情報	
ホストデータベース情報設定	
スケジュール情報	51
月間 / 週間予約設定	
電話番号変更予約設定	
マルチTA 情報	
アナログ共通情報	
アナログポート1 / 2 情報	
発信規制情報設定(発信抑止)	
発信規制情報設定(発信許可)	61
送出着信番号情報	
識別着信情報	

識別着信情報設定(デフォルト定義)	64
識別着信情報設定(公衆電話着信)	65
識別着信情報設定(発信者番号非通知着信)	66
識別着信情報設定	67

第2章 NetVehicle をいろいろな接続形態で使う	69
複数プロバイダと端末型接続する	. 70
事業所 LAN どうしを ISDN で接続する	. 73
事業所 A の NetVehicle を設定する	74
事業所 B の NetVehicle を設定する	78
インターネットと LAN に同時接続する	. 79
外部のパソコンと接続する(TA&PHS)	. 83
事業所 LAN どうしを専用線で接続する	. 88
本社の NetVehicle を設定する	89
支店の NetVehicle を設定する	91
OCN エコノミーと接続する	. 92

第3章 NetVehicle**の便利な機能を活用する**

マルチ NAT 機能(アドレス変換機能)を使う	
NAT 機能の選択基準	100
端末型接続でインターネットゲームをする	
ネットワーク型接続でサーバを公開する	
IP フィルタリング機能を使う	106
接続形態に応じたセキュリティ方針を決める	
IP フィルタリングの条件	
外部の特定サービスへのアクセスのみ許可する	110
外部から特定サーバへのアクセスのみ許可する	113
利用者が意図しない発信を防ぐ	117
特定アドレスへのアクセスを禁止する	119
回線が接続している時だけ許可する	121
マルチルーティングを利用する	123
パソコンごとに別々のプロバイダを利用する(ソースアドレスルーティング機能)	
目的ごとに別々のプロバイダに接続する(ポートルーティング機能)	
課金単位でプロバイダを切り替える	
DNS サーバを使いこなす (ProxyDNS)	127
DNS サーバの自動切り替え機能	127
DNS サーバアドレスの自動取得機能	
DNS 問い合わせタイプフィルタ機能	
DNS サーバ機能	132
DHCP サーバ機能を使う	133
DHCP サーバ機能を使う	
DHCP スタティック機能を使う	
外部のパソコンから着信接続する(アクセスサーバ機能)	136
認証 ID による接続相手の識別	140
外出先や自宅から会社のパソコンを起動させる(リモートパワーオン機能).	143
コールバック機能を利用する	145
CBCP 方式でコールバック要求する	
CBCP 方式でコールバック応答する	148
無課金コールバックでコールバック要求する	
無課金コールバックでコールバック応答する	

マルチ TA 機能を使う1	53
特定の URL へのアクセスを禁止する (URL フィルタ機能)	64
通信料金を節約する(課金制御機能)1	66
E メールエージェント機能を使う 1	69
メールチェック機能	170
リモートメールチェック機能	172
メール転送機能	174
メール一覧送信機能	177
TEL メール機能	180
メール着信通知機能	183
スケジュール機能を使う	84
留守モードの動作を設定する1	87

第4章 NetVehicleのアナログ機能を利用する	
スタンバイモードで使用する	190
アナログ機器を利用するにあたって	
内線通話・内線転送機能を使う	
内線通話をする	
外からかかってきた電話をもう一方のアナログポートに転送する	
登録した番号への発信を規制する	194
識別着信機能を使う	
相手電話番号識別機能を使う(優先着信機能)	
着信電話番号識別機能を使う	
疑似迷惑電話お断りを使う	200
疑似キャッチホンを使う	202
疑似着信転送を使う	
疑似三者通話を使う	
疑似通信中転送を使う	208
フレックスホンを使う	210
フレックスホンのいろいろな機能を使う	211
フレックスホン自動切り替え機能を使う	215
INS ボイスワープを利用する	216
発信者番号表示(ナンバー・ディスプレイ)を使う	
発信者番号表示(キャッチホン・ディスプレイ)を使う	221
発信者番号通知の設定を変更する	223
発信者電話番号を選択する	224
無鳴動 FAX 受信機能を使う	
i・ナンバー着信機能を使う	
サブアドレスを設定する	
ダイヤルイン / グローバル着信機能を 使う	
ダイヤルイン / グローバル着信機能を設定する	
モデムダイヤルイン機能を使う	
モデムダイヤルイン機能を設定する(その1:自局電話番号を送出する)	
モデムダイヤルイン機能を設定する(その2:任意の番号を送出する)	
アナログダイヤルイン機能を使う	236
アナログダイヤルイン機能を設定する(その1:自局電話番号を送出する)	
アナログダイヤルイン機能を設定する(その2:任意の番号を送出する)	
リバースパルス送出機能を使う	240
電話機を利用して設定を変更する	

時計を設定する	241
IP アドレスを設定する	
アナログ機能を設定する	
着信転送先の設定を行う	
TEL メールの設定を行う	
メールチェックを実行する	
メール着信を消去する	
留守状態の設定を行う	
留守モードの設定を行う	
外線から設定を変更する(無課金)	
設定変更用暗証番号を設定する	
外線からアナログ機能の設定を変更する	
外線から着信転送先の設定を行う	
外線から TEL メールの設定を行う	
外線から留守状態の設定を行う	
留守状態を確認する(無課金)	

第5章 運用管理とメンテナンス	
操作メニューを使う	
操作メニューを表示する	
手動で回線を接続する / 切断する	
手動でチャネルを増やす / 減らす	
ネットワークの接続を確認する	
時計を設定する	
テレホーダイ機能を使う	
留守モードの ON/OFF を設定する	
表示メニューを使う	
表示メニューを表示する	
回線接続状況を確認する	
課金情報で運用状況を確認する	
IP 統計情報を見る	
電子メール着信通知を見る	
チャネル統計情報を見る	
回線ログ情報で運用状況を確認する	
システムログを見る	
ルーティング情報を見る	
現在時刻を見る	
経過時間情報を見る	
メンテナンスメニューを使う	
メンテナンスメニューを表示する	
バージョン情報	
PPP フレームトレース情報を見る	
エラーログ情報	
NetVehicle のファームウェアを更新する	
オンラインサポート機能	
構成定義情報を退避する / 復元する	
電話番号を変更する	
FTP サーバ機能を使ってメンテナンスする	
FTP サーバ機能による構成定義情報の退避	274
FTP サーバ機能による構成定義情報の復元	
FTP サーバ機能によるファームウェアの更新	

付	録	
	PPP フレームトレース情報詳細	
	ISDN 理由表示番号一覧	
	システムログ情報一覧	
	システムのメッセージ	
	ディジタル通信のメッセージ	
	アナログ通信のメッセージ	
	オンラインサポートのメッセージ	
	ProxyDNS のメッセージ	
	ftpd のメッセージ	
	スケジュールのメッセージ	
	メールチェックのメッセージ	
	メール着信通知のメッセージ	
	マルチ TA のメッセージ	
	その他のメッセージ	
	用語集	
	Q&A	
	「詳細設定」で設定できる項目	
	索 引	

はじめに	1
コピーライトについて	9
安全上のご注意	11
警告表示について	11
電池に関するご注意	13
メンテナンスに関するご注意	14
使用上のご注意	14
ファームウェアの更新について	14
避雷対策について	14
セキュリティの確保について	14
電波障害自主規制について	14
ハイセイフティについて	14
説明書の構成と使いかた	15
本書の使いかた	16
マークについて	17
本書における商標の表記について	17
NetVehicle でできること	18

第1章 お使いになる前に	. 21
梱包内容 / 各部の名称と働きを確認する	22
NetVehicle 前面	23
NetVehicle 背面	2 4
NetVehicle 側面	25
NetVehicle 底面	27
NTT 回線加入契約の内容を確認する	28
「INS ネット 64」または「INS ネット 64・ライト」を新規に申し込む場合は	28
プロバイダとの契約内容を確認する	30
プロバイダと新規に契約する場合は	31

基本編

ISDN 回線をつなぐ	34
NetVehicleの接続手順	
ISDN 回線をつなぐ	
アナログ機器をつなぐ	
アース線をつなぐ	37
電源をつなぐ	37
電話が利用できることを確認する	
専用線をつなぐ	
NetVehicleの接続手順	
専用線をつなぐ	4 0
電源をつなぐ	4 0

第3章 パソコンを設定する	4 1
パソコンを LAN でつなぐ場合は	42
LAN カードを用意する	4 2
TCP/IP プロトコルを利用できるようにする	42
WWW ブラウザを用音する	47

	第4章 NetVehicle とパソコンをつなぐ	. 49
	新規に LAN を構築する	50
	パソコンをつなぐ	50
李	ハブを使って LAN を構築する	5 1
	既存の LAN を構築する	52
	ネットワークの状況を確認する	5 2
	IP アドレスを設定する	53
	NetVehicle をつなぐ	54
编		
WIN	第5章 NetVehicleを設定する	. 55
	設定を始める	56
	NetVehicle とバソコンの電源を入れる	56
	WWW フラワザを起動して NetVehicle のトップページを表示させる	56
	時計を設足りる	58
	設定方法を選ぶ	60
	「かんたん設定」で設定する場合	60
		60
	' かんたん設定」で設定する (インターネットへ ISDN 接続のとき)	61
	「かんたん設定」で設定する(インターネットヘフレッツ・ISDN 接続のとき)66
	「かんたん設定」で設定する(インターネットへ専用線接続のとき)	70
	「かんたん設定」で設定する(オフィスへ ISDN 接続のとき)	74
	「かんたん設定」で設定する(オフィスへ専用線接続のとき)	78
	「かんたん設定」で設定する(アナログ設定)	81
	電話機を使って設定する	82
	時計を設定する	82
	IP アドレスを設定する	83
	アナログ機能を設定する	8 4
	着信転送先の設定を行う	85
	TEL メールの設定を行う	86
	メールチェックを実行する	86
	メール着信を消去する	87
	留守状態の設定を行う	87
	留守モードの設定を行う	88
	第6音 利田料全に開するご注音	00
	回線料金からかしいと思ったら	90
	超過課金の見分け万	90
	超週課金が発生した原因を調べる	90
	禄並 悄報 ∕と 唯 祕 9 る	94
	第7章 困ったときには	.97
	通信ができたい提合には	9.8
	逆にかってつない。物白には	30
	に到時の到下に関するトラブル NetVehicle 設定時のトラブル	90 90
	回線への接続に関するトラブル	100
	ビーバス いりょうし ビー アンパ	103
	アナログ機器に関するトラブル	105
	その他のトラブル	105
	ご購入時の状態に戻すには	106

付 録		109
バックアップ用電池につ	ついて	110
電池に関するご注意		110
電池をセットする		111
停電時の動作につい	τ	112
スイッチ設定例		113
NetVehicleのDSU	Jを使用して他の ISDN 機器をつなぐ	113
NetVehicle を既設(の DSU に接続する	115
ダイヤル操作早見表		117
NTT との契約が必要な	機能	119
添付 CD-ROM の内容に	こついて	120
仕 様		121
ハードウェア仕様		121
ソフトウェア仕様		122
コンソールポート仕様.		124
設定内容をメモする		125
索 引		126



本書では、NetVehicleの機能について詳しく説明しています。また、NetVehicleの機能を活用できるように設定例を中心に載せています。リファレンス形式になっていますので必要な情報だけ参照してお使いいただけます。

NetVehicleを理解していただくために、取扱説明書は以下の2種類をご用意しています。

・応用編(本書) :NetVehicleの多様な機能の詳細を載せています。NetVehicleの機能を活用して

- いただくためにお読みください。
- ・基本編 : NetVehicleの基本的な使い方を載せています。NetVehicleを接続して設定を行い、通信ができるようになるまでを説明しています。詳細な機能に関する情報は応用編にあります。

NetVehicleのトップページと取扱説明書の記載内容とが異なる場合は、各ページの指示に従って設定を行っ てください。また、NetVehicleのトップページから富士通のNetVehicleのサポートページをワンタッチ で参照できます。より高度な使い方や、本書に掲載されている以外の各種設定例、機能追加などは、 NetVehicleのサポートページを参照してください。NetVehicle に関する最新の情報を入手できます。

本書の構成

応用編(本書)の構成と各章の内容を示します。

i	章タイトル	内容	主な項目
第1章	設定リファレンス	詳細設定メニューの各ページで設定する情報を項目 ごとに説明しています。	・詳細設定メニュー
第2章	NetVehicleを いろいろな 接続形態で使う	NetVehicleの代表的な接続形態のいくつかを紹介し ています。	・端末型接続 ・LANをISDN接続 ・LANを専用線接続
第3章	NetVehicleの 便利な機能を使う	NetVehicleの便利な機能の活用方法について説明し ています。	・マルチNAT ・IPフィルタリング ・DHCPサーバ機能
第4章	NetVehicleの アナログ機能を使う	NetVehicleにつないだアナログ機器を利用する方法 を説明しています。	・スタンパイモード ・内線通話、転送機能 ・サプアドレス
第5章	運用管理と メンテナンス	NetVehicleで、ISDN回線の運用状況などの管理や 確認を行う方法を説明しています。	・操作メニュー ・表示メニュー ・メンテナンスメニュー
付録		本書で使われている用語や、FAQなどを説明してい ます。	・用語集 ・Q&A

基本編の構成と各章の内容を示します。

Ē	章タイトル	内容	主な項目
第1章	お使いになる前に	NetVehicleを使う前に必要な準備などを説明してい ます。	・梱包物 / 各部名称の確認
第2章	NetVehicleと 回線をつなぐ	NetVehicleとISDN回線、および専用線をつなぐ方 法を説明しています。	・回線をつなぐ ・電話をかける
第3章	パソコンを設定する	利用するパソコンの準備を説明しています。	・LANでつなぐ
第4章	NetVehicleと パソコンをつなぐ	NetVehicleとパソコンをつなぐ方法を説明してます。	・IPアドレスの設定 ・LAN接続方法
第5章	NetVehicleを 設定する	NetVehicleでの基本的な設定方法を説明しています。	・かんたん設定 ・アナログ機器設定 ・操作パネル設定
第6章	利用料金に関する ご注意	NetVehicleを使用して、利用料金が正常かどうかを 確認する方法、および異常が発生した場合の対処方法 を説明しています。	・回線状況の確認 ・課金状況の確認
第7章	困ったときには	トラブル発生時の対処方法を説明しています。	・トラブルシューティング ・ご購入時の状態に戻す
付録			 ・電池の入れ方 ・ダイヤル操作早見表 ・設定内容メモ

■マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容をあらわしています。

(JURD) NetVehicleをお使いになるうえで役に立つ知識を、コラム形式で説明しています。

こんな事に気をつけて NetVehicleをご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。

(補)
よ 操作手順で説明しているものの他に、補足情報を説明しています。



◎ 照〉操作方法など関連事項を説明している箇所を示します。

⚠️警告 製造物責任法(PL)関連の警告事項をあらわしています。NetVehicleをお使いの際は必ず守っ てください。



本書における商標の表記について

Microsoft、WindowsおよびWindowsNTは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Macintoshは、アップルコンピュータ社の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications logo、Netscape Navigator、 Netscape は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

AMD、AMD 社口ゴマーク、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の登録商標です。

Magic Packet、PCnet は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

AMD and the AMD Logo are registered trademarks and Magic Packet and PCnet are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc.

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。 なお、本文中では[®]および™マークは省略しています。

Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemです。 Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating systemです。

Windows[®] 95 の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 95 operating system です。

Windows[®] 2000の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] 2000 operating systemです。

WindowsNT® 4.0 の正式名称は、Microsoft® WindowsNT® Server network operating system Version 4.0、またはMicrosoft® WindowsNT® Workstation operating system Version 4.0 です。

WindowsNT® 3.51 の正式名称は、Microsoft® WindowsNT® Server network operating system Version 3.51、または Microsoft[®] WindowsNT[®] Workstation operating system Version 3.51 です。



設定リファレンス

この章では、

NetVehicleの代表的な接続形態のいくつかを紹介します。

「詳細設定」で設定する	14
詳細設定メニューを表示する	15
回線情報設定	16
LAN 情報設定	18
ルーティング情報設定 (LAN 情報)	20
相手情報設定	21
ネットワーク情報設定	22
接続先情報設定	25
ポートルーティング情報設定	28
ルーティング情報設定(ネットワーク情報)	29
IP フィルタリング情報	30
静的 NAT 情報設定	31
不特定相手情報設定	32
PPP 受諾認証情報	34
装置情報設定	35
パスワード情報設定	37
E メールエージェント情報設定	38
メールチェック情報設定	40
宛先メールアドレス設定	42
条件設定	43
TEL メール情報設定	44
ProxyDNS 情報	46
ProxyDNS 情報設定(順引き)	47
ProxyDNS 情報設定(逆引き)	48
ホストデータベース情報	49
ホストデータベース情報設定	50
スケジュール情報	51
月間 / 週間予約設定	52
電話番号変更予約設定	53
マルチ TA 情報	54
アナログ共通情報	55
アナログポート1 / 2 情報	57
発信規制情報設定(発信抑止)	60
発信規制情報設定(発信許可)	61
送出着信番号情報	62
識別着信情報	63
識別着信情報設定(デフォルト定義)	64
識別着信情報設定(公衆電話着信)	65
識別着信情報設定(発信者番号非通知着信)	66
識別着信情報設定	67



「かんたん設定」の場合とは異なり、「詳細設定」では設定項目を個別に設定し、各項目を組み合わせて通信 できる状態にします。詳細設定メニューでは、「ルータ設定」および「アナログ設定」の設定が行えます。

▲照
「詳細設定」で設定できる項目」(P.318)

- - ■「詳細設定」だけで設定する場合、「回線情報」「LAN 情報」「相手情報」は必ず設定してください。
 - 「詳細設定」で設定したあとで「かんたん設定」を行うと、「詳細設定」で設定した内容が無効になります。
 ただし、パスワード情報、アナログ情報、ファームウェア更新情報は有効です。

- NetVehicleのトップページで画面上部の[詳細設定]アイコンをクリックします。
 詳細設定メニューが表示されます。
- 詳細設定メニュー(画面左側)の設定項目名をクリックします。
 設定画面(画面右側)が表示されます。各ページで設定情報を指定します。
- [更新]ボタンをクリックします。
 入力した設定情報を元に戻す場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。
 複数のページで設定が必要な場合は、各ページで情報を指定して、[更新]ボタンをクリックします。
- 【設定反映]または[再起動]ボタンをクリックします。
 設定した内容が有効になります。
 他にも設定項目がある場合は、1)~2)をくり返し、最後に[設定反映]または[再起動]ボタンをクリックすると、すべての設定した内容が一度に有効になります。
 - (補) ご「詳細設定」で設定する場合は、更新する内容により、再起動が必要となる場合があります。再起動が必要な場合は[再起動]ボタンが表示され、再起動なしに設定情報を反映できる場合は、[設定反映]ボタンが表示されますので、メッセージにしたがって処理を進めてください。

クリックするボタンにより、NetVehicleは以下のように動作します。

- ■[再起動]ボタン :通話中やデータ通信中の場合、通話およびデータ通信は切断されます。
- ■[設定反映]ボタン:通話中やデータ通信中の場合、通話は切断されません。データ通信は切断されま す。ただし、マルチTA機能を利用したデータ通信は切断されません。

[更新 + 設定反映ボタン]

各ページの[更新][キャンセル]ボタンの横に[更新+設定反映]ボタンが表示されます。指定した情報を更新して、すぐに有効にする場合は[更新+設定反映]ボタンをクリックしてください。

|詳細設定メニューを表示する

NetVehicleのトップページで画面上部の[詳細設定]アイコンをクリックすると、詳細設定メニューが表示されます。

Welcome to NetVehicle - Netscape	
戻る 次 再読み込	み ホーム 検索 ガイド 印刷 セキュリティ Shop 停止
🧵 🧊 ブックマーク 🌛 ジャンプ: 🕅	tp://192.168.1.1/
👔 🚴 Instant Message 🚇 新着 🚇	お勧め 国 メンバーズ
WeiWehi	
詳細設定メニュー	詳細設定
ルータ設定	このページでは、NetVehicleでサポートする全ての機能について、詳細に設定することができます。 通常よく使われ <u>る形態</u> の設定やインターネットへの接続は "かんたん設定" の使用をお勧めします。かんた
ELAN情報	ん設定へは初期画面から進めます。 《左のメニューから設定項目を選んでください。それぞれの設定処理へ進みます》
田相手情報	
田 <u>装置情報</u>	マークをクリックするとHELP情報が表示されます。
田Eメールエージェント情報	ISDN マークの項目は、ISDNを使う時だけ指定してください。
田 ProxyDNS 情報 田 ProxyDNS 情報	の項目は、必ず入力してください。
<u>ホストデータベース情報</u>	
田 スケジュール 情報	▲文字入力フィールドでは半角文字のみを使用してください。ただし、空白文字、「、く、2、8、8は入力
マルチTA情報 アナログ設定	しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
田 アナログ共通情報	▲ご利用されるネットワークの設定ミスや運用によっては、長時間回線が接続されたままになったり、
田 <u>アナログボート1 情報</u>	不要な接続が繰り返されて、お客様が意図しない通信料金が課せられる場合があります。NetVehicleの の 変換入 後は、必ず本体 Fl / P2 FDの 状態と、表示メニューの 課金情報を確認、てください。
送出着信番号情報	
識別着信情報	△ 動作環境の設定後は、必ず"更新"をクリックしてください。更新せずに電源を切断した場合、設定情 輸は無効となります。
XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	
ו=יש=ן ווון אַכאַנאַאון אין אַכאַנאַאון	

詳細設定メニュー(画面左側)に表示される設定項目をクリックすると、各設定画面が表示されます。また、設定項目名の左側に表示されている+、ーをクリックすると詳細な設定項目名を表示 / 非表示にする ことができます。

- + : クリックすると、詳細な設定項目名が表示されます。設定項目名をクリックすると指定した設定画面が表示されます。
- ー : クリックすると、詳細な設定項目名が非表示になります。

Citin)

ネットワーク情報と接続先情報の追加 / 変更

「相手情報」の左側の + をクリックすると詳細な設定項目に加えて、設定済みのネットワーク名、接 続先名、およびネットワーク追加、接続先追加が表示されます。表示されたネットワーク名や接続 先をクリックすると指定したページを一度で表示することができます。



回線情報設定

 回線インタフェース C ISDN C HSD(64Kbps) C HSD(128Kbps) BSDN情相】 [SDN 自動ダイヤル C すべて禁止 C 相手毎に設定 着信動作 C すべて禁止 C 相手毎に設定 C すべて禁止 C 相手毎に設定 f せいクォック f まっ)クする番引 電話番号を指定 ▼ 電話番号を指定 ▼ 	3
ISDN情報】 ISDN 自動ダイヤル C すべて禁止 © 相手毎に設定 着信動作 C すべて禁止 © 相手毎に設定 自動音号チェック ● しない C する チェックする番号 電話番号を指定 ■ サブアドレス 「電話番号を指定 ■ ●	
自動ダイヤル C すべて禁止 C 相手毎に設定 著信動作 C すべて禁止 C 相手毎に設定 C すべて禁止 C 相手毎に設定 C しない C する デェックする番号1 世球番号を指定 ▼ サブアドレス 電話番号を指定 ▼	
 著信動作 C すべて禁止 G 相手毎に設定 G しない G しない Fェックする番号1 電話番号を指定 ・ サブアドレス 電話番号を指定 ・ 電話番号を指定 ・ 	
自局番号チェック 自局番号チェック 自局番号チェック	
自局番号チェック → エックする番号1 サゴアドレス 電話番号を指定 ■ サゴアドレス 電話番号を指定 ■	
電話番号を指定 👤	
チェックする番号2 サブアドレス	
グローバル着信 💿 利用する C 利用しない	
で 親契約に従う で しない 第信者番号通知 で する	
通知する電話番号 通知するサブアドレス	
回線接続保持タ 2 時間 👤	
C しない で する	
課金制御 時間 制御動作 © 発信抑止 C システムログ出	カのみ
金額 金額 制御動作 © 発信抑止 C システムログ出	カのみ
データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+ 設定反映をクリックしてくだ 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。	du.

[回線情報]

使用する回線の種類を設定します。

回線インタフェース

以下の3つから使用する回線を選択します。 ISDN

INSネット64などのISDN接続の場合にチェック します。

HSD(64Kbps)

ハイ・スーパーディジタル(HSD)やDA64など の専用線の場合にチェックします。

HSD(128Kbps)

ハイ・スーパーディジタル (HSD) や DA128 な どのOCNエコノミーや専用線の場合にチェックし ます。

[ISDN 情報]

以下の項目は、ISDN を選択した場合だけ設定します。

自動ダイヤル

通信データが発生したときに自動的にダイヤルする かどうかを設定します。

すべて禁止

NetVehicleからの自動ダイヤルを禁止したいとき に"すべて禁止"をチェックします。

いかなる通信データ発生時にも自動的にダイヤルしません。

相手毎に設定

相手情報のネットワーク情報設定で対象を設定しま す。

着信動作

外からNetVehicleに対して着信を要求してきたと きの動作を設定します。

すべて禁止

着信を装置全体として禁止したい時に"すべて禁止"をチェックします。データ通信の着信をすべて 拒否し、発信専用となります。

相手に設定

相手情報のネットワーク情報の接続先情報設定で設 定します。

自局番号チェック

ダイヤルイン番号やサブアドレスを利用して着信機 器を識別するかどうかを選択します。

しない

着信時に自局の電話番号をチェックしません。

する

ダイヤルイン番号やi・ナンバー、サブアドレスを 利用した着信機器識別をしたい時に"する"を選択 し、使用する番号を設定します。この番号は2つま で設定できます。

電話番号については"電話番号を指定"、"i・ナン バー情報1(契約者回線番号)"、"i・ナンバー情報 2(追加の番号)"、"i・ナンバー情報3(追加の番 号)"のどれかを選択してください。"電話番号を指 定"の場合は、その右の記入欄に電話番号を32桁 まで設定できます。

また、いずれの場合にもサブアドレスは19桁まで 設定できます。"電話番号を指定"を選択し、右の 記入欄に電話番号を記述せずにサブアドレスのみを

設定した場合は電話番号は任意となります。 グローバル着信を行う場合は"グローバル着信"を "利用する"に設定してください。



グローバル着信 「ダイヤルイン/グローバル 着信機能を使う」(P.228)

発信者番号通知

発信者番号通知の内容を変えたい場合に設定しま す。通常は"網契約に従う"の状態で問題ありませ h.

網契約に従う

回線の加入契約で選択した内容の設定になります。 しない

接続先に自分の電話番号を通知しません。

する

通知する電話番号とサブアドレスも設定します。電 話番号は32桁まで、サブアドレスは19桁まで設 定できます。なお、PIAFS(64Kbps)発信時に は、設定したサブアドレスは無視され相手に通知さ れません。

回線接続保持タイマ

回線接続保持タイマは操作メニューでテレホーダイ 開始をクリックすることにより有効になります。無 通信監視タイマによる切断を無効とする時間を0~ 24時間の範囲で設定します。通信時間監視タイマ を設定した時刻から設定時間が経過するまでの間、 無通信状態が続いても、無通信監視タイマによる切 断は行われません。

課金制御

通信総時間と課金合計金額による自動発信制限を行 うかどうかを選択します。

しない

課金制御を行いません。

する

時間による制御と課金による制御が行え、両方を同 時に使うこともできます。上限時間は0~999時 間、上限金額は0~999999円の範囲で指定でき ます。なお、0または空白を設定した場合は、その 機能は無効となります。



LAN情報設定	[IP アドレス]
ビアトレム ゼルノタリドアトレム 2475390ルーナイノク スタティックルーティング DHCP	NetVehicleのIP アドレスを設定します。
DPアドレス] Pアドレス 192、168、 1. ネットマスク 24 255 255 255 0) プロードキャストアドレス ネットワークアドレス+オール1 * * DHCP 機能使用時、Pアドレスを変更する場合は DHCP 機能の"割当て先頭アドレス"も確認。	IP アドレス / ネットマスク Net VehicleのLAN 側のIP アドレスとネットマス クを設定します。
	▲ ① 注意
アアドレス 1 ネットマスク 24 (265,265,265,0) ブロードキャストアドレス ネットワーグアドレス+オール1	IP アドレスに 0.0.0.0 を設定すると通信ができなくなります。
びイナミックルーティング機能	
GP 送信 G 送信しない RP 送信 C VT で送信する C VT で送信する C VT で送信する RP 受信 G 受信しない C VT で受信する C VT で受信する C VT で受信する C VT で受信する C RP 送信時は加算するメトリック値を設定してください。》 メトリック値 0 = (RP V2使用時で認証) (ケットを破棄しない時は RP V2/12,0 ードを設定してください。》 (RP V2使用時で認証) (ケットを破棄する (RP V2使用時で認証) (ケットを破棄する (破棄する (破棄・1) パスワード (破棄・1) (「一) (「一) (「一) (「) ((し) (((し) (((((((((((((((((((ブロードキャストアドレス NetVehicleのLAN側のブロードキャストアドレスを以下の中から選択します。 0.0.0.0 255.255.255.255 ネットワークアドレスのホスト部をオール0にしたもの ネットワークアドレスのホスト部をオール1にしたもの 通常は"ネットワークアドレス+オール1"から変更する必要はありません。
C 使用しない C 使用する 割当て先頭アドレス 割当てアドレス数 リース期間 アフォルトルータ広報 DNSサーバ広報 レス期間 レンス期間 レンス期間 レンス期間 レンス期間 レンス期間 レンス期間 レンス期間 レンジングリDNSサーバ広報 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ広 レンジングUDNSサーバ レンジンジン レンジン レンジン レンジン レンジン レンジ	セカンダリIPアドレス] NetVehicleはLAN側に複数のIPアドレスを持つことができます。複数のIPアドレスを使用したい場合にはここを設定します。
テータを入刀後、更新をグリック、てくてえい。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新・設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 更新 更新・設定反映 キャンセル	・RIP の运受信 ・DHCP 機能

[ダイナミックルーティング情報]

ダイナミックルーティングを行うためのルーティング情 報を設定します。

RIP 送信

RIP 情報を送信するかどうかを選択します。

1

RIP 情報を送信しません。

- V1 で送信する RIP V1 を使用して、30 秒ごとに RIP 情報を送信 します。
- V2 で送信する RIP V2 を使用して、30 秒ごとに RIP 情報を送信 します。

RIP 受信

RIP 情報を受信するかどうかを選択します。 送信しない

RIP 情報を受信しません。

V1 で送信する

RIP V1を使用して受信します。

V2 で送信する RIP V2 を使用して受信します。

メトリック値

RIP 送信時に加算するメトリック値を設定します。

認証パケット

RIP V2 使用時にのみ有効な設定です。RIP V2 で は、同一パスワードグループでのみ、RIP 情報の交 換を行うことができます。

破棄する

パスワード認証による RIP 情報の交換は行いません。

破棄しない

パスワード認証によるRIP情報の交換を行います。 パスワードを16文字以内の半角英数字で設定しま す。

[スタティックルーティング情報一覧]

現在LAN側に設定されているスタティックルーティン グのテーブルが表示されています。

スタティックルーティングの定義は装置全体で32個ま で設定できます。必要な処理ボタンを選んで次のページ に進んでください。

[DHCP 機能]

DHCP **サーバ機能**

NetVehicleをLAN側ネットワークのDHCPサー バとして使用するかどうかを選択します。

使用しない

NetVehicleをDHCPサーバとして使用しません。 使用する

NetVehicleのDHCPサーバ機能を使用します。以下の項目を指定します。

割当て先頭 IP アドレス

DHCP サーバ機能により、割り当てる連続したア ドレス群の先頭の IP アドレスを設定します。 割当てアドレス数

DHCP サーバ機能で割り当てるアドレス数を1~ 32の範囲で指定します。

____注意 -

なお、ホストデータベース機能を使用すると特定のDHCP クライアントに対して固有のIPアドレスを割り当てること ができます。この場合のIPアドレスは、割当て先頭IPア ドレスと割当てアドレス数によって規定される動的割り当 て範囲である必要はありません。

リース期間

DHCPサーバ機能により割り当てたIPアドレスを 貸し出す期間を、1時間以上、365日未満の範囲 で指定します。0を指定すると無期限を意味しま す。

デフォルトルータ広報

DHCPサーバで広報するデフォルトルータのIPア ドレスを設定します。省略、または0.0.0.0を設定 すると、DHCPサーバによる広報を行いません。

DNS サーバ広報

DNSサーバのIPアドレスを設定します。省略、ま たは 0.0.0.0 を設定すると、DHCPサーバによる 広報を行いません。ProxyDNSを使用する場合は、 NetVehicleのIPアドレスを設定します。

セカンダリ DNS サーバ広報

セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定しま す。省略、または 0.0.0.0 を設定すると、DHCP サーバによる広報を行いません。

広報ドメイン名

ドメイン名を半角英数字80文字以内で設定しま す。省略した場合は、DHCPサーバによる広報を行 いません。



スタティックルーティングとは、目的とする接続先へ到達 するまでのルートをあらかじめ設定しておき、常に固定的 なルートを選択してデータ通信を行います。それに対して、 ダイナミックルーティングはルータ間でルーティング情報 をやりとりすることで、その都度ネットワークに応じて最 適なルートを選択してデータ通信を行うものです。





このページでは、ルーティング情報を固定で設定できま す。ただし、デフォルトルート指定は装置に1つしか設 定できません。

ネットワーク

デフォルトルートまたはネットワーク指定を選択し、あて先および中継先のネットワークを指定します。

デフォルトルート

ネットワーク指定されていないあて先をもつパケッ トの転送先を指定します。

ネットワーク指定

パケットを転送するあて先のネットワークを指定し ます。

メトリック値

ここで設定したルーティング情報をRIPで送信する 場合のメトリック値を指定します。



相手情報設定

ネットワーク情報 着信相手識別情報 受諾認証ID情報

《接続するネットワークの情報を設定します。接続できるネットワークは16個までです》 《相手の電話番号を特定せずしこパンコンからの著信のみを行いたい場合は不特定相手の設定を行ってく ださい》

[2]

[ネットワーク情報一覧]

	50-	100
ナットローク	WAN側IPアドレス 自動ダイヤル NAT その他	修正/削除
*919-9	接続先情報	PSIL/ HIPK
不特定相手着信 ISDN	-	修正
	追加全削除	

《着信相手識別情報は着信相手のネットワークを特定するための情報を設定します》 《発信者番号によって相手を特定した場合には参照されません》

自信許可	○ する ⊙しない			
2証方式	🗹 РАР 🔽 СНАР			
P接続	 しない する BAP/BACP利用 C する でしない 			
ールバック応答	C する © しない			

認証D 修正/削除

追加全削除

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 更新+設定反映 キャンセル

「ネットワーク情報一覧)

接続相手のネットワーク情報の一覧です。ネットワーク の定義は16個まで設定できます。必要な処理ボタンを 選んで次のページに進んでください。

「着信相手識別情報]

発信者番号による識別が行われなかった相手からの着信 について利用される情報です。

着信許可

発信者番号による識別が行われなかった相手からの 着信を許可するかどうかを指定します。

認証方式

着信時に利用する認証プロトコルをチェックしま す。いずれのプロトコルもチェックしなかった場合 には、認証は行いません。

MP 接続

着信時にMP接続を受け付けるかどうかを設定しま す。"する"をチェックした場合には、BAP/BACP の利用可否についても設定します。

コールバック応答

着信時にコールバック応答を行うかどうかを指定し ます。

「受諾認証 ID 情報一覧

着信時に受け付ける認証IDの一覧です。32個まで設定 できます。ここにない ID でも、各接続先情報の受諾認 証情報に記述されている ID であれば、着信は受け付け ます。必要な処理ボタンを選んで次のページに進んでく ださい。



ネットワーク情報設定 基本情報 接続先情報 <u>MP情報</u> ダイナミックルーティング スタティックルーティング IPフィルタリング NAT情報 **都的NAT 情報** 3 [基本情報] ネットワーク名 ₩ vJ データ圧縮 ② 設定しない C 設定する WAN側IPアドレス 自側IPアドレス ПΓ MTUサイズ 1500 バイト 自動ダイヤル [50] のする 〇 しない 使用しない MSS 書き 換え 使用する MSS書き換え ///バイト 《接続知よ、各ネットワークの合計で16箇所まで設定でき、複数のプロバイダを利用条件により切替え ることができます。》 [接続先一覧] ISDN 3 優先順位 接続先 ソース ボート 接続制限 電話番号 修正/削除 追加 全削除 [MP 情報] [SDN 3 MP回線初期リンク数 1 💽 アナログ使用時縮退 💿 する 🗅 しない ⊙ しない ○ する 回線使用率 猶予時間 トラフィックによる増減 回線増加条件 90 % 10 秒 回線削減条件 40 % 60 秒 受信パケット順序制御 〇 する 🖲 しない 「ダイナミックルーティング機能] 3 送信しない RIP送信 ○ Ⅵ で送信する C V2で送信する ● 受信しない RIP受信 ○ V1で受信する ○ V2で受信する 《 RIP 送信時は加算するメトリック値を設定してください。》 メトリック値 🛛 💽 《 RIP V2使用時で認証パケットを破棄しない時はRIP V2パスワードを設定してくださ • 破棄しない 認証バケット バスワード [スタティックルーティング情報一覧] 3 |宛先IPアドレス||宛先アドレスマスク||メトリック値||修正/削除 追加 全削除

優先順位 動作 ブロトコル 送信元ポット番号 TCP 接続要求 修正/ 削除/ 移 「売先ドアドレス/マスク」 「成先ドアドレス/マスク」 「広子ボット番号 「広子ボット番号 「広子ボット番号 「通知」 全削除 NAT協和 「「」」 ジローバルアドレス 「「」」
<u>適加</u> 全削除 NAT情報] 「 NATの使用 で使用しない C NAT C マルチNAT ジローバルアドレス 「」「」」
NAT 情報
NATの使用 © 使用しない C NAT C マルチNAT グローバルアドレス 「「「」」
アドレス 個数 🔲 個
アドレス割当てタイマ 時間 👤
NATセキュリティ C 通常 C 高い
フラグメント順序変更 🤄 使用しない C 使用する

基本情報]

ルーティングの対象となるネットワークの情報を設定します。

ネットワーク名

このネットワークを識別するための名称を半角英字 8 文字以内で設定します。

データ圧縮

送受信するデータの圧縮を行う機能です。データ圧 縮のアルゴリズムは、VJ Compressing TCP/IP Headers をサポートします。使用する設定をした 場合でも、実際にデータ圧縮を行うかどうかは相手 ホストとのネゴシエーションで決まります。

WAN 側IP アドレス

WAN 側の IP アドレスを固定で使用するかどうか を選択します。

設定しない

WAN 側の IP アドレスを固定で設定しません。

設定する

固定で使用する WAN 側の IP アドレスを設定しま す。"相手 IP アドレス"または"自側 IP アドレス" の一方だけを指定し、他方を省略することも可能で す。

主にプロバイダ接続する場合やNetVehicleどうしの接続の場合には、両方とも省略することができま

1

す。NetVehicle以外の装置との接続のように対等 な関係で接続する場合は、両方ともWAN側のIPア ドレスを指定してください。

MTU **サイズ**

最大パケット送信サイズ (Maximum Transmission Unit)を200~1500バイトの範囲で設定 します。

自動ダイヤル

通信データ発生時に自動的にダイヤルするかどうか を選択します。使用する場合は、通信データ発生時 に自動的にダイヤルします。

回線情報で自動ダイヤルを"すべて禁止"としてい る場合には自動ダイヤルは行いません。自動ダイヤ ルを行う場合は回線情報の自動ダイヤルを"相手毎 に設定"としてください。

MSS **書き換え**

MSS書換え機能を使用するか同化選択します。使 用する場合、"使用する"を選択し、書き換えサイ ズを0または160~1460の範囲で指定します。 0を指定する場合はMSS書き換え機能が無効とな ります。

[接続先一覧]

現在設定されている接続先の情報です。マルチルーティ ングを行う場合には、優先順位の1から順に評価され最 初に条件が成立した接続先にデータが流れます。接続先 の定義は装置全体で16個まで設定できます。必要な処 理のボタンを選んで次のページに進んでください。

[M P **情報]**

MP(MultilinkPPP)に関する情報を設定します。

MP 回線初期リンク数

回線接続時に接続するチャネル数を指定します。

アナログ使用時縮退

MPで2本のチャネルを使用している時に、アナロ グ電話がかかってきたり、アナログ電話の受話器を 上げたりした場合に、チャネルを1本に減らしてア ナログ機器が使えるようにすることができます。こ れを行う場合には"する"をチェックします。

トラフィックによる増減

回線負荷に応じて帯域幅(1B,2B)を自動的にコン トロールする機能を使用するかどうかを設定しま す。使用する場合は、回線増減の条件も指定します。 指定した回線使用率を超えた(削減の場合は下回っ た)状態が"猶予時間"以上続いた時点で、回線の 接続(削減の場合は切断)を行います。回線使用率 は0~100%、猶予時間は0~3600秒の範囲で 指定できます。

受信パケット順序制御

MPを使用すると、パケットの順序が入れ替わって 届く場合があります。その順序を正しいものに並べ 変えて受信する場合は"する"にチェックします。

ダイナミックルーティング機能]

ダイナミックルーティングを行うためのルーティング情 報を設定します。

RIP 送信

RIP 情報を送信するかどうかを選択します。なお、 送信する設定にすると、30 秒ごとに RIP 情報を送 信します。

⚠注意

ISDNの場合、RIP情報を送信すると思わぬ課金(定期発信 または長時間接続)が発生します。

RIP 受信

RIP 情報を受信するかどうかを選択します。

メトリック値

RIP 送信時に加算するメトリック値を設定します。

認証パケット

RIP V2 使用時にのみ有効な設定です。RIP V2 で は、同一パスワードグループでのみ、RIP 情報の交 換を行うことができます。

破棄する

パスワード認証による RIP 情報の交換は行いません。

破棄しない

パスワード認証によるRIP情報の交換を行います。 パスワードを16文字以内の半角英数字で設定しま す。

[スタティックルーティング情報一覧]

現在このネットワークに設定されているスタティック ルーティングのテーブルが表示されています。スタ ティックルーティングの定義は装置全体で32個まで設 定できます。必要な処理のボタンを選んで次のページに 進んでください。 なお、[修正]ボタンを選択して表示されるページでは、 メトリック値のみの修正となります。その他の情報を修 正する場合には、一度削除を行ってから追加を行ってく ださい。

[IP フィルタリング情報一覧]

現在このネットワークに設定されている IP フィルタリ ングの定義の一覧です。処理は優先順位1から順に行わ れます。IPフィルタリングの定義は装置全体で32個ま で設定できます。必要な処理のボタンを選んで次のペー ジに進んでください。

[NAT **情報]**

NAT に関する情報を設定します。

NAT の使用

NATを使用するかどうかを選択します。マルチ NATを使うと複数の端末を同時に使用できます。 NATを使用しない場合には、以降の設定は無効で す。

グローバルアドレス

特定のグローバルアドレスを使用する時に、指定し ます。設定しない場合は自動で割り当てられます。

アドレス個数

複数個のグローバルアドレスを使用する場合には、 上述のグローバルアドレスを先頭とし連続した複数 のアドレスを指定できます。その個数を1~16の 範囲で指定します。

アドレス割当てタイマ

アドレス変換情報は一定の時間該当する通信が行われないと、自動的に解放されます。解放するための 猶予時間を0~24時間の範囲で指定します。0を 指定すると、回線が切断されるまで情報は解放され ません。

NAT セキュリティ

通常

相手サーバがNATを使用している場合など、要求 先とは別のアドレスから応答する場合に選択しま す。

高い

ftpやdnsの要求した相手からの応答かをチェック します。

フラグメント順序変更

NAT はフラグメントされたパケットの順序が前後 逆転して受信した場合、そのパケットを破棄しま す。フラグメントされたパケットの順序が逆転し ないように、あらかじめパケットを整列させる機 能を使う場合は、"使用する"を選択します。

[静的 N A T 情報一覧]

NATを使用すると、アドレス変換情報は固定で持つこともできます。現在設定されている固定のアドレス変換 情報を表示しています。

静的NATの定義は装置全体で32個まで設定できます。 必要な処理のボタンを選んで次のページに進んでくださ い。



<u>基本</u> <u></u> 著信	<u>- 春幸辰</u> (三) 春幸辰	マルチルーティング 発信情報 発信者番号識別による著信情報	
基本情報]			5
接続先名	[
ダイヤル1	電話番号 サブアドレス		
ダイヤル2	相子種助 電話番号 サブアドレス		
ダイヤル3	相手種別 電話番号 サブアドレス		
211/20	相手種別	ISDN	
DNSサーバ			
MP接続	 しない する BAP/E ※発信 定が有 	9ACP利用「C する C しない」 者番号による識別で番号をチェックしない場合は著信相手識別情報	o⊯
無通信監視	60 秒	70	
課金単位時 間 回線接続保	昼間(月~金 (08:00~19:1 夜間(土日の (19:00~23:1 深夜・早朝 (23:00~08:1	2000 [0 秒 2001 [0 秒 2001 [0 秒 2001 [0 秒 2011 [0 秒	
持機能	C 使用する	◎ 使用しない	
マルチルーティ	ング]	3	
ソースアドレスルーティング		ローカルホストIPアドレス アドレスマスク 0 00.0.00)	
ポートルーティング		ボート番号 サーバホスト名 修正/削除 追加 全削除	
接続制限		 □ 指定した時間を超えて接続しない □ 指定した課金を超えて接続しない 	
発信情報]		<u>[</u>	3
送信認証情報	送信認識	距D スワード	
コールバック要		3(1) 5 ールバック方式 OBCP 画 ールバックウェイトタイマ 60 秒 ールバック電話番号]
著信情報]		3	
着信許可	C #3 🔍	しない	
受諾認証情報	121EID		

発信者番号による識 別	○ 番号チェックをしない ● 番号チェックをする
チェック番号	電話番号 サブアドレス ※未設定時は基本情報の番号でチェックする
認証方式	PAP V CHAP
コールバック応答	C しない する コールバック方式 GBCP ロールバック方式 TID 秒 コールバック電話番号 コールバック電話番号 コールバックサブアドレス
タを入力後、更新? 『新してすぐに設定反 、力したデータを元に『	をクリックしてください。 使クリックしてください。 映るしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 実す場合はキャンセルをクリックしてください。

[基本情報]

接続先ごとに固有の情報を設定します。

接続先名

この接続先を識別するための名称を半角英数字8文 字以内で設定します。この名前は手動接続の際にも 使用されます。

ダイヤル 1/2/3

接続に用いる電話番号は3つまで設定できます。ダ イヤル1の電話がかからない時にはダイヤル2に、 ダイヤル2がかからない時にはダイヤル3にダイ ヤルします。相手種別は送信時にのみ参照されま す。着信時には自動認識します。

電話番号

電話番号は32桁以内で指定してください。電話番 号には、0~9、*、#が指定できます。

サブアドレス

サプアドレスは19桁以内で設定してください。 PIAFS(64Kbps)着信時には、設定したサプアド レスは無視されます。

相手種別

相手の種別をISDN、32kPIAFS、64kPIAFS (NTT DoCoMo方式)、64kPIAFS(DDI Pocket 方式)の中から選択して指定します。

DNS サーバ

接続の際に使用するDNSサーバのIPアドレスを設 定します。ProxyDNSを使用する際に必要となり ます。省略、または0.0.0.0を設定した場合は、自 動取得となります。255.255.255.255を設定し た場合は使用しません。また、このアドレスはPPP のネゴシエーションの中で相手から要求があった場 合、相手に受け渡すDNSサーバアドレスとしても 使用されます。

MP 接続

MP 接続を行うかどうかを選択します。

しない

接続時に MP 接続を行いません。

する

MP接続をする場合には、BAP/BACPの利用可否 についても指定できます。ただし、発信者番号によ る識別が行われなかった相手からの着信について は、相手情報の着信相手識別情報の設定が参照され ます。

無通信監視タイマ

ISDN 回線の無通信監視タイマを0~3600秒の 範囲で設定します。ここで設定した時間、通信が行 われなかった場合は、ISDN 回線を自動的に切断し ます。なお、0を設定した場合、自動切断を行いま せん。

課金単位時間

各時間帯の課金単位時間を 0.0 ~ 3600.0 秒の範 囲で指定します。ここで設定した時間は無通信監視 による回線切断のときに参照され、同一料金で最大 の接続時間を得るよう回線切断タイミングを調整し ます。なお、昼間時間帯に0を設定した場合、課金 単位の調整は行いません。また、夜間時間帯や深夜・ 早朝時間帯に0を設定した場合、その前の時間帯の 設定を利用します。

⚠注意

この機能を使用するときは、操作メニューの時刻設定を用 いてNetVehicleの内部時計を正しく設定してください。内 部時計が正しく設定されていない場合、課金単位時間は昼 間の値のみが使われます。また、祝日には対応していませ ん。

回線接続保持機能

回線接続保持機能はテレホーダイ契約されている電 話番号向けの機能です。テレホーダイ機能の動作中 に、この接続先を回線接続保持の対象とするかどう かを選択します。

[マルチルーティング]

従来のIPルーティングに加え、ローカルホストIPアド レス、ポート番号および接続制限の組み合わせによる ルーティングを行います。

ソースアドレスルーティング

ローカルホスト IP アドレスによるルーティングを 行います。この接続先に送信するパケットをローカ ルホスト IP アドレスによって定義できます。 ローカルホスト IP アドレス、アドレスマスクの組 み合わせにより、対象となるローカルホスト IP ア ドレスが決定されます。

⚠注意 -

すべての接続先に対してソースアドレスルーティングが設定されている状態では、NetVehicleのファームウェア更新 や通信確認(ping)等は行えません。必ず1つはソースア ドレスルーティングを行わない接続先を定義してください。

ポートルーティング

ポート番号によるルーティングを行います。この接 続先に送信するパケットをポート番号(サービス)に よって定義できます。ポートルーティングの定義は 装置全体で32個まで設定できます。

接続制限

この接続先に対する発信抑制を接続時間と課金に よって行うことができます。時間は0~999時間、 金額は0~999,999円の範囲で設定できます。

[発信情報]

接続先に対しての発信に関する情報を設定します。

送信認証情報

発信時に使用する認証 ID とパスワードをそれぞれ 64 桁以内で設定します。

コールバック要求

コールバック要求を行うかどうかを選択します。 コールバック要求とは、いったん接続して認証を 行ったあとに回線を切断して、相手から電話をかけ 直してもらう機能です。

- しない
 - コールバック要求を行いません。

する

コールバック要求をする場合は以下の項目も設定し てください。

1

コールバック方式

コールバックを行う場合の方式を CBCPまたは無 課金 の中から選択します。Microsoft 製品や CBCP 方式をサポートしている装置とのコール バックを行う場合は "CBCP"を選択してくださ い。NetVehicle どうしのコールバックを行う場合 には"無課金"も選択できます。"無課金"ではコー ルバック要求側には電話料金はかかりません。

- コールバックウェイトタイマ コールバック要求後の着信待ち時間を0~60秒の 範囲で指定します(推奨時間 60秒)。コールバッ クがうまくいかないときは、この時間を長くしてみ てください。
- コールバック電話番号 コールバックで相手側にダイヤルしてもらう電話番 号を32桁以内で指定します。この電話番号は、 CBCP方式によるコールバックにのみ有効です。

コールバックサプアドレス コールバックで相手側にダイヤルしてもらう電話番 号のサプアドレスを半角英数字を使用して19文字 以内で指定します。このサプアドレスは、CBCP方 式によるコールバックにのみ有効です。

[着信情報]

接続先からの着信に関する情報を設定します。接続先の 特定に使用します。

着信許可

この接続先からの着信を許可するかどうかを設定します。

受諾認証情報

着信時に受け付ける認証 ID とパスワードをそれぞ れ64桁以内で設定します。発信者番号によってこ の接続先を識別できる場合は、この情報を省略し、 代わりに相手情報の受諾認証 ID 情報を使うことが できます。

「発信者番号識別による着信情報」

発信者番号によって識別した相手の着信に関する情報を 設定します。

発信者番号による識別

着信時の相手識別の方法には、発信者番号通知を用 いる方法と、認証IDを用いる方法があります。 番号チェックをしない 発信者番号通知を用いて相手を識別しません。以下

の設定は設定しても、参照されません。

番号チェックをする

発信者番号通知を用いて相手を識別します。以下の 情報を設定してください。

チェックする番号

相手識別に使用する電話番号を32桁以内、サプア ドレスを19桁以内で設定します。省略時は基本情 報の値を使用します。なお、PIAFS(64Kbps)着 信時には、設定したサプアドレスは無視されます。

認証方式

着信時に利用する認証プロトコルをチェックしま す。いずれもチェックしないときには、その相手か らの着信については認証を行いません。

コールバック応答

相手からのコールバック要求を受け付けるかどうか を選択します。

しない

相手からコールバック要求があっても、コールバッ ク応答行いません。

する

コールバック要求に応答する場合は以下の項目を指 定します。

コールバック方式

コールバックを行う場合の方式を CBCPまたは無
 課金 の中から選んでください。Microsoft 製品や
 CBCP 方式をサポートしている装置とのコール
 バックを行う場合は"CBCP"を選択します。
 NetVehicleどうしのコールバックを行う場合には
 "無課金"も選択できます。"無課金"ではコールバック要求側には電話料金はかかりません。

コールバックウェイトタイマ

コールバック要求を受け、回線切断後、発信を行う までの待ち時間を0~60秒の範囲で指定します (推奨10秒)。コールバックがうまくいかないとき は、この時間を長くしてみてください。

- コールバック電話番号 コールバック要求を受け、自側がダイヤルする電話 番号を 32 桁以内で指定します。
- コールバックサブアドレス コールバック要求を受け、自側がダイヤルする電話

番号のサプアドレスを半角英数字を使用して19文 字以内で指定します。



ドートルーティング情報]	3
ドート番号 「ftp ▼(番号指定: "その他"を選択時のみ有効で	す)
ナーバホスト名	

この機能は ProxyDNS を使用する場合のみ有効です。

[ポートルーティング情報]

ポート番号によるルーティングを行います。この接続先 に送信するパケットをポート番号(サービス)によって 定義できます。

ポート番号

ポートルーティングの対象となるサービスを選択し ます。"その他"を選ぶと、ポート番号を1~ 65535の10進数を使用して直接指定することが できます。

サーバホスト名

ポートルーティングの対象となるホスト名を半角英 数字 80 文字以内で設定します。





このページでは、ルーティング情報を固定で設定できます。ただし、デフォルトルート指定は装置に1つしか設 定できません。

ネットワーク

宛先および中継先のネットワークを指定します。 デフォルトルート

ネットワーク指定されていない宛先をもつパケット の転送先をデフォルトに指定します。

ネットワーク指定

パケットを転送する宛先のネットワークを指定しま す。

メトリック値

ここで設定したルーティング情報をRIPで送信する 場合のメトリック値を指定します。



動作		● 透過 С 透過(接続中のみ) C 遮断
プロトコル		すべて ・(番号指定: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	IPアドレス	
送信元情報	アドレスマスク	0 (0.0.0.0)
	ポート番号[]	
宛先情報	P アドレス	
	アドレスマスク	0 (0.0.0)
	ポート番号[]	
TCP接続票	求	○ 対象 C 対象外

優先順位の高い定義より順にパケットのチェックを行 い、すべての条件が合致した場合に定義された動作を行 います。ただし、分割されたパケットに対しては正しく 扱えません。

動作

IP フィルタリングの動作を以下の 3 つから選択し ます。

透過

条件と一致した場合にパケットを透過します。 透過(接続中のみ)

条件と一致した場合に、ISDN回線が接続されていればパケット透過し、切断されていれば遮断します。

遮断

条件と一致した場合にパケットを遮断します。

プロトコル

フィルタリング条件としてプロトコルを以下の5つ から選択します。

- ・すべて(0)
- ICMP(1)
- •TCP(6)
- UDP(17)
- ・その他

"その他"を選択した場合、プロトコル番号を0~ 255の10進数で指定してください。

送信元(宛先)情報

IP アドレス / アドレスマスク フィルタリング条件として IP アドレスとアドレス マスクを設定します。 チェック対象となったパケットの IP アドレスと定 義したアドレスマスクの論理積と、定義した IP ア ドレスとアドレスマスクの論理積が等しい場合に条 件に一致したことになります。

ポート番号

フィルタリング条件としてポート番号を1 ~ 65535の10進数または'any'で設定します。'any' を設定した場合はすべてのポート番号をフィルタリ ングの対象とします。また、ポート番号を複数指定 する場合は','で区切ります。範囲指定の場合は'-'で 区切ります。ただし、送信元情報と宛先情報で合わ せて10組までです。

TCP 接続要求

TCP プロトコルでのコネクション接続要求をフィ ルタリングの対象に含めるかどうかを設定します。



								3
ゴライベート	IPアドレ ス	 , _	-,,_]				
IP情報	ポート番 号	すべて	▼(番号指定	<i>"</i> ₹0	り他"を	選択時のみ	有効です)	
	IPアドレ ス							_
クローハルIP 情報	ポート番 号	すべて です)	▼(番号指定)		"	その他"を述	【択時のみ有	动
プロトコル	すべて	■(番号指)	定: 🥅 " そん)他"を選択時(のみ有効	功です)		
データを入力後 更新してすぐに 入力したデータ	、更新をク 設定反映な を元に戻す	リックしてくた むたい場合 「場合はキャ	ごさい。 は、更新+設) ンセルをクリッ?	宅反映をクリック フしてください。	してくた	ëðu.		

プライベート IP 情報

固定でアドレス変換を行う場合にローカルネット ワーク側のIP アドレスとポート番号を指定してく ださい。IP アドレスは省略できません。 ポート番号を指定する場合は、1~65535の範囲 で指定してください。なお、グローバルポート番号 を範囲指定した場合には、その範囲のグローバル ポート番号は、指定したプライベートポート番号を 先頭とした範囲へ変換されます。例えば、プライ ベートポート番号に1000を指定し、グローバル ポート番号に10000を指定すると、グ ローバルポート番号の10000から11000はプ ライベートポート番号の1000から2000に変換 されます。

グローバル IP 情報

固定でアドレス変換を行う場合に WAN 側の IP ア ドレスとポート番号を設定してください。IP アド レスは省略できます。省略した場合、すべてのグ ローバルアドレスに対して有効な設定となります。 ポート番号を指定する場合は、1~65535の1つ、 または'-'で区切った1組の範囲を指定してください。

プロトコル

固定でアドレス変換を行う場合に対象となるプロト コルを以下の7つから選択します。

- ・すべて(0)
- \cdot ICMP(1)
- •TCP(6)
- UDP (17)
- •ESP(50)
- •AH(51)

・その他

"その他"を選択した場合、プロトコル番号を0~ 255の10進数で指定してください。



不特定相手情報設定
<u>基本情報 MP情報 IPフィルタリング情報</u>
[基本情報]
割当先頭アドレス
同時接続許可数 1 💌
DNSサーバ
データ圧縮 マ VJ
無通信監視タイマ 0 秒
[MP 情報] [2]
MP回線初期リンク数 ※コールバック応答時に有効
アナログ使用時縮退 C する @ しない
受信パケット順序制御 C する © しない
[Pフィルタリング情報一覧] [7]
優先順位 動作 プロトコル 通信元米-ト番号 一てP接続要求 修正/削除/移動 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次
追加全削除
データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映想したい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。
更新 = 更新 + 設定反映 キャンセル

[基本情報]

相手情報で定義されたいずれの相手とも判断できなかっ た着信相手に対する動作に関する情報設定します。

割当先頭アドレス

着信相手に対して、割り当てる先頭の IP アドレス を指定します。同時接続許可数と組み合わせて範囲 (許可数)を指定します。

割当先頭アドレスを省略した場合は、不特定相手からの着信は行われません。

同時接続許可数

割当先頭アドレスを先頭に、同時接続許可数分の IP アドレスが割り当てられます。

DNS **サーバ**

相手から要求があったときに、通知するDNSサー バのIPアドレスを設定します。

データ圧縮

送受信するデータの圧縮を行う機能です。データ圧 縮のアルゴリズムは、VJ Compressing TCP/IP Headers をサポートします。使用する設定をした 場合でも、実際にデータ圧縮を行うかどうかは、相 手ホストとのネゴシエーションで決まります。

無通信監視タイマ

ISDN 回線の無通信監視タイマを0~3600秒の 範囲で設定します。ここで設定した時間、通信が行 われなかった場合は、ISDN回線を自動的に切断し ます。なお、0を設定した場合、自動切断を行いま せん。

[M P **情報]**

MP(MultilinkPPP)に関する情報を設定します。

MP 回線初期リンク数

回線接続時に接続するチャネル数を指定します。

アナログ使用時縮退

MPで2本のチャネルを使用している時に、アナロ グ電話がかかってきたり、アナログ電話の受話器を 上げたりした場合に、チャネルを1本に減らしてア ナログ機器が使えるようにするかどうかを選択しま す。

する

電話を使用するときに、データ通信で使用中のチャ ネルを1本解放します。

しない

データ通信中は電話が使えないようにします。

トラフィックによる増減

回線負荷に応じて帯域幅(1B,2B)を自動的にコン トロールする機能を使用するかどうかを選択しま す。

- しない
 - トラフィックに応じた帯域幅のコントロールを行い ません。

する

使用する場合は、回線増減の条件も指定します。指 定した回線使用率を超えた(削減の場合は下回っ た)状態が"猶予時間"以上続いた時点で、回線の 接続(削減の場合は切断)を行います。回線使用率 は0~100%、猶予時間は0~3600秒の範囲で 指定できます。

受信パケット順序制御

MPを使用すると、パケットの順序が入れ替って届 く場合があります。その順序を正しいものに並べ変 えて受信するかどうかを選択します。

する

順序を正しいものに並べ変えて受信します。 しない

届いた順序で表示します。

[IP フィルタリング情報一覧]

現在設定されている IP フィルタリングの定義の一覧で す。処理は優先順位1から順に行われます。IPフィルタ リングの定義は装置全体で32個まで設定できます。必 要な処理のボタンを選んで次のページに進んでください。



PPP受諾認証	情報
[受諾認証情報]	[3]
受諾認証D	
受諾認証バスワード	
データを入力後、更新 更新してすぐに設定反 入力したデータを元に)	をクリックしてください。 映刻したい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 実す場合はキャンセルをクリックしてください。
更新 更新+設)	E反映 ↓ キャンセル ↓

[受諾認証情報]

主に不特定相手からの着信時の認証に使用する情報で す。

着信時に受け付ける相手の認証 ID とパスワードをそれ ぞれ半角 64 桁以内で設定します。


装置情報設定

タイムサーバ情報 システムログ情報 ファームウェア更新情報 オンラインサポート情報 留守モード情報
[タイムサーバ情報]
ダイムサーバ ・ 使用しない ダイムサーバ ・ 使用する ブロトコル ・ TIMEプロトコル C SNTP 時別サーバIPアドレス ・ 自動時刻設定開稿 ・
システムログ情報 []
システムログ送信 ・ ど信まる 送信まれ
Dァームウェア更新情報
転送元ホスト名 ftp.fujitsu.co.jp
рЭ́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́́
ログインパスワード hamster@fujitsu.co.jp
はンラインサポート情報 ISDN オンラインサポート接続 C しない でする。 増証番号
[留守モード情報]
「 留守モード中は、スタンバイモードで動作する 「 留守モード中は、メールを転送する 「 留守モード中は、メールの一覧を送信する 「 留守モード中は、エELメールを送信する 「 留守モード中は、王ELメールを送信する 「 雷守モード中は、落信転送を行う 「 留守モード中は、発信転送を行う 「 留守モード中は、アナログの留守確認機能を使用する 「 留守モード本新隊する時にスイールチェックを行う
 データを入力後、更新をグリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をグリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをグリックしてください。 更新 更新+設定反映 +>ンセル

「タイムサーバ情報]

NetVehicleは、ネットワーク上のタイムサーバから時 刻情報を取得することにより、内部時計を自動的に設定 することができます。

タイムサーバ

使用しない

タイムサーバを使用せずに内部時計を設定します。 使用する

タイムサーバから時刻情報を取得します。以下の情 報を設定します。

プロトコル

使用するプロトコルを選択します。

時刻サーバの IP アドレス

タイムサーバの IP アドレスを指定します。

自動時刻設定間隔

タイムサーバから定期的に時刻情報を取得するとき の取得周期を0~10日の範囲で設定します。0を 設定すると、起動(再起動)時のみ時刻情報を取得 します。

システムログ情報 1

NetVehicle は、syslog 形式でシステムログサーバに システムログ情報を送信することができます。

システムログ送信

送信しない

システムログを送信しません。

送信する

システムログサーバにシステムログ情報を送信する 送信先の IP アドレスを設定します。

[ファームウェア更新情報]

ファームウェアを入れ替えたり、レベルアップを行うと きに、転送元となるホストに接続するための情報を設定 します。ファームウェアの更新操作はメンテナンスメ ニューから行えます。

転送元ホスト名

更新ファームウェアが存在するホスト名を半角英数 字128文字以内で設定します。 ドット表記の IP アドレスを設定することもできま す。ただし、通常は変更の必要はありません。 ProxyDNS が設定されていない場合、ホスト名指 定によるファームウェア更新は行えません。

ログイン ID

ファームウェア更新用のログイン ID を 16 文字以 内で設定できます。ただし、通常は変更の必要はあ りません。

ログインパスワード

ファームウェア更新用のパスワードを32文字以内 で設定できます。通常は、NetVehicle 管理者の メールアドレスをここに記述します。

ファイルロケーション

更新用ファームウェアのロケーションを80文字以 内で設定できます。ただし、通常は変更の必要はあ りません。

[オンラインサポート情報]

オンラインサポート接続

オンラインサポート接続をするかどうかを指定して ください。センタ側からのオンラインサポート接続 を許可する場合には"する"、拒否する場合には"し ない"をチェックします。オンラインサポート接続 を許可するときにセンタ電話番号と暗証番号のいず れもが設定されていない場合、LAN ポート用の MAC アドレスが認証に使用されます。

センタ電話番号

オンラインサポートを受け付ける相手電話番号を 32 桁以内で指定します。

暗証番号

オンラインサポートを受け付ける相手との暗証番号 を半角英数字を使用して19桁以内で指定します。

ガガン オンラインサポートとは

ISDN回線に接続された遠隔地(リモート側)の NetVehicleを、管理者側(センター側)のNetVehicle を使用して直接設定する機能です。本機能ではPPPによる IP接続を必要としないので、ご購入時の状態のまま、 NetVehicleを設定することが可能です。ただし、専用線 (HSD)では使用できません。

以下の手順で設定を行うことができます。

- WWW ブラウザを使用してセンター側の NetVehicle のトップメニューを開きます。
- 2)「メンテナンスメニュー」の「オンラインサポート」で、 リモート側の電話番号と暗証番号を指定し、「オンライ ンサポート開始」ボタンをクリックします。
- 正常に接続された以降は、センター側のNetVehicleを 設定するのと同様の手順でリモート側の設定を行うこと ができます。
- チンテナンスメニュー」の「オンラインサポート」で、
 「オンラインサポート終了」ボタンをクリックしてオン
 ラインサポートを終了します。

/()注意 -

・ 本機能を使用しての発信にはINSネット64の「ユーザ間

情報通知サービス」を使用するため、1回の発信につき1 メッセージ分の料金が通信料金とは別にかかります。

- オンラインサポート中は、ISDN回線は接続されたままとなります。無通信監視タイマによる自動切断は行われません。設定終了後は必ずオンラインサポートを終了し回線が切断されたことを確認してください。
- ・ 暗証番号にはリモート側のNetVehicleに設定された暗証 番号を指定してください。一致しない場合は接続できま せん。なお、リモート側のNetVehicleがご購入時の状態、 またはオンラインサポート情報未設定の場合は、暗証番 号としてMACアドレスを指定することにより接続できま す。MACアドレスは装置背面に表記されているとおり半 角小文字の英数字で指定してください。
- 本機能を利用する際には、センタ側とリモート側に同一 機種のNetVehicleを使用してください。ただし、バージョ ンが異なる場合、設定できない項目もあります。

[留守モード情報]

留守モードに割り当てる動作を選択します。装置のアナ ログポートに接続されている電話機、操作メニュー、ま たはスケジュール機能により、留守モードの切り替えが できます。

スタンバイモードで動作する

留守モード中はスタンバイモードになります。

メールを転送する

メールチェックで取得したメールを転送します。

メールの一覧を送信する

メールチェックで取得したメールの一覧を送信しま す。

TEL メールを送信する

アナログポートに接続されている電話機の着信履歴 をメールで送信します。

着信転送

- 着信転送を行う アナログポートに接続されている電話機の着信を着 信転送します。
- 疑似着信転送を行う アナログポートに接続されている電話機の着信を疑 似着信転送します。

アナログの留守確認機能を使用する 外線から ON / OFF を確認できます。

解除する時にメールチェックを行う

留守モードを解除する時にメールチェックを行いま す。





NetVehicle を操作する際のパスワードを半角英数字 16文字以内で指定します。パスワード入力によって操 作の制限が解除される時間は10分間です。それ以降の 操作ではあらためてパスワードが要求されます。 なお、パスワードは更新直後から有効になります。 操作メニュー、表示メニュー、メンテナンスメニューの 操作に関しても、必要に応じてパスワードを有効に設定 できます。

新しいログインパスワード

設定するログインパスワードを指定します。

ログインパスワードの確認

上で設定したパスワードと同じパスワードを入力し ます。

操作

チェックすると、操作メニューを使用する場合に上 で設定したパスワードが有効になります。

表示

チェックすると、表示メニューを使用する場合に上 で設定したパスワードが有効になります。

メンテナンス

チェックすると、メンテナンスメニューを使用する 場合に上で設定したパスワードが有効になります。





Eメールエージェント機能には以下の 機能があります。

・メールチェック機能

メールチェックとは、POP3プロトコルを使用して、指定 時間にPOP3サーバにメールが到着しているかどうかを確 認する機能です。メールが到着していれば、メールの件数、 差出人、題名、送信時刻を取得します。

・メール転送機能

指定時刻になるとPOP3サーバに到着しているメールを指 定したメールアドレスに転送する機能です。

・メール一覧送信機能

指定時刻になるとPOP3サーバに到着しているメールの-覧情報を指定したメールアドレスに転送する機能です。

・TEL メール機能

アナログポートの着信履歴を着信ごとまたは一定時間ごと にメールで送信する機能です。

・メール着信通知機能

メールが到着したことを通知する機能です。プロバイダの "インターネットメールの自動着信通知サービス"を利用し ます。プロバイダから受信者あてにメールの着信通知を発 信し、メールが到達したことを利用者端末に伝えるサービ スです。

⚠注意

メール着信通知機能を使用するには、プロバイダが"イン ターネットメールの自動着信通知サービス"をサポートし ている必要があります。

[メールチェック情報一覧]

登録されているメールチェック情報の一覧です。 必要な処理のボタンを選んで次のページに進んでくださ い。

メールチェック情報は10個まで設定できます。 同時刻に複数のメールチェックを実行した場合、メール チェックの実行が多少ずれる場合があります。

停止

チェックすると、メールチェックを一時的に停止し ます。

システムログ

メールチェックのシステムログを出さない場合は、 出力しないを選択します。

[TEL メール情報]

TEL メール

使用する

着信履歴をメールで送信します。

使用しない

着信履歴をメールで送信しません。

送信情報

指定されている TEL メール情報の一覧です。 TEL メール情報はアナログポートごとに設定できます。 必要な処理のボタンを選んで次のページに進んでください。

システムログ

TELメールのシステムログを出さない場合は、出力 しないを選択します。

[メール着信通知情報]

メール着信通知

使用する

プロバイダから受信者あてにメールの着信通知を発 信し、メールが到着したことを利用者端末に伝える サービスを利用します。

使用しない

メール着信通知を使用しません。

サブアドレスチェック

プロバイダから通知されるメール着信通知を、サブ アドレスにより制限できます。

チェックしない

すべてのサブアドレスでメール着信通知を受け付け ます。

回線情報の自局番号でチェックする

回線情報の自局番号チェックの定義に従います。こ の場合は、自局番号チェックで許可されないサプア ドレスを含むメール着信通知は無視します。

以下の値でチェックする

指定したサブアドレスを含むメール着信通知のみを 受け付けます。サブアドレスは半角英数字19文字 以内で指定してください。



メールチェック情報設定

メールチェック情報 メール転送/一覧送信情報 メール転送条件

[メールチェック	71皆報]
ユーザ名	
バスワード	
POP3サー バ	ホスト名 ボート番号 110 番
確認時間	 ○ 時刻で指定 毎日 ● ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
自動消去	○ 使用する ④ 使用しない
APOP 21	○ 使用する ◎ 使用しない
リモートメー ルチェックID	
メール転送/	
転送/→覧迫	4信 「メールを転送する」 「メールー覧を送信する
SMTPサーバ	ホスト名 ボート番号 25 番
宛先メールア	7ドレス 追加 全削除
差出人変更	© しない C する 産出人メールアドレス
転送サイズ扌	G しない C する 本文が半角で、約 (メールを転送する場合のみ有効です))
一覧形式	● 1件を視数行で送信し1件を行てき信 《メールー覧を送信する場合のみ有効です》
メール転送条	\$(H) [?]
動作 🖲 全	て転送する 🗅 条件に従う
 ● 以 ○ 以 ● 以 ● 限 ● 限	下の条件を満たさない場合は転送する 下の条件を満たさない場合は転送しない 条件 転送 修正/削除/移動 <u>適加</u> 全削除
データを入力(更新してすぐに 入力したデータ 更新 <u>更</u> 新	

[メールチェック情報]

メールチェックとは、POP3プロトコルを使用して、指 定時間になるとPOP3サーバにメールが到着している かどうかを確認する機能です。メールが到着していれ ば、メールの件数、差出人、題名、送信時刻を取得しま す。

指定時間になると、回線を自動接続します。あらかじめ 相手情報を設定してください。

▲注意 -

POP3サーバがPOP3のオプションコマンド(UIDL, TOP) を実装していない場合はメール件数のみ取得します。

ユーザ名

POP3サーバにアクセスするためのユーザ名を32 文字以内で指定します。

パスワード

POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを 32 文字以内で指定します。

POP3 **サーバ**

ホスト名には POP3 サーバ名もしくは、POP3 サーバのIPアドレスを80文字以内で指定します。 ポート番号は必要に応じて変更してください。

確認時間

POP3 サーバにメールの到着を確認する時間を、 時刻または間隔で指定します。 間隔で指定する場合は、5分~30日の範囲で指定 してください。

自動消去

パソコンのメーラなどからのメールサーバにアクセ スした際にメールチェックで取得した情報を自動的 に消去する場合は、"使用する"をチェックします。

APOP 認証

POP3サーバとの認証をAPOPで行う場合は、"使 用する"をチェックします。

⚠注意

APOP 認証を使用する場合は、POP3 サーバが APOP 認証 をサポートしている必要があります。

リモートメールチェックID

リモートメールチェック ID を半角英数字 19 文字 以内で設定してください。 リモートメールチェック ID をサブアドレスとして NetVehicle に電話をかけると、遠隔地からメール チェック、メール転送、メール一覧送信を実行する ことができます。

[メール転送 / 一覧送信情報]

メール転送とは、メールチェックで取得したメールを指 定した宛先メールアドレスに転送する機能です。

メール一覧送信とは、メールチェックで取得したメール の送信時刻(Date)、差出人(From)、題名(Subject) の一覧を指定の宛先メールアドレスに送信する機能で す。

1回のメールチェックで転送できるメール件数は、1 ユーザにつき 50件までです。

転送できるメールの文字数は半角で約6144文字、行 数は200行まで(いずれも本文のみ)です。 このサイ ズを超えた部分は切り捨てられます。

サイズを超えたメールがマルチパートで構成されている 場合は、「転送できないサイズのメールが届いていま す。」というメールが送信されます。

複数の接続先を使用していると別プロバイダ経由で SMTPサーバを使用することがあり、SPAMなどの不 正メール対策のためにメールの送信が行えない場合があ ります。

プロバイダによっては、別プロバイダ経由でも POP の 認証を行ったあとであればメールの送信を行うことがで きる場合があります。

詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

転送 / 一覧送信

使用する機能をチェックします。

SMTP **サーバ**

ホスト名にはSMTPサーバ名またはSMTPサーバ のIPアドレスを80文字以内で指定します。 ポート番号は必要に応じて変更してください。

宛先メールアドレス

宛先メールアドレス(To)を半角80文字以内で指 定します。 宛先メールアドレスは、5個まで設定できます。

差出人変更

SMTP サーバの差出人制限によりメールの転送、 一覧送信が行えない場合があります。この場合は、 差出人を変更することによりメールの転送、一覧送 信ができるようになります。 差出人メールアドレスを変更する場合は、"する"を

チェックして、差出人メールアドレスを設定してく ださい。 差出人メールアドレスを変更した場合、ここで指定

した差出人メールアドレスを使用して、メールの転送、一覧送信を行います。

差出人メールアドレス

差出人メールアドレスを半角80文字以内で指定し ます。

転送サイズ指定

転送するメールのサイズを1~6144文字の範囲 で指定します。

−覧形式

送信するメール一覧の形式をチェックします。

「メール転送条件)

動作

メール転送条件を指定する場合、"条件に従う"を チェックして条件を指定してください。

条件

指定されているメール転送条件の一覧です。転送条 件は装置全体で40個まで指定できます。必要な処 理のボタンを選んで次のページに進んでください。 条件として "条件を満たさない場合は転送する "ま たは "条件を満たさない場合は転送しない"を選択 します。



宛先メールアドレス設定
3
メールアドレス
データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに認定反映をしたい場合は、更新+ 設定反映をクリックしてください。 入力したデーンを若に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。
_更新更新+設定反映キャンセル

宛先メールアドレス(To)を半角80文字以内で設定します。宛先メールアドレスは5個まで設定できます。



			13
送	€ する ⊂ しない		
	差出人に		が含まれる
		または、	
条件	宛先に		が含まれる
		または、	
	題名に		が含まれる

転送

条件を満たす場合にメールを転送するかしないかを 設定します。

条件

差出人 (From)・宛先 (To)・題名 (Subject)を 転送条件として設定できます。 それぞれ半角 40 文字以内 (全角 20 文字以内)で 設定してください。



TELメール情報設定

メール送伯	診行う前にPOP認証を行う必要がある場合は、認証情報の設定を行ってください》
アナログオ	<-+1]
宛先メー ルアドレ ス 差出人メ ールアド レス	±71-2
SMTPサ ーバ	ボート番号 [25
認証情報	POP認証しない POP認証する ユーザ名 バスワード POP3サー ホスト名 ボート番号 110 番
	APOP認証 C 使用する C 使用しない C 着信番 C C 当時期 C
送信周 期	
送信情 報	 ・ ・ ・
ータを入う 〔新してす・ 、力したデ	り後、更新をクリックしてください。 くて記を反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 ータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。
更新	更新+設定反映 キャンセル

TELメールとは、アナログポートの着信履歴を着信毎あ るいは一定時間ごとにメールで送信する機能です。メー ル送信時には回線を自動接続します。あらかじめ相手情 報を設定してください。

TEL メールの開始がメールチェックとかさなる場合、 TEL メールの実行が多少ずれる場合があります。

[アナログポート 1,2]

宛先メールアドレス

宛先メールアドレス(To)を半角80文字以内で指 定します。

差出人メールアドレス

差出人メールアドレス (From)を半角 80 文字以 内で指定します。

SMTP **サーバ**

ホスト名にはSMTPサーバ名またはSMTPサーバ のIPアドレスを80文字以内で指定します。 ポート番号は必要に応じて変更してください。

認証情報

TELメールの送信を行う前にPOP認証を行う場合 は、"POP認証する"をチェックします。 複数の接続先を使用していると別プロバイダ経由で SMTPサーバを使用することがあり、SPAMなど の不正メール対策のためにメールの送信が行えない 場合があります。

プロバイダによっては、別プロバイダ経由でも POPの認証を行ったあとであればメールの送信を 行うことができる場合があります。 詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

ユーザ名

POP3サーバにアクセスするためのユーザ名を32 文字以内で指定します。

パスワード

POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを 32 文字以内で指定します。

POP3 **サーバ**

ホスト名にはPOP3サーバ名またはPOP3サーバ のIPアドレスを80文字以内で指定します。 ポート番号は必要に応じて変更してください。

APOP 認証

POP3サーバとの認証をAPOPで行う場合は、"使用する"をチェックします。

⚠注意

APOP認証を使用する場合は、POP3サーバがAPOP認証 をサポートしている必要があります。

送信周期

着信履歴をメールで送信するタイミングを、着信毎 または一定周期で指定します。 一定周期で指定する場合は、5分~7日の範囲で指 定してください。

送信情報

- ・TELメールの送信情報を「発信者番号のみ送信する」に 設定している場合、発信者番号が非通知になっている電 話からの着信履歴は送信されません。
- ・TELメールの送信情報を「発信者番号と着信番号を送信 する」に設定している場合、発信者番号と着信番号のど ちらも有効な情報がないときは、TELメールによる着信 履歴は送信されません。
- ・TELメール(本文)の着信番号は以下のように設定され ます。
 - 1.ダイヤルインサービスおよびi・ナンバーサービスを 利用しない場合 回線から着信番号が通知されないため、TELメールの 情報に着信番号は含まれません。「アナログ共通情報」 の「網契約に関連する設定項目」の「電話番号」に電 話番号を設定していれば、この番号がTELメールの 着信番号として送信されます。
 - 2.ダイヤルインサービスを利用している場合 回線から通知された着信番号(ダイヤルイン番号)が TELメールの着信番号として送信されます。ただし、 グローバル着信を利用している場合、契約者番号にか かってくると回線から着信番号が通知されません。こ のとき、「アナログ共通情報」の「網契約に関連する 設定項目」の「電話番号」に電話番号を設定していれ ば、この番号がTELメールの着信番号として送信さ れます。
 - 3. i・ナンバーサービスを利用している場合 「鳴り分け1」、「鳴り分け2」、または「鳴り分け3」が TELメールの着信番号として送信されます。ただし、 「アナログ共通情報」の「網契約に関連する設定項目」 の「鳴り分け番号1/2/3」に電話番号を設定して いれば、この番号がTELメールの着信番号として送 信されます。



ProxyDNS情報

このページではProxyDNSとURLフィルタの設定ができます。 URLフィルタは順引き情報で設定します。



逆引き情報一覧]

逆引き情報はIPアドレスによりDNSサーバを切り替え る範囲を指定する場合に使用します。32個まで定義で きます。必要な処理のボタンを選んで次のページに進ん でください。



ProxyDNSには以下の機能がありま す。

・DNS サーバの自動切り替え機能

パソコンにNetVehicleのIPアドレスをDNSサーバとし て登録しておくと、接続先によって問い合わせるDNS サーバを自動的に切り替えます。

・DNSサーバ機能

ホストデータベース情報にホスト名とIPアドレスのペアを 登録しておくと、ProxyDNSは該当ホスト名へのアクセ スを登録されたIPアドレスへのアクセスとして切り替えま す。

・URLフィルタ機能

特定のドメイン名 (範囲指定も可) へのアクセスを禁止す ることができます。 この機能は順引き情報設定にて設定し ます。

・問い合わせタイプフィルタ機能

送信元IPアドレス範囲から送信される特定の問い合わせの タイプの DNS パケットを破棄することができます。この 機能は順引き情報設定にて設定します。

[順引き情報一覧]

順引き情報はドメイン名によりDNSサーバを切り替え る範囲を指定する場合に使用します。32個まで定義で きます。必要な処理のボタンを選んで次のページに進ん でください。



RLフィルタ機	能を使用する場	治は、ドメイン名に対象URLを指定し、動作で廃棄するを選択します。
ドメイン名		
タイプ		すべて ▼ (番号指定 "その他"を選択時のみ有効です。)
送信元情報	₽アドレス アドレスマスク	
動作		 廃来する 接続先のDNSサーバへ間い合わせる ネットワーク名 ご 設定したDNSサーバへ間い合わせる DNSサーバアドレス 」
「ータを入力? 「新してすぐ」 、力したデー:	後、更新をクリッ・ こ設定反映をした タを元に戻す場合	・ つしてください。 こい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 台はキャンセルをクリックしてください。

ドメイン名

対象とするドメイン名の範囲を半角英数字80文字 以内で指定します。範囲指定には、以下のように、 '*'または '?'が使用できます。なお、ドメイン名の チェックには大文字 / 小文字の区別はありません。 '*':0文字以上の任意の文字に一致する。

'?': 1 文字の任意文字に一致する。

《例》

条件:

www.*.com

一致:

www.testa.com www.test1.test.com

条件:

test 一致: www.test.com test.com test.co.jp

条件:

```
www.test?.com
一致:
www.test1.com
www.test2.com
www.testA.com
```

タイプ

対象とする問い合わせタイプを以下の5つから選ん でください。

- ・すべて(PTR を除く)
- A (1)
- SOA (6)
- •SRV(33)
- ・その他

"その他"を選択した場合、問い合わせタイプを1
 ~11,13~65535の10進数で指定してください。

送信元 IP アドレス / マスク

フィルタリング条件として送信元 IP アドレスとア ドレスマスクを設定してください。チェック対象と なったパケットの IP アドレスマスクと定義したア ドレスマスクの論理積と、定義した IP アドレスと アドレスマスクの論理積が等しい場合に条件に一致 したことになります。

動作

対象ドメインに対する動作を指定します。以下の3 つの動作から選択します。

廃棄する

該当ドメインの転送を無効にするフィルタを設定し ます。URLフィルタとして利用する場合に指定し ます。

接続先の DNS サーバへ問い合わせる 接続先情報で設定されたDNSサーバへ問い合わせ ます。どのネットワークで使用するかを指定しま す。指定したネットワークに複数の接続先が登録さ れている場合は、マルチルーティングと優先順位に 従って接続先を決定します。

設定した DNS サーバへ問い合わせる 特定の DNS サーバへ問い合わせます。問い合わせ る DNS サーバの IP アドレスを指定します。



	[3]
Pアドレス	
アドレスマン	スク 0 0.0.0.0)
動作	 廃棄する 接続先のDNSサーバへ問い合わせる ネットワーク名 取定したDNSサーバへ問い合わせる DNSサーバアドレス
ータを入力 「新してすぐ 、力したデー	」後、更新をクリックしてください。 こに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 −タを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

IP アドレス / アドレスマスク

対象とするネットワークの範囲を IP アドレスとア ドレスマスクの組み合わせで指定します。

動作

対象ドメインに対する動作を指定します。以下の3 つの動作から選択します。

廃棄する

該当ネットワークの転送を無効にするフィルタを設 定します。

接続先の DNS サーバへ問い合わせる

接続先情報で設定されたDNSサーバへ問い合わせ ます。どのネットワークで使用するかを指定しま す。指定したネットワークに複数の接続先が登録さ れている場合は、マルチルーティングと優先順位に 従って接続先を決定します。

設定した DNS サーバへ問い合わせる

特定のDNSサーバへ問い合わせます。問い合わせ るDNSサーバのIPアドレスを指定します。



						3
/	ホスト名	IPアドレス	MACアドレス	Wake-up-ID	修正/	削除
1	-	-	-	-	修正	削除
2	-	-	-	-	修正	削除
3	-	-	-	-	修正	削除
4	-	-	-	-	修正	削除
5	-	-	-	-	修正	削除
6	-	-	-	-	修正	削除
7	-	-	-	-	修正	削除
8	-	-	-	-	修正	削除
9	-	-	-	-	修正	削除
10	-	-	-	-	修正	削除
11	-	-	-	-	修正	肖川除金
12	-	-	-	-	修正	買用服金
13	-	_	-	_	修正	間旧除
14	-	_	_	-	修正	THE THE
15	-	L	_	_	 修工	BURS
16		E			<u>修正</u>	BURG
10		-	-	-	181	月月日末
17	-	-	-	-	修止	削除
18	-	-	-	-	修止	削除
19	-	-	-	-	修正	削除
20	-	-	-	-	修正	削除
21	-	-	-	-	修正	削除
22	-	-	-	-	修正	削除
23	-	-	-	-	修正	削除
24	-	-	-	-	修正	削除
25	-	-	-	-	修正	削除
26	-	-	-	-	修正	削除
27	-	-	-	-	修正	削除
28	-	-	-	-	修正	削除
29	-	-	-	-	修正	削除
30	-	-	-	-	修正	削除
31	-	-	-	-	修正	削除
32	-	-	-	-	修正	削除
	1	1	全削除	1		1115
新影	化た情報 定反映	は、設定反 】	映後に有効に	- なります。		

登録されているホストデータベース情報の一覧です。必要な処理のボタンを選んで次のページに進んでください。

(1) ホストデータベースには以下の機能が あります。

・DNS サーバ機能

「ホスト名」「IP アドレス」のペアを登録することにより、 ProxyDNS の DNS サーバ機能を使用することができま す。

・リモートパワーオン機能

「MAC アドレス」「Wake-up-ID」のペアを登録すること により、Wakeup on LAN 機能を使用することができま す。

・DHCP スタティック機能

「IP アドレス」「MAC アドレス」のペアを登録することに より、DHCP で割り当てられる IP アドレスを端末固有の ものとすることができます。



ホストデータベース情報設定
2
ホスト名
IP7FUZ
Wake-up-ID
データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 更新 更新+設定反映 キャンセル

ホスト名

DNSサーバ機能で使用されます。80文字以内で設 定します。使える文字は半角のアルファベット・数 字・ハイフン・ピリオドのみで、その他の記号は使 用できません。

IP アドレス

DNSサーバ機能およびDHCPスタティック機能で 使用されます。

MAC アドレス

DHCP スタティック機能およびリモートパワーオ ン機能で使用されます。MAC アドレスは以下の形 式で設定します。 xx:xx:xx:xx:xx:xx (xx は 2 桁の 16 進数)

Wake-up-ID

NetVehicle は、ISDN 接続を契機にして、NetVehicle と同じセグメント上に存在する Magic Packet 対応シス テムの電源を投入することができます。リモートパワーオ ン機能使用時に、Magic Packetを送出するLAN機器の 識別 ID を半角英数字を使用して19文字以内で設定しま す。

Wake-up-IDを指定していなければISDN接続先からのリモートパワーオン指指示は行えません。



スケジュール情報

このページでは、スケジュール予約情報を設定できます。発着信の制御や課金情報のクリアを定期的 に実行するように設定できます。また、指定した日に接続先の電話番号などを変更することができま

▲ スケジュール機能を使用する際には、正しい時刻が設定されているか確認してください。現在の時 刻はThu Jan 1 11:09:23 1970 です。

月間/週間予約 電話番号変更予約

月F	間/週間予約一!	覧]			3
	動作	予約時刻	終了時刻	周期	修正/削除
1	課金情報クリア	00:00	-	毎週金曜	修正 削除
2	-	-	-	-	修正 削除
3	-	-	-	-	修正 削除
4	-	-	-	-	修正 削除
5	-	-	-	-	修正 削除
6	-	-	-	-	修正 削除
7	-	-	-	-	修正 削除
8	-	-	-	-	修正 削除
9	-	-	-	-	修正 削除
10	-	-	-	-	修正 削除
11	-	-	-	-	修正 削除
12	-	-	-	-	修正 削除
13	-	-	-	-	修正 削除
14	-	-	-	-	修正 削除
15	-	-	-	-	修正 削除
16	-	-	-	-	修正 削除
		3	全削除		
ŧ	活番号変更予約:	-覧]		3	
\leq	実行日時 電話	番号変更情	職 修正/	削除	
1			修正	削除	

更新した情報は、設定反映後に有効になります。

設定反映

< ホストデータベース情報へ マルチTA情報へ >

[月間/週間予約一覧]

現在設定されている月間または週間の予約が表示されて います。必要な処理のボタンを選んで次のページに進ん でください。

[電話番号変更予約一覧]

現在設定されている電話番号変更の予約が表示されてい ます。必要な処理のボタンを選んで次のページに進んで ください。

⚠注意

スケジュール機能を使用する前に、必ずNetVehicleの時刻 設定を操作メニューから行ってください。





動作

- 以下の中から予約する処理動作を選択します。
 - ・発信抑止
 - ・着信抑止
 - ・テレホーダイ
 - ・課金情報クリア
 - ・強制切断
 - ・スタンバイモードへ移行
 - ・スタンバイモードを解除
 - ・留守モードへ移行
 - ・留守モードを解除

予約時刻

選択した動作を実行(開始)する時刻と実行周期を 設定します。

終了時刻

選択した動作を終了する時刻を設定します。動作と して発信抑止、着信抑止、テレホーダイを選択した 場合にのみ設定可能です。ここで予約時刻よりも早 い時刻を指定した場合、それは翌日の時刻になりま す。



電	話番号変更予約設定		
			3
実行日時	年 月 日 時 5	}	
	変 更 前	変更 ()	
電話番号	変更	変更 更 役 2]
ら変更情報	· 変更 前]
	· 変更 前 4]
- デ 更 入 ナ	 - タを入力後、更新をクリックしてください。 fしてすぐに設定反映をしたい場合は、更 3したデータを元に戻す場合はキャンセル		
更	新 更新+設定反映 ++ンt	210	

全構成定義情報で定義されている電話番号について、指 定時刻に電話番号の変更を行うことができます。なお、 指定時刻にデータ通信を行っていると、いったん通信が 切れ、設定反映されます。

実行日時

電話番号を変更する日時を西暦で指定します。

電話番号変更情報

変更前と変更後の電話番号をそれぞれ32桁以内で 指定します。



	3
マルチTAの使用	○ 使用しない ◎ 使用する
同時アクセス数	1
アクセス制限	
遙制切断タイマ	10 時間
赛続先 情報	電話番号
ータを入力後、更 新してすぐに設立 力したデータを示 更新 更新+	- 「新参クリックしてください。 主反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 ここ戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 設定反映 キャンセル

この機能は、LAN で接続されたパソコンから仮想ダイ アルアップアダプタを通じてISDNのBチャネルヘダイ レクトに接続できるサービスです。

▲注意 -

パソコン側は、Microsoft[®] Windows[®]のダイヤルアップネットワークにおける VPN (仮想プライベートネットワーク) 機能を使用します。

マルチ T A の使用

マルチ TA を使用するかどうかを選択します。

使用しない

マルチTAを使用しません。以下の設定は無効とな ります。

使用する

マルチTAを使用します。以下の項目を設定します。

同時アクセス数

マルチTAとして使用するISDNのBチャネルの数 を設定します。

アクセス制限

全て許可する すべてのパソコンが利用できます。 下記のパソコンのみ許可する 定義した IP アドレスとアドレスマスクの論理積に 合致するパソコンのみ利用できます。

強制切断タイマ

データ通信時の強制切断タイマを0~24時間の範 囲で設定します。 0を設定した場合には切断は行われません。

⚠注意 _____

- ・ブラウザ画面からの強制切断操作ではマルチ TA 接続は 切断されません。ダイヤルアップネットワークの切断操 作を行ってください。
- ・スケジュールによる発呼抑止/強制切断はマルチTA接 続では無効です。

接続先情報

接続先の電話番号、サブアドレスを設定します。電 話番号は32桁以内、サブアドレスは19桁以内で 設定します。

⚠注意 ____

Microsoft[®] Windows[®]のダイヤルアップネットワークにおける VPN 機能に設定した電話番号、サプアドレスより NetVehicle に設定した電話番号、サプアドレスが優先されます。



アナログ共通情報

このページでは、アナログボート1.2に共通する情報を設定できます。 網契約関連設定 装置動作設定 3 [網契約に関連する設定項目] 電話番号「 ・ フレックスホン C 疑似フレックスホン フレックス 三者通話 ● 使用しない ● 使用する 通信中転送 © 使用しない © 使用する € 使用しない ○ 着信転送 C 發展着信転送 契約者番号の転送先 ポート1のダイヤルインの転送先 ポート2のダイヤルインの転送先 着信転送 鳴り分け番号1の転送先 鳴り分け番号2の転送先 鳴り分け番号3の転送先 ※グローバル着信ありの場合の転送先は契約者番号の転送先に設定してください 転送元トーキ 〇 あり ④ なし 転送トーキ Cあり @ なし ※疑似着信転送を使用する場合、転送元/転送トーキの指定は無効になります ⊙ 使用しない 使用する [i・ナンバー情報1] 鳴り分け番号1 動作モード ボート1のみ着信 ・ トナンバ 「i・ナンバー情報21 鳴り分け番号2 動作モード ボート2のみ着信 ・ [i・ナンバー情報3] 鳴り分け番号3 動作モード 両ボート着信 **x** [装置の動作に関連する設定項目] 3 設定変更用暗証番号 留守状態設定 ◎ 在宅 ○ 留守 留守確認用番号 ダイヤル桁間タイマ 5秒 💽 フッキング時間 ○早い●標準○遅い # 機能ボタン使用 ● する(1回入力) ○ する(2回入力) ○ しない

データを入力後、更新をクリックしてください。 夏新してすべに設定反映を力にり場合は、夏新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータをプに戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 夏新 夏新+設定反映 キャンセル

リング音1 -

リング音2 🔻

外線リング音

内線リング音

[網契約に関連する設定項目]

ISDN 回線加入契約の内容に関する情報を設定します。

電話番号

自局の電話番号を半角数字 32 桁以内で指定しま す。区切り文字として、 -、(、)が使用できます。 この番号は、発信者番号通知機能を使用する場合、 アナログ発信時に網に通知されます。また、着信時 には網から自局番号が通知されない場合、当番号を システムログにて表示します。

フレックスホン

フレックスホン

フレックスホンを使用するにはNTTと契約する必要があります。

疑似フレックスホン

疑似フレックスホン機能を使用します。疑似フレッ クスホン機能を使用すると、NTT との契約がなく ても疑似的にフレックスホン(三者通話、通信中転 送)を利用できます。

三者通話

通話中にその通話を保留して、別の相手に電話をか けることができます。同時に三者で通話することも できます。

通信中転送

通話中に別の相手に電話を転送することができま す。

着信転送

かかってきた電話を、契約者番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号ごとに別の電話に自動で転送することができます。転送先電話番号を半角数字32桁以内で指定します。区切り文字として、-、(、)が使用できます。

使用しない

着信転送を行いません。

着信転送

着信転送を使用するにはNTTと契約する必要があ ります。

着信転送を使用する場合に、以下の「転送元トーキ」 を流すかどうかを指定します。

「電話が転送されます。」等

着信転送を使用する場合に、以下の「転送トーキ」 を流すかどうかを指定します。

「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ち ください。」等

疑似着信転送

疑似着信転送機能を使用して着信転送を行います。 疑似着信転送機能を使用すると、NTTとの契約が なくても疑似的に着信転送を利用できます。

i・ナンバー

電話番号を追加し、電話機ごとに鳴り分けができま す。i・ナンバーを使用するにはNTTと契約する 必要があります。

使用しない

i・ナンバーを使用しません。

使用する

i・ナンバーを使用します。鳴り分け番号および 動作モードを指定します。

鳴り分け番号1には、契約者番号を半角数字32 桁以内で指定してください。鳴り分け番号2、3 には、iナンバーサービス契約時に通知される契 約者番号以外の番号を半角数字32桁以内で指定 してください。

「装置の動作に関連する設定項目1

NetVehicleにつないだアナログ機器を利用する際、その接続機器の動作に関する情報を設定します。

設定変更用暗証番号

外線からの設定変更時に使用する暗証番号を0~9 までの数字4桁で設定します。

留守状態設定

「在宅」または「留守」を選択します。 「留守」を設定した場合、外線からサブアドレス (留守確認用番号)付き発信することで、無課金で 留守状態を確認することができます。留守確認用 番号の設定が必要です。

留守確認用番号

外線からの留守状態確認時に使用する確認用番号を 0~9までの数字4桁で設定します。

ダイヤル桁間タイマ

アナログポートに接続した電話や FAX からダイヤ ルしたときに、最後のダイヤル入力からINSネット 64に発信するまでの時間を変更することができま す。

フッキング時間

電話機のキャッチボタン(フックボタン、フラッ シュボタン)が正常に動作しない場合に認識時間を 変更することができます。

#機能ボタン使用

「#」を機能ボタンとして使用するかどうかを設定 します。

外線 / 内線リング音

外線用、内線用のリング音を選択できます。リング 音1は「リーン・リーン」、リング音2は「リンリ ン・リンリン」、リング音3は「リンリンリン・リ ンリンリン」です。



アナログポート1情報 🖾 このページでは、アナログポート11に関する情報を設定することができます。 網契約關連設定 装置動作設定 発信規制情報設定 [網契約に関連する設定項目] 3 ダイヤルイン番号 グローバル 着信 🛛 する 🗅 しない 発信者番号通知 〇 する 〇 しない ④ 網契約に従う ○ キャッチホン ◎ 使用しない キャッチホン ○ 疑似キャッチホン [装置の動作に関連する設定項目] 2 ● 電話 ○ FAX(キャッチホン著信) ○ モデム 接続機器 C FAX C FAX(無鳴動強制着信) ○ FAX(無鳴動識別著信) ○ なし サブアドレス 発信/着信選択 発着信 C 発信のみ C 着信のみ 受話音量 ◎ 小 ○ 中 ○ ★ リバースパルス送出 ○ 送出する ☉ 送出しない 通話中着信音送出時間 0秒 -フレックスホン自動切替 〇 使用する @ 使用しない ◎ 使用しない ○ モデム信号での通知 □ ナンバー・ディスプレイを使用する 通信前情報通知 □ モデムダイヤルインを使用する 使用モード設定: モード1 💽 C PB信号での通知 アナログダイヤルインを使用する キャッチホン・ディスプレイ 使用しない -3 [発信規制情報設定] 外線発信を抑止する局番または電話番号 追加/削除 発信抑止電話番号 追加 全削除 外線発信を許可する局番または電話番号 i自thn / 副IGA 発信許可電話番号 追加 全削除 データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映あしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 更新 更新+設定反映 キャンセル

[網契約に関連する設定項目]

ISDN 回線加入契約の内容に関する情報を設定します。

ダイヤルイン番号

ダイヤルイン番号を32桁以内で設定します。 INSネット64の契約時にダイヤルインサービスを 契約されている場合は、ダイヤルイン番号を設定す ることにより、装置背面のTEL1、TEL2に接続さ れているアナログ機器を呼び分けることができま す。 ダイヤルイン番号をいずれかのポートに割り振り、 割り振った側の設定を行ってください。

なお、ダイヤルインサービスの契約で、「グローバ ル着信利用を選択しない」場合は、契約者回線番号 もダイヤルイン番号としてご利用になれます。 INSネット64の契約内容(ダイヤルインサービス、 グローバル着信利用)、本装置の設定内容(ダイヤ ルイン番号、グローバル着信)、および相手がダイ ヤルした番号によって着信条件が変わります。

グローバル着信

INSネット64契約の内容が以下のいずれかに該当 し、相手が契約者回線番号をダイヤルした場合、こ の設定により、装置背面のTEL1、TEL2に接続さ れているアナログ機器の呼び出しを選択することが できます。

- ・ダイヤルインサービスを契約していない
- ・ダイヤルインで「グローバル着信利用」で契約している

する

呼び出すポートには、"する"を設定します。 INSネット64の契約内容(ダイヤルインサービス、 グローバル着信利用)、本装置の設定内容(ダイヤ ルイン番号、グローバル着信)、および相手がダイ ヤルした番号によって着信条件が変わります。

しない

グローバル着信しません。

発信者番号通知

発信者番号(契約者回線番号、ダイヤルイン番号、 または鳴り分け番号)を着信者側に通知するサービ スです。発信者はポートごとに通知するかしない か、または網契約内容に従うかを選択することがで きます。

ダイヤルイン番号または鳴り分け番号を通知する場合は、「ダイヤルイン番号」に通知する電話番号を 設定してください。

する

発信者番号を相手に通知します。

しない

発信者番号を相手に通知しません。

網契約に従う

INS ネット 64 申込時の契約内容に従います。

キャッチホン

通話中に別の相手からの着信があると、その通話を 保留して新しい相手と通話することができます。

- キャッチホン
 - キャッチホンを使用します。

キャッチホンを使用するにはNTTと契約する必要があります。

使用しない

キャッチホンを使用しません。

疑似キャッチホン

フレックスホン未契約の場合は、"疑似キャッチホン"を選択すると疑似的にキャッチホンが使用できます。

接続機器でモデム / FAX を指定したポートには、 通信を妨げないためにキャッチホン動作は行いませ ん。

「装置の動作に関連する設定項目1

NetVehicleのアナログポート1(TEL1)につないだ アナログ機器を利用する際、その接続機器の動作に関す る情報を設定します

接続機器

アナログポート1に接続する機器を以下の中から選択します。

電話

電話を接続する場合に指定します。

FAX (キャッチホン着信)

電話つきFAXを接続し、発信時はFAXの動作、着 信時は電話として動作させる場合に指定します。

モデム

モデムを接続する場合に指定します。

FAX

FAX を接続する場合に指定します。

FAX(無鳴動強制着信)

無鳴動着信機能(FAXを受信したときに、着信音を 鳴らさずに応答する機能)を備えたFAXを接続す る場合に指定します。

FAX(無鳴動識別着信)

無鳴動着信機能を備えた FAX を接続する場合に指定します。相手がG3FAXの場合だけ無鳴動着信を行います。

なし

アナログポート1は使用できません。

サブアドレス

サブアドレスを半角英数字19文字以内で指定しま す。

サブアドレス番号を設定し、相手が発信する時にそ のサブアドレスを指定することで、装置背面の TEL1、TEL2に接続されているアナログ機器を呼び分けることができます。

なお、相手がアナログ電話網から発信する場合に は、サプアドレスが使えないので、この指定による 呼び分けはご利用になれません。

NetVehicleのサブアドレス設定および、相手側の サブアドレスの利用状況によって着信条件が変わり ます。

発信 / 着信選択

該当するポートが発信専用 / 着信専用または発着信 可能か指定します。

受話音量

該当するアナログポートの受話音量を指定します。

リバースパルス送出

該当するアナログポートにてリバースパルス信号を 送出するかどうかを選択します。リバースパルス は、外から電話がかかってきて通話中に相手から電 話を切った場合に、通話が終了したことを通知する 信号です。例えば、留守番電話で相手が切断したら 同時にメッセージの録音を終了する機能を備えてい るときに有効です。

送出する

リバースパルス信号を送出します。

- 送出しない
 - リバースパルス信号を送出しません。

通話中着信音送出時間

外線通話中に第三者からの着信があると通話中に 着信音が聞こえます。この通話中に着信音を送出 し続ける時間を0~30秒の範囲で選択できま す。0を指定すると、第三者が切断するまで送出 し続けます。 なお、指定時間が経過し、通話中に着信音が聞こ

えなくなっても第三者が切断しなければ、フレッ キングにより第三者と通話ができます。

フレックスホン自動切替

フレックスホンを利用して通話中に、話している相 手が電話を切断した場合、自動的に保留になってい た相手と通話できるようにする機能です。

使用する

フレックスホン自動切替機能を使用します。 使用しない

フレックスホン自動切替機能を使用しません。

通信前情報通知

アナログポートでの通信(通話)を開始する前にア ナログ通信機器に対して情報を通知する機能です。 使用しない

通信前情報通知機能を使用しません。

モデム信号での通知

ナンバー・ディスプレイ対応アナログ機器をご使用 の場合、"ナンバー・ディスプレイを使用する"を チェックすることにより、アナログ機器に相手番号 を表示することができます。リング音の異常や回線 切断等のトラブルが起こる場合がありますので、ナ ンバー・ディスプレイ未対応のアナログ機器をご使 用の際には、チェックしないでください。

NTTのナンバー・ディスプレイサービスを契約されていない場合、アナログ電話網からの電話に関しては、相手番号は表示されません。

また、相手側の契約内容により相手番号が表示され ない場合もあります。

使用モード設定を"モード1"にして正常に動作し ない場合は、"モード2"にしてください。

モデムダイヤルイン対応アナログ機器をご使用の場 合、"モデムダイヤルインを使用する"をチェック することにより、電話や FAX など機能ごとに個別 の番号を持つことができます。着信したときに、モ デム信号で着信番号を電話機に通知します。 使用モード設定を"モード1"にして正常に動作し ない場合は、"モード2"にしてください。

PB 信号での通知

アナログダイヤルイン対応アナログ機器をご使用の 場合、電話やFAXなど機能ごとに個別の番号を持 つことができます。着信したときに、PB信号で着 信番号を電話機に通知します。

キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ通信機器 をご使用の場合、「キャッチホン・ディスプレイ」の 設定を「使用する(モード1)」にすることにより、 アナログ通信機器に話中着信相手番号を表示するこ とができます。キャッチホン・ディスプレイ機能を ご使用の際は、キャッチホンの設定を行う必要があ ります。NTTのナンバー・ディスプレイサービス を契約されていない場合、アナログ電話網からの電 話に関しては、相手電話番号は表示されません。ま た、相手側の契約内容により相手電話番号が表示さ れない場合もあります。「使用する(モード1)」で 正常に動作しない場合は、「使用する(モード2)」、 「使用する(モード3)」または「使用する(モード 4)」にしてください。

[発信規制情報設定]

規制したい局番や電話番号を登録しておき、その番号に 対しての外線発信を規制することができます。ポートご とに指定できます。必要な処理のボタンを選んで、次の ページに進みます。



発信規制情報設定(アナログポート1)

[外線発信抑止番号設定]

抑止番号

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 更新+設定反映 キャンセル

[外線発信抑止番号設定]

あらかじめ外線発信を抑止したい局番や電話番号を登録 しておきます。ポートごとに発信を許可する番号を指定 できます。

3

抑止番号

外線発信を抑止する番号を半角数字32桁以内で指 定します。



発信規制情報設定(アナログポート1)

[外線発信許可番号設定]

許可番号

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に実才場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 更新+設定反映 キャンセル

[外線発信許可番号設定]

あらかじめ外線発信を規制したい局番や電話番号を登録 しておきます。ポートごとに発信を許可する番号を指定 できます。

3

許可番号

外線発信を許可する番号を半角数字32桁以内で指 定します。





[送出着信番号情報]

モデムダイヤルイン、アナログダイヤルイン時に、接続 機器に送出する着信番号についての設定ができます。

番号送出方法設定

接続機器に対して送出する着信番号の送出方法を設 定できます。

送出番号設定

それぞれの着信番号ごとに、機器に対して送出する 番号を指定することができます。



識別着信情報 ISDN

このページでは、アナログボートの識別著信情報を設定できます。 識別著信情報は最大10定義まで設定できます。

観測着信 鼻先リング回数	5 0		
	相手電話番号識別	リング音3]	-
	C 著信電話番号識別		
	契約者番号	リング音1	•
	ポート1のダイヤルイ	ン番号 リング音楽	
設別リング音	ポート2のダイヤルイ	ン番号 リング音楽	
	鳴り分け番号1	リング音1	•
	鳴り分け番号2	リング音楽	
	鳴り分け番号3	リング音楽	
謝着信情報一覧	覧]		3
戡別定義名 相手	電話番号 相手サブアドレ	ス 動作モード	修正/削除
デフォルト定義		両ポート着信	修正
公衆電話著信		両ポート着信	修正
羌信者 番 号 非通知	知著信	両ポート着信	修正
	追加 全削隊	Ŕ	
一句友入力(後) 更	「新をクリックしてください。		
新してすぐに設定 力したデータを元	官反映をしたい場合は、更新 当こ戻す場合はキャンセルる	新+ 設定反映を列 をクリックしてくださ	1990 UNEAU

[識別着信共通情報]

着信時に相手の発信者番号によって異なる着信時の呼び 出し動作を指定できます。ここでは、識別着信情報の一 覧にある相手先すべてに共通する動作を設定します。

識別着信優先リング回数

優先ポートとして指定したポートのみ呼び出すリン グの回数を指定します。指定回数呼び出しても受話 器を取らない場合は、両ポートの呼び出しを行いま す。

設定範囲は1~10です。

識別リング音

相手電話番号によって識別するか、着信電話番号 によって識別するかを選択できます。 識別着信用のリング音を選択できます。リング音 1 は「リーン・リーン」、リング音 2 は「リンリ ン・リンリン」、リング音 3 は「リンリンリン・ リンリンリン」です。

[識別着信情報一覧]

現在設定されている識別着信情報が表示されています。 デフォルト定義、公衆電話着信、発信者番号非通知着信 と、それ以外に10個まで設定できます。必要な処理の ボタンを選んで次のページに進んでください。

デフォルト定義

識別着信情報で、相手先に設定されていない相手か らかかってきた電話の着信時の動作を指定します。

公衆電話着信

公衆電話からかかってきた電話の着信時の動作を指 定します。

発信者番号非通知着信

発信者番号を通知してこない電話の着信時の動作を 指定します。



識別着信情報設定(デフォルト定義)

識別着信情報設定

[識別着信情報]

動作モード 両ポート著信 💌

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

3

更新 更新+設定反映 キャンセル

[識別着信情報]

デフォルト定義には、相手先に設定されていない相手からの着信の場合の動作を指定します。

動作モード

相手先に設定されていない相手からの着信があった 時の動作を指定します。



識別着信情報設定

[公衆電話着信情報] 📝

動作モード 両ボート着信 💽

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映対したい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。	
入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。	

更新 更新+設定反映 キャンセル

[識別着信情報]

公衆電話着信には、公衆電話からの着信の場合の動作を 指定します。

動作モード

公衆電話からの着信があった時の動作を指定しま す。



識別着信情報設定

```
[発信者番号非通知著信情報] 🦻
```

動作モード 両ボート著信 💽

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新 + 設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 更新+設定反映 キャンセル

[識別着信情報]

発信者番号非通知着信には、相手から発信者番号が通知 されない場合の動作を指定します。公衆電話からの着信 は、発信者番号非通知着信に含まれません。

動作モード

発信者番号非通知の着信があった時の動作を指定し ます。



識別着信情報設定

[譜別著信情報]		3
識別定義名		
相手電話番号	[
相手サブアドレス		
動作モード	両ポート著信	

データを入力後、更新をクリックしてください。 更新してすぐに設定反映をしたい場合は、更新+設定反映をクリックしてください。 入力したデータを元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。

更新 更新+設定反映 キャンセル

[識別着信情報]

相手電話番号および相手サブアドレスをキーとして相手 を特定し、着信時の呼び出し動作を変えることができま す。

相手先の定義は10個まで指定できます(識別着信用リ ング音で呼び出します)。

識別定義名

登録する識別着信情報の名称を半角英数字16文字 以内で設定します。

相手電話番号

登録する相手の電話番号を市外局番から半角数字 32 桁以内で指定します。

相手サブアドレス

必要に応じて、着信相手を識別するためのサブアド レスを半角英数字 19 文字以内で指定します。

動作モード

該当相手からの着信があった時の動作を指定しま す。

⚠注意 -

利用する際には、NTTのナンバー・ディスプレイサービス の契約が必要です。ただし、相手の方がINSネット64から 発信者番号を通知して電話をかけて来た場合は未契約の場 合でも利用できます。

67



NetVehicle をいろいろ な接続形態で使う

この章では、 NetVehicleの代表的な接続形態のいくつかを紹介します。

複数プロバイダと端末型接続する
事業所 LAN どうしを ISDN で接続する
事業所 A の NetVehicle を設定する
事業所 B の NetVehicle を設定する
インターネットと LAN に同時接続する
外部のパソコンと接続する(TA&PHS)83
事業所 LAN どうしを専用線で接続する
本社の NetVehicle を設定する89
支店の NetVehicle を設定する
OCN エコノミーと接続する



「マルチルーティング(ソースアドレスルーティング)機能」を使うと、パソコンの IP アドレスごとに接続 先を変えることができます。

ここでは、パソコンが複数あって、それぞれのパソコンが別のプロバイダに加入しているような場合、 NetVehicleの「マルチルーティング(ソースアドレスルーティング)機能」を使って、それぞれ自分が加 入するプロバイダに接続する場合を例に説明します。



基本編「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

- パソコン A はプロバイダ A (ISP-A) へ接続する
- パソコン A の IP アドレス : 192.168.1.2/32
- プロバイダA(ISP-A)の接続先 :03-2222-1111
- パソコン A 以外はプロバイダ B (ISP-B) へ接続する
- マルチ NAT を使用する

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「"、「<、「>、「&、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
かんたん設定で基本的な設定を行う

■ かんたん設定のインターネットへの「ISDN 接続」でプロバイダBの設定を行います。 愛照 プロバイダの登録 基本編「「かんたん設定」で設定する(インターネットへ ISDN 接続のとき)」(P.61)

詳細設定でプロバイダ A の情報を追加する

- ┃ 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「internet」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- 3. [接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- **4.** プロバイダ A の情報を指定します。 「基本情報」で以下の項目を指定します。
 - 接続先名 ISP-A(プロバイダ A の名称)

■ ダイヤル1(電話番号)	03-2222-1111(プロバイダAより提示された接続先の電話番号)
[

[奉本情報]		3
接続先名	ISP-A	
	電話番号 03-2222-1111	
ダイヤル1	サブアドレス	
	相手種別 ISDN ·	

「マルチルーティング」で以下の項目を指定します。

■ ソースアドレスルーティング(ローカルホスト IP アドレス)

192.168.1.2 (パソコン A の IP アドレス)

■ ソースアドレスルーティング(アドレスマスク)

- 32
- 〈補〉足〉 この例では対象となるパソコンが1台のため、255.255.255.255 となります。 IP アドレスとアドレスマスクを 組み合わせることにより、複数のIPアドレスを対象とすることができます。

3

	[マルチルーティング]			3
y-27		ローカルホストIPアドレス	192 .168 .1 .2	
	J X/10X/0 J122	アドレスマスク	32 (255.255.255.255)	

[発信情報]で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報(送信認証 ID) プロバイダ A から提示された内容
- 送信認証情報(認証パスワード) プロバイダAから提示された内容

[光][1][1][1][1]]

送信認証情報	認証D	papa
	認証バスワード	****

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

- **5.** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
- 6. ISP-A の優先順位が「1」でない場合は、移動先の優先順位に「1」を入力し[移動]ボタンをクリックします。すでに優先順位が「1」になっている場合は、手順9.へお進みください。

接続先には優先度があるため、マルチルーティングの設定をしない接続先の優先度を高くすると、優先度の低い マルチルーティング設定は無効となります。接続先の優先順位に気をつけてください。

7. [NAT情報]で以下の項目を指定します。

[NAT情報] 「ジー NATの使用 C使用しない CNAT CマルチNAT	■ NAT の使用	マルチNAT	
NATの使用 〇 使用しない 〇 NAT 〇 マルチNAT	[NAT'情報]	3	
	NATの使用	○使用しない ○ NAT ◎マルチNAT	

(補) このマルチ NAT は、動的 NAT を意味します。

動的 NAT 「マルチ NAT 機能(アドレス変換機能)を使う」(P.98)

8. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

ITTL 「ソースアドレスルーティング機能」を使うとき、IP アドレスの割り当てはどうするの?

「DHCPサーバ機能」を利用すると、DHCPサーバは空いているIPアドレスを要求のあったパソコンに順次割り当てていきます。このため、パソコンのIPアドレスが変わることがあります。

ところで、NetVehicleがサポートしている「IPフィルタリング機能」、「静的NAT機能」、「マルチ ルーティング機能」などは、パソコンのIPアドレスが常に固定されていないと使いにくい場合があ ります。そこで、これらの機能を使用しながらNetVehicleのDHCPサーバも利用できるように、 「DHCPスタティック機能」が用意されています。

LAN(Ethernet)で通信する機器にはMACアドレスという固有のアドレスが設定されています。 MACアドレスは世界中で絶対に重複しないように管理されているため、この値から機器を特定でき るのです。

を照〉DHCPスタティック機能の設定 「DHCPスタティック機能を使う」(P.135)



ここでは、ISDN回線を介して2つの事業所(事業所A、事業所B)のネットワークを接続する場合を例に 説明します。



基本編 「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

- ユーザ認証 ID とユーザ認証パスワード(事業所 A:東京事業所)
 送信時 kawasaki、kawapass
 受諾時 tokyo、tokyopass
- ユーザ認証 ID とユーザ認証パスワード(事業所 B:川崎事業所)
 送信時 tokyo、tokyopass
 受諾時 kawasaki、kawapass
- 電話番号

東京事業所:03-7777-777

- 川崎事業所:044-999-9999
- NetVehicleのLAN側のネットワークアドレス / ネットマスク
 - 東京事業所:192.168.1.0/24
 - 川崎事業所:192.168.2.0/24
- スタティックルーティング機能を使用する
- DHCP サーバ機能は使用しない

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空 白文字、「"」、「<」、「&」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、プラウザでの設定が不可能とな ります。 ■ 事業所 A の NetVehicle を設定する

回線接続情報(事業所A)を設定する

- ┃ 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。 「回線情報設定」ページが表示されます。
- 2. [回線情報]で以下の項目を指定します。

■ 回線インタフェース	ISDN
[回線情報]	3
回線インタフェース © ISDN O HSD(64)	Kbps) O HSD(128Kbps)

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

LAN情報(事業所A)を設定する

┃● 詳細設定メニューのルータ設定で「LAN 情報」をクリックします。 「LAN 情報設定」ページが表示されます。

24

- **2.** [IP アドレス]で以下の項目を指定します。
 - 192.168.1.1 (NetVehicleのLAN側のIPアドレス)

2

■ ネットマスク ■ ブロードキャストアドレス

■ IP アドレス

- ネットワークアドレス+オール1

[IPアドレス]		3
IPアドレス	192 .168 .1 .1	
ネットマスク	24 (255.255.255.0)	
ブロードキャストアドレス	ネットワークアドレス +オール1	•

[DHCP 機能]で以下の項目を指定します。

■ DHCP サーバ機能 使用しない [DHCP機能]

	c	使用しない	
	0	使用する	
		割当て先頭Pアドレス	192 168 1 2
		割当てアドレス数	32
DHCPサーバ		リース期間	
1炭 百已		デフォルトルータ広報	192 168 1 1
		DNSサーバ広報	192 168 1
		セカンダリDNSサーバ広報	
		ドメイン名広報	
		※"割当て先頭アドレス"が	NetVehicleのIPアドレスと同じネットワークアドレス内であることを確認してください。

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

接続先の情報(事業所 B)を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- 3. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - ネットワーク名 kaisya (接続するネットワークの名称)
 - 自動ダイヤル する

[基本情報]	3
ネットワーク名	kaisya
データ圧縮	VJ
WAN側IPアドレス	
MTUサイズ	1500 パイト
自動ダイヤル ISDN	್ ಕನ ೧ ರಿಭು

[NAT 情報]で以下の項目を指定します。

■ NAT の使用	使用しない	
[NAT'情報]	3	
NATの使用	● 使用しない ⊆ NAT ⊆ マルチNAT	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報]で以下の項目を指定します。

■ 接続先名 kawasaki

• 3	ダイヤル 1	(電話番号	룩)	044-999	9-999	9	
[基本	本情報]						3
接續		kawasak i					
		電話番号	044-999-99	99			
ダー	イヤル1	サブアドレス					
		相毛預別	LISDN				

[発信情報]で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報(送信認証 ID) tokyo
- 送信認証情報(認証パスワード) tokyopass

[発信情報]			3
送信题証情報	送信認証ID	tokyo	
	認証バスワード	*****	

[着信情報]で以下の項目を指定します。

■ 着信許可

する kawasaki

3

受諾認証情報(認証ID)
 とはないでは、
 とは、
 とは、
 とは、
 とは、
 とないのでは、
 そのでは、
 とないのでは、
 とないのでは、
 とないのでは、
 とないのでは、
 とないののでは、
 とないのでは、
 していのでは、
 していのでは

-	又怕吣叫		Kawapass
[著信 情報]		3
	着信許可	• する • _{しない}	
	受諾認証情報	認証D kawasaki	
		「認知証/\///二〇、「ヘヘヘヘヘヘヘ	

[発信者番号識別による着信情報]で以下の項目を指定します。

発信者番号による識別 番号チェックをする

[発信者番号識別による着信情報]

発信者番号による識別 C 番号チェックをしない ® 番号チェックをする

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

- **6.** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
- 7. [スタティックルーティング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

- 8. 以下の項目を指定します。
 - ネットワーク
- ネットワーク指定

1

- 宛先 IP アドレス
 宛先アドレスマスク
- 192.168.2.1(接続先となる NetVehicle の IP アドレス)
- 24(接続先となる NetVehicle のアドレスマスク)
- メトリック値



9. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

■事業所 B の Net Vehicle を設定する

「事業所AのNetVehicleを設定する」を参考に、事業所BのNetVehicleを設定します。その際、特に 指定のないものは、東京事業所と同じ設定にします。

回線接続情報(事業所B)を設定する

[回線情報]

■ 回線インタフェース ISDN

LAN情報(事業所B)を設定する

[IP アドレス]

- IP アドレス 192.168.2.1 (Net Vehicle の LAN 側の IP アドレス)
- ネットマスク 24
- ブロードキャストアドレス ネットワークアドレス+オール1
- [DHCP 機能]
- DHCP サーバ機能 使用しない

接続先の情報(事業所A)を設定する

「ネット	∽ワーク情報設定」 「基本情報]	
,	■ ネットワーク名	kaisya(接続するネットワークの名称)
	■ 自動ダイヤル	する
I	[NAT 情報]	
1	■ NATの使用	使用しない
「接続先	:情報設定 」	
I	[基本情報]	
1	■ 接続先名	tokyo
1	■ ダイヤル1(電話番号)	03-7777-7777
[[発信情報]	
1	■ 認証 ID	kawasaki
1	■ 認証パスワード	kawapass
[[着信情報]	
	■ 着信許可	する
1	■ 認証 ID	tokyo
1	■ 認証パスワード	tokyopass
「ルーテ	- ィング情報設定 」	
1	■ ネットワーク	ネットワーク指定
	■ 宛先 IP アドレス	192.168.1.1(接続先となる NetVehicle の IP アドレス)
	■ 宛先アドレスマスク	24(接続先となる NetVehicle のアドレスマスク)
1	■ メトリック値	1



ISDNのBチャネルを2つ使うと、インターネットとLANをシームレスに使えます。ここでは、インター ネットでWWWを利用しながら会社のLANにも接続する場合を例に説明します。

. . . .

基本編 「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

スモールオフィスで新規にLANを構築する

会社にはネットワーク型ダイヤルアップ接続を行	うう
会社のルータが接続されている電話番号	:03-1111-1111
送信認証 ID /送信認証パスワード	: officeid、officepass
プロバイダには端末型ダイヤルアップ接続する	
接続先の電話番号	:03-2222-2222
DNS サーバ	:192.10.10.10
ユーザ認証 ID	: tokyoid
ユーザ認証パスワード	: tokyopass

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空 白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、プラウザでの設定が不可能とな ります。

かんたん設定でインターネット接続の設定を行う

- **1** かんたん設定でインターネットへの「ISDN 接続」をクリックします。 「かんたん設定 (インターネットへISDN 接続)」ページが表示されます。
- 2. [必須設定]で以下の項目を指定します。
 - 接続先の電話番号 03-2222-2222(プロバイダから提示された内容)

[43]

- ユーザ認証 ID
- tokyoid(プロバイダから提示された内容)
- ユーザ認証パスワード tokyopass (プロバイダから提示された内容)

	必須設定] <mark>ISDN</mark>	3
	接続先の電話番号	03-2222-2222
	ユーザ認証D	tokyoid
	ユーザ 認証バスワード	******

[オプション設定]で以下の項目を指定します。

- DNS サーバ
- 接続ネットワーク名
- 接続先名
- 192.10.10.10(プロバイダから提示されたDNSサーバのIPアドレス) internet(接続するネットワークの名称) ISP-A (プロバイダの名称)

TODA	12
NetVehicleのIPアドレス	192 168 1 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
DNSサーバ	▶ 自動取得 192 10 10 10
接続先の電話番号2	
接続先の電話番号3	
無通信監視タイマ	60 秒
課金単位時間	
接続ネットワーク名	linternet
接続先名	ISP-1
MP	○ 使用する(手動) ○ 使用する(自動) ◎ 使用しない
テレホーダイ	○ 使用する(手動) ○ 使用する(自動) ④ 使用しない
かんたんフィルタ	 ● 使用する C 使用しない

3. [設定終了]ボタンをクリックします。 再起動後に、通信できる状態になります。 接続先の情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3. [基本情報]で以下の項目を指定します。

■ ネットワーク名 kaisya (接続するネットワークの名称)

する

自動	ダイ・	ヤル	/

[基本情報]	3
ネットワーク名	Kaisya
データ圧縮	VJ
WAN側IPアドレス	
MTUサイズ	1500 パイト
自動ダイヤル <mark>ISDN</mark>	● する ○しない

[NAT 情報]で以下の項目を指定します。

■ NAT の使用	使用しない	
[NAT'情報]	3	
NATの使用	● 使用しない ○ NAT ○ マルチNAT	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報]で以下の項目を指定します。

■ 接続先名		office(接続先の名称)
■ ダイヤル 1	(電話番号)	03-1111-1111(接続先の電話番号)
[基本情報]		3
接続先名	office	
ダイヤル1	電話番号 03-1111-11 サブアドレス 相手預別 ISDN	

[発信情報]で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報(認証 ID) officeid
- 送信認証情報(認証パスワード) officepass

[発信情報]		3
送信認証情報	送信認証D officeid	
	認証パスワード ********	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

- **6.** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
- **7.** [スタティックルーティング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ルーティング情報設定」ページが表示されます。
- 8. 以下の項目を指定します。
 - ネットワーク
- ネットワーク指定
- 宛先 IP アドレス 192.168.2.0(接続先のネットワークアドレス)
- 宛先ネットマスク 24(接続先のネットマスク)

1

■ メトリック値

			3
	0	デフォルトルート	
	ø	ネットワーク指定	
ネットワーク		宛先IPアドレス 192 168 2 0	
		宛先アドレスマスク24 (255.255.255.0)	•
メトリック値	1		

- **9.** [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。
 - - NetVehicleのIPアドレスを変更した場合、再起動後にNetVehicleにアクセスするためには、URLを変更す る必要があります。また、パソコン側の設定変更および再起動を行ってください。
 - 会社LAN 上のホスト名の名前解決を行う場合は、ProxyDNSの設定が必要です。

塗照〉 ProxyDNSの設定のしかた 「DNS サーバを使いこなす(ProxyDNS)」(P.125)



ここでは、ISDN回線経由で外部からNetVehicleへの着信接続とLAN側から外部のパソコンへの発信接続を許可した接続形態の場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて・・

設定を行う前に、必ずNetVehicleをご購入時の状態に戻してください。以前の設定が残っていると、設定例の 手順で設定できなかったり手順どおり設定しても通信できないことがあります。



基本編 「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

- < ノートパソコン + PHS (NTT DoCoMo)> 受諾認証 ID : mobileid ■ 受諾認証パスワード : mobilepass ■ 送信認証 ID : phsid ■ 送信認証パスワード : phspass ■ 割り当て IP アドレス :192.168.1.34 電話番号 :070-1234-5678 PHS 通信速度 :64Kbps < パソコン + TA > ■ 受諾認証 ID : sohoid ■ 受諾認証パスワード : sohopass ■ 送信認証 ID : homeid ■ 送信認証パスワード : homepass 割り当て IP アドレス :192.168.1.35
- 電話番号 :03-1234-5678
- NetVehicle の LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク: 192.168.1.0/24

変照
アクセスサーバの設定について(着信接続のみの場合)「外部のパソコンから着信接続する(アクセスサーバ 機能)」(P.136) NetVehicleのLAN側のネットワークと同一のネットワークアドレスを別ネットワークのパソコンに割り当てる ことによって、Proxy ARP が自動的に動作し、ISDN 回線経由で接続されたパソコンが LAN 上に存在するよう に扱えます。



Proxy ARPとは

Ethernet上で通信する場合、相手を識別するためにMACアドレスが使用されます。このとき、IP アドレスとMACアドレスの対応付けを行う手段としてARP(Address Resolution Protocol) が使用されます。

ブロードキャストでARP要求を発行することにより、LAN上で自分のIPアドレスに関連するARP 要求であると認識したパソコンは、自分のMACアドレスを送り返します。Proxy ARPとは、パソ コンから送られてくる ARP 要求に対して、実際のパソコンの代わりに応答する機能です。

🅼 こんな事に気をつけて 🔹 🔹 🔹 🔹

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「"」、「<」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、プラウザでの設定が不可能となります。

回線情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。
 「回線情報設定」ページが表示されます。
- 2. [回線情報]で以下の項目を指定します。

■ 回線インタフ:	ェース	ISDN	
[回線情報]			3
回線インタフェース ©	ISDN C HSD(64Kbps) O HSD(128	(bps)

3. [更新]ボタンをクリックします。

接続先(ノートパソコン + PHS)情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

- 3. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - ネットワーク名 outside (接続するネットワークの名称)

する

- WAN 側 IP アドレス 設定する
- 相手 IP アドレス 192.168.1.34
- 自側 IP アドレス 192.168.1.1
- 自動ダイヤル

[基本情報]

ネットワーク名	outside	
データ圧縮	VJ	
	C 設定しない	
.	• 設定する	
WAN側IPアドレス	相手IPアドレス 192 168 1 34	
	自側IPアドレス 192,168,1 .1	
MTUサイズ	1500 パイト	
自動ダイヤル ISDN	⊙ する ○ しない	

[NAT情報]で以下の項目を指定します。

 NATの使用
 使用しない

 [NAT情報]
 「

 NATの使用
 ・

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

【接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
 「接続先情報設定」ページが表示されます。

2

- 5. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - 接続先名 PHS(接続先の名称)
 - ダイヤル1(電話番号) 070-1234-5678
 - ダイヤル1(相手種別) 64kPIAFS(NTT DoCoMo方式)

[基本情報]	3
接続先名	PHS
	電話番号 070-1234-5678
ダイヤル1	サブアドレス
	相手種別 64kPIAFS(NTT DoCoMo方式) 🔽

PIAFS 64Kbpsを使用する場合、発信側からサプアドレスを発信しても通知されないため、着信時の接続先情報でサプアドレスを指定しても無効となります。

[発信情報]で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報(送信認証 ID) phsid
- 送信認証情報(認証パスワード) phspass

I	[発信情報]			3
	送住的证据起	送信認証ID	phsid	
		認証バスワード	*****	

- [着信情報]で以下の項目を指定します。
- 着信許可

する

受諾認証情報(認証ID) mobileid
 受諾認証情報(認証パスワード) mobilepass

ľ			1.2
	着信許可	⊙ 1 3 0 Ut	al I
	ARA 1 # 17 1 T + 12	認証D	mobileid
	又:5七5:65正 百辛 8	認証バスワード	******

[発信者番号識別による着信情報]で以下の項目を指定します。

•	発信者番号に。	トる識別	番	弓チェック	をする	
I	発信者番号識別による親	§信惜報]				3
	発信者番号による識別	C 番号チェッ	クをしない ©	番号チェックをす	†ð	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

[更新]ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

接続先(パソコン+TA)情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- 3. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - ネットワーク名 home (接続するネットワークの名称)
 - WAN 側 IP アドレス 設定する
 - 相手IPアドレス 192.168.1.35
 - 自側 IP アドレス 192.168.1.1
 - 自動ダイヤル する

[NAT情報]で以下の項目を指定します。

■ NATの使用 使用しない

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

【接続先一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
 「接続先情報設定」ページが表示されます。

5. [基本情報]で以下の項目を指定します。 • 接続先名 TA(接続先の名称)

- ダイヤル1(電話番号) 03-1234-5678
- ダイヤル 1(相手種別) ISDN

[発信情報]で以下の項目を指定します。

- 送信認証情報(認証 ID) homeid
- 送信認証情報(認証パスワード) homepass

[着信情報]で以下の項目を指定します。

- 着信許可 する
- 受諾認証情報(認証 ID) sohoid
- 受諾認証情報(認証パスワード) sohopass

[発信者番号による着信識別]で以下の項目を指定します。

■ 発信者番号による識別 番号チェックをする

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

6. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



ここでは、高速ディジタル専用線(DA128)を介して2つの事業所(本社、支店)のネットワークを接続 する場合を例に説明します。



基本編 「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

[本社]

- 専用線(128Kbps)を使用する
- DHCP サーバ機能は使用しない
- アドレス変換機能は使用しない
- DNSサーバ : 192.168.1.2
- LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.1.0/24
- NetVehicleのIPアドレス : 192.168.1.1
- 基幹ネットワーク側ルータIPアドレス : 192.168.1.3

[支店]

- LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.2.0/24
- NetVehicleのIPアドレス : 192.168.2.1
- (補)足 この例では、本社にDNSサーバが存在しIPアドレスを固定にする必要があるので、本社側ではDHCPサーバ機能は使用しない条件にしました。

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空 白文字、「"」、「<」、「&」、「&」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能とな ります。

88 第2章 NetVehicleをいろいろな接続形態で使う

回線情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。
 「回線情報設定」ページが表示されます。
- [回線情報]で以下の項目を指定します。
 回線インタフェース HSD(128Kbps)
 ^[回線情報]
 ^[回線情報]
 ^[回線でレタフェース] C ISDN C HSD(64Kbps) © HSD(128Kbps)
- 3. [更新]ボタンをクリックします。

LAN 情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「LAN 情報」をクリックします。
 「LAN 情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [IP アドレス]で以下の項目を指定します。
 - IP アドレス 192.168.1.1 (NetVehicleのLAN側のIP アドレス)
 - ネットマスク 24

3

ブロードキャストアドレス
 [IPアドレス]

ネットワークアドレス + オール 1

IPアドレス	192 168 1 1	
ネットマスク	24 (255.255.255.0)	
ブロードキャストアドレス	ネットワークアドレス + オール1	Ŧ

[DHCP機能]で以下の項目を指定します。

DHCPサ	+	バ機能	使用しない	
[DHCP機能]				3
	© 0	使用しない 使用する		
		割当て先頭Pアドレス 割当てアドレス数	192 168 1 2	
DHCPサーバ 機能		リース期間		
		デフォルトルータ広報 DNSサーバ広報	192 168 1 1 192 168 1 1	
		セカンダリDNSサーバ広報		
		ドメイン名広報		
		※"割当て先頭アドレス"が	NetVehicleのIPアドレスと同じネットワークアドレス内であることを確認して	てください。

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [スタティックルーティング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

- 4. 以下の項目を指定します。
 - ネットワーク
 - デフォルトルート

1

- 中継ルータアドレス 192.168.1.3(基幹ネットワーク側 IP アドレス)
- メトリック値



5. [更新]ボタンをクリックします。 「LAN情報設定」ページに戻ります。

接続先の情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- 3. [基本情報]で以下の項目を指定します。

■ ネットワーク名	Siten1(接続するネットワークの名称)
[基本情報]	3
ネットワーク名 Siten1	

[NAT情報]で以下の項目を指定します。

■ NAT の使用	使用しない	
[NAT'情報]	3	
NATの使用	② 使用しない ○ NAT ○ マルチNAT	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4. [スタティックルーティング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

「ルーティング情報設定」ページが表示されます。

- 5. 以下の項目を指定します。
 - ネットワーク
 - 宛先 IP アドレス
 - 宛先アドレスマスク
 - メトリック値

192.168.2.1 (接続先の IP アドレス)

24(接続先のアドレスマスク)

ネットワーク指定

1



6. 「更新+再起動」ボタンをクリックします。 再起動後に、通信できる状態になります。

■ 支店の Net Vehicle を設定する

「かんたん設定(インターネットへ専用線接続)」で設定する

[必須設定]

- NetVehicleのIPアドレス 192.168.2.1 (Net Vehicle の LAN 側の IP アドレス)
- NetVehicleのネットマスク
- 使用する回線速度
- DNS サーバ
- [オプション設定]
- 接続ネットワーク名
- アドレス変換

24

- 128Kbps
- 192.168.1.2

kaisva(接続するネットワークの名称) 使用しない

⟨補)健♪「かんたん設定(インターネットへ専用線接続)」の省略値ではデフォルトルートを設定します。また、「かんた ん設定(オフィスへ専用線接続)」の省略値では相手ルータのIPアドレスとネットマスクを元にスタティックルー トを設定します。この設定例では本社のネットワーク内に基幹ネットワークにつながるルータが存在します。こ のため本社側への経路をデフォルトルートとする必要があります。それでここでは「かんたん設定(インター ネットへ専用線接続)」を使用しています。ただし、この場合DHCPサーバが動作するので、DHCPサーバ機能 を使用しない場合は「詳細設定」で設定を変更してください。本社のネットワークに基幹ネットワークにつなが るルータが存在しない場合は、「かんたん設定(オフィスへ専用線接続する)」で設定できます。

基本編 「かんたん設定(インターネットへ専用線接続)」の省略値について(P.73)





ここでは、OCN エコノミーと接続する際に、LAN 側に接続されたパソコンの台数が割り当てられた IP アドレスより多い場合を例に説明します。パソコンの台数が割り当てIP アドレス以下の場合については、基本 編の「かんたん設定で設定する (インターネットへ専用線接続のとき)」(P.70)を参照してください。

基本編「ご購入時の状態に戻すには」(P.106)



通信条件

■ ネットワークアドレス

- : 172.16.184.32/29
- NetVehicleのIPアドレス : 172.16.184.33
- OCN エコノミー (専用線:128Kbps)を使用する
- OCN 側の DNS サーバを使用する : 192.10.10.10
- OCN より提示されたドメイン名 : domain.ocn.ne.jp
- 接続されたパソコンの台数が割り当てられた IP アドレス(5+1)よりも多い(253+1)
- 割り当てIPアドレス
 ネットワークアドレス
 ホストアドレス
 プロードキャストアドレス
 こ172.16.184.32
 :172.16.184.33 ~ 172.16.184.38
 プロードキャストアドレス
 :172.16.184.39

 プライベートアドレスでLANを構築する
 LAN側のネットワークアドレス
 :192.168.1.0/24
 :192.168.1.1
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2 ~ 192.168.1.254
 :192.168.1.2
 :192.168.12 ~ 192.168.1.2
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.12
 :192.168.

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空 白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、プラウザでの設定が不可能とな ります。 かんたん設定で専用線接続の設定を行う

1 かんたん設定でインターネットへの「専用線接続」をクリックします。 「かんたん設定(インターネットへ専用線接続)」ページが表示されます。

2. [必須設定]で以下の項目を指定します。

- NetVehicleのIPアドレス 192.168.1.1
- ネットマスク
- 24
- 使用する回線速度
- 128Kbps

■ DNS サーバ

192.10.10.10 (OCN より提示された内容)

[必須設定]	3
NetVehicleのIPアドレス	192 168 1 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
使用する回線速度	C 64Kbps © 128Kbps
DNSサーバ	192 .10 .10 .10

[オプション設定]で以下の項目を指定します。

■ 接続ネットワーク名 接続するネットワークの名称

- ドメイン名
- アドレス変換
- グローバルアドレス
- アドレス個数

domain.ocn.ne.jp(OCN より提示されたドメイン名) マルチ NAT

- 172.16.184.34(アドレス変換でパソコンに割り当てる連続した IP アドレスの先頭)
- 5(連続したグローバルアドレスの個数)
- ・(i) この例ではOCNより割り当てられるIPアドレスは8個です。そのうちネットワークアドレス(1個)、プロード キャストアドレス(1個)、NetVehicleのIPアドレス(1個)を除いた5個がバソコンに割り当てることのでき るIPアドレスとなります。

オブション設定]	3	
接続ネットワーク名	internet	
ドメイン名	domain. ocn. ne. jp	
	O 使用しない	
ᄀᆘᆘᄀ亦ᅝ	● マルチNAT	
アトレス変換	グローバルアドレス 172 16 184 34	
	アドレス個数 5 個	

3. [設定終了]ボタンをクリックします。 再起動後に、通信できる状態になります。 アドレス変換情報を設定する

- (補)足 OCN サポートから Net Vehicle に向かって PING のテストを行う場合があるため、Net Vehicle にはグローバルア
 ドレスを割り当てておく必要があります。
- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でかんたん設定で設定したネットワーク名の欄の[修正]ボタン をクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** 「静的 NAT 情報一覧」で[追加]ボタンをクリックします。 「静的 NAT 情報設定」ページが表示されます。
- 4. 以下の項目を指定します。
 プライベートIP情報(IPアドレス) 192.168.1.1
 プライベートIP情報(ポート番号) すべて
 グローバルIP情報(IPアドレス) 172.16.184.33
 グローバルIP情報(ポート番号) すべて

- NetVehicleのIPアドレスを変更した場合、再起動後にNetVehicleにアクセスするためには、パソコンの再 起動およびURLを変更する必要があります。
- 動的 NAT と静的 NAT が混在する場合、動的 NAT で使用する IP アドレスと静的 NAT で使用する IP アドレス は重複しないようにしてください。

ゴライベートロロ性相	IPアドレス	192 168 1 1
	ポート番号	すべて 💽 (番号指定: ごろの他"を選択時のみ有効です)
グロービルロ性報	IPアドレス	172 16 184 33
	ポート番号	すべて ▼(番号指定: "その他"を選択時のみ有効です)

- **5** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
- **6.** [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

.

ネットワーク型接続でマルチNATを使用する際には、グローバルアドレスの設定が必須となります。なお、端 末型接続では、接続時にグローバルアドレスが割り当てられるため、設定は不要です。 ログインパスワードを設定する



himitu

(sec)

- 2. 以下の項目を指定します。
 - 新しいログインパスワード

「パスワード情報設定」ページが表示されます。

■ ログインパスワードの確認 himitu

	13
新しいログインパスワード	*****
ログインバスワードの確認	*****

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



NetVehicleの 便利な機能を活用する

この章では、

NetVehicleの便利な機能の活用方法について説明します。

マルチ NAT 機能 (アドレス変換機能) を使う		. 98
NAT 機能の選択基準	· · · · · · · · ·	100
端末型接続でインターネットゲームをする	· · · · · · ·	101
ネットワーク型接続でサーバを公開する	· · · · · · ·	103
IP フィルタリング機能を使う	· · · · · ·	106
接続形態に応じたセキュリティ方針を決める		107
IP フィルタリングの条件		107
外部の特定サービスへのアクセスのみ許可する		110
外部から特定サーバへのアクセスのみ許可する	····· ,	113
利田者が音図したい発信を防ぐ		117
特定アドレスへのアクセスを禁止する		119
同線が接続している時だけ許可する		121
マルチルーティングを利用する		123
パソコンデとに別々のプロバイダを利用する(ソースアドレスルーティング機能	た)	123
日的ごとに別々のプロバイダに接続する(ポートルーティング機能	ie) 能) ·	123
留全単位でプロバイダを切り替える	ю,	126
mw+wcyanty を切り自たる DNSサーバを使いこたす(ProvyDNS)	····· ,	127
DNSサーバの自動切り参え機能	····· ,	127
DNS サーバアドレフの白動の24巻き	····· ,	121
DNS 9 ハア 1 レスの日勤収付版化 DNS 問い合わせタイプフィルタ機能		121
DNS 向い日17ビノインノイルク液形		120
□ □ □ □ □ □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □	····· ,	102
DHCP サーバ機能を使う	····· ,	100
DHCPフタニノック機能を使う	····· ,	104
」 DRUP スタナイック機能を使う	····· ,	130
が可のハクコノから自信技統する(アクビスサーハ機能)	•••••	130
総証IDによる按約11寸の1100mの	 台七 \\	140
外山元や日七から云社のハクコノを起動させる(リモードハワーオノ機	fie)	143
コールハック (機能を利用 9 る		145
しちしと 万式 ビュールハック安水 9 る		140
しBしP 万式 Cコールハック心合9 る		140
無課金コールバックでコールバック安水する		150
		151
マルナーΑ 機能を使つ		153
特定のURLへのアクセスを禁止する(URLノイルダ機能) 予定地点をなたするく知会地の機能、	'	164
通信料金を節約する(課金制御機能)	····· ′	166
ヒメールエーシェント機能を使つ	····· ′	169
メールチェック機能	····· ′	170
リモートメールチェック機能	····· ′	172
メール転送機能	····· ′	174
メール一覧送信機能	<i>′</i>	177
TEL メール機能	´	180
メール看信通知機能	<i>′</i>	183
スケジュール機能を使う	<i>′</i>	184
留守モードの動作を設定する	· · · · · · · · ·	187



NetVehicle はアドレス変換機能(NAT機能)をサポートしています。NAT機能はLAN内に接続された 複数台のパソコンで使用するプライベートアドレスをNetVehicleに割り当てたグローバルアドレスに変換 する機能です。NAT機能を使用すると限られた数のグローバルアドレスでそれ以上の数のパソコンを接続 できます。例えば、端末型接続でプロバイダからもらえる1台分のグローバルアドレスを使って、複数台の パソコンからインターネットに接続できます。また、LAN内に接続されたパソコンのプライベートアドレス は外部からわからないため、外部からの不正なアクセスを遮断できます。



(補)足 ・プライベートアドレスとグローバルアドレスについて

プライベートアドレスとは、ユーザが自由に割り当てることができる IP アドレスです。 グローバルアドレスとは、インターネット上のホストを識別するために、InterNICなどのアドレス管理機構か ら割り当てられる世界で唯一の IP アドレスです。プロバイダ接続の場合はプロバイダからもらえます。

- ・LAN どうしを接続する場合(事業所間など)、両方プライベートアドレスとなることがあります。 NetVehicle では便宜上、WAN側のアドレスをグローバルアドレス、LAN側のアドレスをプライベートアドレ スといいます。
- ・「端末型接続」と「ネットワーク型接続」はインターネットに接続する際のIPアドレスの割り当て方が異なります。 端末型接続は、アクセスポイントに接続するごとにグローバルアドレスがプロバイダから動的に割り当てられ ます。

ネットワーク型接続は、LANを単位として接続する形態で、あらかじめプロバイダからグローバルアドレスが 割り当てられます。プロバイダ接続の場合は契約時の申し込み台数に応じてグローバルアドレスが割り当てら れます。

NAT機能を使うと、すでにLANを構築している場合も、プライベートアドレスを変更することなくイン ターネットに接続できるようになります。しかし、同時に接続できる台数は、割り当てられたグローバル アドレスの個数に限られます。これを解決するために、マルチ NAT機能があります。マルチ NAT機能を 使うと、ポート番号を使って、割り当てられたグローバルアドレスの個数以上のパソコンを接続できます。 マルチ NAT 機能とは、以下の 2 つの機能で構成されます。

- 動的 NAT
- 静的 NAT

(補) こ カタログ等で説明するマルチ NAT 機能は基本 NAT、動的 NAT、静的 NAT の総称です。

動的 NAT とは

基本NAT機能は、プライベートアドレスとグローバルアドレスを1対1に対応づけます。インター ネットに同時に接続できるパソコンの台数はプロバイダと契約したグローバルアドレスの個数です。 「動的NAT」を使えば、使用可能なグローバルアドレスの個数以上のパソコンが同時に接続できま す。



静的 NAT とは

基本 NAT 機能は、通信発生のたびに空いているグローバルアドレスを割り当てます。そのため、 LAN 上の Web サーバを公開するような場合には適していません。「静的 NAT」を使えば、特定の パソコンやアプリケーションに同じIP アドレス、ポート番号を割り当てるので、この問題が解決で きます。



■ NAT 機能の選択基準

ネットワーク環境および使用目的によって、適切なNAT機能を設定する必要があります。選択基準を以下 に示します。

NAT 機能が必要な場合

- 端末型ダイヤルアップ接続する場合
- プロバイダから割り当てられたグローバルアドレスより多くのパソコン(端末)を接続する場合 (ここでいう端末にはNetVehicleも含まれます)
- 既存のネットワークのアドレスをそのまま使用する場合
- 自側のネットワークのアドレスを隠す場合

_ 基本 NAT で十分な場合

- 端末型ダイヤルアップ接続で、同時に接続するパソコン台数が1台の場合
- ネットワーク型接続で、同時に接続するパソコン台数がグローバルアドレス数以下の場合

動的 NAT が必要な場合

- 端末型ダイヤルアップ接続で、同時に複数のパソコンから接続する場合
- 同時に接続するパソコンの台数がグローバルアドレス数を超える場合

__静的 NAT が必要な場合

- 外部にサービスを公開する場合(WWW サーバ、FTP サーバなど)
- IP アドレスを意識して動作するアプリケーションを使用する場合

IPアドレスを意識して動作するアプリケーションの一つとしてインターネットゲームがあります。インター ネットゲームはそれぞれ独自のデータ形式を持ち、データ中に IP アドレスを含むものがあります。

アドレス変換をする場合には、データ中の IP アドレスも意識しなくてはならないため、インターネット ゲームごとの個別対応が必要となります。

NetVehicleでは、すべてのインターネットゲームに個別対応しているわけではありません。対応している ものは、特別な設定をせずに動作が可能となります。また、未対応のものでも、静的NAT機能を利用する ことで動作が可能になるものがあります。

- (補)足・インターネットゲームを行う場合、マルチ NAT を設定しても同時接続台数は1台になる場合があります。
 - ・対応確認済みのゲームやその他のアプリケーションについては、NetVehicleのサポートページを参照してくだ さい。

端末型接続でインターネットゲームをする

ここでは、個別対応していないインターネットゲームをするために、静的NAT機能を使用する例を説明します。



通信条件

- ISDN に接続する
- 端末型ダイヤルアップ接続を行う
- 既存の LAN を使用する
- ゲームをするパソコンの IP アドレス : 192.168.1.2
- 接続先の電話番号 :03-1234-5678
- ユーザ認証 ID : userid
- ユーザ認証パスワード : userpass
- ネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.1.0/24
- ブロードキャストアドレス : 192.168.1.255

こんな事に気をつけて •••

- 文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「"」、「<」、「<」、「<」、「<」、「<」、「<」、「<」、「
 、「
 、「
 、「
 、「
 、「
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
 、
- データの中に IP アドレスを含むゲームはこの方法でもご利用になれません。

(補)足・この設定例の方法でゲームを行えるのは1台のパソコンだけです。

・対応確認済みのゲームについては、NetVehicleのサポートページを参照してください。

かんたん設定でダイヤルアップ接続の情報を設定する

- **1** かんたん設定でインターネットへの「ISDN 接続」をクリックします。 「かんたん設定(インターネットへISDN 接続)」ページが表示されます。
- 2. [必須設定]で以下の項目を指定します。
 - 接続先の電話番号 03-1234-5678(プロバイダから提示された内容)
 - ユーザ認証 ID

userid(プロバイダから提示された内容)

■ ユーザ認証パスワード userpass(プロバイダから提示された内容)

[必須設定] <mark>ISDN</mark>	3
接続先の電話番号	03-1234-5678
ユーザ認証ID	luserid
ユーザ 認証バスワード	******

3. [設定終了]ボタンをクリックします。 再起動後に、通信できる状態になります。

ルータ設定でアドレス変換情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でかんたん設定で登録したネットワーク情報の欄の[修正]ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [静的 NAT 情報一覧] で [追加] ボタンをクリックします。 「静的 NAT 情報設定」ページが表示されます。

4. 以下の項目を指定します。

- プライベート IP 情報(IP アドレス)
- プライベート IP 情報(ポート番号)
- すべて

192.168.1.2

2

- グローバル IP 情報(IP アドレス)
- グローバル IP 情報(ポート番号)
- プロトコル

すべて すべて

なにも設定しない

	アドレス 192 168 1 2	
リンフィヘートIP1情報	『−ト番号 すべて ・ (番号指定: ″その他″を選択時のみ有効です)	
グローバルIP情報	P7FUZ	
	『−ト番号 すべて ・ (番号指定: "その他"を選択時のみ有効	です)
プロトコル	すべて 🔽 (番号指定: 🥂 その他"を選択時のみ有効です)	

5. [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

┃ネットワーク型接続でサーバを公開する

ここでは、静的 NAT を使ってサーバを公開する場合を例に説明します。



- ネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.1.0/24
- ブロードキャストアドレス : 192.168.1.255

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空 白文字、「"」、「<」、「&」、「&」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能とな ります。

かんたん設定でダイヤルアップ接続の情報を設定する

- **1** かんたん設定でインターネットへの「ISDN 接続」をクリックします。 「かんたん設定(インターネットへISDN 接続)」ページが表示されます。
- 2. [必須設定]で以下の項目を指定します。
 - 接続先の電話番号 03-1234-5678(プロバイダから提示された内容)
 - ユーザ認証 ID

■ ユーザ認証パスワード

userpass(プロバイダから提示された内容)

userid(プロバイダから提示された内容)

L必須設定」 ISDN	<u>[3</u>
接続先の電話番号	03-1234-5678
ユーザ認証ID	Juserid
ユーザ認証バスワード	******

3. [設定終了]ボタンをクリックします。 再起動後に、通信できる状態になります。

ルータ設定でアドレス変換情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でかんたん設定で登録したネットワーク情報の欄の[修正]ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- 3. [NAT情報]で以下の項目を設定します。
 - NATの使用 マルチ NAT
 - グローバルアドレス 10.10.10.100
 - アドレス個数 3
 - NATセキュリティ 高い
 - (補)定 NAT セキュリティで「高い」を選択した場合、ftp や DNS が要求した相手からの応答かどうかをチェックします。相手サーバがNATを使用している場合など、要求先とは別のアドレスから応答する場合には、「通常」を選択してください。

ネットワーク型接続でマルチNATを使用する際には,グローバルアドレスの設定が必須となります。なお、端 末型接続では、接続時にグローバルアドレスが割り当てられるため、設定は不要です。

[NAT'情報]	3
NATの使用	○ 使用しない ○ NAT ◎ マルチNAT
グローバルアドレス	10 10 10 100
アドレス個数	3 (6
アドレス割当てタイマ	5 分 •
NATセキュリティ	○ 通常 ⊙ 高い

【静的NAT情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。
 「このページの情報は変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
 「静的NAT情報設定」ページが表示されます。

5. 以下の項目を指定します。 プライベートIP情報(IPアドレス) 192.168.1.2 プライベートIP情報(ポート番号) www

- グローバルIP情報(IPアドレス) 10.10.10.98
- グローバル IP 情報(ポート番号) www

動的 NAT と静的 NAT が混在する場合、動的 NAT で使用する IP アドレスと静的 NAT で使用する IP アドレス は重複しないようにしてください。

- **6.** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。
- 7. 上記の手順4.~5.を参考に、以下の情報を設定します。
 - プライベート IP 情報(IP アドレス) 192.168.1.3
 - プライベート IP 情報(ポート番号) ftp
 - グローバル IP 情報(IP アドレス) 10.10.10.99
 - グローバル IP 情報(ポート番号) ftp
- 8. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

同時に接続できる台数

同時に接続でさる台数			
	機能	同時接続台数および セッション数	備考
	基本NAT機能	グローバルIPアドレス数 セッション数制限なし	割り当て時間内は外部からの通信も可 能
	動的NAT機能	接続台数制限なし 最大256セッションまで	外部からの通信は不可能
	静的NAT機能	最大32個まで割り当て可能 + 動的NAT	プライベートアドレスとポートをグロ ーバルアドレスとポートに割り当てで きる 割り当てたアドレスとポートに関して は外部からの通信も可能



NetVehicleを経由してインターネットに送出される、またはインターネットから受信したパケットをIPア ドレスとポート番号の組み合わせで制御することにより、ネットワークのセキュリティを向上させたり、回 線への異常課金を防止することができます。



ネットワークのセキュリティを向上させるには、以下の要素について考える必要があります。

ネットワークのセキュリティ方針

■ ルータ以外の要素(ファイアウォール、ユーザ認証など)

NetVehicleは、パスワードを設定したり「IPフィルタリング機能」などを使って、ネットワークのセキュ リティを向上させることができます。

- ProxyDNSを設定している場合、IP フィルタを設定しても効果はありません。
- NetVehicleなどのルータでは、コンピュータウィルスの感染を防ぐことはできません。パソコン側でウィルス 対策ソフトを使うなど、別の手段が必要です。

(補)と NAT機能にも、セキュリティを向上させる効果があります。

● 照 NAT 機能を使う 「マルチ NAT 機能(アドレス変換機能)を使う」(P.98)
■ 接続形態に応じたセキュリティ方針を決める

インターネットに接続する場合でもLANどうしを接続する場合でも、データの流れには「外部から内部へ」 「内部から外部へ」という2つの方向があります。セキュリティを決める場合は、2つの方向について考慮 する必要があります。

「外部から内部へ流れるデータ」に対するセキュリティ方針の例

- インターネット(ネットワーク型接続)の場合 特定のパケットを受け取らないようにする
- インターネット(専用線接続)の場合
 非公開ホストへのアクセスを拒否する
- LAN どうしを接続する(ISDN 回線を使用)場合 アクセスポイント電話番号が外部に知られたときの対策を立てる
- LAN どうしを接続する(専用線を使用)場合
 内部ユーザによる不要なアクセスを防ぐ

「内部から外部へ流れるデータ」に対するセキュリティ方針の例

- インターネットの場合 法的に問題のあるサイトなどへのアクセスを制限する
- LAN どうしを接続する場合
 内部ユーザによる不要なアクセスを防ぐ

📰 IP フィルタリングの条件

NetVehicle では、以下の条件を指定することで、データの流れを制限できます。

- 動作
- プロトコル
- 送信元情報(IP アドレス / アドレスマスク / ポート番号)
- 宛先情報(IP アドレス / アドレスマスク / ポート番号)
- TCP 接続要求

動作	遮断	NetVehicleを介した通信が不可能
	透過	NetVehicleを介した通信が可能
	透過(接続中)	NetVehicleを介した通信が回線が接続されて いる時だけ可能
プロトコル	すべて	IP通信はすべて対象
	UDP	UDP通信のみ対象
	ТСР	TCP通信のみ対象
	ICMP	ICMP通信(PINGコマンド)のみ対象
	その他	上記以外の指定
送信元情報	IPアドレス	対象となるIPアドレス
宛先情報	アドレスマスク	論理積を算出するのに利用
(項目共通)	ポート番号	対象となるポート番号
TCP接続要求	対象	すべて対象
	対象外	TCPコネクション確立パケットのみ対象外

⁽補) IPフィルタリング機能は「外部から内部へ」流れるデータと「内部から外部へ」流れるデータに対し機能します。 内部にあるパソコン間のデータ(LAN内のデータ)に対しては機能しません。

(IIII)

TCP 接続要求とは

TCPプロトコルでのコネクション確立要求を、フィルタリングの対象にするかどうかを指定するものです。フィルタリングの動作に透過、プロトコルにTCPを指定した場合に有効です。TCPプロトコルはコネクション型であるため、コネクション確立要求を発行し、それに対する応答を受信することにより、コネクションを開設します。したがって、一方からのコネクションを禁止する場合でも、コネクション確立要求だけを遮断し、その他の応答や通常データなどを透過させるように設定しないと通信できません。

フィルタリングの動作に透過、TCP接続要求に対象外を指定した場合、コネクション確立要求だけ を禁止する設定となり、対象となるアドレスからのコネクション接続を禁止できます。

次に、TCPパケットとフラグ設定について説明します。TCPパケット内にはSYNフラグとACK フラグの2つの制御フラグがあります。このフラグの組み合わせにより、TCPパケットの内容が分 かります。以下、対応表を示します。

制御フラグ			
SYN	ACK	TCPパケットの内容	
1	0	コネクションの確立要求	
1	1	確立後の承認応答	
0	1	確認応答、通常のデータ	

この表から、制御フラグの組み合わせが SYN=1 ACK=0 の場合に、TCP パケットがコネクションの確立要求を行うことが分かります。つまり、IP パケットが禁止されているIP アドレスからの送信を禁止すれば、TCP/IP サービスのフィルタリングが行えます。

以下に、telnet(ポート番号23)の例を説明します。

・外部ネットワークからのコネクション確立要求は遮断 ・内部ネットワークからのコネクション確立要求は透過



IP アドレスとアドレスマスクの決め方

フィルタリング条件の要素として「IPアドレス」と「アドレスマスク」があります。制御対象となるパケットはNetVehicleに届いたパケットのIPアドレスとアドレスマスクの論理積の結果が、指定した IPアドレスと一致したものに限ります。

▶ アドレスマスクとは 「用語集」(P.296)



- () IPフィルタリング機能とNAT機能を同時に使用する場合、回線切断時にNAT機能の情報が消えてしまう ため、回線切断後に再度接続してもサーバからの応答が正しくアドレス変換されず、IPフィルタリング機 能によってパケットは破棄されます。
- フィルタリングの設計方針には大きく分類して以下の2つがあります。
- A. 基本的にはパケットをすべて遮断し、特定の条件のものだけを透過させる。
- B. 基本的にはパケットをすべて透過させ、特定のものだけを遮断する。

設計方針 A の例として、以下の設定例について説明します。

- 外部の特定サービスへのアクセスのみ許可する
- 外部から特定サーバへのアクセスのみ許可する

設計方針 B の例として、以下の設定例について説明します。

- 利用者が意図しない発信を防ぐ
- 特定アドレスへのアクセスを禁止する
- 回線が接続している時だけ許可する
- (補)定 TCP 接続要求の設定は、プロトコルに TCP またはすべてを指定した場合にだけ有効です。それ以外のプロトコルを指定した場合は無効となります。

|外部の特定サービスへのアクセスのみ許可する

ここでは、LAN上のパソコンからインターネット上のすべてのFTPサーバに対してアクセスすることのみ を許可し、他のサーバ(WWWサーバなど)へのアクセスを禁止する場合の設定方法を説明します。ただ し、FTPサーバ名を解決するために DNS サーバへのアクセスを許可する設定にします。

・ftp でホスト名を指定する場合、DNSサーバに問い合わせが発生するため、DNSサーバへのアクセスを許可す る必要があります。DNSサーバへのアクセスを許可することによって、ftp サービス以外でもドメイン名で指 定されると DNS サーバへの発信が発生します。あらかじめ接続する ftp サーバが決まっている場合は、 NetVehicle の DNS サーバ機能を利用することによって、DNS サーバへの発信を抑止することができます。



・NetVehicleは、ftp-dataの転送に関するフィルタルールを自動的に作成します。

フィルタリング設計

- LAN 上のホスト(192.168.1.0/24)から任意の FTP サーバへのアクセスを許可
- LAN 上のホスト(192.168.1.0/24)から WAN の先の DNS サーバへのアクセスを許可
- その他はすべて遮断

フィルタリングルール

- FTP サーバへのアクセスを許可するには
- (1)192.168.1.0/24の任意のポートから、任意のアドレスのポート21(ftp)へのTCPパケット を透過させる
- (2)(1)の応答パケットを透過させる
- DNS サーバへのアクセスを許可するには
 - (1) 192.168.1.0/24の任意のポートから、DNSサーバのポート53(domain)へのUDPパケットを透過させる
 - (2)(1)の応答パケットを透過させる
- その他をすべて遮断するには

 (1)すべてのパケットを遮断する

(補) このルールでは passive モードによるデータ転送はできません。

上記のフィルタリングルールの設定を行う場合を例に説明します。

任意の FTP サーバのポート 21 への TCP パケットを透過させる(LAN インターネット)

- ┃ 詳細設定メニューのルータ設定の「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- 2. 「ネットワーク情報一覧」でフィルタリングの設定を行うネットワーク情報の欄の[修正] ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [IP フィルタリング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「IPフィルタリング情報設定」ページが表示されます。

24

対象

4. [IP フィルタリング情報]で以下の項目を指定します。

- 動作 透過
- プロトコル tcp 192.168.1.0
- 送信元情報 (IP アドレス)
- 送信元情報(アドレスマスク)
- 送信元情報(ポート番号) なにも設定しない
- 宛先情報(IP アドレス) なにも設定しない
- 宛先情報(アドレスマスク)
- 宛先情報(ポート番号)
- TCP 接続要求

なにも設定しない 21 (ftp のポート番号)

- 3 透過 C 透過(接続中のみ) C 遮断 動作 tcp ・ (番号指定: ぞその他"を選択時のみ有効です) プロトコル IPアドレス 192 .168 .1 .0 送信元情報 アドレスマスク 24 (255.255.255.0) ・ ポート番号[...] 宛先情報 アドレスマスク 32 (255.255.255.255) 💽 ポート番号[...] 21 TCP接続要求 ◎ 対象 ○ 対象外
- 5. [更新]ボタンをクリックします。

「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

FTP サーバからの応答パケットを透過させる(インターネット LAN)

 手順 3.~ 5.を参考に、以下の情報を指定します。
 [IP フィルタリング情報]
 動作
 透過
 プロトコル
 はcp
 送信元情報(IP アドレス)
 なにも設定しない
 送信元情報(ボート番号)
 21(ftp のポート番号)

- 送信元情報(ポート番号) 21(ftp のポー ■ 宛先情報(IP アドレス) 192.168.1.0
 - 宛先情報(アドレスマスク)
 - 宛先情報(ポート番号) なにも設定しない
 - TCP 接続要求 対象外

DNS サーバのポート 53 への UDP パケットを透過させる(LAN インターネット)

24

7. 手順 3.~ 5.を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報] ■ 動作 透過 プロトコル udp 送信元情報(IP アドレス) 192.168.1.0 ■ 送信元情報(アドレスマスク) 24 ■ 送信元情報(ポート番号) なにも設定しない 宛先情報(IP アドレス) なにも設定しない ■ 宛先情報(アドレスマスク) なにも設定しない ■ 宛先情報(ポート番号) 53 (domain のポート番号) ■ TCP 接続要求 対象

DNS サーバからの応答パケットを透過させる(インターネット LAN)

8. 手順 3. ~ 5. を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報]

•	動作	透過
•	プロトコル	udp
•	送信元情報(IP アドレス)	なにも設定しない
•	送信元情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
•	送信元情報(ポート番号)	53(domainのポート番号)
•	宛先情報(IP アドレス)	192.168.1.0
•	宛先情報(アドレスマスク)	24
•	宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
	TCP 接続要求	対象

9. 手順 3.~5.を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報]

■ 動作	遮断
■ プロトコル	すべて
■ 送信元情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 送信元情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 送信元情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ 宛先情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 宛先情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ TCP 接続要求	対象

10. [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

┃外部から特定サーバへのアクセスのみ許可する

ここでは、LAN上のWWWサーバに対する外部のパソコンからのアクセスを許可し、LAN上の他のパソ コンへのアクセスは禁止する場合の設定方法を説明します。また、LAN上の他のパソコンはインターネッ ト上のWWWサーバに対してアクセスすると想定されるため、そのアクセスには制限はつけません。



フィルタリング設計

- LAN 上のホスト(192.168.1.2/32)をWWW サーバとして利用することを許可
- LAN 上のホスト(192.168.1.3/32)から任意の WWW サーバへのアクセスを許可
- LAN 上のホスト(192.168.1.0/24)から WAN の先の DNS サーバの問い合わせは許可
- その他はすべて遮断

フィルタリングルール

- LAN 上のホストの WWW サーバとしての利用を許可するには

 (1) 192.168.1.2/32 のポート 80 (www-http) へのパケットを透過させる
 (2)(1) の応答パケットを透過させる
- 任意の WWW サーバへのアクセスを許可するには (1)192.168.1.3/32の任意のポートから任意のWWWサーバのポート80(www-http)へのパケットを透過させる
- (2)(1)の応答パケットを透過させる
- DNSのサーバへのアクセスを許可するには
 - (1)192.168.1.0/24の任意のポートから DNS サーバのポート 53 (domain)への UDP パケット を透過させる
- (2)(1)の応答パケットを透過させる
- その他をすべて遮断するには

 (1)すべてのパケットを遮断する

上記のフィルタリングルールの設定を行う場合を例に説明します。

LAN 上のホストにポート 80 へのパケットを透過させる(インターネット LAN)

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でフィルタリングの設定を行うネットワーク情報の欄の[修正] ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [IP フィルタリング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「IP フィルタリング情報設定」ページが表示されます。

4。 [IP フィルタリング情報]で以下の項目を指定します。

- 動作 透過 ■ プロトコル tcp ■ 送信元情報 (IP アドレス) なにも設定しない ■ 送信元情報(アドレスマスク) なにも設定しない 送信元情報(ポート番号) なにも設定しない 宛先情報(IP アドレス) 192.168.1.2 ■ 宛先情報(アドレスマスク) 32 ■ 宛先情報(ポート番号) 80 (WWW-httpのポート番号) ■ TCP 接続要求 対象
- **5.** [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

LAN上のホストからの応答パケットを透過させる(LAN インターネット)

6.	手順 3. ~ 5.を参考に、以下の	青報を指定します。
	[IP フィルタリング情報]	
	■ 動作	透過
	■ プロトコル	tcp
	■ 送信元情報(IP アドレス)	192.168.1.2
	■ 送信元情報(アドレスマスク)	32
	■ 送信元情報(ポート番号)	80(WWW-httpのポート番号)
	■ 宛先情報(IP アドレス)	なにも設定しない
	■ 宛先情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
	■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
	■ TCP 接続要求	対象外

任意の WWW サーバのポート 80 へのパケットを透過させる(LAN インターネット)

7. 手順 3.~ 5.を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報] ■ 動作 透過 ■ プロトコル tcp ■ 送信元情報 (IP アドレス) 192.168.1.3 ■ 送信元情報(アドレスマスク) 32 ■ 送信元情報(ポート番号) なにも設定しない ■ 宛先情報(IP アドレス) なにも設定しない ■ 宛先情報(アドレスマスク) なにも設定しない ■ 宛先情報(ポート番号) 80(WWW-httpのポート番号) ■ TCP 接続要求 対象

任意のWWW サーバからの応答パケットを透過させる(インターネット LAN)

8. 手順 3. ~ 5. を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報]

■ 動作	透過
■ プロトコル	tcp
■ 送信元情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 送信元情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 送信元情報(ポート番号)	80(www-http のポート番号)
■ 宛先情報(IP アドレス)	192.168.1.3
■ 宛先情報(アドレスマスク)	32
■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ TCP 接続要求	対象外

DNS サーバのポート 53 への UDP パケットを透過させる(LAN インターネット)

9.	手順 3. ~ 5. を参考に、以下	の情報を指定します。	
	[IP フィルタリング情報]		
	■ 動作	透過	
	■ プロトコル	udp	
	■ 送信元情報(IP アドレス)	192.168.1.0	
	■ 送信元情報(アドレスマスク)	24	
	■ 送信元情報(ポート番号)	なにも設定しない	
	■ 宛先情報(IP アドレス)	なにも設定しない	

- 宛先情報(アドレスマスク) なにも設定しない
- 宛先情報(ポート番号) 53 (domain のポート番号)
- TCP 接続要求 対象外

DNS サーバからの応答パケットを透過させる(インターネット LAN)

10. 手順 3. ~ 5.を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報] 動作 透過 ■ プロトコル udp ■ 送信元情報 (IP アドレス) なにも設定しない 送信元情報(アドレスマスク) なにも設定しない ■ 送信元情報(ポート番号) 53 (domain のポート番号)

- 宛先情報(IP アドレス) 192.168.1.0
- 宛先情報(アドレスマスク) 24
- 宛先情報(ポート番号)
- なにも設定しない ■ TCP 接続要求 対象外

残りの通信はすべて遮断する

11. 手順 3.~ 5.を参考に、以下の情報を指定します。 [IP フィルタリング情報]

■ 動作	遮断
■ プロトコル	すべて
■ 送信元情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 送信元情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 送信元情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ 宛先情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 宛先情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ TCP 接続要求	対象

12. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

利用者が意図しない発信を防ぐ

LAN上のパソコンは、利用者の意志とは無関係に実体のないNetBIOSサーバにアクセスすることがあり ます。その際、回線が接続され、利用者が意識しないところで通信料金がかかってしまいます。 ここでは、上記のような、回線に対する無駄な発信を抑止するフィルタリング設定方法について説明します。



フィルタリング設計

■ ポート 137 ~ 139 (NetBIOS サービス) へのアクセスを禁止

フィルタリングルール

- ポート137~139へのアクセスを禁止するには
- (1)任意のアドレスのポート 137~139へのすべてのパケットを遮断する
- (2)任意のアドレスのポート137~139からのすべてのパケットを遮断する
- (補) Windows (TCP上のNetBIOS)環境のネットワークでは、セキュリティ上の問題と無駄な課金を抑えるために、 ポート番号137 ~ 139の外向きの転送経路をふさいでおく必要があります(「かんたん設定」の「かんたんフィ ルタ」では、自動的にこれらのポートをふさぐように設定されます)。

上記のフィルタリングルールの設定を行う場合を例に説明します。

任意のアドレスのポート 137 ~ 139 へのすべてのパケットを禁止する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でフィルタリングの設定を行うネットワーク情報の欄の[修正] ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [IP フィルタリング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「IP フィルタリング情報設定」ページが表示されます。

- **4**。 [IP フィルタリング情報]で以下の項目を指定します。
 - 動作 遮断 ■ プロトコル すべて 送信元情報(IP アドレス) なにも設定しない 送信元情報(アドレスマスク) なにも設定しない ■ 送信元情報(ポート番号) なにも設定しない 宛先情報(IP アドレス) なにも設定しない ■ 宛先情報(アドレスマスク) なにも設定しない 宛先情報(ポート番号) 137-139
 - TCP 接続要求 対象
- 5. [更新]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページに戻ります。

ポート137~139からのすべてのパケットを遮断する

5. 手順 3.~5.を参考に、以下の情報を設定します。
[IP フィルタリング情報]

動作
逆の
プロトコル
ブロトコル
送信元情報(IP アドレスマスク)
送信元情報(ポート番号)
137-139

- 宛先情報(IPアドレス) なにも設定しない
- 宛先情報(アドレスマスク) なにも設定しない
- 宛先情報(ポート番号) なにも設定しない
- TCP 接続要求 対象
- **7.** [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

|特定アドレスへのアクセスを禁止する

ここでは、インターネット上の不当なサーバ(法的に問題となるようなサーバなど)に対するアクセスを 禁止する場合の設定方法について説明します。



- __フィルタリング設計
 - LAN上のホスト(192.168.1.0/24)からアドレス100.100.100.100へのアクセスを禁止する
- フィルタリングルール
- 特定アドレスへのアクセスを禁止するには
 - (1)192.168.1.0/24から100.100.100.100の任意のポートへのすべてのパケットを遮断する

上記のフィルタリングルールの設定を行う場合を例に説明します。

特定アドレス(100.100.100.100)へすべてのパケットを遮断する(LAN インターネット)

- 詳細設定メニューのルータ設定の「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でフィルタリングの設定を行うネットワーク情報の欄の[修正] ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [IP フィルタリング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「IP フィルタリング情報設定」ページが表示されます。

4. [IP フィルタリング情報]で以下の項目を指定します。

■ 動作	遮断
■ プロトコル	すべて
■ 送信元情報(IP アドレス)	192.168.1.0
■ 送信元情報(アドレスマスク	7) 24
■ 送信元情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ 宛先情報(IP アドレス)	100.100.100.100
■ 宛先情報(アドレスマスク)	32
■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
 TCP 接続要求 	対象

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

回線が接続している時だけ許可する

ー部のパソコンでは、ネットワークの設定によって、ログイン時に自動的に PING を発行して回線を接続 してしまうものがあります。回線接続を必要とする ICMP パケットを遮断することにより、意図しない PING による無駄な発信を抑止することができます。ここでは、回線が接続されているときのみ ICMP パ ケットを透過させる場合の設定方法について説明します。

(補)に(アアドレスを直接指定せず、DNSによる名前アドレス変換を利用した場合、発信を抑止することはできません。



フィルタリング設計

■ すでに回線が接続している場合だけ PING を許可

フィルタリングルール

- すでに回線が接続している場合だけ PING を許可するには
- (1)回線接続中だけ ICMP パケットを透過させる

上記のフィルタリングルールの設定を行う場合を例に説明します。

回線が接続している場合だけ ICMP パケットを透過させる

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でフィルタリングの設定を行うネットワーク情報の欄の[修正] ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [IP フィルタリング情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「IP フィルタリング情報設定」ページが表示されます。

4. [IP フィルタリング情報]で以下の項目を指定します。

■ 動作	透過(接続中)
■ プロトコル	icmp
■ 送信元情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 送信元情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 送信元情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ 宛先情報(IP アドレス)	なにも設定しない
■ 宛先情報(アドレスマスク)	なにも設定しない
■ 宛先情報(ポート番号)	なにも設定しない
■ TCP 接続要求	対象外

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



マルチルーティング機能を使うと、設定した条件によって接続先を変更することができます。 NetVehicle には以下の3種類のマルチルーティング機能があります。

・パソコンごとに別々のプロバイダを利用する(ソースアドレスルーティング機能)

- ・目的ごとに別々のプロバイダに接続する(ポートルーティング機能)
- ・課金単位でプロバイダを切り替える

これらの機能は組み合わせて利用できます。

■■ パソコンごとに別々のプロバイダを利用する(ソースアドレスルーティング機能)

ソースアドレスルーティング機能では、パソコンの IP アドレスごとに接続先を変えることができます。 例えばパソコンが複数あって、それぞれ別のプロバイダに接続する場合、NetVehicle のソースアドレス ルーティング機能を使うと便利です。



「複数プロバイダと端末型接続する」(P.70)

┃目的ごとに別々のプロバイダに接続する(ポートルーティング機能)

ポートルーティング機能では、インターネットで利用するアプリケーション(WWW、電子メールなど)ご とに接続先を変えることができます。

例えば電子メールはプロバイダAで、WWWブラウザはプロバイダBで利用するといったことも可能です。



通信条件

- 電子メール利用時はプロバイダ A に接続
- プロバイダAのメールサーバホスト名:mailhost.provider.or.jp
- 電子メール以外(WWW利用など)はプロバイダBに接続

マルチルーティング情報を設定する

ここでは、ネットワーク名(internet)配下の「接続先情報」としてプロバイダA(接続先名:ISP-A)プロバイダB(接続先名:ISP-B)がすでに登録してある場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「internet」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で接続先「ISP-A」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- **4.** [マルチルーティング]の「ポートルーティング」で[追加]ボタンをクリックします。 「ポートルーティング情報設定」ページが表示されます。

5. 電子メール利用時の設定を行います。

[ポートルーティング情報]で以下の項目を指定します。

- ポート番号 POP3
- サーバホスト名 mailhost.provider.or.jp (プロバイダから提示されたメールサーバホスト名)

【ボートルーティング情報】
 【ボート番号 POP3 ▼ (番号指定: "その他"を選択時のみ有効です)
 サーバホスト名 mailhost. provider. or. jp

6. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

(補)足)この例ではサーバホスト名で設定した以外の DNS への要求は、ISP-B に発信します。

|課金単位でプロバイダを切り替える

複数のプロバイダに加入していて、プロバイダのサービスによって通信料金の算定方法が違っている場合、 プロバイダを有効に使い分けることができます。

例えば、2 つのプロバイダ(プロバイダA、プロバイダB)に加入していて、契約が以下に示す内容だとします。

プロバイダ名	基本料金	追加料金
プロバイダA	2,000円 (接続時間900分まで)	10円/分 (接続時間901分以降)
プロバイダB	970円 (接続時間600分まで)	10円 / 分 (接続時間601分以降)

1か月に20時間(1,200分間)インターネットを利用すると、プロバイダに支払う料金は以下のようになります。

・プロバイダ A だけを利用

2,000円(プロバイダAの基本料金) + 1,000円(プロバイダAの追加料金) + 970円(プロバイダBの基本料金) = 3,970円

・プロバイダ B だけを利用

2,000円(プロバイダAの基本料金) + 970円(プロバイダBの基本料金) + 6,000円(プロバイダBの追加料金) = 8,970円

・プロバイダ A を 900 分間利用し、プロバイダ B を残り 300 分間利用

2,000円(プロバイダAの基本料金)+970円(プロバイダBの基本料金) +0円(プロバイダBの追加料金)=2,970円

このような使い方をすると、プロバイダに支払う金額はそれぞれのプロバイダの基本料金2,970円で済み ます(どちらかのプロバイダを解約するよりも安くなります)。 この場合を例に設定方法を説明します。

通信条件

- 接続時間 900 分までプロバイダ A (ISP-A) を利用する
- 接続時間 901 分以降はプロバイダ B (ISP-B)を利用する

メインに使用するプロバイダの制限時間を指定する

ここではネットワーク名(internet)配下の「接続先情報」としてプロバイダA(接続先名: ISP-A)プロバイダB(接続先名: ISP-B)がすでに登録してある場合を例に説明します。

- 1. 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「internet」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

3

3. [接続先一覧]の接続先「ISP-A」の優先順位が「1」でない場合は、移動先の優先順位に 「1」を入力し「移動]ボタンをクリックします。すでに優先順位が「1」になっている場合 は、手順4.へお進みください。

接続先には優先度があるため、マルチルーティングの設定をしない接続先の優先度を高くすると、優先度の低い マルチルーティング設定は無効となります。接続先の優先順位に気をつけてください。

4 [接続先一覧]で接続先「ISP-A」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。

- 5. [マルチルーティング]で以下の項目を指定します。
 - 指定した時間を超えて接続しない / 15 時間 ■ 接続制限

[マルチルーティング]	3
ソースアドレスルーティング	ローカルホストIPアドレス
ポートルーティング	ポート番号 サーバホスト名 修正/削除 道加 全削除
接続制限	 ✓ 指定した時間を超えて接続しない 15 時間 ▼ 指定した課金を超えて接続しない

6. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



- 📢 こんな事に気をつけて・・・・・・・・・・・・・・・・
 - 回線切断されるまでは接続制限処理が行われないため、900分を超えてプロバイダに接続される場合がありま す。
 - 本装置の電源を切ると、課金情報(通信時間累計、通信料金累計)はすべてクリアされます。



NetVehicleのProxyDNSには、以下のような機能があります。

- ・DNS サーバの自動切り替え機能
- ・DNS サーバアドレスの自動取得機能
- ・DNS 問い合わせタイプフィルタ機能
- ・DNSサーバ機能

|DNS サーバの自動切り替え機能

複数のプロバイダに接続するような場合、パソコン側でDNS サーバの IP アドレスを変更して、再起動す る必要がありました。

「ProxyDNS」を使えば、このような手続きはありません。パソコン側がDNS サーバを呼び出すと、 ProxyDNS が自動的に接続するネットワークを選択し、DNS サーバを切り替えて中継します。



ここでは、会社のネットワークとプロバイダに接続する設定がすでにされている場合を例に説明します。また、ProxyDNS情報は一切設定されていないものとします。

ネットワーク条件	
[会社のネットワーク]	
■ ネットワークアドレス	:172.16.0.0/16
■ ネットワークの名前	: kaisya
■ 会社のドメイン名	: * .kaisya.co.jp
[プロバイダ]	
■ ネットワークの名前	: internet

会社の ProxyDNS 情報を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で、「ProxyDNS 情報」をクリックします。 「ProxyDNS 情報」ページが表示されます。
- **2.** 「順引き情報一覧」で[追加]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS 情報設定 (順引き)」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - ドメイン名 * .kaisya.co.jp
 - 動作 接続先の DNS サーバへ問い合わせる
 - ネットワーク名 kaisya

		3
ドメイン名		*.kaisya.co.jp
タイプ		すべて ▶ (番号指定 "その他"を選択時のみ有効です。)
送信元情報 アドレスマスク 0 (0.0.0.)		
		0 (0.0.0)
		○ 廃棄する
		◎ 接続先のDNSサーバへ問い合わせる
動化作		ネットワーク名 kaisya 💽
		O 設定したDNSサーバへ問い合わせる
		DNSサーバアドレス

- **4.** [更新]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報」ページに戻ります。
- **5.** 「逆引き情報一覧」で[追加]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報設定(逆引き)」ページが表示されます。

6. 以下の項目を指定します。

- IP アドレス 172.16.0.0
- アドレスマスク 16(255.255.0.0)
- 動作 接続先の DNS サーバへ問い合わせる
- ネットワーク名 kaisya



7. [更新]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報」ページに戻ります。 **8.** 手順 2.~4.を参考に、以下の情報を設定します。 [ProxyDNS情報設定(順引き)]

- ドメイン名
- 動作 接続先の DNS サーバへ問い合わせる
- ネットワーク名 internet

9. 手順 5. ~ 7. を参考に、以下の情報を設定します。
[ProxyDNS 情報設定 (逆引き)]
IP アドレス なにも指定しない

- アドレスマスク 0(0.0.0.0)
- 動作 接続先の DNS サーバへ問い合わせる
- ネットワーク名 internet
- **10.** [設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。
 - (補) こ かんたん設定のインターネットへの「ISDN 接続」で、DNS サーバを「自動取得」にすると、ProxyDNS 情報が 自動的に設定されます。

を照え 基本編 「かんたん設定 (インターネットへ ISDN 接続)」の省略値 (P.64)

パソコン側の設定を行う

ここでは Windows® 98 の場合を例に説明します。

- 【
 . [コントロールパネル]ウィンドウで[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- 2. [ネットワーク]ダイアログボックスで[ネットワークの設定]タブをクリックします。
- **3.** 一覧から「TCP/IP」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- **4.** [TCP/IPのプロパティ]画面で[DNS設定]タブをクリックします。
- 5. 「DNS を使う」を選択します。
- **7.** [OK] ボタンをクリックします。
- 8. パソコンを再起動します。 再起動後に、設定した内容が有効になります。

CHar.

NetVehicleの「DHCPサーバ機能」を使わない場合の設定は? かんたん設定のインターネットへの「ISDN接続」で、DNSサーバを「自動取得」にした場合、自 動的にProxyDNS機能が有効になってます。パソコン側の「DNSサーバの設定」でNetVehicle のIPアドレスを設定すると、ProxyDNS機能だけ利用できます。また、NetVehicle以外のDHCP サーバを使用している場合でも、DHCPサーバで広報するDNSサーバのIPアドレスとして NetVehicleのIPアドレスを設定するとProxyDNSが利用できます。

🖿 DNS サーバアドレスの自動取得機能

ProxyDNSがDNSサーバのアドレスを回線の接続時に接続先より自動的に取得するため、DNSサーバのアドレスをあらかじめ設定しておく必要がなくなります。 なお、この機能は接続先がDNSサーバアドレスの配布機能(RFC1877)に対応している場合にのみ利用できます。

NetVehicle 側の設定を行う

- 詳細設定メニューのルータ設定で「ProxyDNS 情報」をクリックします。 「ProxyDNS 情報」ページが表示されます。
- **2.** [順引き情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報設定(順引き)」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - ドメイン名

動作

- 接続先の DNS サーバへ問い合わせる
- ネットワーク名
 DNS サーバを使用するネットワーク名

			3		
ドメイン名		*			
タイプ		すべ	すべて 💽 (番号指定 その他"を選択時のみ有効です。)		
送信元情報 IPアドレス アドレスマスク					
		00	0.0.0)		
		0	廃棄する		
		۲	接続先のDNSサーバへ問い合わせる		
動作			ネットワーク名 Internet 💌		
		0	設定したDNSサーバへ問い合わせる		
			DNSサーバアドレス		

4 [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

パソコン側の設定を行う

「DNSサーバの自動切り替え機能」の「パソコンの設定を行う」を参照して、パソコンの設定を行います。

DNS 問い合わせタイプフィルタ機能

端末が送信するDNSパケットのうち特定の問い合わせタイプ(QTYPE)のパケットを破棄することができます。

例えば、Windows[®] 2000 が送信する予期せぬDNSパケットにより自動発信してしまう問題を回避する ために、かんたん設定のかんたんフィルタを「使用する」に設定した場合は、問い合わせタイプがSOA(6) とSRV(33)のパケットは廃棄する設定を行います。

参照〉 基本編 「かんたん設定(インターネットへ ISDN 接続)」の省略値について(P.64)



問い合わせタイプが SOA(6)の DNS 問い合わせパケットを破棄する設定を以下に示します。

NetVehicle 側の設定を行う

- 詳細設定メニューのルータ設定で「ProxyDNS 情報」をクリックします。 「ProxyDNS 情報」ページが表示されます。
- **2.** [順引き情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報設定(順引き)」ページが表示されます。

*

- 3. 以下の項目を指定します。
 - ドメイン名
 - タイプ SOA
 - 動作 廃棄する

		3
ドメイン名		*
タイプ		SOA (番号指定 "その他"を選択時のみ有効です。)
`¥/÷	IPアドレス	
さ信元 情報 アドレスマスク		0 (0.0.0)
		 ● 廃棄する
		○ 接続先のDNSサーバへ問い合わせる
動作		ネットワーク名
		○ 設定したDNSサーバへ問い合わせる
		DNSサーバアドレス

4 [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

パソコン側の設定を行う

「DNSサーバの自動切り替え機能」の「パソコンの設定を行う」を参照して、パソコンの設定を行います。

🔜 DNS サーバ機能

NetVehicleのホストデータベースにホスト名とIPアドレスのペアを登録しておきます。登録されたホストに対するDNSリクエストがあった場合は、ProxyDNSがDNSサーバの代わりに応答します。LAN内の情報をあらかじめホストデータベースに登録しておくと、LAN内のホストのDNSリクエストによって回線が接続されてしまうといったトラブルを防止できます。

NetVehicle 側の設定を行う

詳細設定メニューのルータ設定で「ホストデータベース情報」をクリックします。
 「ホストデータベース情報」ページが表示されます。

						5
$\left[\right]$	ホスト名	IPアドレス	MACアドレス	Wake-up-ID	電源制御	修正/削除
1	-	-	-	-	-	修正 削除
2	-	-	-	-	-	修正 削除
3	-	-	-	-	-	修正 削除

- **2.** 未設定の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ホストデータベース情報設定」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - ホスト名 パソコンの名前
 - IP アドレス パソコンの IP アドレス
 - (補) に ホストデータベース情報は「リモートパワーオン機能」、「DHCP スタティック機能」、「DNS サーバ機能」で使われており、それぞれ必要な項目だけを設定します。

		3
ホスト名	hamster	
IPアドレス	192 168 1 2	

4. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

パソコン側の設定を行う

「 DNSサーバの自動切り替え機能」の「パソコンの設定を行う」を参照して、パソコンの設定を行います。



DHCPサーバ機能は、ネットワークに接続されているパソコンに対してIPアドレスの自動割り当てを行う 機能です。IPアドレスは重複が許されず、また、パソコンが増えるたびに管理者が設定する必要があります が、この機能を利用するとDHCPクライアント機能を持つパソコンにはIPアドレスの設定が不要になり、 管理者の手間を大幅に省くことができます。

NetVehicleのDHCPサーバ機能は、以下の情報を広報することができます。

- ・IP アドレス
- ・ネットマスク
- ・デフォルトルータの IP アドレス
- ・DNS サーバの IP アドレス
- ・ドメイン名



DHCP サーバは空いている IP アドレスを一定期間(またはパソコンが返却するまで) 割り当て、不要に なった IP アドレスは自動的に再利用します。このため、パソコンの IP アドレスが変わることがあります。 Net Vehicle では、IP アドレスと MAC アドレスを対応づけることによって、登録されたパソコンから DHCP要求が発行されると、常に同じIPアドレスを割り当てることができます。これを「DHCPスタティッ ク機能」といいます。

DHCPスタティック機能を利用する場合は、ホストデータベース情報にIPアドレスとMACアドレスを設定します。

- (補) と・MACアドレスとは、LAN機器に設定されていて世界中で重複されないように管理されている固有のアドレスです。
 - ・NetVehicleがサポートしている「IPフィルタリング機能」、「静的NAT機能」、「マルチルーティング機能」な どはパソコンのIPアドレスが固定されていないと使いにくい場合があります。これらの機能とDHCPサーバ機 能の併用を実現するために、「DHCPスタティック機能」をサポートしています。

■ DHCP サーバ機能を使う

DHCP サーバ機能を使う場合を例に説明します。 通信条件

- NetVehicleのIPアドレス :192.168.1.1
- DHCP サーバ機能を使用する
- パソコンに割り当てる IP アドレス : 192.168.1.2 ~ 192.168.1.33
- パソコンに割り当てる IP アドレス数 :32個
- LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.1.0/24
- 詳細設定メニューのルータ設定で「LAN 情報」をクリックします。 「LAN 情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [IP アドレス]で以下の項目を指定します。
 - IP アドレス 192.168.1.1 (NetVehicleのLAN 側のIPアドレス)
 - ネットマスク 24
 - ブロードキャストアドレス ネットワークアドレス+オール1

UPアドレス」	3
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 1
ネットマスク	24 (255.255.255.0)
ブロードキャストアドレス	ネットワークアドレス +オール1 💽

[DHCP 機能]で以下の項目を指定します。

- DHCP サーバ機能 使用する
- 割当て先頭 IP アドレス 192.168.1.2
- 割当てアドレス数 32

(補)足 DHCP サーバ機能で割り当てることのできる最大数は 32 です。

[DHCP機能]				3
	c	使用しない		
	o	使用する		
		割当て先頭Pアドレス	192 168 1 2	
		割当てアドレス数	32	
DHCPサーバ		リース期間		
1炭 配		デフォルトルータ広報	192 168 1 1	
		DNSサーバ広報	192 168 1 1	
		セカンダリDNSサーバ広報		
		ドメイン名広報		
		※"割当て先頭アドレス"が	NetVehicleのIPアドレスと同じネットワークアドレス内であることを確認してくだ	きい。

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

┃DHCP スタティック機能を使う

DHCP スタティック機能を使う場合を例に説明します。 通信条件

- DHCP サーバ機能を使用する
- LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク : 192.168.1.0/24
- IP アドレスを固定したいパソコンの MAC アドレス
- 割当て IP アドレス

:00:00:0e:12:34:56 :192.168.1.2

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「ホストデータベース情報」をクリックします。 「ホストデータベース情報」ページが表示されます。
- **2.** 未設定の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ホストデータベース情報設定」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を設定します。
 - IP アドレス 192.168.1.2
 - MACアドレス 00:00:0e:12:34:56
 - (補) 定 ホストデータベース情報は「リモートパワーオン機能」、「DHCP スタティック機能」、「DNS サーバ機能」で使われており、それぞれ必要な項目だけを設定します。

	3
ホスト名	
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 2
MAC7FUZ	00 :00 :0e :12 :34 :56
Wake-up-ID	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4 [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

(補) E DHCP スタティック機能で設定できるホストの最大数は 32 です。



ISDN回線経由で外部のパソコンからNetVehicleに着信接続する場合、NetVehicleをリモートアクセスサーバとして使うこともできます。このようなアクセスができる環境は、以下のものが考えられます。

- ・デスクトップパソコン +TA ・ノート型パソコン +ISDN カード ・ノート型パソコン +PIAFS 通信カード +PHS ・NetVehicle
- (ISDN) NetVehicle (ISDN) NetVehicle
- (PHS網) (ISDN) NetVehicle
- (ISDN) NetVehicle

補足

接続確認済みのPHS端末およびPIAFS対応通信カードの組み合わせについては、NetVehicleのサポートペー ジを参照してください。

健定方法 「外部のパソコンと接続する(TA&PHS)」(P.83)

 本社
 サーバ

 サーバ
 192.168.1.1

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

本社の NetVehicle を設定する場合を例に説明します。LAN 情報に関する説明は省略しています。

通信条件

- < ノートパソコン + PHS> で外出先から接続
- 認証 ID と認証パスワード 受諾認証 : mobile
 受諾認証パスワード : mobilepass
- PHSの電話番号は未登録
- < パソコン + TA> で自宅から接続
- 認証 ID と認証パスワード 受諾認証 : soho 受諾認証パスワード : sohopass
- 自宅の電話番号は未登録
- 本社の LAN 側のネットワークアドレス / ネットマスク :192.168.1.0/24
- 外部のパソコンに割り当てる IP アドレス
- :192.168.1.34、192.168.1.35

CHa)

不正なアクセスを防止するには

NetVehicleには公衆電話からもアクセスできます。ただし公衆電話では、アクセスしてきた相手の電話番号を特定できないので、NetVehicleで使っている電話番号などの情報が外部に漏れてしまった場合はどうするのかといった問題が生じます。

NetVehicleを使ってセキュリティを向上させる方法としては、以下のようなものがあります。 ・認証情報(受諾認証 ID やパスワードなど)を設定する ・コールバック機能を使う

回線情報を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。 「回線情報設定」ページが表示されます。
- 2. [回線情報]で以下の項目を指定します。

回線インタフェース ISDN
 [回線情報]
 回線インタフェース © ISDN © HSD(64Kbps) © HSD(128Kbps)

[ISDN 情報]で以下の項目を指定します。

■ 着信動作	相手毎に設定	
[ISDN 情報]		3
自動ダイヤル	○ すべて禁止 ◎ 相手毎に設定	
著信動作	○ すべて禁止 ◎ 相手毎に設定	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

不特定な相手と着信接続するために必要な情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- 2. [ネットワーク情報一覧]の「不特定相手着信」の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「不特定相手情報設定」ページが表示されます。
- 3. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - 割当先頭アドレス 192.168.1.34

▪ 同時接続許可数	2
[基本情報]	3
割当先頭アドレス 192 168 1	.34
同時接続許可数 2 👤	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

4 [更新]ボタンをクリックします。 「相手情報設定」ページに戻ります。

着信相手を識別するために必要な情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- 2. [着信相手識別情報]で以下の項目を指定します。
 - 着信許可 する
 - 認証方式 「PAP」および「CHAP」
 - MP 接続 しない
 - コールバック応答 しない

[著信相手識別情報] [SDN []		
着信許可	⊙する ○しない	
認証方式	PAP 🗹 CHAP	
	⊙ しない	
MP接続	C する	
	BAP/BACP利用 C する ©しない	
コールバック応答	○する ⊙しない	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

受諾認証情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [受諾認証 ID 情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「PPP 受諾認証情報」ページが表示されます。
- 3. [受諾認証情報]で以下の項目を指定します。
 - 受諾認証 ID mobile
 受諾認証パスワード mobilepass
 「受諾認証情報」
 受諾認証の mobile
 受諾認証パスワード *********
- **4.** [更新]ボタンをクリックします。 「相手情報設定」ページに戻ります。
- 5. 手順 2. ~ 4.を参考に、< パソコン + TA > の情報も追加してください。
 - 受諾認証 ID soho
 - 受諾認証パスワード sohopass
- **6.** [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



NetVehicle は着信時の相手識別を発信者番号通知によって行っています。

しかし、発信者番号から相手を特定できないことがあります。このような相手と通信する場合、PPPの認証 プロトコルを利用することにより、認証IDによる接続相手の識別が必要となります。

認証 ID による相手識別は以下の場合に必要となります。

・着信時に発信者番号が通知されない場合

・同一相手からの着信時の発信者番号が毎回異なる場合

ここでは、東京事業所のNetVehicleの設定で、設定済みの接続先情報(川崎事業所)に認証IDで特定す るための情報を追加する場合を例に説明します。ISDN回線を介して2つの事業所(東京、川崎)のネット ワークを接続します。

一方の事業所でサーバを公開していて、着信接続します。



通信条件

- 認証 ID と認証パスワード(川崎事業所用)
 受諾認証
 : kawasaki
 受諾認証パスワード
 : kawapass
- 東京事業所でサーバを公開している
- 川崎事業所では電話番号を通知しない設定をしている
- 電話番号から特定できない相手との着信処理
- 認証方式 PAP/CHAP
- MP 接続しない
- コールバック応答しない
- 参照する情報
- [東京事業所]
- 川崎事業所のネットワークの名前 :kaisya
- 接続先の名前 :kawasaki

 回線接続情報(東京事業所)を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。 「回線情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ISDN 情報]で以下の項目を指定します。

■ 着信動作	相手毎に設定	
[ISDN 情報]	1	3
自動ダイヤル	○ すべて禁止 ◎ 相手毎に設定	
着信動作	○ すべて禁止 ◎ 相手毎に設定	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

着信相手を識別するために必要な情報を設定する

1• 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。

3

- 2. [着信相手識別情報]で以下の項目を指定します。
 - 着信許可 する
 - 認証方式 「PAP」および「CHAP」
 - MP 接続 しない
 - コールバック応答 しない

[著信相手識別情報] [SDN

着信許可	● する ○ しない	
認証方式	方式 🔽 РАР 🗹 СНАР	
MP接続	 しない する BAP/BACP利用 C する © しない 	
コールバック応答	○する ⊙しない	

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

3. [更新]ボタンをクリックします。

接続先の情報(川崎事業所)を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「kaisya」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。

0

3

- **3.** [接続先一覧]で「kawasaki」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [着信情報]で以下の項目を指定します。
 - 着信許可 する
 - 受諾認証情報(認証ID) kawasaki
 - 受諾認証情報(認証パスワード) kawapass

[着信情報]

		ليهيد
著信許 可	• する • Lau	
~~ = = = = = = = = = = = = = = = = = =	認証D	kawasak i
文:5七565E 百辛!!	認証バスワード	*****

[発信者番号識別による着信情報]で以下の項目を指定します。

•	・発信者番号に。	よる識別	番号チェックをしない		
[発信者番号識別による着信情報]					
	発信者番号による識別	 番号チェックをしない 	い 〇 番号チェックをする		

必要に応じて上記以外の項目を設定します。

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。


NetVehicleの「リモートパワーオン機能」は、Wakeup on LAN機能を使用して電源OFF状態のパソコンを、外出先や自宅のサブアドレスを使用できる電話機(PHSを含む)から起動させることができます。

こんな事に気をつけて ••••••••••••••••••
 サブアドレスを指定できないアナログ電話からはこの機能を利用できません。



Wakeup on LAN 機能とは?

Clin

AMD社が開発したネットワーク上の電源OFF状態のパソコンを遠隔操作で起動する機能です。起動はMagic Packet と呼ばれるパケットを送付して行います。なお、Wakeup on LAN機能はパ ソコンを起動するだけで電源OFFは行いません。 電源OFF する場合は、別途、電源制御用ソフトウェアが必要になります。

- (補) と ・本機能は、Wakeup on LAN に対応したパソコンだけで利用できます。Wakeup on LAN 対応機種については、パソコンのメーカーにお問い合わせください。
 - ・本機能は、サブアドレスを指定できる ISDN 機器(電話、PHS 等)で利用できます。
 - ・本機能を使用するだけでは、課金されません。

起動条件を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「ホストデータベース情報」をクリックします。
 「ホストデータベース情報」ページが表示されます。
- **2.** 未設定の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ホストデータベース情報設定」ページが表示されます。
- - ・複数のパソコンに同じ「Wake-up-ID」を設定すると、一回のリモートパワーオン依頼で複数のパソコンを起動することができます。
 - ・ホストデータベース情報は「リモートパワーオン機能」、「DHCPスタティック機能」、「DNSサーバ機能」で使われており、それぞれ必要な項目だけを設定します。

MAC アドレス 基本編 「補足」(P.56)

	3	
ホスト名		
IPアドレス	192 .168 .1 .2	
MACアドレス	00 :00 :0e :22 :01 :23	
Wake-up-ID	5678	

4 [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

リモートパワーオン機能を使う

- パソコンまたは電話機で、NetVehicleの電話番号(ISDN 契約者番号)を入力します。
- **2.** 相手先サブアドレスに、起動させるパソコンの「Wake-up-ID」を指定します。 NetVehicle が該当するパソコンに対して「Magic Packet」を送信し、パソコンが起動します。
 - (補) に パソコンがMagic Packetを受信してから起動が完了するまで、数十秒から数分かかります(お使いの機種やOS によって異なります)。



NetVehicleには「コールバック機能」があります。コールバック先をあらかじめ登録しておきます。登録 済みの相手からアクセス要求があった場合は、まず認証を行い、いったん回線を切断したあと、NetVehicle から電話をかけ直します。

自宅や出張先などの遠隔地から事業所のサーバにアクセスする際、通信料金を事業所持ちにしたい場合に「コールバック機能」が便利です。また、NetVehicle側で通信料金を一括管理できます。

「コールバック機能」を使うと、不特定多数の人間によるアクセスを防止することもできます。



NetVehicle には以下の2種類のコールバック機能があります。

CBCP 方式を使用する

Windows[®] 95/98/2000/Me、WindowsNT[®] 3.51/4.0のダイヤルアップ機能に対応しています。着 信要求があった場合、いったん ISDN 回線を接続して、ID およびパスワードの入力による認証を行います。 認証が終わると Net Vehicle は回線を切断し、ダイヤル発信をやり直します。 この方式では、認証が終わるまでの通信料金がかかります。

無課金コールバックを使用する

NetVehicle どうしの場合だけ使用できます。ISDNのDチャネルを使って「発信者番号」による認証を行います。このとき回線は接続されません。認証が終わると、NetVehicle はダイヤル発信をやり直します。 ここではじめて回線が接続されます。この方式では、発信側にまったく通信料金がかかりません。

- ・Microsoft製品やCBCP方式をサポートしている装置とコールバックを行う場合、「CBCP」を選択してください。NetVehicle どうしでコールバックを行う場合、「無課金」も選択できます。
 - ・コールバック応答時は、コールバック要求時に相手先より通知された通信速度で応答します。つまり、64Kbps で要求があった場合には64Kbpsで、32Kbpsで要求があった場合には32Kbpsで応答します。

以下にコールバック機能を利用した設定例を記述します。

- (1) CBCP 方式でコールバック要求する
- (2) CBCP 方式でコールバック応答する
- (3)無課金コールバックでコールバック要求する
- (4)4無課金コールバックでコールバック応答する

ここでは、設定済みの接続先にコールバックを追加する場合を例に説明します。

■CBCP 方式でコールバック要求する

出張先のパソコンから会社のサーバにアクセスする際、コールバック要求を発行する例について説明しま す。



- 会社のネットワークの名前 :kaisya
- 接続先の名前 : office
- を照めを接続先情報の設定 「インターネットと LAN に同時接続する」(P.79)

コールバックを要求する接続先の情報を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「kaisya」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で「office」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [発信情報]で以下の項目を指定します。
 - コールバック要求 する
 コールバック方式 CBCP
 - コールバックウェイトタイマ 60秒
 - コールバック電話番号 03-3333-3333
 - ・「コールバック電話番号」および「コールバックサブアドレス」で設定した番号は、コールバック元に対して 通知するかけ直し電話番号およびサブアドレスを設定します。

・「コールバックウェイトタイマ」とはコールバック要求発行後、相手からのコールバック着信までの待ち時間 です。この時間内に着信が行われない場合、コールバックは失敗となります(推奨値:60秒)。 コールバックがうまく動作しないときは、この時間を長くしてください。

コールバック応答	С	しない	
	c	する	
		コールバック方式	CBCP -
		コールバックウェイトタイマ	60 秒
		コールバック電話番号	03-3333-3333
		コールバックサブアドレス	

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

【CBCP 方式でコールバック応答する

出張先から会社のサーバに<ノートパソコン + PHS>からアクセスがあった場合に、コールバック応答す る例について説明します。



通信条件

- ノートパソコン +PHS で出張先からアクセスする
- コールバックは CBCP 方式を指定
- コールバックウェイトタイマ :10秒

参照する情報

- 出張時のネットワークの名前 : outside
- 接続先の名前 : PHS

◆照◇ 接続先情報の設定 「外部のパソコンと接続する(TA&PHS)」(P.83)

コールバック応答する接続先の情報を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]でネットワーク名「outside」欄の [修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で「PHS」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [発信者番号識別による着信情報]で以下の項目を指定します。
 - コールバック応答 する
 - コールバック方式 CBCP
 - コールバックウェイトタイマ
 - コールバック電話番号 070-1234-5678

	C しない	
	 する 	
コールパック広答	コールバック方式 CBCP 💽	
コールバック心合	コールバックウェイトタイマ 10 秒	
	コールバック電話番号 070-1234-5678	
	コールバックサブアドレス	

10秒

・着信情報で「コールバック電話番号」および「コールバックサブアドレス」を設定した場合、コールバック時には、着信時に相手から通知される電話番号とサブアドレスではなく、ここに設定された番号を優先して使用します。

・「コールバックウェイトタイマ」とはコールバック要求を受け取ってからかけ直すまでの待ち時間です。回線 が切断されても交換機でしばらくは回線空き状態に戻らないため、それを待ち合わせるために使用します(推 奨値:10秒)。

コールバックがうまく動作しないときは、この時間を長くしてみてください。

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。

設定した内容が有効になります。

(補)定 上記のように出張先からの着信接続を行うための設定方法として「外部のパソコンから着信接続する(アクセ スサーバ機能)」(P.136)があります。その設定方法でも、コールバック応答を指定することができます。

|無課金コールバックでコールバック要求する

NetVehicle どうしを使って、ISDN回線を介して2つの事業所(東京、川崎)のネットワークを接続した 場合を例に説明します。川崎事業所から東京事業所に接続する際、コールバック要求をする情報を追加し ます。



■ コールバックウェイトタイマ :60秒

参照する情報

「川崎事業所]

- 東京事業所のネットワークの名前 : kaisya
- 接続先の名前 :tokyo

●照
 「事業所 LAN どうしを ISDN で接続する」(P.73)

コールバック要求する接続先の情報を設定する(川崎事業所)

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。 「相手情報設定」ページが表示されます。
- [ネットワーク情報一覧]でネットワーク名「kaisya」欄の[修正]ボタンをクリックします。
 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で「tokyo」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [発信情報]で以下の項目を指定します。
 - コールバック要求 する
 - コールバック方式 無課金
 - コールバックウェイトタイマ
 60秒

(補) 足 無課金コールバックでは [発信情報]で「コールバック電話番号」および 「コールバックサブアドレス」を設定しても、これらの番号は相手に通知されません。

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

|無課金コールバックでコールバック応答する

NetVehicle どうしを使って、ISDN 回線を介して2つの事業所(東京、川崎)のネットワークを接続した 場合を例に説明します。川崎事業所から東京事業所に接続する際、東京事業所からコールバック応答をす る情報を追加します。



- コールバックは無課金方式を使用
- コールバックウェイトタイマ :10秒

参照する情報

[東京事業所]

- 川崎事業所のネットワークの名前 :kaisya
- 接続先の名前 :kawasaki

コールバック応答する接続先の情報を設定する(東京事業所)

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「kaisya」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で「kawasaki」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [発信者番号識別による着信情報]で以下の項目を指定します。
 - コールバック応答 する
 - コールバック方式 無課金
 - コールバックウェイトタイマ 10秒

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



NetVehicleはマルチTA機能をサポートしています。マルチTA機能を使用すると、LAN上につながれた パソコンからNetVehicleを擬似的なTAとして共有できます。マルチTA機能とルータ機能を同時に使用 することもできます。パソコンから、NATを使用せずに通信が行えるので、NATを利用すると通信できな いアプリケーション(例えば、電子会議やインターネットゲームなど)を使用する際に便利です。

- マルチ TA 機能は、Windows[®] 95/98/2000のダイヤルアップネットワークに含まれる VPN の機能を利用して、装置に RS232C 接続された TA からの発信と同等の PPP セッションを確立を行うことが可能です。動作確認済みのOSは、Windows[®] 95/98/2000です。Windows[®] 95の場合は、Microsoft[®] Windows[®] 95 ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップグレードが必要です。
- マルチTA機能を使用する場合、着信、コールバック、MP、課金制御機能、スケジュール機能の動作は行えません。
- マルチTA機能の使用中は、かんたん操作の「強制切断」は使用できません。
- パソコン側の設定でDNSサーバが指定されており、かつ、ルータ設定で「相手情報」の「自動ダイヤル」に「する」が設定されている場合にマルチTA機能を使用すると、2回線(Bチャネル1本をルータ機能、もう1本をマルチTA機能)接続されるため異常課金の原因になることがあります。また、アナログ機器で先に回線を1本使用している場合、マルチTA機能を使用できない場合があります。

ここでは、ある特定のパソコンでマルチ TA 機能を利用して電子会議を行う場合を例に説明します。



通信条件

- ISDN に接続する
- 端末型ダイヤルアップ接続を行う
- 電子会議をするパソコンの IP アドレス : 192.168.1.2
- 会社のルータが接続されている電話番号 :03-1111-1111
- 会社のルータの IP アドレス : 192.168.2.1
- 5 時間経過した場合回線を強制切断する
- ユーザ認証 ID(会社) : user1
- ユーザ認証パスワード(会社) : userpass

マルチ TA 情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「マルチ TA 情報」をクリックします。
 「マルチ TA 情報」ページが表示されます。
- 2. 以下の項目を指定します。
 - マルチ TA の使用 使用する
 - 同時アクセス数 1
 - アクセス制限 下記のパソコンのみ許可する

5

- IP アドレス 192.168.1.2
- アドレスマスク 32
- 強制切断タイマ

	3
マルチTAの使用	♀ 使用しない ● 使用する
同時アクセス数	1
アクセス制限	C 全て許可する
	● 下記のパソコンのみ許可する
	IPアドレス 192,168,1,2
	アドレスマスク 32 (255.255.255.255) 💽
強制切断タイマ	5 時間

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

VPN アダプタを準備する(Windows[®] 95 / 98 の場合)

Windows® 95をお使いの場合は、Microsoft® Windows® 95ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップ グレードのマニュアルを参照してください。 Windows デスクトップの設定で「Web スタイル」を指定してある場合は、「ダブルクリック」と記載して あるところは「シングルクリック」で操作できます。

- **1** 「コントロールパネル」ウィンドウを開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで「Windows ファイル」タブをクリックして選択します。「ファイルの種類」ボックスで「通信」を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

ーー・		214
アフリケーションの追加と削除のプロハナイ	_	-1-
インストールと削除 Windows ファイル 起動ディスク	ク	
各チェックボックスをクリックして、追加また(期間除するファイ	ルを選択してください。	.影
付きのチェックホック人は、コンボーネントの一部だけかイン。 す。 [詳細] をクリックすると、ファイルの内容が表示されま	人トールされることを表 す。	:03
50 mmm 25555 act 57 19703 1210 act.error		
ファイルの種類(<u>C</u>):		_
✓ 4 マルチメディア	3.3 MB	-
☑ ユーザー補助	0.6 MB	
🗆 🧶 多国語サポート	0.0 MB	
▼ ② 通信	7.6 MB	•
	000 MD	
インストール済みファイルのディスク領域:	36.0 MB	
20安なチョスク頼敬: 空きディスク領域:	10093 MB	
一説明	100010 1110	_
ほかのコンピュータやオンライン サービスとの通信に使うフ	^ッ クセサリです。	
		.
選択数: 4/8 個	詳細(<u>D</u>)	
	ディフカ使用(い)	
		-
 OK キャン	セル 適用()	4)

「通信」ダイアログボックスが表示されます。

ここで「ファイルの種類」ボックスに「ダイヤルアップネットワーク」および「仮想プライベートネット ワーク」が選択されているかを確認し、なければ以下に示す手順で準備します。

3. 「ダイヤルアップネットワーク」および「仮想プライベートネットワーク」をチェックし、 [OK]ボタンをクリックします。

通信	×
コンボーネントを追加するにはチェックボックスをオンにし、そ にしてください。影付きのボックスは、コンボーネントの一部 ることを表わします。ファイル一覧を表示するには、『詳細』	「心要な項目はクリア だけがインストールされ 」をクリックしてください。
ファイルの種類(<u>C</u>):	
💷 📴 ダイヤルアップ サーバー	0.0 MB 🔺
🗹 📴 ダイヤルアップ ネットワーク	1.2 MB
☑ 🔩 ハイパーターミナル	1.5 MB
☑ 📴 仮想プライベート ネットワーク	0.0 MB 🗖
開にインストールされているファイルのディスク領域: 必要なディスク領域: 空きディスク領域: 説明 インターネットなどのバブリックネットワークを介して安全に 一クに接続できます。	36.0 MB 0.0 MB 1009.1 MB
OK	詳細(0)
	112 677

4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスで[OK]ボタンをク リックします。

ダイヤルアップネットワークの設定をする(Windows®95/98の場合)

- **】**Windows[®]の画面左上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
- 2. 「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックします。
- 3. 「ダイヤルアップネットワーク」の「新しい接続」をダブルクリックします。
- 4.「新しい接続」で以下の項目を指定します。
 - 接続名 ISP 仮想接続

■ モデム	Microsoft VPN Adapter
新しい接続	
	接続名(①): [5P仮想接続 モデムの違択(①): 《 Microsoft VPN Adapter ・ 訳定(②).
	< 戻る(四) 次へ(20) キャンセル キャンセル

5. [次へ]ボタンをクリックします。

6. 以下の項目を指定します。

ホスト名または IP アドレス

192.168.1.1 03-1111-1111(IPアドレスと電話番号の間に 半角空白を入れます)

新しい接続	
	VPN サーバーの名前またはアドレスを入力してください: ホスト名または IP アドレス(止): [192:168:1.1 03-1111-1111
	〈戻る個〉 次へ処〉 キャンセル

〈補〉足〉相手先のサブアドレスを指定する場合は、電話番号の後ろに "*" で続けて指定します。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

8. [完了]ボタンをクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」に「ISP 仮想接続」のアイコンが作成されます。

🔯 ダイヤルアップ ネ	ネットワーク	b						ļ	- 🗆 🗵
」 ファイル(E) 編集	集(E) 表	5示⊙ :	移動(<u>G</u>)	お気に入り	(<u>A</u>) 接続	(<u>C</u>) ~,	レプ(圧)		
ゆ・ 戻る 進	▶ - む	È La	》 作成	ダイヤル	飘翻		日 貼り付け	い) 元に戻す	入前除
🗍 アドレス 🖻 ダイヤ	アルアップ ネ	いトワーク							•
ダイヤルア ネットワー 新しい接続 新しい接続のされ に、タイヤルアップ ワーク接続のされ 手順をうて手則 す。画面に表示で 示に従ってくだをい	シップ	新 新	しい接続	LSP仮想掛	跷统				
1 100/3772191622	選択			ļ					//_

- **9.** 「ISP 仮想接続」のアイコンを選択し、「ファイル」メニューから「プロパティ」を選択します。
- 10.「サーバーの種類」タブをクリックします。
- 11. 以下の項目を指定します。



[詳細オプション]の「データの暗号化を使う」は選択(使用)しないでください。

.

12. [TCP/IP 設定]をクリックします。

- 13. 以下の項目を指定します。
 - サーバーが割り当てた IP アドレス 選択する
 - サーバーが割り当てたネームサーバアドレス 選択する
 - IP ヘッダー圧縮を使用
 - リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使用 選択する

選択する

 ● サーバーが書り当てた ● P アドレスを指定する ● P アドレスを指定する 	<u>IP 7FL2S)</u> 90	<u> </u>
 ・ サーバーが書り当てた。 ・ マーム・サーバー アドレー 	ネーム サーバー アドレス(E) レスを指定する(M)	
ブライマリ DNS(<u>D</u>): セカンダリ DNS(N):		
ブライマリ WINS(<u>W</u>):		
セカンダリ WINSの:	©	
 ■ リモート ネットワークで: 	デフォルトのゲートウェイを使う(@) OK キャンセル	

- 14. [OK] ボタンをクリックします。
- **15.**「ISP 仮想接続」ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックします。 設定を終了します。

マルチTA機能を使って会社のネットワークに接続する(Windows®95/98の場合)

- Windowsの画面左上の「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」アイコン をダブルクリックします。
- **2.** 「ダイヤルアップネットワーク」の「ISP 仮想接続」をダブルクリックします。 [接続]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 「ユーザー名」と「パスワード」を指定します。

■ ユーザー名	user1
■ パスワード	userpass
⇒ 接続	? ×
ISP1	反想接続
ユーザー名(山):	user1
パスワード(<u>P</u>):	****
	▶ パスワードの保存(2)
VPN サーバー(⊻):	192.168.1.1 03-1111-1111
	接続 キャンセル

4. [接続]ボタンをクリックします。 「ユーザ名」と「パスワード」の確認処理が終わると、回線が接続されます。 タスクバーにダイヤルアップネットワークのインジケータが表示されます。



5. 回線を切断するときは、ダイヤルアップネットワークのインジケータをダブルクリックして、表示されたダイアログボックスで[切断]ボタンをクリックします。

ੇ≣®ISP仮想	接続に接続		? ×
	10,000,000 bps 接続時間: 受信バイト数: 送信バイト数:	で接続 000:01:00 327 2,927	OK

 (補) 2 NetVehicle、パソコン間がLAN でつながっているため、「ISP 仮想接続に接続」画面上には、「10,000,000bps で接続」と表示されます。

ダイヤルアップネットワークの設定をする(Windows[®] 2000 の場合)

- 「コントロールパネル」ウィンドウを開き、「ネットワークとダイヤルアップ」アイコンをダブルクリックします。
- 2.「ネットワークとダイヤルアップ接続」の「新しい接続」をダブルクリックします。
- 3. [次へ] ボタンをクリックします。
- **4** 「ネットワーク接続の種類」で「インターネット経由でプライベートネットワークに接続する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



5.「パブリックネットワーク」で「最初の接続にダイヤルしない」のラジオボタンがチェック されていることを確認します。「パブリックネットワーク」設定画面が表示されない場合、 手順 7.に進みます。

ネットワークの接続ウィザード
パブリック ネットワーク 必ず最初にパブリック ネットワークに接続するように指定できます。
仮想接続を確立する前に、インターネットまたはほかのパブリック ネットワークへの最初の接続を自動的に ダイヤルできます。
● 最初の接続にダイヤルしない(型)
○ 次の最初の接続に自動的にダイヤルする(A):
V
,
< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル

- 6. [次へ] ボタンをクリックします。
- 7.「接続先のアドレス」で以下の項目を指定します。
 ・ホスト名またはIPアドレス 192.168.1.1 03-1111-1111
 (IPアドレスと電話番号の間に半角空白を入れます)



8.[次へ]ボタンをクリックします。

「接続の利用範囲」で「すべてのユーザ」のラジオボタンがチェックされている ことを確認します。

ネットワークの接続ウィザード
接続の利用範囲 新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用に指定できます。
この接続をすべてのユーザー用または自分専用に指定できます。自分専用のプロファイルに格納した接続 は、あなたがログオンしたときだけ利用できます。
この接続を利用できるユーザーを指定してください。 「「すべてのユーザー(F) 「自分のみ(Q)
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 9. [次へ]ボタンをクリックします。
- 10. [完了]ボタンをクリックします。
- 11. 接続画面が表示されたら、「プロパティ」を選択します。

仮想プライベート接続	? ×
全般 オブション セキュリティ ネットワーク	
宛先の木スト名または IP アドレス (例: microsoft.com または 123.45.6.78)(-	<u>+</u>):
192.168.1.1 03-1111-1111	
■ 最初の接続	- 1
この仮想接続を確立する前に、まず最初にインターネットなどのパブリック ネットワークに接続するようにできます。	
■ 別の接続に最初にダイヤルする(0):	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
☞ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する(₩)	
OK *+>>t	211

- 12. 「セキュリティ」タブをクリックします。
- **13.** 「セキュリティオプション」で「データの暗号化を必ず要求する(データが暗号化されていない場合は切断する)」のチェックボックスのチェックを外します。



- **14.** [OK]ボタンをクリックします。
- 15. [キャンセル]ボタンをクリックして設定を終了します。

マルチTA機能を使って会社のネットワークに接続する(Windows[®] 2000の場合)

- **1**「コントロールパネル」ウィンドウを開き、「ネットワークとダイヤルアップ」アイコンをダ ブルクリックします。
- **2.**「仮想プライベートネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- **3.**「ユーザ名」と「パスワード」を指定します。 ユーザー名 user1 パスワード userpass

仮想プライベート接続	もへ接続	<u>?</u> ×
	R R N	
	The second secon	
ユーザー名(山):	user1	
パスワード(<u>P</u>):	*****	
	「「パスワードを保存する(S)	
接続(<u>C</u>)	キャンセル プロパティ(0) ヘルプ	(H)

4. [接続]ボタンをクリックします。

「ユーザ名」と「パスワード」の確認処理が終わると、回線が接続されます。 タスクバーにダイヤルアップネットワークのインジケータが表示されます。

2 ANJ	
>/ V: 5	10:15

5. 回線を切断するときは、ダイヤルアップネットワークのインジケータをダブルクリックして、表示されたダイアログボックスで[切断]ボタンをクリックします。

仮想プライベート接続 状態 全般 詳細		<u>? ×</u>
_ 按结		1
状態:		接続
維続時間		00:02:45
	送信 —— 三 月 ——	受信
지수ト	3,427	335
圧縮	0%	0%
エラー	0	0
	切断(0)	
		閉じる(<u>C</u>)



NetVehicleの「URLフィルタ機能」を利用すると、特定のURLへのアクセスを禁止することができます。 URLフィルタ機能を使用する場合は、「ProxyDNS情報」で設定します。 以下に設定例を説明します。



通信条件

■ アクセスを禁止するドメイン名:www.danger.ne.jp

URL の情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「URL フィルタ情報」をクリックします。 「ProxyDNS情報」ページが表示されます。
- **2.** [順引き情報一覧]の[追加]ボタンをクリックします。 「ProxyDNS情報設定(順引き)」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - ドメイン名 www.danger.ne.jp
 - 動作 破棄する

			3
ドメイン名		www	.danger.ne.jp
タイプ		すべ	て 👤 (番号指定 "その他"を選択時のみ有効です。)
送信于性報	IPアドレス		
시스 1 등 기 년 1 명 후 18	アドレスマスク	00	.0.0.0)
		c	廃棄する
		0	接続先のDNSサーバへ問い合わせる
動作			ネットワーク名
		0	設定したDNSサーバへ問い合わせる
			DNSサーバアドレス

4. [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



「*」は使えるの?

例えば「www.danger.ne.jp」と「XXX.danger.ne.jp」の両方をURLフィルタの対象とする場合 は「*.danger.ne.jp」と指定することで両方を対象にできます。



. . . .

こんな事に気をつけて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ProxyDNS(順引き)条件が複数存在する場合、それぞれの条件に優先順位がつき、数値の小さいものから優先 的に採用されます。優先順位を意識した設定を行わないと、通信ができなくなる場合がありますので、注意して ください。



NetVehicleは通信料金を節約するための機能を備えています。通信料金の無駄、使い過ぎを防ぐことがで きます。

ISDN回線やプロバイダの多くは一定時間を単位として料金を算定する従量課金制度を利用して料金を決めています。 通信料金が3分10円で計算される場合、3分の中で何度も切断/接続を繰り返すと、料金額はその回数×10円になります。

そこで課金単位時間(通信料金が計算されるときの単位時間)を設定し、無通信監視タイマ(初期値設定: 60秒)と連動することで、単位時間内は回線を切断させないようにします。無通信監視タイマとは、アク セスがなければ自動的に切断するときの単位時間です。

課金単位時間に3分間を指定した場合、以下のようになります。



また、データ通信に費やした通信時間や通信料金が一定の値を超えた場合、 接続を禁止したり、ログにア ラームを出したりする機能もあります(課金制御機能)。 無意識のうちに通信料金を使いすぎてしまうのを 防げます。

- (捕)定・超過課金対策のため、初期設定において1週間(毎週金曜日に課金情報をクリアする)で通信料金の累計が 3,000円を超えると発信抑止されるように設定されています。
 - ・通信時間や通信料金が設定した値を超え接続できなくなった場合でもアナログ機器の動作には影響しません。

 - 課金制御機能は、指定された料金を超えた場合に発呼を抑制する機能ですが、運用中の回線を切断する機能ではありません。回線の接続中に指定された料金を超えても回線が接続中のままだと料金がかかり続けます。その結果、通信料金が指定された金額を超えるのでご注意ください。

ここでは、ネットワーク名(internet)配下の「接続先情報」としてプロバイダA(ISP-A)がすでに登録 してある場合を例に説明します。 通信条件 無通信監視タイマ :60秒 課金単位時間 昼間(08:00~19:00) :180秒 夜間(19:00~23:00) :180秒 深夜・早朝(23:00~08:00) :240秒

- 詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックします。
 「相手情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ネットワーク情報一覧]で「internet」欄の[修正]ボタンをクリックします。 「ネットワーク情報設定」ページが表示されます。
- **3.** [接続先一覧]で[修正]ボタンをクリックします。 「接続先情報設定」ページが表示されます。
- 4. [基本情報]で以下の項目を指定します。
 - 無通信監視タイマ
 課金単位時間(昼間)
 課金単位時間(夜間)
 第金単位時間(夜間)
 第金単位時間(深夜・早朝)
 240秒
 無通信監視タイマ
 秒

****/*********************************	100 12
	昼間(月~金) (08:00~19:00) 180 .0 秒
課金単位時間	夜間(土日の昼間) (19:00~23:00) [180].0] 秒
	深夜·早朝 (23:00~08:00) 240 10 秒

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

課金制御機能を設定する

ここでは、接続累計時間が50時間、または通信料金の合計が10,000円になったら接続要求の抑止を設 定する場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックします。
 「回線情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [ISDN 情報]で以下の項目を指定します。
 - 課金制御 する
 - 上限時間
 50時間
 - 制御動作 発信抑止(通信時間累計が上限値になった場合の動作)
 - 上限金額 10,000円
 - 制御動作 発信抑止(通信料金累計が上限値になった場合の動作)

(補)足「システムログ出力のみ」を選択した場合は、通信時間が「上限時間」で設定した値を超えた、または通信料金 が「上限金額」で設定した値を超えたときに、システムログ情報に警告通知を記録します。

	0 Utal	١
	⊙ する	
調会制御	0.4.86	上限時間 50 時間 🔹
a来 亚 和山印	181 14181	制御動作 💿 発信抑止 🖸 システムログ出力のみ
	A #8	上限金額 10000 円
	玉額	制御動作 💿 発信抑止 🖸 システムログ出力のみ

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

- (補)足)・現在の課金情報は、表示メニューで「課金情報」をクリックすると表示されます。
 - ・課金情報をクリアすることで、再度、発信ができるようになります。課金情報をクリアするには、表示メニューの「課金情報」から行います。



本書の表記で使われる通信料金とは、INS ネット64基本サービスの「料金情報通知」をもとに、 NetVehicle のソフトウェアが算出した値です。算出される値は、お客様の契約や回線利用状況により異なりますので、請求 金額とは必ずしも一致しません。

例えば以下のような場合があります。

- INS テレホーダイサービス利用時
- NTT DoCoMo以外の自動車電話・携帯電話と通話した場合
- PHS と通話した場合 (PIAFS によるデータ通信も含む)
- 本装置の電源を切ると、課金情報(通信時間累計、通信料金累計等)はすべてクリアされます。



NetVehicleのEメールエージェント機能には、以下の機能があります。

- ・メールチェック機能
- ・リモートメールチェック機能
- ・メール転送機能
- ・メール一覧送信機能
- ・TELメール機能
- ・メール着信通知機能



- \bigcirc
 - 設定前に Net Vehicle の内部時計を正しくセットしてください。

こんな事に気をつけて・・・・・・・・・・

文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「"」、「<」、「<」、「<」、「、」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。

(補) E メールエージェント機能は、スタンバイモードでも動作します。NetVehicleは、指定時刻になると動作し、終 了するとスタンバイモードに戻ります。

■ メールチェック機能

NetVehicleのメールチェック機能は、NetVehicleが定期的にダイヤルアップし、メールサーバにメール が着信しているかどうか確認する機能です。メールが届いていた場合、CHECK ランプが緑色に点滅しま す。

ここでは、NetVehicleから定期的にメールサーバに接続し、メールの着信を確認する場合を例に説明します。



通信条件

- メールの着信を1日2回(午前10時と午後3時)確認する
- メールサーバ名(POP サーバ) : pop.server.ne.jp
- メールのユーザ名 : user1
- メールのパスワード : himitu
- 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。
 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [メールチェック情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「メールチェック情報設定」ページが表示されます。

- 3. [メールチェック情報]で以下の項目を指定します。
 - ユーザ名 user1
 - パスワード himitu
 - POP3 サーバ(ホスト名) pop.server.ne.jp
 - 確認時間 時刻で指定(毎日 10:00、毎日 15:00)

メールチェック	7情報] [3]	
ユーザ名	luser1	
パスワード	*****	
POP3サー バ	ホスト名 pop.server.ne.jp ボート番号 110 番	
確認時間	 ●時刻で指定 毎日 ● 11:00 毎日 ● 15:00 毎日 ● 15:00 毎日 ● 1: ⑦ 問稿で指定 ⑦ パーレチェックを行わない時間帯を指定する場合は、開始時刻/終了時刻を指定してください。 ○ ○ から ○ から ○ 	

- 4. [更新]ボタンをクリックします。 「Eメールエージェント情報設定」ページに戻ります。
- 5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

メールチェックの確認方法

NetVehicle は、指定した時刻になるとメールチェックを行います。以下の方法で確認できます。 ■ 表示メニューで件数と差出人 / 題名 / 時刻を確認できます。

▲照「電子メール着信通知を見る」(P.263)

■ リモートメールチェック機能

NetVehicleのリモートメールチェック機能は、PHSからNetVehicleに電話をかけて、NetVehicleに メールチェックさせる機能です。リモートメールチェック機能とメール転送機能もしくはメール一覧送信 機能を使って、離れた所から必要なときにメールを受けたり、メールの一覧を確認したりできます。

こんな事に気をつけて・・・・・・・・・・・ • • • • • • • • • • •

サブアドレスを指定できない携帯電話等のアナログ機器からは、この機能を利用できません。

ここでは、PHSからNetVehicleに電話をかけて、メールの着信を確認する場合を例に説明します。



通信条件

- PHSを使ってNetVehicleにメールチェックさせる
- リモートチェック ID (サブアドレス) :1234
- メールサーバ名
- メールのユーザ名

:user1

: pop.server.ne.jp

- メールのパスワード : himitu
- (補)定 この例では、メールが届いていた場合、表示メニューに表示、またはNetVehicleのCHECKランプが緑色に点滅 します。離れた場所からメール端末等でメールを受け取ったり、メールの一覧を確認するには、メール転送機能 またはメール一覧送信機能を使う必要があります。

参照 メール転送機能(P.174)、メール一覧送信機能(P.177)

- 1. 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- 2. [メールチェック情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「メールチェック情報設定」ページが表示されます。

3. [メールチェック情報]で以下の項目を指定します。

- ユーザ名
- パスワード

- user1 himitu pop.server.ne.jp 1234

■ メールサーバ (ホスト名)

■ リモートメールチェック ID

ールチェック	[音報]
ーザ名	luser1
(スワード	****
POP3サー い	ホスト名 pop.server.ne.jp ボート番号 110 番
雇認時間	 ・時刻で指定 毎日 毎日 一 毎日 一 毎日 一 一 毎日 一 一 一 一 一 一 から 一 から 一 一 から 一 から 一 一 から 二
自動消去	C 使用する © 使用しない
APOP認証	○ 使用する ● 使用しない
レモートメー レチェックID	1234

. リモートメールチェックIDは、アナログ設定の「アナログポート情報」の「サブアドレス」、「留守確認用番号」、 および「アナログ共通情報」の「設定変更用暗証番号」と別の番号を設定してください。

4. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

メールチェックの操作方法

外から PHS 等の ISDN 機器を使って、Net Vehicle に電話をかけます。 正常に受け付けられた場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。

■ 相手電話番号 サブアドレス(リモートメールチェック ID) 例) 03-1111-1111 ¥ 1234

メールチェックの確認方法

NetVehicle に電話をかけるとメールチェックを行います。確認のしかたには以下の方法があります。 ■ 表示メニューで確認する

「電子メール着信通知を見る」(P.263)

メール転送機能

NetVehicleのメール転送機能は、メールサーバに着信しているメールを指定した別のメールアドレスに転送する機能です。



- 特定の人からのメールを1日2回(午前10時と午後3時)別のメールアドレスへ転送する
- 特定の人のメールアドレス : friend@mail.ne.jp
 転送先のメールアドレス : user2@mail.ne.jp
 メールサーバ名(POPサーバ) : pop.server.ne.jp
 メールサーバ名(SMTPサーバ) : smtp.server.ne.jp
 メールのユーザ名 : user1
 メールのパスワード : himitu

メールチェック情報を設定する

メール転送機能を使用するには、メールチェック機能またはリモートメールチェック機能の設定が必要です。この例では、user1に対してメールチェックの設定を行っていることを前提に説明します。

メール転送情報を設定する

- 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。
 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [メールチェック情報一覧]で user1の欄の [修正] ボタンをクリックします。 「メールチェック情報設定」ページが表示されます。

- 3. [メール転送 / 一覧送信情報]で以下の項目を指定します。
 - 転送 / 一覧送信 メールを転送する
 - SMTP サーバ(ホスト名) smtp.server.ne.jp

[メール転送/一覧送	(言'情 華冏]	3
転送/一覧送信	✓ メールを転送する □ メールー覧を送信する	
SMTPサーバ	ホスト名 Smtp.server.ne.jp ボート番号 25 番	

9. 宛先メールアドレスの欄の[追加]ボタンをクリックします。
 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
 「宛先メールアドレス設定」ページが表示されます。

- 5. 以下の項目を指定します。
 - メールアドレス user2@mail.ne.jp

	3
メールアドレス user2@mail.ne.jp	

- **6.** [更新]ボタンをクリックします。 「メールチェック情報設定」ページに戻ります。
- 7. [メール転送条件]で以下の項目を指定します。
 - 動作 条件に従う
 - 条件 以下の条件を満たさない場合は転送しない



8. 条件の欄の[追加]ボタンをクリックします。

「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

「条件設定」ページが表示されます。

- 9. 以下の項目を指定します。
 - 転送 する
 - 条件 差出人に friend@mail.ne.jp が含まれる

転送	€ する ⊂ しない		
	差出人に frie	nd@mail.ne.jp	が含まれる
		または、	
条件	宛先に		が含まれる
		または、	
	題名に		が含まれる

10-[更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

■ メールー覧送信機能

NetVehicleのメール一覧送信機能は、メールサーバに着信しているメールの一覧情報をメールで送信する 機能です。

ここでは、着信しているメールの一覧情報をメール端末へ転送する場合を例に説明します。



通信条件

- メールの着信履歴を1日2回(午前10時と午後3時)送信する
- メールサーバ名(POP サーバ) : pop.server.ne.jp
- メールサーバ名(SMTP サーバ):smtp.server.ne.jp
- メールのユーザ名 : user1
- メールのパスワード : himitu
- 送信先のメールアドレス : user2@mail.ne.jp

メールチェック情報を設定する

メール転送機能を使用するには、メールチェック機能またはリモートメールチェック機能の設定が必要で す。この例では、user1に対してメールチェックの設定を行っていることを前提に説明します。

メール転送情報を設定する

- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [メールチェック情報一覧]で user1の欄の [修正] ボタンをクリックします。 「メールチェック情報設定」ページが表示されます。

- 3. [メール転送 / 一覧送信情報]で以下の項目を指定します。
 - 転送 / 一覧送信 メール一覧を送信する
 - SMTP サーバ(ホスト名) smtp.server.ne.jp
 - 一覧形式
 1 件を複数行で送信する
 - (補) C PHSなど表示できる一行の文字数が少ないメール端末では、一覧形式を「1件を複数行で送信する」がおすすめ です。

転送/一覧送信	 □ メールを転送する ▼ メールー覧を送信する 	
SMTPサーバ	ホスト名 [smtp.server.ne.jp ポート番号 [25] 番	
宛先メールアドレス	追加 全削除	
差出人変更	 しない する 差出人メールアドレス 	
転送サイズ指定	 C はない C する 本文が半角で、約 文字以内 《メールを転送する場合のみ有効です》 	
一覧形式		

4. 宛先メールアドレスの欄の[追加]ボタンをクリックします。 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタ ンをクリックします。

「宛先メールアドレス設定」ページが表示されます。

- 5. 以下の項目を指定します。
 - メールアドレス user2@mail.ne.jp

		3
メールアドレス	user20mail.ne.jp	

6. [設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。
メール一覧の受信例

この例では、以下のような一覧内容が届きます。

From: NetVehicle <user1@smtp.server.ne.jp>(1) Subject: Mail list (user1) 01.02/29 10:00 (送信時刻が表示されます) 差出人: girl@mail.ne.jp (2) 題名: Hello (メールの題名が表示されます)

- 1): < >内は差出人のメールアドレスが記入されます。差出人変更の欄の差出人メールアドレスを指定 した場合、指定したメールアドレスが記入されます。
- 2): 差出人名が書かれているメールの場合は、差出人名が表示されます。書かれていない場合は差出人 メールアドレスが表示されます。

📰 TEL メール機能

NetVehicleのTELメール機能は、かかってきた電話(アナログ)の着信履歴をメールで送信する機能です。



- TELメールの送信情報が「発信者番号のみ送信する」に設定されている場合、発信者番号通知が非通知になっている電話からの着信履歴は送信されません。
- TELメールの送信情報が「発信者番号と着信番号を送信する」に設定されている場合、発信者番号と着信番号の どちらも有効な情報がない時は、TELメールによる着信履歴は送信されません。
- TEL メールの着信番号は以下のように設定されます。
 - 1)ダイヤルインサービスおよび1・ナンバーサービスを利用しない場合

回線から通知されないため、TELメールの情報に着信番号は含まれません。「アナログ共通情報」の「網契約 に関する設定項目」の「電話番号」に電話番号が設定されていれば、その番号がTELメールの着信番号とし て送信されます。

2)ダイヤルインサービスを利用している場合

回線から通知された着信番号(ダイヤルイン番号)がTELメールの着信番号として送信されます。ただし、グローバル着信を利用している場合、契約者番号にかかってくると回線から着信番号が通知されません。この場合は、「アナログ共通情報」の「網契約に関する設定項目」の「電話番号」に電話番号が設定されていれば、その番号がTELメールの着信番号として送信されます。

3) i・ナンバーサービスを利用している場合

「鳴り分け1」、「鳴り分け2」、または「鳴り分け3」がTELメールの着信番号として送信されます。ただし、「アナログ共通情報」の「網契約に関する設定項目」の「鳴り分け番号1/2/3」に電話番号が設定されていれば、その番号がTELメールの着信番号として送信されます。

ここでは、定期的に電話の着信履歴をメールで送信する場合を例に説明します。



通信条件

- ダイヤルインサービスを利用する
- アナログポート1につながっている電話への着信履歴を1時間ごとにメールする
- 送信先のメールアドレス : user2@mail.ne.jp
- 差出人のメールアドレス : tel1@netvehicle
- メールサーバ名 : smtp.server.ne.jp
- **1** 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- **2.** [TELメール情報]で以下の項目を指定します。
 - TEL メール 使用する

[TELメール 情報	ISDN	3
TELメール	፪ 使用する ♀ 使用しない	

送信情報(アナログポート1)の欄の[修正]ボタンをクリックします。
 「このページの情報が変更されています。更新しますか?」というメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
 [TELメール情報設定]ページが表示されます。

- 4. [アナログポート 1]で以下の項目を指定します。
 - 宛先メールアドレス user2@mail.ne.jp
 - 差出人メールアドレス tel1@netvehicle
 - SMTP サーバ(ホスト名) smtp.server.ne.jp
 - 認証情報 POP 認証しない
 - 送信周期 一定周期(1時間毎)
 - 送信情報

[アナロ	コグボ	-	ト1	

レノロシオ	(-[1]) <u>(3</u>)
宛先メー ルアドレ ス	user20mail.ne.jp
差出人メ ールアド レス	tel1@netvehicle
SMTPサ ーバ	ホスト名 Smtp.server.ne.jp ボート番号 [25
認証情 報	・ POP認証しない ・ POP認証する ・ ユーザ名 ・ パスワード ・ ・
送信周 期	 C 着信毎 一定周期 「一下同間」毎 TELメールの送信を行わない時間帯を指定する場合は、開始時刻/終了時刻を指定してください。 」」から」」 」」から」」 」」から」」
送信情 報	 ・予信者番号と著信番号を送信する ・ ・ ・

発信者番号と着信番号を送信する

[[#5]]

5. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

TEL メールの受信例

この例では、以下のような一覧内容が届きます。

From: NetVehicle<tel1@netvehicle> Subject: TEL1 Mail 01. 02/29 10:00 (着信した時刻が表示されます) 発:0311112222(発信者番号が表示されます) 着:0312345678(ダイヤルイン番号にかかってきた場合、着信番号が表示されます)

■ メール着信通知機能

メール着信通知機能を使用すると、メールが着信するとCHECKランプが緑色で点滅し、プロバイダにダ イヤルアップしなくてもメール着信を知ることができます。 ここでは、プロバイダAに着信メールがあったら通知する場合を例に説明します。

(補) こ・プロバイダと「メール着信通知」の契約をしておく必要があります。

・メール着信通知機能に対応しているプロバイダについては、NetVehicleのサポートページを参照してください。

・NTTと「ユーザ間情報通知サービス」で「着信許可」の契約をしておく必要があります。

・ダイヤルイン番号やサプアドレスを使用して着信させる場合は、「回線情報」の「着信番号チェック」でダイ ヤルイン番号やサプアドレスを指定しておく必要があります。

- ・ 詳細設定メニューのルータ設定で「Eメールエージェント情報」をクリックします。 「Eメールエージェント情報設定」ページが表示されます。
- 2. [メール着信通知情報]で以下の項目を指定します。
 - メール着信通知 使用する
 - サブアドレスチェック チェックしない
 - (補)定 ダイヤルイン番号およびサブアドレスを使用して複数のISDN機器を識別している場合にチェックする内容を 指定します。

[メール 若信通知情報	ISDN	3
メール著信通知	◎ 使用する ○ 使用しない	
サブアドレスチェック	 チェックしない 回線情報の自局番号でチェックする 以下の値でチェックする サブアドレス 	

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



ターミナルアダプタ(TA)とNetVehicleの両方を使用する場合には TAとNetVehicleの両方を使用し、ダイヤルイン番号およびサプアドレスで複数のISDN機器を識 別している場合に、それぞれにあてられたメールを識別するには以下の方法があります。

- ・電話番号(「回線情報」の自局番号チェックで指定)+サブアドレスで識別する
- ・メール着信用サブアドレスで識別する



NetVehicleの「スケジュール機能」では、特定の動作とそれを行う時間を登録できます。スケジュール予約情報を登録しておくと、特定の時間帯にデータの発着信を制限する、定期的に課金情報をクリアするといった作業をNetVehicleが自動的に行います。スケジュール予約情報は、最大16件まで登録できます。

- (補) と ・テレホーダイ時間以外の動作を発信抑止することで、テレホーダイ時間のみ発信可能な設定をすることができます。
 - ・初期設定では、毎週金曜日に課金情報がクリアされるように設定されています。

スケジュールを予約する

ここでは、毎日午後11時以降テレホーダイを利用する場合を例に説明します。



- ■「INSテレホーダイ」はNTTが提供するサービスです。利用の際は、NTTとの契約が必要です。
- 文字入力フィールドには半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。ただし、空白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となります。
- 詳細設定メニューのルータ設定で「スケジュール情報」をクリックします。
 「スケジュール情報」ページが表示されます。

2

[月間/週間予約一覧]

$\left \right\rangle$	動作	予約時刻	終了時刻	周期	修正/削除
1	課金情報クリア	00:00	-	毎週金曜	修正 削除
2	-	-	-	-	修正 削除
3	-	-	-	-	修正 削除

2. [月間 / 週間予約一覧]で未設定の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「月間 / 週間予約情報設定」ページが表示されます。

- 3. 以下の項目を指定します。
 - 動作 テレホーダイ(動作は「発信抑止」、「着信抑止」、「テレホーダイ」、「課金情報クリア」、「強制切断」、「スタンバイモードへ移行」、「スタンバイモードを解除」、「留守モードへ移行」、「留守モードを解除」から選択できます。)
 - 予約時刻 23:00 / 毎日
 - 終了時刻 08:00

			3
動作	テレホーダイ	•	
予約時刻	23 :00	• 毎日	
		○ 毎週□ 日曜日□ 月曜日□ 火曜日□ 水6	曜日
		□ 木曜日□ 金曜日□ 土曜日	
		○ 毎月──日	
終了時刻	08 :00		

3

- - 回線接続中に、発信抑止、着信抑止が実行されても回線は切断されません。

- 回線接続中に、スタンバイモードに移行した場合はデータ通信が切断されます。
- **4.** [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

電話番号変更を予約する

ここでは、1999年1月1日に電話番号を「06-123-4567」から「06-6123-4567」に変更する場 合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのルータ設定で「スケジュール情報」をクリックします。
 「スケジュール情報」ページが表示されます。
- **2.** [電話番号変更予約一覧]で未設定の欄の[修正]ボタンをクリックします。 「電話番号変更予約設定」ページが表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - 実行日時

1999年1月1日/2時00分

3

- 電話番号変更情報(変更前1)
 06-12
 - 06-123-4567
- 電話番号変更情報(変更後1)
 06-6123-4567

実行日時	1999 年	1月1日2時00分		
	変更前1	06-123-4567	変更後1	06-6123-4567
電話番号	変更前2		変更後2	
変更情報	変更前3		変更後3	
	変更前4		変更後4	

4. [更新]ボタンをクリックします。

「スケジュール情報」ページに戻ります。

- 5. [設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



NetVehicleでは、あらかじめ「留守モード情報」に留守(外出)中の動作を設定しておくことにより、在 宅時の設定(留守モードOFF)と留守中の設定(留守モードON)をかんたんに切り替えることができます。 「留守モード情報」には、以下の設定項目があります。必要に応じて留守モード中の動作を設定してください。

- ・留守中は、スタンバイモードで動作する。
- ・留守中は、メールチェックで取得したメールを転送する。
- ・留守中は、メールチェックで取得したメールの一覧情報をメールで送信する。
- ・留守中は、アナログポート毎の着信履歴をメールで送信する。
- ・留守中は、アナログの着信転送または疑似着信転送を行う。
- ・留守中は、アナログの留守確認機能を使用する。
- ・留守モードを解除する時に、メールチェックを行う(メール転送およびメール一覧送信は行いません)。
- - スタンバイモードの設定以外は、「留守モード情報」とは別にそれぞれの機能を使用するための設定が必要です。

「メール転送機能」(P.174)「メール一覧送信機能」(P.177)「TELメール機能」(P.180)
 「フレックスホンを使う」(P.210)「疑似着信転送を使う」(P.204)「留守状態を確認する」(P.251)

- なお、留守モード ON/OFF の切り替えを行うには、以下の方法があります。
 - ・NetVehicleの「操作メニュー」の「留守モード切り替え」から切り替える。
 - ・アナログポートに接続された電話機から切り替える。
 - ・スケジュール機能を使用して切り替える。

▲照〉「留守モードの ON/OFF を設定する」(P.258)、「留守モードの設定を行う」(P.246)、 「スケジュール機能を使う」(P.184)

留守モードの動作を設定する

ここでは、留守モード中はスタンバイモードで動作し、かつTELメールを送信する設定を行う場合を例に 説明します。

- 詳細設定メニューのルータ設定で「装置情報」をクリックします。
 「装置情報設定」ページが表示されます。
- 2. [留守モード情報]で以下の項目を指定します。
 - 動作 留守モード中は、スタンバイモードで動作する。
 留守モード中は、TELメールを送信する。





NetVehicleのアナログ 機能を利用する

この章では、

NetVehicle につないだアナログ機器を利用する方法を説明します	•	
スタンバイモードで使用する	1 :	90
アナログ機器を利用するにあたって	1	91
内線通話・内線転送機能を使う	1	9 2
内線通話をする	1	0 2 0 2
内縁地面とする	1	ອ∠ ດາ
アルらルルラくこと电面をもう カのアプログルードに転送する… 登録した来早々の発信を担制する	1	92
豆球した留ちへの光信を沈前9 る		94
商別有にて、ためのでは、「「」」では、「」」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」、「」」では、「」」、「」」では、「」」、「」」では、「」」、「」、「」」、「」、「」、「」、「」、」、「」、	13	95
相于電話金亏減別機能を使つ(優先有信機能)	1	96
看信電話番号識別機能を使つ	1 9	98
疑似迷惑電話お断りを使う	2(00
疑似キャッチホンを使う	2(02
疑似着信転送を使う	2(04
疑似三者通話を使う	2	06
疑似通信中転送を使う	21	08
フレックスホンを使う	2	10
フレックスホンのいろいろな機能を使う	2	11
フレックスホン自動切り替え機能を使う	2	15
INS ボイスワープを利用する	2	16
税信者番号素元(ナンバー・ディフプレイ)を使う	2	10
光に日田与秋小(ノンハーノイスノレイ)を使う	2	21
光に甘田与衣小(エアリアルノ・ノイスノレイ)を使う	2	∠ 1 つつ
光信有留ち週和の設定を変更する	2	23
完信有電話留写を選択9る	2	24
無鳴動 FAX 受信機能を使つ	22	25
1・ナンバー看信機能を使う	22	26
サブアドレスを設定する	23	27
ダイヤルイン / グローバル着信機能を 使う	2	28
ダイヤルイン / グローバル着信機能を設定する	2	28
モデムダイヤルイン機能を使う	2	30
モデムダイヤルイン機能を設定する(その1:自局電話番号を送出する)	2	30
モデムダイヤルイン機能を設定する(その2:任意の番号を送出する)	2	33
アナログダイヤルイン機能を使う	2	36
アナログダイヤルイン機能を設定する(その1・自局電話番号を送出する)	2	36
アナログダイヤルイン機能を設定する(その2・任音の番号を送出する)	2	38
リバーフパルフ洋出機能を使うしていた。このと、につい面子を送出すの)…	2	1 N
- 577 - スパルス区山()()にで ()	2.	40
电山阪と村市して収定を交更する	2.	41
时日で以たりる	2'	41
ドアトレスで設定りる	2'	4 Z
アノロク 筬肥を 設定 9 る	2'	43
有信転达光の設定を行う	2	44
TELメールの設定を行う	2	45
メールチェックを実行する	2	45
メール看信を消去する	2	45
図字状能の設定を行う		10
田寸仏恐の改定で11 ノ	2	40
留守モードの設定を行う	2 · 2 ·	4 6 4 6
留うれどの設定を行う	2	40 46 47
留守ても一ドの設定を行う 外線から設定を変更する(無課金) 設定変更用暗証番号を設定する	2 2 2 2	46 46 47 47
留守モードの設定を行う	2222	46 46 47 47 48
留守モードの設定を行う	22222	40 46 47 47 48 49
留うたどの設定を行う 留守たードの設定を行う 外線から設定を変更する(無課金) 設定変更用暗証番号を設定する 外線からアナログ機能の設定を変更する 外線からオーロン機能の設定を変更する 外線から着信転送先の設定を行う	2222222	40 46 47 47 48 49
留うれ窓の設定を行う	22222222	46 47 47 48 50
留うたらの設定を行う	222222222	46 47 47 48 50 51



データ通信を行わない場合などは、必要最小限の部分だけを動作させ、NetVehicleの消費電力を抑えることができます。「スタンバイモード」では、アナログ機器だけが使用できます。

スタンバイモードにする

「通常モード」と「スタンバイモード」の切り替えは、アナログポートにつないだアナログ機器から行います。

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

- **2.**
 <u>★</u> 5 をダイヤルします。
- 3. ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
- **4.** 受話器を置きます。 スタンバイモードで動作中は、NetVehicleのPOWERランプが緑色で点滅(点灯約2.5秒、消灯約0.5 秒)します。POWERランプ以外は消灯します。

通常モードにする

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- **2. ★** 6 *を*ダイヤルします。
- 3. ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。

4. 受話器を置きます。

すぐにモードを変更するには NetVehicle 出荷時には番号をダイヤルして (用を1回押すと、すぐにモードを変更するようになっ ています。「#機能ボタン使用」の設定はアナログ設定の「アナログ共通情報」で設定します。



アナログ機器は、NetVehicleで設定を行うとさらに便利な使い方ができます。電話機をつなぐ場合は、ア ナログポートにモジュラを差し込むだけで使用できます。

- 電話機を1台だけつなぐ場合は、TEL1ポートにつないでください。また、TEL2ポートを使用しないように設定を変更してください(アナログ設定の「アナログポート2情報」で「接続機器」を「なし」に設定してください)。
- NetVehicleを専用線で利用している場合は、アナログ機器は使えません(電話機を使用してIPアドレスの設定は行えます)。
- ナンバー・ディスプレイ対応アナログ機器の機種によっては、発信者番号が正常に表示されない場合があります。

電話の受話音量を調節する

ここでは、電話機をつないだアナログポートがポート1で、電話の受話音量を設定する場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 受話音量 「小」、「中」または「大」を選択する
- 3. [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

(Illa)

すぐに発信するには

NetVehicle 出荷時には、番号をダイヤルして #を1回押すと、すぐに発信するようになっています。「#機能ボタン使用」の設定は、アナログ設定の「アナログ共通情報」ページで設定します。

LCR機能等の付いた電話機を使うときには LCR機能を備えた電話機で相手先とうまくつながらない場合は、アナログ設定の「アナログ共通情 報」の順に選択し、「ダイヤル桁間タイマ」の時間を長め(10秒程度)に設定してください。

電話機のダイヤルで操作する手順の一覧を付録に載せています。

参照 基本編 「ダイヤル操作早見表」(P.117)



┃内線通話をする

- ┃ 受話器を上げ、ツーッという音が聞こえることを確認します。
- 2. 🛞 🛛 と押すと、呼び出し音が鳴ります。
- 3. 受話器を置いて、通話を終了します。

送する場合の2種類があります。

外からかかってきた電話をもう一方のアナログポートに転送する 内線転送には、転送する側の電話に相手が出たあとに転送する場合と相手の応答を待たないでそのまま転

他のアナログポートが応答したあとに転送する

- 通話中に受話器のフックを押し(以降フッキングと呼びます) 電話を保留にします。
 第2ダイヤルトーン(プップッという音)が聞こえてきます。
- 2. 🙀 🔲 と押して、もう一方のアナログポートにつないだ電話機を呼び出します。

(補) アッキングを行うと、保留中の相手と再度通話できます。



フッキングとは

受話器のフックを押してすぐに離すと、通話を保留できます。 これを「フッキング」といいます(フックを長く押しつづける と通話が切れてしまいます)。アナログ設定の「アナログ共通情 報」の「フッキング時間」で、フックを押してから通話が切れ るまでの時間を変えられます。



電話機にフックボタン、キャッチボタン、またはフラッシュボタンがある場合は、このボタンを使っ て通話を保留にします。

- 3. 相手が出たら、転送することを伝えます。
- **4.** 受話器を置いて、通話を転送します。 もう一方のアナログポートで、保留されていた相手と通話できるようになります。

もう一方のアナログポートが通話中の場合は、この機能を使うことができません。

他のアナログポートが応答する前に転送する

- 通話中に受話器のフックを押し、電話を保留にします。
 第2ダイヤルトーン(プップップッという音)が聞こえてきます。
- 2. ★ と押して、もう一方のアナログポートにつないだ電話機を呼び出します。
 ★ フッキングを行うと、保留中の相手と再度通話できます。
- 受話器を置くと、通話が転送されます。
 もう一方のアナログポートで受話器を取ると、保留されていた相手と通話できるようになります。

■ もう一方のアナログポートが通話中の場合は、この機能を使えません。

■ 受話器を置いたあとは、外線電話に戻ることができません。

4



あらかじめ登録しておいた局番や電話番号への外線発信を規制します。規制した局番の電話番号でも、特定 相手だけを外線発信を許可することもできます。また、ポートごとに発信を抑止する番号、発信を許可する 番号を設定できます。

外線発信規制番号を設定する

ここでは、アナログポート1から局番「06」への発信を抑止するが、「06-2222-4444」への発信だけ は許可する場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 【発信規制情報設定】で「外線発信を抑止する局番または電話番号」の欄の[追加]ボタン をクリックします。
 「発信規制情報(アナログポート1)」ページが表示されます。
- 3. [外線発信抑止番号設定]で以下の項目を指定します。

■ 抑止番号	06	
[外線発信抑止番号]	ð定]	3
抑止番号 06		

- **4.** [更新]ボタンをクリックします。 「発信規制情報(アナログポート1)」ページに戻ります。
- [発信規制情報設定]で「外線発信を許可する局番または電話番号」の欄の[追加]ボタン をクリックします。
 「発信規制情報(アナログポート1)」ページが表示されます。
- 6. [外線発信許可番号設定]で以下の項目を指定します。

■ 許可番号	06-22	22-4444
[外線発信許可番号設	(定]	3
許可番号 06-2222-	4444	



NetVehicleには、次のような識別着信機能があります。

 ・相手電話番号識別:相手先電話番号(10件まで)を登録しておけば、登録した番号からの電話が かかってきたときに、呼び出し音を変えたり、指定のアナログポートだけを呼び 出すことができます。また、相手ごとに着信条件を設定したり、着信拒否を設定 できます。公衆電話からかけてきた電話や、発信者番号を通知してこない電話に 対しても着信拒否などの動作を設定できます。

動作モード	説明
両ポート着信	着信時、両方のポートに接続された電話機の着信音が 鳴ります。
ポート1のみ着信 ポート2のみ着信	着信時、指定したポートに接続された電話機だけ、着 信音が鳴ります。
ポート1優先 ポート2優先	着信時、指定したポートに接続された電話機を優先し て着信音が鳴ります。
着信拒否	着信しません。

・着信電話番号識別:着信電話番号に応じて、呼び出し音を変えることができます。



リング音(呼び出し音)で区別する

NetVehicle では、アナログ機器への着信音(外線リング音、内線リング音、識別リング音)を3 種類のリング音(リング音1~3)で区別することができます。

リング音は、お好みに合わせて選択できます。ご購入時は以下のように設定されています。

- ・外線リング音 リーン・リーン(リング音1)
- ・内線リング音 リンリン・リンリン(リング音2)
- ・識別リング音 リンリンリン・リンリンリン(リング音3)

.

┃相手電話番号識別機能を使う(優先着信機能)

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

- ■「03-5555-5555」からの電話 ポート1のみを識別リング音(リング音3)で呼び出す。このときポート1を5回以上呼び出しても受 話器を取らない場合はポート2も識別リング音(リング音3)で呼び出す。
- 「03-5555-5555」以外からかかってきた電話
 ポート2のみを外線リング音(リング音1)で呼び出す。

外線リング音を設定する

- 1. 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

•	外線リング音	リング音 1	
	外線リング音	リング音1 💽	

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

識別情報を設定する

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「識別着信情報」をクリックします。
 「識別着信情報」ページが表示されます。
- 2. [識別着信共通情報]で以下の項目を指定します。
 - 識別着信優先リング回数 5
 - 識別リング音相手電話番号識別
 リング音3

[識別着信共通情	幸辰]	3
識別着信 優先リング回数	5	
識別リング音	◎ 相手電話番号	;識別 リング音3 ▼

- **3.** [識別着信情報一覧]でデフォルト定義のテーブルの欄の[修正]ボタンをクリックします。 「識別着信情報設定」ページが表示されます。
- 4. [識別着信情報]で以下の項目を指定します。

■ 動作モード	ポート 2 のみ着信
[識別着信情報]	3
動作モード ポート2のお	み着信 💌

5 [更新]ボタンをクリックします。 「識別着信情報」ページに戻ります。

- **6**. [識別着信情報一覧]で公衆電話着信のテーブルの欄の[修正]ボタンをクリックします。 「識別着信情報設定」ページが表示されます。
- 7. [識別着信情報]で以下の項目を指定します。
 動作モード ポート2のみ着信

[識別著信情	華隠]	3
動作モード	ボート2のみ着信	-

- **8.** [更新]ボタンをクリックします。 「識別着信情報」ページに戻ります。
- 9. [識別着信情報一覧]で発信者番号非通知着信のテーブルの欄の[修正]ボタンをクリックします。
 「識別着信情報設定」ページが表示されます。
- **10.** [識別着信情報]で以下の項目を指定します。 • 動作モード ポート2のみ着信

[識別著信情	幸辰]	3
動作モード	ポート2のみ着信	•

- **11** [更新]ボタンをクリックします。 「識別着信情報」ページに戻ります。
- 12. [識別着信情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「識別着信情報設定」ページが表示されます。
- 13. [識別着信情報]で以下の項目を指定します。
 - 識別定義名 sikibetu1(他の識別定義名と重複しない任意の定義名を指定します。)
 - 相手電話番号 03-5555-5555
 - 動作モード ポート 1 優先

[識別著信情報]		
識別定義名	sikibetu1	
相手電話番号	03-5555-5555	
相手サブアドレス		
動作モード	ポート1 優先 _	

■ 着信電話番号識別機能を使う

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

- 契約者回線番号(鳴り分け番号1)で着信したときは両ポートに着信し、リング音1で呼び出す。
- 追加番号(鳴り分け番号2)で着信したときはアナログポート1のみに着信し、リング音2呼び出す。
- 追加番号(鳴り分け番号3)で着信したときはアナログポート2のみに着信し、リング音3で呼び出す。

i・ナンバーを設定する

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

•	i・ナン	バ	-	使用する	
Ε	i・ナン	バー	-情報1]		
•	動作モー	·٢		両ポート着信	
E	i・ナン	バー	-情報 2]		
•	動作モー	・ド		ポート1のみ着信	
0 •	i ・ナン/ 動作モー	バー	-情報3]	ポート 2 のみ着信	
		o	使用しない		
		o	使用する		
			[i・ナンバー情報	in]	
			鳴り分け番号1		
			動作モード	両ポート著信	
i	・ナンバー		[i・ナンバー情報	[2]	
			鳴り分け番号2		
			動作モード	ポート1のみ着信 🔽	
			[i・ナンバー情報	33]	
			鳴り分け番号3		
			動作モード	ポート2のみ着信 🔽	

3. [更新]ボタンをクリックします。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「識別着信情報」をクリックします。 「識別着信情報」ページが表示されます。
- 2. [識別着信共通情報]で以下の項目を指定します。
 - 識別リング音 着信電話番号識別
 鳴り分け電話番号1 リング音1
 鳴り分け電話番号2 リング音2
 鳴り分け電話番号3 リング音3

	0 ©	相手電話番号識別 🛛	ング音3 👤
		契約者番号	リング音1 👤
前日山へんどウ		ポート1のダイヤルイン番号	リング音3 👤
識別リノク音		ポート2のダイヤルイン番号	リング音3 👤
		鳴り分け番号1	リング音1 💽
		鳴り分け番号2	リング音3 👤
		鳴り分け番号3	リング音3 👤



迷惑電話をかからないように設定することができます。かけてほしくない相手の電話番号を登録しておき、 その相手電話番号から電話がかかってきたときに、着信しないようにします。

また、かかってきた電話が迷惑電話だった場合などに、通話中にダイヤル操作で相手の電話番号を登録し、 以降、その電話番号からの電話は着信しないように設定できます。

こんな事に気をつけて

利用する際には、NTT との「INS ナンバー・ディスプレイ」契約が必要です。ただし、相手の方がINS ネット

64 から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、未契約でも利用できます。

疑似迷惑電話お断りを設定する

ここでは、以下のような場合を例に説明します。 ■「03-9999-9999」からの電話を着信拒否する

詳細設定メニューのアナログ設定で「識別着信情報」をクリックします。
 「識別着信情報」ページが表示されます。

- **2.** [識別着信情報一覧]で[追加]ボタンをクリックします。 「識別着信情報設定」ページが表示されます。
- 3. [識別着信情報]で以下の項目を指定します。
 - 識別定義名 meiwaku(他の識別定義名と重複しない任意の定義名を指定します。)
 - 相手電話番号 03-9999-9999
 - 動作モード 着信拒否

[識別著信情報]	3
識別定義名	meiwaku
相手電話番号	03-9999-9999
相手サブアドレス	
動作モード	着信拒否・

疑似迷惑電話お断りに登録する

通話中の相手電話番号を疑似迷惑電話お断りの対象として登録します。

- - 外線着信で通話中の相手のみ登録可能です。外線発信して通話した相手を登録することはできません。また、通話中に相手から切断され、ビジートーン送出中の状態では登録できません。
 - 識別着信情報にすでに10個の相手を設定してある場合は、この機能は利用できません。
 - 相手の方が発信者番号を通知しない契約を結んでいる、または通知しない設定をしている場合は、登録することはできません。

】・ 迷惑電話との通話中に、 ※ 9 # と押します。

(補)足 ダイヤル時、識別着信情報には、以下の内容が登録されます。

- ・識別定義名 : meiwaku0 ~ meiwaku9(登録済みの定義名は使用しません)
- ・相手電話番号 :通話相手の電話番号
- ・相手サブアドレス:通話相手のサブアドレス
- ・動作モード :着信拒否

2. 受話器を置きます。

以降、その相手からの電話は着信しません。



外線で話をしているときに別の人から電話がかかってきた場合、通話中の方を保留にして、かけてきた方と お話しすることができます。フレックスホンサービスに含まれる「INSキャッチホン」と同様の機能ですが、 疑似キャッチホンではNTTとの契約は必要ありません。

- データ通信中、およびもう一方のアナログポート使用中は電話をかけてきた側で話中になるのでこの機能を利用 できません。
- この機能を使用中は、もう一方のアナログポートは使用できません。また、データ通信も利用できません。

疑似キャッチホン機能を設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - キャッチホン 疑似キャッチホン



⁽補)) 「接続機器」で「電話」および「FAX(キャッチホン着信)」以外を指定した場合は、通信を妨げないようにする ため、疑似キャッチホンは利用できません。

疑似キャッチホンを使う



- 相手 A との通話中に相手 B から電話がかかってくると、受話器から通話中着信音が流れてきます。
 - (補) 足・通話中着信音を送出する時間を指定しておくことができます。「アナログポート1/2情報」(P.57)を参照して ください。
 - ・通話中着信音は、識別着信機能で相手に登録してあるリング音に対応して以下の表のようになります。
 - ・通話中着信音は、「識別着信共通情報」の「識別リング音」の設定により異なります。

「識別リング音」を「相手電話番号識別」に設定した場合、識別着信情報一覧で追加定義した相手からの着信 は「プププッ」、それ以外の着信は「ププッ」となります。

「識別リング音」を「着信電話番号識別」に設定した場合、着信電話番号ごとに設定したリング音に対応して 以下の表のようになります。

リング音の設定	通話中着信音
リング音1	ププッ
リング音2	プッ
リング音3	プププッ

- フッキングをします。 相手 B と通話できます。相手 A との通話は保留になります。
- **3.** 相手 A と通話すときは、もう一度フッキングをします。 相手 B との通話が保留になり、相手 A と通話ができます。
- **4.** 通話中の相手との通話を終了するときは、受話器を置きます。 リング音が鳴ります。
- 5. 受話器を取ります。 保留にしていた相手と通話できます。



かかってきた電話が、あらかじめ設定しておいた着信転送の条件に一致すると、NetVehicleは電話を転送 します。フレックスホンサービスに含まれる「着信転送」と同様の機能ですが、疑似着信転送ではNTTと の契約は必要ありません。

疑似着信転送機能を設定する

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

■ 契約者番号にかかってきた電話を「03-6666-6666」に転送する

- ・ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 着信転送

契約者番号の転送先

疑似着信転送 03-6666-6666

	 ○ 使用しない ○ 着信転送 ○ 軽似着信転送
著信転送	契約者番号の転送先 03-6666-6666 ボート1のダイヤルインの転送先 ボート2のダイヤルインの転送先 鳴り分け番号1の転送先 鳴り分け番号2の転送先 鳴り分け番号3の転送先 鳴り分け番号3の転送先 いガけ番号3の転送先 このレンジン レンジン ボビート C あり © なし ※短似着信転送を使用する場合、転送元 / 転送トーキの指定は無効になります

疑似着信転送を使う



- (補)足・NetVehicle に電話機をつないでいなくても、疑似着信転送を利用できます。
 - ・着信相手から NetVehicle までの電話料金は着信相手に課金され、NetVehicle から転送先までの電話料金は、 NetVehicle 側に課金されます。

4



外線で話をしているときに、通話中の方を保留にして、別の人に電話をかけてお話することができます。また、3人で同時にお話することもできます。

- - データ通信中、およびもう一方のアナログポート使用中は、別の人に電話をかけると話中になるのでこの機能を 利用できません。
 - この機能を使用中は、もう一方のアナログポートは使用できません。また、データ通信も利用できません。

疑似三者通話機能を設定する

- **1** 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

:	フレッ? 三者通詞	ゥス 舌	ホン	疑似フレック 使用する	クスホン
	フレックス ホン	0	フレックスホン 疑似フレックス 三者通話 通信中転送	、 C 使用しない C 使用する C 使用しない C 使用する	

疑似三者通話を使う



- 相手 A との通話中にフッキングをします。
 通話が保留になり、第2ダイヤルトーン(プップップッという音)が聞こえてきます。
- 相手 B ヘダイヤルします。
 呼び出し音(プルルルという音)が聞こえます。相手 A には保留音が聞こえています。
- **3.** 相手 B がでたら、通話を始めます。 この間、相手 A には保留音が聞こえています。
- **4.** ダブルフックをします。 「自分+相手A+相手B」の三者で同時通話ができます(ミキシングモード)。
- 5. もう一度、ダブルフックをします。 相手Aとの通話は保留され、相手Bとの通話状態になります(切り替えモード)。
- 通話中の相手との通話を終了するときは、受話器を置きます。 リング音が鳴ります。
- **7.** 受話器を取ります。 保留中の相手と通話できます。



外線通話中の電話を、別の相手に転送することができます。

- データ通信中、およびもう一方のアナログポート使用中は、別の人に電話をかけると話中になるのでこの機能を 利用できません。
- この機能を使用中は、アナログポートは使用できません。また、データ通信も利用できません。

疑似通信中転送を設定する

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - フレックスホン

疑似フレックスホン

使用する

■ 通信中転送

	С	フレックスホン	
フレックス	Θ	疑似フレックス	(ホン
ホン		三者通話	◎ 使用しない ○ 使用する
		通信中転送	○ 使用しない ⓒ 使用する

疑似通信中転送を使う

「疑似通信中転送」機能を使って、通話中の電話を別の相手に転送できます。



- 相手Aからの通話中にフッキングをします。
 通話が保留になり、第2ダイヤルトーン(プップップッという音)が聞こえてきます。
- **2.** 相手 B ヘダイヤルします。 呼び出し音 (プルルルという音)が聞こえます。相手 A には、保留音が聞こえています。
- **3.** 相手 B がでたら、転送中の電話があることを伝えます。 この間、相手 A には保留音が聞こえています。
- **4.** いったんフッキングをして、すぐに受話器を置きます。 相手Aと相手Bとで通話ができるようになります。



疑似通信中転送したときの通話料はどうなるの? 疑似キャッチホンおよび疑似三者通話から、疑似通信中転送を行った場合、以下のようにそれぞれ 発信者に課金されます。

	最初の通話 (相手A)	2番目の通話 (相手B)	疑似通信中 転送	課金 対象
短川ナムルチェンの担合	Aから	Bから	できる	A、 B
疑似キャッテホノの場合	自分から	Bから	できる	自分、B
宮ミーを弱ける道ク	Aから	自分から	できる	A、自分
疑似二百週品の場合	自分から	自分から	できる	自分、自分



フレックスホンはNTT が提供するサービスで、「キャッチホン」「三者通話」「通信中転送」「着信転送」の 4 つがあります。必要な機能だけを選んで契約できます。

着信転送の設定を行う

- ここでは、「着信転送」について以下の場合を例に説明します。
- ■「着信転送」を使う
- ■「転送元トーキ」「転送トーキ」ともに「あり」を選択する
- 契約者番号にかかってきた電話を「03-6666-6666」に転送する
- **1** 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

あり

- 契約者番号の転送先
 03-6666-6666
- 転送元トーキ あり
- 転送トーキ

	c	使用しない			
	o	若信転送			
	o	疑似著信転送			
		契約者番号の転送先 03-6666-6666			
		ポート1のダイヤルインの転送先			
		ポート2のダイヤルインの転送先			
狺転送		鳴り分け番号1の転送先			
		鳴り分け番号2の転送先			
		鳴り分け番号3の転送先			
		※グローバル 着信ありの 場合の 転送先は 契約者 番号の 転送先に 設定してください			
		転送元トーキ ◎ あり ○ なし			
		転送トーキ ◎ あり ○ なし			
		※疑似著信転送を使用する場合、転送元/転送トーキの指定は無効になります			

3. [更新 + 設定反映] ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。



蒹

転送元トーキ / 転送トーキ

かかってきた電話を他の番号に転送する際に流れるメッセージです。

- ・転送元トーキ:「電話が転送されます。」など
- ・転送トーキ :「ただいま電話を転送しますので、しばらくお待ちください。」など

■ フレックスホンのいろいろな機能を使う

ここでは、フレックスホンの使い方を説明します。

INS キャッチホン

「INS キャッチホン」はNTT が提供するサービスです。利用の際はNTT との契約が必要です。 通話中に電話を着信した場合、いったん通話を保留にしてあとからかけてきた相手と話すことができます。

(補) 足「接続機器」で「電話」および「FAX(キャッチホン着信)」以外を指定した場合は、通信を妨げないようにする ため、INSキャッチホンは利用できません。



- 相手 A との通話中に相手 B から電話がかかってくると、受話器から通話中着信音が流れてきます。
 - (補)足・通話中着信音を送出する時間を指定しておくことができます。「アナログ共通情報」(P.55)を参照してください。
 - ・通話中着信音は、識別着信機能で相手に登録してあるリング音に対応して以下の表のようになります。
 - ・通話中着信音は、「識別着信共通情報」の「識別リング音」の設定により異なります。
 「識別リング音」を「相手電話番号識別」に設定した場合、識別着信情報一覧で追加定義した相手からの着信は「ププッ」、それ以外の着信は「ププッ」となります。

「識別リング音」を「着信電話番号識別」に設定した場合、着信電話番号ごとに設定したリング音に対応して 以下の表のようになります。

リング音の設定	通話中着信音		
リング音1	ププッ		
リング音2	プッ		
リング音3	プププッ		

2. フッキングをします。

相手Bと通話できます。相手Aとの通話は保留になります。

- 相手 A と通話するときは、もう一度フッキングをします。
 相手 B との通話が保留になり、相手 A と通話ができます。
 - (補) NTT と三者通話、または通信中転送の契約をしている場合は、この状態から以下の動作が可能です。
 ・2回フッキングをする(以降、ダブルフックとよびます)と、「自分+相手A+相手B」の三者で同時通話ができます。(三者通話)
 - ・いったんフッキングして、すぐに受話器を置くと、通信中転送ができます(通信中転送)。

- **4.** 通話中の相手との通話を終了するときは、受話器を置きます。 リング音が鳴ります。
- 5. 受話器を取ります。 保留にしていた相手と通話できます。

三者通話





- 相手 A との通話中にフッキングをします。
 通話が保留になり、第2ダイヤルトーン(プップップッという音)が聞こえてきます。
- **2.** 相手 B ヘダイヤルします。 呼び出し音 (プルルルという音)が聞こえます。相手 A には保留音が聞こえています。
- **3.** 相手 B がでたら、通話を始めます。 この間、相手 A には保留音が聞こえています。
- **4.** ダブルフックをします。 「自分+相手A+相手B」の三者で同時通話ができます(ミキシングモード)。
- 5. もう一度、ダブルフックをします。 相手 A との通話は保留され、相手 B との通話状態になります(切り替えモード)。
- **6.** 通話中の相手との通話を終了するときは、受話器を置きます。 リング音が鳴ります。
- **7.** 受話器を取ります。 保留中の相手と通話できます。

通信中転送

「通信中転送」はNTTが提供するサービスです。利用の際はNTTとの契約が必要です。 「通信中転送」機能を使って、通話中の電話を別の相手に転送できます。



- 相手 A からの通話中にフッキングをします。
 通話が保留になり、第2ダイヤルトーン(プップップッという音)が聞こえてきます。
- **2.** 相手 B ヘダイヤルします。 呼び出し音 (プルルルという音)が聞こえます。相手 A には、保留音が聞こえています。
- **3.** 相手 B がでたら、転送中の電話があることを伝えます。 この間、相手 A には保留音が聞こえています。
- **4.** いったんフッキングをして、すぐに受話器を置きます。 相手 A と相手 B とで通話ができるようになります。



通信中転送したときの通話料はどうなるの? INSキャッチホンおよび三者通話から、通信中転送を行った場合、以下のようにそれぞれ発信者に 課金されます。

	最初の通話 (相手A)	2番目の通話 (相手B)	通信中 転送	課金 対象
このキャッチオンの担合	Aから	Bから	できる	A, B
INSキャッテホノの場合	自分から	Bから	できる	自分、B
一支活式の担合	Aから	自分から	できる	A、自分
二有週記の場合	自分から	自分から	できない	-

着信転送

「着信転送」は、NTTが提供するサービスです。利用の際はNTTとの契約が必要です。 かかってきた電話が、あらかじめ設定しておいた着信転送の条件に一致すると、NetVehicleは電話を転送 します。



- (補足)・NetVehicle に電話機をつないでいなくても、着信転送を利用できます。
 - ・着信相手から NetVehicle までの電話料金は着信相手に課金され、NetVehicle から転送先までの電話料金は、 NetVehicle 側に課金されます。


フレックスホンを利用して通話しているとき、話している相手から電話を切断した場合に自動的に(フッキ ング操作をしないで)保留になっていた相手と通話できるようにする機能です。この機能は疑似キャッチホ ン、疑似三者通話、疑似通話中転送を使用している場合でも利用できます。

フレックスホン自動切り替え機能を設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

■ フレックスホン自動切替 使用する

フレックスホン自動切替 🤄 使用する 🗅 使用しない



INSボイスワープはNTTが提供する高機能な着信転送サービスです。利用の際はNTTとの契約が必要です。 INSボイスワープのカスタマコントロール機能(INSボイスワープを制御する手順)の詳細については、NTT 支店または営業所にお問い合わせください。

ダイヤルインサービスを契約されている場合は、発信者番号通知の設定を通知するにしてください。

参照 「発信者番号通知の設定を変更する」(P.223)

また、INSボイスワープを契約した番号(契約者番号または、ダイヤルイン番号)によって以下の設定が必要です。ダイヤルインサービスを契約していない場合は、設定の必要はありません。

INS ボイスワープを契約者番号(アナログポート1)で契約した場合の設定



ここでは、以下の場合を例に説明します。

- ・ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

■ 電話番号	03-1111-1111(契約者回線番号)
[網契約に関連する設定項目]	3
電話番号 03-1111-1111	

- 3. [更新]ボタンをクリックします。
- **4.** 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。 「アナログポート1情報」が表示されます。

- 5. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 発信者番号通知 する
 発信者番号通知 C する C しない C 網契約に従う
- **6.** [更新 + 設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

INSボイスワープをダイヤルイン番号(アナログポート2)で契約した場合の設定

ここでは、以下の場合を例に説明します。



- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート2情報」をクリックします。
 「アナログポート2情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - ダイヤルイン番号 03-2222-2222 (ダイヤルイン番号)

■ 発信者番号	计通知	する
[網契約に関連する	設定項目]	3
ダイヤルイン番号	03-2222-2222	
グローバル着信	⊙する○しない	
発信者番号通知	◎ する ○ しない ○ 網契約	りこ従う



電話をかけてきた相手の方の電話番号(発信者番号)または発信者番号が通知されない理由を、アナログ ポートに接続したアナログ機器に表示することができます。

- 「INSナンバー・ディスプレイ」はNTTが提供するサービスです。利用の際はNTTとの契約が必要です。ただし、相手の方がINSネット64から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、未契約でも発信者番号をアナログ機器に表示することができます。
- ナンバー・ディスプレイに対応していないアナログ機器をご使用の場合、発信者番号は表示されません。
- (補) 足・相手の方がアナログ回線からかけてくる場合、発信者番号を通知させるには NTT との利用契約が必要です。
 - ・相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本 装置に接続したアナログ機器に発信者番号は表示されません。

発信者番号が通知されない主な理由は以下のとおりです。

- 公衆電話からの電話のとき
- かけてきた相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき

ナンバー・ディスプレイ機能を設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- ・ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 通信前情報通知 モデム信号での通知

ナンバー・ディスプレイを使用する

■ 使用モード設定 モード 1

	0 ©	使用しない モデム信号での通知
通信前情報通知		 ✓ ナンバー・ディスプレイを使用する □ モデムダイヤルインを使用する 使用モード設定: モード1 ▼
	o	PB信号での通知 アナログダイヤルインを使用する

⟨補健↓↓」「使用モード設定」で「モード1」を指定して正常に動作しない場合は、「モード2」を指定してください。

- アナログポートに接続したアナログ機器に発信者番号を表示させるためには、以下の条件を満たす必要があります。
 - 本装置のアナログポートにナンバー・ディスプレイ対応のアナログ機器を接続し、アナログ機器のナンバー・ ディスプレイ機能を「使用する」に設定する
 - アナログ機器を接続したアナログポートの「アナログポート情報」で「ナンバー・ディスプレイを使用する」 に設定する
- お使いになるアナログ機器がナンバー・ディスプレイに対応していない場合や、ナンバー・ディスプレイを利用しない設定になっている場合は、誤鳴音や雑音(モデム信号)が聞こえるなど、正常に動作しない場合があります。
- 「アナログポート情報」で「通信前情報通知」を「ナンバー・ディスプレイを使用する」設定にした場合は、「ア ナログ共通情報」で「外線リング音」、「内線リング音」の設定を、「識別着信情報」で「識別リング音」の設定 を「リング音1」に設定することをお勧めします。それ以外の設定(「リング音2」「リング音3」)を行った場 合には、外線着信、内線着信および識別着信が正常に動作しないことがあります。
- 相手の方がサブアドレス番号を通知してきてもサブアドレス番号は表示されません。
- ナンバー・ディスプレイ対応アナログ機器の機種によっては、発信者番号が正常に表示されない場合があります。
- 無鳴動 FAX 受信機能を使用する場合、ナンバー・ディスプレイ機能は利用できません。
- ・内線通話で着信した場合、呼び出し操作を行ったアナログポート番号「01」または「02」が表示されます。
 ・内線転送操作からの着信時は、転送される相手の番号が表示されます。
 - ・ナンバー・ディスプレイに対応していないアナログ機器を利用していてもNetVehicleのシステムログ情報には 発信者番号が表示されます。
 - ・ナンバー・ディスプレイ対応確認機種については、NetVehicleのサポートページを参照してください。



通話中に電話をかけてきた相手の方の電話番号(発信者番号)または発信者番号が通知されない理由を、ア ナログポートに接続したアナログ機器に表示することができます。

- 利用の際はNTTが提供する「INSナンバー・ディスプレイ」の契約が必要です。ただし、相手の方がINSネット64から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、未契約でも発信者番号をアナログ機器に表示することができます。
- キャッチホン・ディスプレイに対応していないアナログ機器をご使用の場合、発信者番号は表示されません。
- (補)定・相手の方がアナログ回線からかけてくる場合、発信者番号を通知させるには NTT との利用契約が必要です。
 - ・相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合などは、本 装置に接続したアナログ機器に発信者番号は表示されません。

発信者番号が通知されない主な理由は以下のとおりです。

- 公衆電話からの電話のとき
- かけてきた相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

(補) と キャッチホン・ディスプレイ機能を使用するには、「キャッチホン」の設定も必要です。

タ照 「疑似キャッチホンを使う」(P.202)「発信者番号表示(ナンバー・ディスプレイ)を使う」(P.219)

詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。

- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - キャッチホン・ディスプレイ 使用する(モード1)

キャッチホン・ディスプレイ 使用する(モード1) 👤

(他) 「使用する(モード1)」を指定して正常に動作しない場合は、「使用する(モード2)」、「使用する(モード3)」 または「使用する(モード4)」を指定してください。

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

アナログポートに接続したアナログ機器に発信者番号を表示させるためには、以下の条件を満たす必要があります。

・本装置のアナログポートにキャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ機器を接続し、アナログ機器のキャッ
 チホン・ディスプレイ機能を「使用する」に設定する

- ・アナログ機器を接続したアナログポートの「アナログポート情報」で「キャッチホン・ディスプレイを使用する」に設定する
- お使いになるアナログ機器がキャッチホン・ディスプレイに対応していない場合や、キャッチホン・ディスプレイを利用しない設定になっている場合は、誤鳴音や雑音(モデム信号)が聞こえるなど、正常に動作しない場合があります。
- 相手の方がサブアドレス番号を通知してきてもサブアドレス番号は表示されません。
- キャッチホン・ディスプレイ対応アナログ機器の機種によっては、発信者番号が正常に表示されない場合があります。
- (補) こ・キャッチホン・ディスプレイに対応していないアナログ機器を利用していてもNetVehicleのシステムログ情報 には発信者番号が表示されます。

・キャッチホン・ディスプレイ対応確認機種については、NetVehicleのサポートページを参照してください。



「発信者番号通知」はNTT が提供する基本サービスです。

発信するときに、発信者番号(契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号)を通知するかどうかをNTTの契約とNetVehicleの設定との組み合わせにより選ぶことができます。発信者番号を通知する契約をしている場合でも、アナログポート1と2をそれぞれ通知しないように設定できます。

網契約	NetVehicleの設定 (発信者番号通知)		相手ダイヤル番号前に付加		
	網契約に従う	する	しない	184を付加	186を付加
通常通知	通知する				
通常非通知	通知しない	通知する	通知しない	通知しない	通知する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 発信者番号通知 「する」、「しない」または「網契約に従う」を選択する
 ^{発信者番号通知} @ する C しない C 網契約に従う
- 3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

発信者番号通知を設定する

(補) アナログポート情報」でダイヤルイン番号に電話番号を設定し、発信者番号通知を行う設定をした場合、相手 先にはダイヤルイン番号に設定した電話番号を通知します。 鳴り分け番号を通知する場合、「アナログポート情報」のダイヤルイン番号に鳴り分け番号を設定してください。



外線発信時に、ダイヤルする相手電話番号の前にプレフィックス番号を付加することによって、相手に通知 する発信者番号を選択することができます。

- この機能を利用する場合、アナログポート情報の「発信者番号通知」の設定は無効となり、プレフィックスで指定した番号を相手に通知します。ただし、網契約により相手に通知されない場合があります。
- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. プレフィックス番号に続けて相手電話番号をダイヤルします。 通知したい発信者番号に対応するプレフィックス番号を付加します。

[ダイヤルインサービス契約(グローバル着信する)の場合]

通知する電話番号の種別	付加するプレフィックス番号
契約者回線番号	¥ 70
アナログポート1情報に設定したダイヤルイン番号	¥ 71
アナログポート2情報に設定したダイヤルイン番号	¥ 72

[i・ナンバー契約の場合]

通知する電話番号の種別	付加するプレフィックス番号
鳴り分け番号1(契約者回線番号)	¥ 73
鳴り分け番号2(追加番号)	₩ 7 4
鳴り分け番号3(追加番号)	₩ 7 5

3. 呼び出し音が聞こえます。



無鳴動着信機能(FAXを受信したときに、着信音を鳴らさずに応答する機能)を持つFAXをアナログポートに接続した場合、着信音(リング音)を鳴らさずにFAXに着信させることができます。

無鳴動 FAX 受信機能を設定する

ここでは、FAXをアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 接続機器 「FAX (無鳴動強制着信)」または「FAX (無鳴動識別着信)」を選択する
 - (補) と・「FAX (無鳴動強制着信)」を指定すると、FAX 受信時に無鳴動着信処理を行います。
 - ・「FAX(無鳴動識別着信)」を指定すると、相手からFAX通信を行うという情報(高位レイヤ整合性:G3FAX) が着信時に通知された場合のみ無鳴動着信処理を行います。それ以外の着信は、鳴動着信処理を行います。

[装置の動作に関連する影	定項目] [7]
接続機器	 C 電話 C FAX(キャッチホン着信) C モデム C FAX © FAX(無鳴動強制着信) C FAX(無鳴動識別着信) C なし



i・ナンバーはNTTが提供するサービスで、ご使用になる場合は契約が必要です。着信するアナログポー トを特定できます。



i・ナンバー

NTTの「i・ナンバー」を契約すると、1つのINSネット64に通常の電話番号に加えて、別の追 加電話番号を2つまで割り当てることができます。それぞれの電話番号を使い分けることで、INS ネット 64 につないでいる機器を呼び分けられるようになります。

i・ナンバー着信機能を設定する

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

- 契約者回線番号(鳴り分け番号1)で着信したときは両ポートに着信
- 追加番号(鳴り分け番号2)で着信したときはアナログポート1のみに着信
- 追加番号(鳴り分け番号3)で着信したときはアナログポート2のみに着信
- ┃ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - i・ナンバー 使用する [i・ナンバー情報1] ■ 動作モード 両ポート着信 [i・ナンバー情報2] ■ 動作モード ポート1のみ着信 [i・ナンバー情報3]
 - 動作モード

ポート2のみ着信

	○ 使用しない
	 使用する
	[i・ナンバー情報1]
	鳴り分け番号1
	動作モード 両ポート着信 ・
・ナンバー	[i・ナンバー情報2]
	鳴り分け番号2
	動作モード ポート1のみ着信 🔽
	[i・ナンバー情報3]
	鳴り分け番号3
	動作モード ポート2のみ著信 ▼



サブアドレスを設定すると、着信するアナログポート(ポート1、またはポート2)を特定できます。 サブアドレスは、発信側がINSネット64に加入している場合のみ利用できます。

外から電話をかけるとき、電話番号に続いて送とサブアドレスをダイヤルすれば、そのサブアドレスを設定 した方のアナログポートに着信させることができます。ただし、サブアドレスの番号は完全に一致しないと 着信できません。

補足 相手電話番号₩サブアドレス

例)03-1111-1111 🗶 123

サブアドレスで着信ポートを特定する場合は、発信する相手側はサブアドレスを指定できる ISDN 機器 (電話、 PHS 等)の必要があります。

サブアドレスを設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- ・ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]でサブアドレスを指定します(19桁以内)。

■ サブアドレス 123

[装置の動作に関連]	する設定項目] 「」
接続機器	 ● 電話 C FAX(キャッチホン着信) C モデム C FAX C FAX(無鳴動強制着信) C FAX(無鳴動識別着信) C なし
サブアドレス	123



ダイヤルインはNTTが提供するサービスで、ご使用になる場合は契約が必要です。着信するアナログポート(ポート1、またはポート2)を特定できます。

the
\sim

ダイヤルインサービスとグローバル着信

NTTの「ダイヤルインサービス」とは、1 つのINS ネット 64 に通常の電話番号(以降、契約者回線番号とよびます)に加えて、「ダイヤルイン番号」とよばれる番号を割り当てるサービスです。契約者回線番号とダイヤルイン番号を使い分けることで、INS ネット 64 につないでいる機器を呼び分けられるようになります。

ー方「グローバル着信」とは、契約者回線番号で電話がかかってきたとき、どの電話番号で着信したかをINSネット64につないでいる機器に通知しないようにするオプションです。わかりやすく言うと、この場合呼び分けせずにすべての電話機を鳴らすわけです。ちなみに「ダイヤルインサービス」を契約する際、「グローバル着信利用しない」という契約にすると、相手先がダイヤルした番号に対応する電話機だけを鳴らします。

ダイヤルイン番号を1つ追加して「グローバル着信利用しない」という契約にすると、ダイヤルイン番号を2つ追加した場合と同じ料金がかかります。かかってきた電話すべてについて呼び分けをするためです。ただし、NetVehicleではアナログポートごとに「グローバル着信を行う/行わない」の設定ができるので、「グローバル着信利用」と契約しておけば、ダイヤルイン番号1つ分の使用料で済みます。

INS ネット 64の基本機能であるサブアドレスでも同じように呼び分けができます。ただし、相手 がアナログ回線である場合には、サブアドレス情報のやり取りができないため、呼び分けができま せん。

■ ダイヤルイン / グローバル着信機能を設定する

ここでは、契約者番号で着信したときは、アナログポート1のみで着信し、ダイヤルイン番号(03-2222-2222)で着信したときはアナログポート2のみで着信する場合を例に説明します。

アナログポート情報1の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - ダイヤルイン番号 なにも設定しない
 - グローバル着信 する

[網契約に関連する設	定項目] [2
ダイヤルイン番号		1
グローバル 着信	● する ^C しない	_

3. [更新]ボタンをクリックします。

アナログポート情報2の設定

- **1** 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート2情報」をクリックします。 「アナログポート2情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - ダイヤルイン番号 03-2222-2222
 - グローバル着信 しない

[網契約に関連する設定項目]		
ダイヤルイン番号	03-2222-2222	
グローバル着信	0 73 © Uali	



モデムダイヤルインは、電話とFAXなど機能ごとに個別の番号を持つことができます。着信したときに、 モデム信号で自局電話番号または送出着信情報で設定した番号を電話機に通知します。

自局電話番号を送出する場合の設定例は(その1)で、送出着信情報で設定する任意の番号を送出する場 合の設定例は(その2)で説明します。

- 利用する際には、NTT との「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバーサービス」の契約が必要です。
- この機能を使用する場合、アナログダイヤルイン機能は利用できません。また、ご使用になる電話機がモデムダイヤルイン機能に対応している必要があります(電話機の設定も必要です。電話機の取扱説明書をご覧ください)。

■ モデムダイヤルイン機能を設定する(その1:自局電話番号を送出する)

ここでは、以下の場合を例に説明します。

- アナログポート1にFAX機能付き電話をつなぐ
- i・ナンバー契約を行う
- 契約者番号(鳴り分け番号1:03-2222-2222)で着信した場合は電話に着信する

(送出番号:03-2222-2222)

■ 追加番号(鳴り分け番号2:03-3333-3333)で着信した場合はFAXに着信する (送出番号:03-3333-3333)

ここでは「i・ナンバー」契約をしている場合の設定例を説明していますが、「ダイヤルインサービス」を 契約している場合は、「アナログダイヤルイン機能を使う」で説明している設定例を参考にして設定を行っ てください。

を照、「アナログダイヤルイン機能を使う」(P.236)

アナログ共通情報の設定

詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。

2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

- i・ナンバー 使用する
 [i・ナンバー情報1]
 鳴り分け番号1 03-2222-2222
 動作モード ポート1のみ着信
 [i・ナンバー情報2]
 鳴り分け番号2 03-3333-3333
- 動作モード ポート 1 のみ着信



3. [更新]ボタンをクリックします。

アナログポート 1 情報の設定

- **1** 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 通信前情報通知
 モデム信号での通知
 モデムダイセルインを使用
 - 使用モード設定

モデムダイヤルインを使用する モード 1

	 ○ 使用しない ◎ モデム信号での通知
通信前情報通知	□ ナンバー・ディスプレイを使用する ▼ モデムダイヤルインを使用する 使用モード設定: ▼モード1 ▼
	 PB信号での通知 アナログダイヤルインを使用する

🔜 モデムダイヤルイン機能を設定する(その2:任意の番号を送出する)

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

- アナログポート 1 に FAX 機能および子機付き電話をつなぐ
- i・ナンバー契約を行う
- 契約者番号(鳴り分け番号1)で着信した場合は電話に着信する(送出番号:1111)
- 追加番号(鳴り分け番号2)で着信した場合はFAXに着信する(送出番号:2222)
- 追加番号(鳴り分け番号3)で着信した場合は子機に着信する(送出番号:3333)

ここでは「i・ナンバー」契約をしている場合の設定例を説明していますが、「ダイヤルインサービス」を 契約している場合は、「アナログダイヤルイン機能を使う」で説明している設定例を参考にして設定を行っ てください。

を照 「アナログダイヤルイン機能を使う」(P.236)

アナログ共通情報の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

■ i・ナンバー	使用する
[i・ナンバー情報 1]	
■ 動作モード	ポート1のみ着信
[i・ナンバー情報 2]	
■ 動作モード	ポート1のみ着信
[i・ナンバー情報 3]	
■ 動作モード	ポート1のみ着信

3. [更新]ボタンをクリックします。

アナログポート1情報の設定

- ┃ 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 通信前情報通知 モデム信号での通知 モデムダイヤルインを使用する
 - 使用モー

使用モード設定	モード 1	
	○ 使用しない	
	● モデム信号での通知	
	□ ナンバー・ディスプレイを使用する	
通信前情報通知	▶ モデムダイヤルインを使用する	
	使用モード設定: モード1 👤	

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C PB信号での通知
	アナログダイヤルインを使用する

3. [更新]ボタンをクリックします。

送出着信番号情報の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「送出着信番号情報」をクリックします。
 「送出着信番号情報」ページが表示されます。
- 2. [送出着信番号情報]で以下の項目を指定します。
 - 番号送出方法設定 指定された番号を送出する
 - 送出番号設定

鳴り分け番号 1 での着信時	1111
鳴り分け番号 2 での着信時	2222
鳴り分け番号 3 での着信時	3333





アナログダイヤルインは、電話とFAX など機能ごとに個別の番号を持つことができます。着信したときに、PB 信号で自局電話番号または送出着信情報で設定した番号を電話機に通知します。

自局電話番号を送出する場合の設定例は(その1)で、送出着信情報で設定する任意の番号を送出する場 合の設定例は(その2)で説明します。

- 利用する際には、NTTとの「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバーサービス」の契約が必要です。
- この機能を使用する場合、ナンバー・ディスプレイおよびモデムダイヤルイン機能は利用できません。また、ご使用になる電話機がアナログダイヤルイン機能に対応している必要があります(電話機の設定も必要です。電話機の取扱説明書をご覧ください)。

アナログダイヤルイン機能を設定する(その1:自局電話番号を送出する)

ここでは、以下の場合を例に説明します。

- アナログポート 1 に FAX 機能付き電話をつなぐ
- ダイヤルイン契約を「グローバル着信を利用する」で契約
- 契約者番号(03-2222-2222)で着信した場合は電話に着信する(送出番号:2222)
- ダイヤルイン番号(03-2222-3333)で着信した場合は FAX に着信する(送出番号:3333)

ここでは「ダイヤルインサービス」契約をしている場合の設定例を説明していますが、「i・ナンバー」を 契約している場合は、「モデムダイヤルイン機能を使う」で説明している設定例を参考にして設定を行って ください。

を照く「モデムダイヤルイン機能を使う」(P.230)

アナログ共通情報の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

•	電話番号	03-2222-2222
•	電話番号	03-2222-2222

[網契約に関連	する設定項目]	3
電話番号	03-2222-2222]

アナログポート 1 情報の設定

詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。

2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

ダイヤルイン番号 03-2222-3333
 [網契約に関連する設定項目]
 ダイヤルイン番号 03-2222-3333

[装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

•	通信前情報通知	PB 信号での通知
---	---------	-----------

1	○ 使用しない ○ モデム信号での通知	
通信前情報通知	 □ ナンバー・ディスブレイを使用する □ モデムダイヤルインを使用する 使用モード設定: モード1 ・ 	
	 PB信号での通知 アナログダイヤルインを使用する 	

■アナログダイヤルイン機能を設定する(その2:任意の番号を送出する)

ここでは、以下のような場合を例に説明します。

- アナログポート1にFAX機能付き電話をつなぐ
- ダイヤルイン契約を「グローバル着信を利用する」で契約
- 契約者番号で着信した場合は電話に着信する(送出番号:1111)
- ダイヤルイン番号(03-2222-3333)で着信した場合はFAX に着信する(送出番号:2222)

ここでは「ダイヤルインサービス」契約をしている場合の設定例を説明していますが、「i・ナンバー」を 契約している場合は、「モデムダイヤルイン機能を使う」で説明している設定例を参考にして設定を行って ください。

▶ 「モデムダイヤルイン機能を使う」(P.230)

アナログポート 1 情報の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [網契約に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - ダイヤルイン番号 03-2222-3333
 [網契約に関連する設定項目]
 ダイヤルイン番号 03-2222-3333
 - [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。
 - 通信前情報通知

PB 信号での通知



3. [更新]ボタンをクリックします。

送出着信番号情報の設定

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「送出着信番号情報」をクリックします。
 「送出着信番号情報」ページが表示されます。
- 2. [送出着信番号情報]で以下の項目を指定します。
 - 番号送出方法設定 指定された番号を送出する

契約者回線番号での着信時

■ 送出番号設定

- 1111
- ポート 1 ダイヤルイン番号での着信時 2222





リバースパルスは、外から電話がかかってきて通話中に相手から電話を切った場合に、NetVehicleがアナログポートに接続された機器に対して通話が終了したことを知らせるために送出する信号です。例えば、留 守番電話で相手が切断したら同時にメッセージの録音を終了する機能を備えているときに有効です。

リバースパルス送出を設定する

ここでは、電話機をアナログポート1につないだ場合を例に説明します。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログポート1情報」をクリックします。
 「アナログポート1情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

リバースパルス送出 送出する
 リバースパルス送出
 ・ジェースパルス送出
 ・ジェースパルスジェースパルス

 ・ジェースパルス

 ・ジェースパルス

 ・ジェースパルス

 ・ジェースパルス

 ・ジェース

 ・<p



NetVehicleのアナログポート(ポート1、ポート2)に接続したアナログ機器から設定できる項目を以下 に示します。

- ・時計の設定
- ・IP アドレスの設定
- ・アナログ機能の設定
 スタンバイモードの設定
 着信転送の設定
 アナログポートの接続機器の設定
 ナンバー・ディスプレイの設定
 i・ナンバーの設定
 鳴り分け番号の動作モードの設定
- ・着信転送先の変更
- ・TEL メールの設定
- ・メールチェックの実行
- ・メール着信の消去
- ・留守状態の設定
- ・留守モードの設定
- (補)) スタンバイモードの設定は「スタンバイモードで使用する」(P.190)で説明していますが、ここで説明する方法 でも設定が可能です。また、外線からも設定が可能です。

◆照〉外線から設定を変更する 「外線から設定を変更する (無課金)」(P.247)

ただし、「時計の設定」、「メールチェックの実行」、「メール着信の消去」の場合は切断されません。

時計を設定する

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. ★○★820+ ★日付+時刻(yymmddHHMMSS)をダイヤルします。
 例)時刻を1999年10月21日午後2時30分00秒に設定する場合
 ★○★820★9910211430000をダイヤルします

- yy 西暦の下2桁を指定します。00~36の場合は西暦2000年以降とみなします。
- mm 月を01~12までの数字で指定します。
- dd 日付を01~31までの数字で指定します。
- HH 時間を00~23までの数字で指定します。
- MM 分を00~59までの数字で指定します。
- SS 秒を00~59までの数字で指定します。

ピピッという音が2回とビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。

4. 受話器を置きます。

🔲 IP アドレスを設定する

NetVehicleのアナログポート(ポート1、ポート2)に接続したアナログ機器からIPアドレスの設定を 行います。専用線を使用する場合でも、この機能を利用することができます。

- NetVehicleのIPアドレスの変更を行うとLAN間通信やISDNでのデータ通信ができなくなる場合があります。
- DHCP サーバ機能を利用する場合には、WWW ブラウザから設定を変更してください。
- DHCPサーバ機能を利用している場合は、NetVehicleのIPアドレスの変更は行わないようにしてください。IP アドレスを変更すると、DHCPサーバ機能は利用できません。
- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ※○※810 + ※ IPアドレス + ネットマスク + ブロードキャストアドレスをダイヤ ルします。

IP アドレス、ネットマスク、ブロードキャストアドレスの数字の区切りに<mark></sub>≹</mark>を使います。 ブロードキャストアドレスは、指定するブロードキャストアドレスに対応する数値を以下の表から選択し ます。

選択値	ブロードキャストアドレスの設定
0	0.0.0.0
1	255.255.255.255
2	IPアドレス / ネットマスクから求められる ネットワークアドレス + オール0
3	IPアドレス / ネットマスクから求められる ネットワークアドレス + オール1

例)IPアドレスを「192.168.2.1」、ネットマスクを「24」、ブロードキャストアドレスを「3(ネットワークアドレス+オール1)」に設定する場合

- **3.** ピピッという音が2回とビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。 (補)定) 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。
- 4. 受話器を置きます。

■ アナログ機能を設定する

アナログポートに接続したアナログ機器から、以下のアナログ機能の設定を行えます。

- スタンバイモードの設定(通常モード/スタンバイモード)
- 着信転送の設定(しない/する/疑似着信転送)
- 接続機器の設定(なし/電話/モデム/FAX/FAX(無鳴動強制着信/無鳴動識別着信/キャッチホン着信))
- ナンバー・ディスプレイの設定(使用しない/使用する(モード1)/使用する(モード2))
- i・ナンバーの設定(使用する/使用しない)
- 鳴り分け番号の動作モードの設定(ポート1のみ着信/ポート2のみ着信/両ポート着信/着信拒否)

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★ 0 ★ に続けて操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
スタンバイモード	通常モード	8001
	スタンバイモード	8002
着信転送	しない	6001
	する	6002
	疑似着信転送	6003
接続機器の設定	なし	40P1
	電話	40P2
	モデム	40P3
	FAX	40P4
	FAX(無鳴動強制着信)	40P5
	FAX(無鳴動識別着信)	40P6
	FAX(キャッチホン着信)	40P7
ナンバー・ディスプレイ	使用しない	41P1
	使用する(モード1)	41P2
	使用する(モード2)	41P3
i ・ナンバーの設定	使用しない	2201
	使用する	2202
鳴り分け番号の動作モード	ポート1のみ着信	22i1
	ポート2のみ着信	22i2
	両ポート着信	22i3
	着信拒否	22i4

Pには、設定を変更するアナログポートのポート番号(1または2)を入れます。 iには、鳴り分け番号1~3の番号(1、2または3)を入れます。

例)ポート2の接続機器を「なし」にする場合

★0★4021 をダイヤルします。

- 3. ピピッという音とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。
 - (補) こ
 ピピッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります(操作で入力した最後の数字の回数です)。
 例)「接続機器」の設定を「なし」に設定した場合、ピピッ(1回)プープープー
 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。
- 4. 受話器を置きます。

🔜 着信転送先の設定を行う

アナログポートに接続したアナログ機器から、着信転送および疑似着信転送の転送先の設定を行えます。

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★ 0 ★ に続けて操作番号 + 転送先電話番号をダイヤルします。

機能	操作番号
契約者回線番号の転送先	610
ポート1のダイヤルインの転送先	611
ポート2のダイヤルインの転送先	612
鳴り分け番号1の転送先	613
鳴り分け番号2の転送先	614
鳴り分け番号3の転送先	615

- 例)契約者回線番号を「03-1111-2222」に着信転送する設定を行う場合
 ※0
 ※6
 10
 0
 3
 1
 1
 1
 2
 2
 2
 2
 2
 3
 4
 4
 4
 5
 5
 4
 4
 5
 5
 4
 4
 5
 5
 5
 5
 6
 5
 5
 5
 5
 6
 7
 6
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 7
 8
 7
 8
 8
 8
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
- 3. ピピッという音とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。

(補)足) ピピッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります。

- ・契約者回線番号の転送先を設定した場合 :1回
 ・ポート1のダイヤルイン番号の転送先を設定した場合 :2回
- ・ポート2のダイヤルイン番号の転送先を設定した場合 :3回
- ・鳴り分け番号1の転送先を設定した場合 :4回
- ・鳴り分け番号2の転送先を設定した場合 :5回
- ・鳴り分け番号3の転送先を設定した場合 :6回

正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。

🖿 TEL メールの設定を行う

を P.180)

アナログポートに接続したアナログ機器から、TEL メールの設定を行えます。

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★ 0
 ★ に続けて操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
TELメール機能の設定	使用しない	2101
	使用する	2102

3. ピピッという音とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。

(補) ビピッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります(操作で入力した最後の数字の回数です)。 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。

4. 受話器を置きます。

💶 メールチェックを実行する

を照入「メールチェック機能」(P.170)

アナログポートに接続したアナログ機器から、メールチェックを実行できます。

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- **2. ★**○★8300をダイヤルします。
- ピピッという音 2回とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。
 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン (プープープーという話中の音)だけが聞こえます。
- 4. 受話器を置きます。
- ■■ メール着信を消去する

アナログポートに接続したアナログ機器から、メール着信を消去できます。

- 【● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- **2. ★**0 **★**8500*e*ダイヤルします。
- ピピッという音が2回とビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。

 ④ 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。

4

4. 受話器を置きます。

🔜 留守状態の設定を行う

アナログポートに接続したアナログ機器から、留守確認機能の留守状態の設定を行えます。

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★○★に続けて操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
留守状態の設定	在宅	2001
	留守	2002

3. ピピッという音とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。

4. 受話器を置きます。

🔜 留守モードの設定を行う

アナログポートに接続したアナログ機器から、留守モードの設定を行えます。

- ┃
 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★ 0
 ★ に続けて操作番号をダイヤルします。

機	能		操作番号
留守モードの設定		解除	8401
		実行	8402

3. ピピッという音とビジートーン (プープープーという話中の音)が聞こえます。

(補) ビビッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります(操作で入力した最後の数字の回数です)。 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。

⁽補) ビビッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります(操作で入力した最後の数字の回数です)。 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。



外線から設定できる項目を以下に示します。

- ・スタンバイモードの設定
- ・着信転送の設定
- ・アナログポートの接続機器の設定
- ・ナンバー・ディスプレイの設定
- ・着信転送先の設定
- ・TEL メールの設定
- ・留守状態の設定

アナログポート(内線)からも設定の変更が可能です。

▶ 内線から設定を変更する 「電話機を利用して設定を変更する」(P.241)

設定変更用暗証番号を設定する

外線から設定を変更するには暗証番号が必要です(数字4桁)。 ここでは、設定変更用暗証番号を「5678」に設定する場合を例に説明します。

こんな事に気をつけて 設定変更用暗証番号は「アナログポート情報」の「サブアドレス」の設定と別のものを設定してください。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関する設定項目]で以下の項目を設定します。

■ 設定変更用暗証番号 5678(任意の数字4桁を指定します)
 [装置の動作に関連する設定項目]
 [設定変更用暗証番号]****

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

(補)足)外線からの設定変更をやめる場合は、設定変更用暗証番号を削除してください。

■ 外線からアナログ機能の設定を変更する

外線の電話機から、以下のアナログ機能の設定を行えます。

- スタンバイモードの設定(通常モード/スタンバイモード)
- 着信転送の設定(しない/する/疑似着信転送)
- 接続機器の設定(なし/電話/モデム/FAX/FAX(無鳴動強制着信/無鳴動識別着信/キャッチホン着信))
- ナンバー・ディスプレイの設定(使用しない/使用する(モード1)/使用する(モード2))

(補) 足 すでに B チャネルを 2 本使用しているときに、外線から設定を変更する場合、NTT の通信中着信サービスの契約が必要です。

┃
● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. ダイヤル操作で設定を変更します。

契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号に続けて、サブアドレスとして[設定変更用暗 証番号(4桁)]+操作番号をダイヤルします。

機	能	操作番号
スタンバイモード	通常モード	8001
	スタンバイモード	8002
着信転送	しない	6001
	する	6002
	疑似着信転送	6003
接続機器の設定	なし	40P1
	電話	40P2
	モデム	40P3
	FAX	40P4
	FAX(無鳴動強制着信)	40P5
	FAX(無鳴動識別着信)	40P6
	FAX(キャッチホン着信)	40P7
ナンバー・ディスプレイ	使用しない	41P1
	使用する(モード1)	41P2
	使用する(モード2)	41P3

Pには、設定を変更するアナログポートのポート番号(1または2)を入れます。

3. 呼び出し音が聞こえます。

- (補) 足・設定変更用暗証番号を間違えた場合は、以下のメッセージが聞こえます。 「おかけになった電話番号にはあなたと通信できる機器が接続されていません」
 - ・正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
 - ・この場合、NetVehicle 側には着信音は鳴りません。

■■ 外線から着信転送先の設定を行う

外線の電話機から、着信転送および疑似着信転送の転送先の設定を行えます。

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. ダイヤル操作で設定を変更します。

契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号に続けて、サブアドレスとして[設定変更用暗 証番号(4桁)]+操作番号+転送先電話番号をダイヤルします。

機能	操作番号
契約者回線番号の転送先	610
ポート1のダイヤルインの転送先	611
ポート2のダイヤルインの転送先	612
鳴り分け番号1の転送先	613
鳴り分け番号2の転送先	614
鳴り分け番号3の転送先	615

3. 呼び出し音が聞こえます。

・設定変更用暗証番号を間違えた場合は、以下のメッセージが聞こえます。
 「おかけになった電話番号にはあなたと通信できる機器が接続されていません」

- ・正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
- ・この場合、NetVehicle 側には着信音は鳴りません。

■ 外線から TEL メールの設定を行う

外線の電話機から、TEL メールの設定を行えます。

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

 ダイヤル操作で設定を変更します。
 契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号に続けて、サブアドレスとして[設定変更用暗 証番号(4桁)]+操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
TELメール機能の設定	使用しない	2101
	使用する	2102

3. 呼び出し音が聞こえます。

(補) こ・設定変更用暗証番号を間違えた場合は、以下のメッセージが聞こえます。 「おかけになった電話番号にはあなたと通信できる機器が接続されていません」

- ・正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
- ・この場合、NetVehicle 側には着信音は鳴りません。
- 4. 受話器を置きます。

▶ 外線から留守状態の設定を行う

外線の電話機から、留守確認機能の留守状態の設定を行えます。

を照 「留守状態を確認する(無課金)」(P.251)

┃ ● 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。

2. ダイヤル操作で設定を変更します。

契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号に続けて、サブアドレスとして [設定変更用暗 証番号 (4 桁)] +操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
留守状態の設定	在宅	2001
	留守	2002

3. 呼び出し音が聞こえます。

・設定変更用暗証番号を間違えた場合は、以下のメッセージが聞こえます。
 「おかけになった電話番号にはあなたと通信できる機器が接続されていません」

- ・正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。
- ・この場合、NetVehicle側には着信音は鳴りません。


留守中に外線から着信した場合、留守番電話に切り替わることなく相手に留守中であることを知らせる機能 です。留守の場合は呼び出し音のあとにビジートーン(プープープーという話中の音)が送出され、在宅の 場合は通常の呼び出し音が鳴ります。留守番電話に切り替わらないので、電話料金がかかりません。

留守確認用番号の設定をする

留守状態を確認するには、確認用番号が必要です(数字4桁)。

- 詳細設定メニューのアナログ設定で「アナログ共通情報」をクリックします。
 「アナログ共通情報」ページが表示されます。
- 2. [装置の動作に関連する設定項目]で以下の項目を指定します。

•	留守確認用番号		7890(任意の数字4桁を指定します。)			
	留守確認用番号	7890				

3. [更新+設定反映]ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

「留守」または「在宅」の設定をする

外出時、帰宅時は以下のように「留守」、「在宅」を設定してください。

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- 2. ダイヤル操作で設定を変更します。

★ 0 ★ に続けて操作番号をダイヤルします。

機能		操作番号
留守状態の設定	在宅	2001
	留守	2002

3. ピピッという音とビジートーン(プープープーという話中の音)が聞こえます。

(補)に ビピッという音の鳴る回数は設定した機能によって異なります(操作で入力した最後の数字の回数です)。 正常に設定できなかった場合は、ビジートーン(プープープーという話中の音)だけが聞こえます。 4. 受話器を置きます。

留守状態の設定は、電話機からも設定できます。

外線から「留守」または「在宅」を確認する

- ┃ 受話器を上げ、ツーという音が聞こえることを確認します。
- **2.** 契約者回線番号、ダイヤルイン番号、または鳴り分け番号に続けて、サブアドレスとして [留守確認用番号(4桁)]をダイヤルします。
- 呼び出し音が聞こえます。
 [留守が設定されている場合]
 呼び出し音のあと、約3秒後にビジートーンが聞こえます。

[在宅が設定されている場合] 相手が受話器をあげると、通話状態になります。

4. 受話器を置きます。



運用管理とメンテナンス

この章では、

NetVehicleで、ISDN回線の運用状況などの管理や確認を行う方法 を説明します。

操作メニューを使う	254
操作メニューを表示する	254
手動で回線を接続する / 切断する	254
手動でチャネルを増やす / 減らす	255
ネットワークの接続を確認する	256
時計を設定する	256
テレホーダイ機能を使う	257
留守モードの ON/OFF を設定する	258
表示メニューを使う	259
表示メニューを表示する	259
回線接続状況を確認する	260
課金情報で運用状況を確認する	260
IP 統計情報を見る	262
電子メール着信通知を見る	263
チャネル統計情報を見る	264
回線ログ情報で運用状況を確認する	264
システムログを見る	265
ルーティング情報を見る	265
現在時刻を見る	265
経過時間情報を見る	265
メンテナンスメニューを使う	266
メンテナンスメニューを表示する	266
バージョン情報	267
PPP フレームトレース情報を見る	267
エラーログ情報	268
NetVehicle のファームウェアを更新する	268
オンラインサポート機能	269
構成定義情報を退避する / 復元する	271
電話番号を変更する	272
FTP サーバ機能を使ってメンテナンスする	273
FTP サーバ機能による構成定義情報の退避	274
FTP サーバ機能による構成定義情報の復元	275
FTP サーバ機能によるファームウェアの更新	276



操作メニューでは、回線の手動接続 / 切断、チャネル数の増加 / 減少、疎通確認ができます。また、時刻設定、テレホーダイ設定 / テレホーダイ終了、留守モード切り替えができます。

┃操作メニューを表示する

NetVehicleのトップページで、画面上部の[操作]アイコンをクリックすると、操作メニューが表示されます。



|手動で回線を接続する / 切断する

接続先を指定して、手動で回線の接続 / 切断ができます。

回線を接続する

操作メニューで「回線手動接続」をクリックします。
 「回線手動接続」ページが表示されます。

回線手動接続

このページでは、指定した接続先に回線を手動接続することができます。

《情報一覧より相手を選択して接続をクリックしてください。》

接続ごとに認証Dや認証バスワードを変更する場合には、ワンタイムバスワードの設定を行ってから接 続をクリックしてください。

[接続先情報一覧]

		電話番号1	サブアドレス1	
ネットワーク名	接続先名	電話番号2	サブアドレス2	接続
		電話番号3	サブアドレス3	
		03-2222-2222		
internet	ISP-A			接続

2. [接続先情報一覧]で接続先の欄の[接続]ボタンをクリックします。 回線接続のメッセージが表示されます。

回線を切断する

操作メニューで「回線手動切断」をクリックします。
 「回線手動切断」ページが表示されます。
 回線手動切断
 このページでは、指定した接続中の回線を手動切断することができます。
 《情報一覧より相手を選択して切断をクリックしてください。》

 [接続先情報一覧]

 [法先告権報一覧]

 [ネットワーク名[接続先名]電話番号 通信時間 切断

2. [接続先情報一覧]で回線を切断する接続先の欄の[切断]ボタンをクリックします。
回線切断のメッセージが表示されます。

■ 手動でチャネルを増やす / 減らす

internet ISP-A 032222222* 0000.00.00.00 切断

回線接続中に、通信に使用するBチャネルの数を手動で増減できます。



プロバイダが MP に対応している場合だけ、この機能を利用できます。

チャネルの数を増加する場合は、操作メニューで「手動チャネル増加」をクリックします。 「チャネル数の増加要求を発行しました。」というメッセージが表示されます。 チャネルの数を減らす場合は、操作メニューで「手動チャネル減少」をクリックします。 「チャネル数の減少要求を発行しました。」というメッセージが表示されます。

■ ネットワークの接続を確認する

ping コマンドを使って、IP 接続が成立しているかどうか確認できます。

- ping実行中は、通話料金がかかります。
- かんたんフィルタがかかっているときは、pingを送信できないので応答はありません。
- かんたんフィルタを使用している場合、ISDN回線が接続されません。

▋ ● 操作メニューで「疎通確認」をクリックします。

「疎通確認 (ping)」ページが表示されます。

疎通確認(ping)

このページでは、pingコマンド(ICMP ECHOバケット)による通信の確認ができます。

ping送信先	
設定終了後、ping送信をクリックしてください。設定を元	に戻す場合はキャンセルをクリックしてください
Ping送信 キャンセル	

2. 「ping送信先」に送信先のIPアドレスを入力します。

3. [ping送信]ボタンをクリックします。

「ping 実行中」というメッセージが表示されたあと、ブラウザ画面に ping 送信結果が表示されます。

■ 時計を設定する

NetVehicleの内部時計の時刻を設定できます。時刻設定する方法は以下の3つがあります。

- ブラウザを利用しているパソコンの時刻を取得する方法
- ネットワーク上の TIME サーバまたは NTP サーバから時刻を取得する方法
- 任意の時刻を設定する方法

操作メニューで「時刻設定」をクリックします。
 「時刻情報設定」ページが表示されます。

時刻情報設定

▲電源を切断しますと時刻は初期化されます。

[時刻の設定]		
パソコンから時刻を取得	パンコンの現在時刻 [2002 年 3 月 15 日 10 時 48 分 25 秒	設定
タイムサーバから時刻を取得	サーバアドレス 設定されていません。	-
任意の時刻を設定	1970 年 01 月 01 日 00 時 00 分 00 秒	設定

 「任意の時刻を設定」を指定する場合は現在の日時を入力します。 指定する時刻の設定方法の[設定]ボタンをクリックします。
 「時刻を に設定しました。」というメッセージが表示されます。

■ テレホーダイ機能を使う

INS テレホーダイは、NTT が提供するサービスです。午後11時から午前8時の深夜・早朝時間帯に、あらかじめ指定した2つの電話番号に対してかけ放題になります。 テレホーダイ機能利用時は、指定された時間だけ無通信監視機能を停止して自動切断させないようにしま

(補)足) ルータ設定の「相手情報」で、接続先ごとにテレホーダイの使用有無を設定できます。

テレホーダイの時間帯を設定する



- 2. 「テレホーダイタイマ」で、回線を接続したままにしておく時間を入力します。
- **3.** [テレホーダイ開始]ボタンをクリックします。 設定した時間、回線が接続されたままになります。

テレホーダイを開始する / 停止する

テレホーダイを開始するときは操作メニューの「テレホーダイ設定」ページで[テレホーダイ開始]ボタンをクリックします。
 テレホーダイを停止するときは[テレホーダイ終了]ボタンをクリックします。
 [テレホーダイ終了]ボタンをクリックすると、「テレホーダイタイマをキャンセルしました」というメッセージが表示されます。
 Chな事に気をつけて

[テレホーダイ開始]ボタンをクリックすると、テレホーダイ時間帯以外でもずっとつながった状態となります。

■ 留守モードの ON/OFF を設定する

NetVehicle では、あらかじめ「装置情報設定」の「留守モード情報」に留守(外出)中の動作を設定して おくことにより、在宅時の設定(留守モード OFF)を留守中の設定(留守モード ON)にかんたんに切り 替えることができます。



留守モードを ON に設定する

操作メニューで「留守モード切替え」をクリックします。
 「留守モード切替え」ページが表示されます。
 留守モード切替え

現在の状態: 留守モードOFF	
留守モードへ移行	

留守モード切替えを行うには、	"装置情報設定"の留守モード情報が設定されている必要があります。
油 모바 起記 습 시 원 기	

留守モードをONにするときは、[留守モードへ移行]ボタンをクリックします。
 「留守モードへ移行しました」というメッセージが表示されます。
 留守モード情報の設定を変更する場合は、[装置情報設定へ移る]ボタンをクリックします。
 「装置情報設定」の「留守モード情報」が表示されます。

留守モードを OFF に設定する

操作メニューで「留守モード切替え」をクリックします。
 「留守モード切替え」ページが表示されます。
 留守モード切替え

現在の状態:留守モードON	
留守モードを解除	

2. 留守モードを OFF にするときは、[留守モードを解除]ボタンをクリックします。 「留守モードを解除しました」というメッセージが表示されます。



表示メニューでは、回線接続状況、回線への課金情報、IP統計情報、メールチェック、メール着信通知、チャ ネル統計情報、回線ログ情報、システムログ情報、ルーティング情報、現在時刻、経過時間情報を確認でき ます。

|表示メニューを表示する

NetVehicleのトップページで、画面上部の[表示]アイコンをクリックすると、表示メニューが表示されます。



🔜 回線接続状況を確認する

ISDN 回線への接続状況を確認することができます。

┃ 表示メニューで「回線接続状況」をクリックします。

「回線接続状況」ページが表示されます。

【回線接続状況】

チャネル	回線状	接続形	ネットワーク名	雪 託 册 早	送信回線	受信回線使	→面/=====目	ר, ואקסו
番号 態		態	接続先名	백마표수	使用率	用率	12 12 14 181	
B1	接结由	彩信	internet	0322222222	1%	100%	0000.00.00.12	172 16 32 45
	130176-1	7616	ISP-A	0022222222	170	100%	0000.00.00.12	172.10.02.40
B2	未使用			-	0%	0%	00.00.00.0000	-

■ 課金情報で運用状況を確認する

NetVehicleの電源を入れてから現在までの、ISDN回線に対する課金情報を確認することができます。

┃ • 表示メニューで「課金情報」をクリックします。

[データ通信課金情報][接続先別データ通信課金情報][マルチTA課金情報][アナログポート課金情報]が表示されます。

2. 以下の項目を確認します。

【データ通信課金情報】

- 通信総時間 データ通信の通信時間の累計です。
- 課金合計金額 データ通信の通信料金の累計です。
- 最長通信 データ通信の過去の記録において、1回の通信で最長の時間、通信料金、接続相手 先です。
- 最高課金 データ通信の過去の記録において、1回の通信で最高金額、通信時間、接続相手先 です。
- 最終接続 データ通信において、最新の通信での通信時間、通信料金、接続相手先です。

【接続先別データ通信課金情報】

接続先ごとの通信時間の累計および通信料金の累計が表示されます。

【マルチ TA 課金情報】

- 通信総時間 マルチTA通信の通信時間の累計です。
- 課金合計金額 マルチ TA 通信の通信料金の累計です。
 - データ通信課金情報クリア [データ通信課金情報クリア]ボタンをクリックすると、現在保持している上記3つの情報をすべてクリアします。

【アナログポート課金情報】

- 最長通信 アナログ通信の過去の記録において、1回の通信で最長の時間、通信料金、相手先 電話番号です。
- 最高課金 アナログ通信の過去の記録において、1回の通信で最高金額、通信時間、相手先電
 話番号です。
- 最終接続 アナログ通信において、最新の通信での通信時間、通信料金、相手先電話番号です。
- 合計 アナログ通信の通信時間と通信料金の累計です。

アナログポート課金情報クリア [アナログポート課金情報クリア]ボタンをクリックすると、現在 保持しているアナログポート課金情報をすべてクリアします。

全ての課金情報クリア [全ての課金情報クリア]ボタンをクリックすると、現在保持している課 金情報をすべてクリアします。

【デー	タ通信調	果金情	報】		
通信総時	間	0000.	00:00:00		
課金合計	金額	□円			
	ネットワー:	2名 -			
最長通信	接続先名	- 0000	00.00.00		
	时间 - 全額	0000.	00:00:00		
	- 単線 ネットワー	011 クター			
	接続先名	-			
最高課金	時間	0000.	00:00:00		
	金額	0円			
	ネットワー	ク名 -			
星纹连续	接続先名	-			
490.002.130.02	時間	0000.	00:00:00		
	金額	◎円			
	接続先別デー	-タ通信課:	金情報		
ネットワー	-ク名 接続分	も名 時間	金額		
TEST2	TEST	2 0000.	00:00:00 0円		
T T	ルチTA課金	情報	-		
通信総時	間 0000.	00:00:00	—		
課金合計	金額 0 円				
デ・	-タ通信課金	は情報クリア	,		
r	- L ² 19		4++ N		
アナ	ロクボー	ト課金	情報】		
		電話番号	時間	金額	
	最長通信	-	0000.00:00:00	0円	
40.14	最高課金	-	0000.00:00:00	0円	
W - FI	最終接続	-	0000.00:00:00	0円	
	合計		0000.00:00:00	0円	
	星星通信	-		ſпщ	
	最高課金	-	0000.00:00:00	n m	
ポート2	最終接続	-	0000.00:00:00	0H	
	合計		0000.00:00:00	0円	
	BE MA		0000 00.00.00		
	- 東支逓信 - 長空運会		0000.00:00:00		
トータル	取回課 並 最終接続	_			
	合計		0000.00:00:00		
<u> </u>				• • •	
7	ナログボート	課金情報公	7リア		
全て	の課金情報	クリア			
通信課会	快期 (41)	面信本業者	- との綱関接結体日	37-#	ガニとってけていい理会値とけないません
また通信	時間は、網	161-2/7	アナウンスしている	時間を	
アナログオ (例:疑似)	、一ト課金情 着信転送時(戦のトータ) の課金情報	いまポート1とボー 動まポートを特定で	ト2の台 きないり	∤計とは異なる場合があります。 ため、トータルのみ課金情報が反映されます。)
_					
() こ	んな事	こ気を	つけて・・	• •	
- .	木書の夷	記で使え	われス通信料	全と	は INSネット64.其木サービスの「料全桔報通知」をもとに NetVebicle
	(のい) フト	ローマ	が管出した値	亚CI です	管出される値は、お客様の契約や回線利田状況に上り異なりますので、読載
	全額とけ	シェッ /	キーみしませ	د ع د	
		- 近 9 U		/0。 12	_
	例えば以	、トのよ [、]	うな場合かめ	りま	9.
	・INSテ	レホーク	>1 利用時	 ·	
	• NTT [оСоМ	o 以外の自動	申電詞	
	· PHS &	と通話し	た場合(PIA	FS	こよるデータ通信も含む)
•	本装置の	電源を	切ると、課金	情報	はすべてクリアされます。
• •	• • •	• • • •		• •	

🔜 IP 統計情報を見る

回線を介した通信のプロトコルごとの内訳を確認できます。

表示メニューで「IP 統計情報」をクリックします。
 「IP 統計情報」ページが表示されます。

【IP統計情報】

top:	
	325 packets sent
	176 data packets (107278 bytes)
	0 data packets (0 bytes) retransmitted 0 resends initiated by MTU discovery
	139 ack-only packets (12 delayed)
	0 URG only packets
	0 window probe packets
	U window update packets
	354 packets received
	164 acks (for 107405 bytes)
	62 duplicate acks
	U acks for unsent data 84 packets (1999) butes) received in-sequence
	A completely duplicate packets (A bytes)
	0 old duplicate packets
	0 packets with some dup. data (0 bytes duped)
	63 out-of-order packets (U bytes)
	0 packets (0 bytes) of data after window A window probes
	0 window update packets
	O packets received after close
	0 discarded for bad checksums
	U discarded for Dad neader offset fields D discarded because packet too short
	0 connection requests
	64 connection accepts
	0 bad connection attempts
	U listen queue overflows 24 generations actualished (includion seconds)
	64 connections established (including accepts) 61 connections closed (including 0 drops)
	0 connections updated cached RTT on close
	O connections updated cached RTT variance on close
	0 connections updated cached ssthresh on close
	151 segments updated rtt (of 151 attempts)
	O retransmit timeouts
	O connections dropped by rexmit timeout
	U persist timeouts
	0 keepalive timeouts
	0 keepalive probes sent
	0 connections dropped by keepalive
	U correct AUX header predictions 64 correct data packet beader predictions
udp:	64 correct data packet neader predictions
	11906 datagrams received
	0 with incomplete header
	i with bad data length field 5 with bad checksum
	0 dropped due to no socket
	6372 broadcast/multicast datagrams dropped due to no socket
	0 dropped due to full socket buffers
	U not for hashed pcb 5528 delivered
	2838 datagrams output
ip:	
	12530 total packets received
	3 bad header checksums 0 with size smaller than minimum
	0 with data size < data length
	0 with header length < data size
	0 with data length < header length
	U with bad options
	0 fragments received
	0 fragments dropped (dup or out of space)
	O fragments dropped after timeout
	U packets reassembled ok 12260 packets for this best
	0 packets for unknown/unsupported protocol
	0 packets forwarded
	266 packets not forwardable
	u regirects sent 3164 packets sent from this bost
	0 packets sent with fabricated ip header
	O output packets dropped due to no bufs, etc.
	0 output packets discarded due to no route
	u output datagrams fragmented D fragments created
	0 datagrams that can't be fragmented
icmp:	
	0 calls to icmp_error
	u errors not generated 'cuz old message was icmp A messages with had code fields
	0 messages < minimum length
	0 bad checksums
	0 messages with bad length
	u messake respunses kenerated

■ 電子メール着信通知を見る

到着しているメールの確認ができます。

メールの着信を確認する場合は、「詳細設定」の「Eメールエージェント情報」で情報を指定してください。



メール着信通知

メール着信通知が到着すると、CHECK ランプが緑色で点滅します。

メール著信通知消去

2. 確認が終了したら、[メール着信通知消去]ボタンをクリックします。 「メール着信通知を消去しました。」というメッセージが表示され、CHECK ランプが消灯します。メール 着信通知は削除されます。

メールチェック

到着しているメールがある場合は、CHECKランプが緑色で点滅します。POP3プロトコルを使用してメー ルサーバにアクセスしてメールの着信を確認します。

- 表示メニューで「メールチェック」をクリックします。
 「メールチェック」ページが表示されます。
- 2. チェックするメールのユーザ名の欄の [表示] ボタンをクリックします。

3. メールパスワードを入力し、[実行]ボタンをクリックします。 到着しているメールが表示されます。

【メールチェック】

サーバにメールが2件到着しています。

最近取得した2件を表示します。

[tsutomu]

通番	差出人	題名	送信時刻
1	Girl Friend (cherry@mail.ne.jp)	HELLO!!	03/03 03:33 +0900
2	NetVehicle ML (nv@fujitsu.co.jp)	NetVehicleユーザのみなさまへ	03/04 10:00 +0900

メールチェック 消去

■ チャネル統計情報を見る

回線接続の情報を確認できます。

表示メニューで「チャネル統計情報」をクリックします。 「チャネル統計情報」ページが表示されます。

【チャネル統計情報】

call setup count	= 0)
call busy count	= 0)
call error count	= 0)
called accept count	= 0)
called reject count	= 0)

■ 回線ログ情報で運用状況を確認する

ISDN回線への接続、切断に関する情報を確認できます。通信エラーが発生した状況や、通信エラーの原因 を示した「ログ内容」が表示されます。

- 表示メニューで「回線ログ」をクリックします。
 「回線ログ」ページが表示されます。
 - ログ番号 ログの番号です。
 - 発生時刻
 ログが記録された時刻です。
 - チャネル ログが記録された事象が発生したチャネルです。
 - ログ内容 ログの内容です。

 [詳細コード=XX/XX/XXYY]の「YY」は理由コードを示します。理由コードは「ISDN 理由表示番号一覧」(P.280)を参照してください。

【回線ログ】

ログ番号	発生時刻	チャネル	ログ内容
01	1998/11/10 01:00:38	-	発信ログ IPパケットの転送が発生しました。 Protocol:TCP 128.1.2.146(32783)->192.168.1.1(21)
02	1998/11/10 01:16:44	B1ch	回線エラー発生 [詳細コード=30/00/82a9] エラーが発生しました。
03	1998/11/10 05:21:15	B1ch	発信失敗 [詳細コード=30/00/8095] エラーが発生しました。

[表示例]

発信ログ

IP パケットの転送が発生しました。

Protocol: TCP192.168.1.2 (1149) 202.248.2.226 (53)

[説明]

- 発信元が192.168.1.2 でポート1149を使用して202.248.2.226 ヘポート53 でアクセスしたことを示します。
- ポート 1149 は送信元が内部で使用しているポート番号です。

■システムログを見る

接続先や接続時間の情報などを確認できます。通信エラーや超過課金の原因を知る手がかりになります。

表示メニューで「システムログ」をクリックします。
 「システムログ」ページが表示されます。
 【システムログ】
 Oct 1 00:00:00 init: system statrup now
 Oct 1 00:01:00 protocol: connected Blch to simple(0123-456-7890)
 Oct 1 00:03:55 protocol: disconnected Blch from simple : charge=10yen time=0000.00:02:55

■ ルーティング情報を見る

ルーティングテーブルを確認できます。

1 表示メニューで「ルーティング情報」をクリックします。 「ルーティング情報」ページが表示されます。

【ルーティング情報】

Routing tables

Internet: Destination	Gateway	Flags	Refs	Use	Netif E	Expire
127.0.0.1 128.1.2/24	127.0.0.1 Link#1	UC	0 0	0	100	
128. 1. 2. 5	8:0:20:74:1f:55	UHLW	6	175	lan0	980
128. 1. 2. 51	0:0:e:57:0:3	UHLW	0	10	lo0	
128. 1. 2. 146	0:80:17:48:61:c0	UHLW	1	440	lan0	204
192. 168. 1. 1	128. 1. 2. 51	UH	1	4	lo0	

現在時刻を見る

現在時刻を確認できます。



Tue Nov 30 17:04:00 1999

|経過時間情報を見る

電源投入後、経過した時間を確認できます。

 表示メニューで「経過時間情報」をクリックします。
 「経過時間情報」ページが表示されます。
 【経過時間情報】
 0000.07:19:42



メンテナンスメニューでは、NetVehicleのファームウェアを更新したり、各種情報の確認ができます。

■ メンテナンスメニューを表示する

NetVehicleのトップページで、画面上部の[メンテナンス]アイコンをクリックすると、メンテナンスメ ニューが表示されます。



🔜 バージョン情報

NetVehicle 内蔵ファームウェアのバージョンを確認できます。

メンテナンスメニューで「バージョン情報」をクリックします。
 「バージョン情報」ページが表示されます。

【バージョン情報】

NetVehicle-S20 00000eaab4e5 ROM:1.0 FIRM:E32L51 PTF:ST0003

■ PPP フレームトレース情報を見る

PPPのプロトコル情報を表示します。回線がつながりにくい場合は、ここに表示される情報を確認します。

メンテナンスメニューで「PPP フレームトレース」をクリックします。
 「PPP フレームトレース情報」ページが表示されます。

フレームトレース情報の見方

PPP フレームトレース情報は、以下のように表示されます。

表示例)

[02] B1ch : Recv LCP Configure-Request id=00 len=19 97.09.01 09:19:54.225 data=c021 01 00 0013 0305 c223 0505 06f0 1e4a 5007 0208 02

表示されている情報は、以下に示すような要素に分けられます。

 $[02] \underline{B1ch}: \underline{Recv} \underline{LCP} \qquad \underline{Configure-Request id=00}_{\exists = 0} \underline{len=19} \qquad \underline{97.09.01 \ 09:19:54.225}$

^{参照} ◇ PPP フレームトレース情報の一覧 「 PPP フレームトレース情報詳細」(P.278)

■ エラーログ情報

NetVehicle本体の異常に関する情報が記録されている場合は、ここで確認できます。 添付の「修理・サービス網一覧表」をご覧の上、「富士通パーソナルエコーセンター」へ連絡してください。 その際、エラーログ情報の内容をお知らせください。

メンテナンスメニューで「エラーログ情報」をクリックします。
 「エラーログ情報」ページが表示されます。

■ NetVehicle のファームウェアを更新する

ファームウェアを更新すると、NetVehicle に新しい機能を追加できます。

.

┃ ・ メンテナンスメニューで「ファームウェア更新」をクリックします。

FTPダウンロードによるファームウェア更新

.

以下の情報をもとにファームウェアを更新します。情報に誤りがない場合はOKボタンをクリックしてくださ



2. 表示されている内容を確認し、正しければ[OK]ボタンをクリックします。 ファームウェアの更新が始まります。

・ファームウェアの更新を中止したいときは、[中止]ボタンをクリックします。
 ・回線の混み具合によっては、20分以上かかる場合があります。

- **3.** ファームウェア更新の終了を通知するポップアップ画面が表示されます。[OK]ボタンを クリックします。ファームウェア更新画面の「正常終了」のメッセージを確認します。
- **4.** [トップページに戻る]ボタンをクリックします。 トップページに戻ります。

■ オンラインサポート機能

ISDN回線に接続された遠隔地(リモート側)のNetVehicleに対して、管理者側(センタ側)のNetVehicle をWWW ブラウザで操作することによりメンテナンスができます。 本機能は、IP 接続を必要としないため、ご購入時の状態の NetVehicle に対しても行えます。

ただし、以下の条件を満たす必要があります。

対象の NetVehicle が ISDN 回線に接続されていること

対象と同一機種の NetVehicle が ISDN 回線に接続されていること

■ 対象の Net Vehicle の ISDN 回線の「ユーザ間情報通知サービス」の契約が「着信許可」であること 以下に、それぞれの概要を示します。



(1) 設定を変更する

センタ側のNetVehicleから、リモート側のNetVehicleの設定を行うことができます。センタ側の NetVehicleのメンテナンスメニューからオンライサポートを開始すると、それ以降は、通常と同様の手順 でリモート側の設定を行うことができます。

(2)ファームウェア更新

センタ側の NetVehicle から、リモート側の NetVehicle のファームウェアを更新することができます。 センタ側の NetVehicle のメンテナンスメニューからオンライサポートを開始すると、それ以降は、通常 と同様の手順でリモート側のファームウェアを更新することができます。 また、センタ側の NetVehicle のファームウェアをリモート側に書き込むことができます。

(3)構成定義情報の退避/復元

センタ側のNetVehicleから、リモート側のNetVehicleの構成定義情報の退避/復元を行うことができます。センタ側のNetVehicleのメンテナンスメニューからオンライサポートを開始すると、それ以降は、 通常と同様の手順でリモート側の構成定義情報の退避/復元を行うことができます。

メンテナンス手順

以下にオンラインサポート機能によるメンテナンス手順を説明します。

センタ側の Net Vehicle のメンテナンスメニューで「オンラインサポート」をクリックします。

「オンラインサポート」ページが表示されます。

- リモート側の電話番号と暗証番号を指定し、[オンライサポート開始]ボタンをクリックします。
 - (補) に ご購入時の設定では、暗証番号が設定されていないので、リモート側NetVehicleのMACアドレスを暗証番号と して指定します。MACアドレスは、必ず半角小文字の英数字で指定してください。

参照 MAC アドレス 基本編「NetVehicle 背面」(P.24)

- **3.** 正常に接続されたあとは、センタ側の NetVehicle を設定するのと同様の手順でリモート 側の NetVehicle を操作することができます。
- **4.** [オンラインサポート終了]ボタンをクリックして、オンラインサポートを終了します。 B1またはB2ランプが消灯し、回線が切断されます。

<u>参照</u> 表示ランプの意味 基本編「NetVehicle 前面」(P.23)

- 本機能を使用しての発信にはINSネット64の「ユーザ間情報通知サービス」を使用するため、1回の発信に つき1メッセージ分の料金が通信料金とは別にかかります。また、ISDN回線を契約するときは、ユーザ間情報 通知サービスを「着信許可」としてください。
- オンラインサポート中は、ISDN回線は接続されたままとなります。無通信監視タイマによる自動切断は行われません。
 設定終了後は必ずオンラインサポートを終了し回線が切断されたことを確認してください。
- 暗証番号にはリモート側のNetVehicleに設定された暗証番号を指定してください。一致しない場合は接続できません。なお、リモート側のNetVehicleがご購入時の状態、またはオンラインサポート情報未設定の場合は、暗証番号としてMACアドレスを指定することにより接続できます。
- LANポート用MACアドレスは装置背面に表記されているとおり半角小文字の英数字で指定してください。
- オンラインサポートで設定できる項目はセンタ側のNetVehicleにある項目のみに限定されます。センタ側とリ モート側で機種が異なる場合、およびファームウェアの版数が異なる場合は、設定できない項目があります。
- センタ側の電話番号および暗証番号はセキュリティ確保のために設定しておく必要があります。ルータ設定の「装置情報」で指定してください。

|構成定義情報を退避する / 復元する

現在のNetVehicleの構成定義情報をファイルに保存し、退避しておきます。必要になったときに保存し ておいた構成定義情報を復元できます。

- 構成定義情報の退避:メンテナンスメニューの「構成定義情報」ページを、WWW ブラウザ機能を使っ てファイルに保存します。
- 構成定義情報の復元:WWW ブラウザで保存しておいた「構成定義情報」ページのファイルを開き、[復 元]をクリックします。

. .

現在の NetVehicleの IP アドレスと保存時の IP アドレスが異なると復元できません。

.

構成定義情報

このページでは、構成定義情報の退避および復元ができます。

構成定義情報の退避 ブラウザの機能を使ってこのページを名前をつけてファイルへ保存してください。

構成定義情報の復元 保存したファイルをブラウザで開き、下の復元ボタンをクリックしてください。 現在の NetVehicle のIPアドレスと保存時のIPアドレスが異なると、復元できません。保存時のIPアドレス は 192.168.1.1 です。

clear all wan O isine isdn ins64 wan O isdn global accept wan O isdn number O any wan O isdn number 1 any wan O isdn numbersend default * wan O isdn numbersend default
wan O isdn limit charge 3000 yes
wan O isdn limit time Od yes
wan O isdn accept enable
wan O isdn accept enable
wan O isdn accept enable
wan O isdn keeptime 2h
lan O ip address 192.168.1.1/24 3
lan O ip rip off off off
lan O ip dhcp info dns 192.168.1.1
lan O ip dhcp info sterway 192.168.1.1
lan O ip dhcp info time 1d
lan O ip dhcp info time 11
lan O ip dhcp info time 14
lan O ip dhcp info asteway 192.168.1.1
lan O ip dhcp entre sterver
remote O name internet
remote O autodial enable 4

復元 キャンセル

電話番号を変更する

スケジュール情報の電話番号変更予約情報で設定した電話番号の変更を手動で行うことができます。

・メンテナンスメニューで「電話番号変更」をクリックします。 「電話番号変更」ページが表示されます。

電話番号変更

このページでは、電話番号変更予約情報で設定した電話番号の変更を手動で実施することができます。

※実行日時が赤文字で表示されている情報は、既に経過した日時の予約情報です。

《情報一覧より電話番号変更予約情報を選択し、実行してください。》

[電話番号変更予約情報一覧]				
実行日時	電話番号変更情報	実行		
2000/01/01 00:00	06-123-4567 -> 06-6123-4567	実行		
-	-	実行		
-	-	実行		
-	-	実行		

2. 変更する電話番号変更予約情報の[実行]ボタンをクリックします。 電話番号が変更されます。



NetVehicleはFTPサーバ機能を持っており、パソコンやUNIXシステムのftpコマンドを使って構成定義 情報の退避 / 復元およびファームウェア更新ができます。



FTP サーバ機能を利用するときのユーザ名、パスワードは以下のとおりです。

■ ユーザ名 : ftp-admin

■ パスワード : 詳細設定で設定した管理者パスワードを指定します。

(補)定) 管理者パスワードを設定していない場合は、FTP サーバ機能もパスワードがないものとして動作します。

メンテナンス対象のファイル

FTP サーバ機能でメンテナンス対象となるファイル名は以下のとおりです。

- ■構成定義情報 : config
- ファームウェア : firmware

再起動方法

ftp コマンドのサブコマンドとして「get reset」を入力すると NetVehicle を再起動します。

セキュリティ確保のため管理者パスワードを設定することを強く推奨します。 設定しない場合、ネットワーク上の誰からでもアクセスできるため非常に危険です。

FTP サーバ機能による構成定義情報の退避

パソコン上のftpコマンドを使って構成定義情報を退避する場合について説明します。



- - ・NetVehicleの電源を切らないでください。
 - ・NetVehicle上でデータ通信していないことを確認してください。
 - ・WWW ブラウザ、コンソールによる設定作業を一切していない状態で行ってください。

ftp コマンドの使用例

構成定義情報(config)をパソコン上のconfig1ファイルに退避する場合の例を示します。

# cd 構成定義情報格納ディレクトリ	
# ftp 192.168.1.1	: NetVehicle に接続する
Connected to 192.168.1.1.	
220 NetVehicle-S20 FTP server(Ver1.0) ready	1.
Name (192.168.1.1:root): ftp-admin	:ユーザ名を入力する
331 Password required for ftp-admin.	
Password:	:パスワードを入力する
230 User ftp-admin logged in.	
ftp> bin	: バイナリモードにする
200 Type set to I.	
ftp> get config config1	:構成定義情報(config)を config1 ファイルに格納する
local: config remote: config1	
200 PORT command successful.	
150 Opening BINARY mode data connection f	or 'config' (2753 bytes).
226 Transfer complete.	
2857 bytes received in 1.10 seconds (2.44 K	(bytes/s)
ftp> bye	:処理を終了する
221 Goodbye.	
#	

(補)足)パスワードは、詳細設定の「パスワード情報」で設定した管理者パスワードを指定してください。

FTP サーバ機能による構成定義情報の復元

パソコン上のftp コマンドを使って構成定義情報を復元する場合について説明します。



- メンテナンス作業時は、必ず以下のことを守ってください。
 - ・NetVehicleの電源を切らないでください。
 - ・NetVehicle上でデータ通信していないことを確認してください。

.

・WWW ブラウザ、コンソールによる設定作業を一切していない状態で行ってください。

ftp コマンドの使用例

構成定義情報(config)をパソコン上のconfig1ファイルから復元する場合の例を示します。

# cd 構成定義情報格納ディレクトリ	
# ftp 192.168.1.1	: NetVehicle に接続する
Connected to 192.168.1.1.	
220 NetVehicle-S20 FTP server(Ver1.0)	ready.
Name (192.168.1.1:root): ftp-admin	:ユーザ名を入力する
331 Password required for ftp-admin.	
Password:	:パスワードを入力する
230 User ftp-admin logged in.	
ftp> bin	: バイナリモードにする
200 Type set to I.	
ftp> put config1 config : co	onfig1ファイルを構成定義情報(config)として書き込む
local: config1 remote: config	
200 PORT command successful.	
150 Opening BINARY mode data connect	tion for 'config'.
226- Transfer complete.	
update: File information check now!	
update: File information check ok.	
:	
226 Write complete.	
2856 bytes sent in 1.10 seconds (2.44	Kbytes/s)
ftp> get reset	: NetVehicle を再起動する
local: reset remote: reset	
200 PORT command successful.	
421 reset Request OK. bye.	
ftp> bye	:処理を終了する
#	

(補)定・パスワードは、詳細設定の「パスワード情報」で設定した管理者パスワードを指定してください。

・ftp コマンドのサブコマンドとして「get reset」を入力するとNetVehicleを再起動します。

【FTP サーバ機能によるファームウェアの更新

パソコン上のftpコマンドを使ってファームウェアを更新する場合について説明します。



.

- メンテナンス作業時は、必ず以下のことを守ってください。
 - ・NetVehicleの電源を切らないでください。
 - ・NetVehicle上でデータ通信していないことを確認してください。
 - ・WWW ブラウザ、コンソールによる設定作業を一切していない状態で行ってください。
 - ・ファームウェアを更新する前に、構成定義情報を退避しておいてください。

ftp コマンドの使用例

ファームウェアをパソコン上から更新する場合の例を示します。

# cd 構成定義情報格納ディ	ィレクトリ	
# ftp 192.168.1.1		: NetVehicle に接続する
Connected to 192.168	.1.1.	
220 NetVehicle-S20 F	TP server(Ver1.0) ready.	
Name (192.168.1.1:ro	ot): ftp-admin	: ユーザ名を入力する
331 Password required	l for ftp-admin.	
Password:		: パスワードを入力する
230 User ftp-admin log	ıged in.	
ftp> bin		: バイナリモードにする
200 Type set to I.		
ftp> put S20SOFT.ftp f	irmware	:ファームウェアを書き込む
local: S20SOFT.ftp rem	ote: firmware	
200 PORT command s	uccessful.	
150 Opening BINARY r	mode data connection for 'firm	ware'.
226- Transfer complete	9.	
update: Transfer file ch	eck now!	
update: Transfer file ch	eck ok.	
:		
226 Write complete.		
631966 bytes sent in	97.80 seconds (6.31 Kbytes	/s)
ftp> get reset		: NetVehicleを再起動する
local: reset remote: res	et	
200 PORT command s	uccessful.	
421 reset Request OK	. bye.	
ftp> bye		:処理を終了する
#		

(補)定 ・パスワードは、詳細設定の「パスワード情報」で設定した管理者パスワードを指定してください。

・ftp コマンドのサブコマンドとして「get reset」を入力するとNetVehicleを再起動します。



この章では、

本書で使われている用語や、NetVehicleの仕様などを説明します。

PPP フレームトレース情報詳細21	78
ISDN 理由表示番号一覧	80
システムログ情報一覧28	82
システムのメッセージ28	82
ディジタル通信のメッセージ	82
アナログ通信のメッセージ28	85
オンラインサポートのメッセージ28	88
ProxyDNSのメッセージ28	89
ftpdのメッセージ29	90
スケジュールのメッセージ	91
メールチェックのメッセージ	92
メール着信通知のメッセージ	93
マルチ TA のメッセージ	94
その他のメッセージ	94
用語集	96
Q&A	00
「詳細設定」で設定できる項目3 ′	18
索引	21



表示形式

表示例				
[02] Blch : Recv LCP Configure-Request id=00 len=19 97.09.01 09:19:54.225				
data= <u>c021 01 00 0013</u> <u>0305 c223 0505 06f0 1e4a</u>				
5007 0208 02				
プロトコル種別 ID パケット長 データ				
コード種別				
説明				
[02] Blch : Recv LCP Configure-Request id=00 len=19 97.09.01 09:19:54.225				
チャネル Blchまたは B2ch が表示されます。				
送受信 Send または Recv が表示されます。				
プロトコル種別 PPPにおけるプロトコル種別が表示されます。以下のプロトコルが表示されます。プロトコル種別前にMP:が付加された場合は、そのパケットはMPによりカプセル化されて				
Oxc021 LCP : LINK Control Protocol				
0xc023 PAP . Password Authentication Protocol				
0x8021 TECE : Internet Protocol Control Protocol				
Ox80ED CCP : Compression Control Protocol				
Ox80FB ICCP : Individual Compression Control Protocol				
Oxc02D BAP : Bandwidth Allocation Protocol				
Oxc02B BACP : Bandwidth Allocation Control Protocol				
Oxc029 CBCP : Callback Control Protocol				
コード種別 各プロトコルにおけるコードの内容が表示されます。以下の文字列が表示されます。				
- プロトコル種別が LCP、IPCP、CCP、ICCP の場合				
Ox01 Configure-Request				
Ox02 Configure-Ack				
Ox03 Configure-Nak				
Ox04 Configure-Reject				
Ox05 Terminate-Request				
Ox06 Terminate-Ack				
Ox07 Code-Reject				
- プロトコル種別が LCP の場合				
Ox08 Protocol-Reject				
Ox09 Echo-Request				
Ox0A Echo-Reply				
Ox0B Discard-Request				

- プロトコル種別が CCP、ICCP の場合
 - Ox0E Reset-Request
 - OxOF Reset-Ack
- プロトコル種別が PAP の場合
 - Ox01 Authenticate-Request
 - 0x02 Authenticate-Ack
 - Ox03 Authenticate-Nak
- プロトコル種別が CHAP の場合
 - Ox01 Challenge
 - Ox02 Response
 - Ox03 Success
 - Ox04 Failure
- プロトコル種別が BAP の場合
 - Ox01 Call-Request
 - Ox02 Call-Response
 - Ox03 Callback-Request
 - Ox04 Callback-Response
 - 0x05 Link-Drop-Request
 - Ox06 Link-Drop-Resp
 - 0x07 Call-Status-Ind
 - Ox08 Call-Status-Rsp
- プロトコル種別が CBCP の場合
 - Ox01 Callback-Request
 - Ox02 Callback-Response
 - Ox03 Callback-Ack

ID フィールド値 PPP フレーム中の ID フィールドの値が、2 桁の 16 進数で表示されます。

- パケット長 送受信したパケット長が10進数で表示されます。
- data= 送受信したパケットの内容を16進数で表示します。最大108バイト分まで表示され、 それよりあとは表示されません。

例外

ネゴシエーション開始時は、例外的に特別なトレース情報が表示されます。以下のような表示形式となり ます。

[03]	<u>B1ch</u> :	PPP session start	<u>97.09.01 (</u>	<u>)9:19:54.225</u>
Ŧ	ー マネル	 ネゴシエーション開始を表す	ppp trac	 e 採取時間
_ ログ番号 (01 -	~ 99)			



正常イベントクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
0 1	# 1	欠番
0 2	# 2	指定中継網へのルートなし
03	# 3	相手へのルートなし
04	# 6	チャネル利用不可
0 5	# 7	呼が設定済のチャネルへ着呼
10	#16	正常切断
1 1	#17	着ユーザビジー
1 2	#18	着ユーザレスポンスなし
13	#19	相手ユーザ呼出中/応答なし
14	#20	加入者不在
15	#21	通信拒否
16	# 2 2	相手加入者番号変更
1 A	#26	選択されなかったユーザの切断復旧
1 B	#27	相手端末故障中
1 C	#28	無効番号フォーマット(不完全番号)
1 D	#29	ファシリティ拒否
1 E	#30	状態問合せへの応答
1 F	#31	その他の正常クラス

リソース不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別	
22	#34	利用可回線 / チャネルなし	
26	#38	網故障	
29	#41	一時的故障	
2 A	#42	交換機輻輳	
2 B	#43	アクセス情報廃棄	
2 C	#44	要求回線 / チャネル利用不可	
2 F	#47	その他のリソース使用不可クラス	

サービス利用不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
3 1	#49	サービス品質(QOS)利用不可
32	#50	要求ファシリティ未契約
39	#57	伝達能力不許可
3 A	#58	現在利用不可伝達能力
3 F	#63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

サービス未提供クラス

4 1 # 6 5 未提供伝達能力指定	
42 #66 未提供チャネル種別指定	
45 #69 未提供ファシリティ要求	
4 6 # 7 0 制限ディジタル情報転送能力のみ可能	
4 F # 7 9 その他のサービスまたはオプションの未提供クラス	

無効メッセージクラス

_				
	理由コード	理由表示番号	理由種別	
I				
	5 1	#81	無効呼番号使用	
	52	#82	無効チャネル番号使用	
	53	#83	指定された中断呼識別番号未使用	
	54	#84	中断呼識別番号使用中	
	55	#85	中断呼なし	
	56	#86	指定中断呼切断復旧済	
	57	#87	ユーザは CUG メンバでない	
	58	#88	端末属性不一致	
	5 B	#91	無効中継網選択	
	5 F	#95	その他の無効メッセージクラス	

手順誤りクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
60	#96	必須情報要素不足
6 1	#97	メッセージ種別未定義、または未提供
62	#98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ別未定義または未提供
63	#99	情報要素未定義
64	#100	情報要素内容無効
65	#101	呼状態とメッセージ不一致
66	#102	タイマ満了による回復
6 F	#111	その他の手順誤りクラス

インタワーキングクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別	
7 F	#127	その他のインタワーキングクラス	



■ システムのメッセージ

(1)システム起動

init: system startup now.

【プライオリティ】	LOG_INFO
【意味】	システムが起動したことを示します。

(2) システムダウン

init: system down occured. data is followings: init: <elog>

protocol: connected <ch> from <target>(<dial>)

 【プライオリティ】
 LOG_INFO

 【意味】
 システムダウンが発生したことを示します。(注)通常は出力されません。

 【パラメタの意味】
 <elog> : エラーログ情報相当を表示します。

■ディジタル通信のメッセージ

(1)回線接続

Г

protocol: con	nected <ch> to</ch>	<target>(<dial>) by <rea< th=""><th>ason></th></rea<></dial></target>	ason>
【プライオリティ 】 【意味】	LOG_INFO 発信により相 の場合のみ出	手システムと接続した 力されます。	ことを示します。このメッセージは ISDN 回線
【パラメタの意味】	<ch> <target> <dial> <reason></reason></dial></target></ch>	: 接続物理チャネル B1ch または B2ch : ネットワーク名 . 搭 : 相手電話番号 : 発信契機 forwarding packet ProxyDNS MP callback manual	装続先名 :フォワードパケット :ProxyDNS :MP :コールバック応答発信 :手動接続

【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	着信により相等	手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線	
	の場合のみ出れ	りされます。	
【パラメタの意味】	<ch></ch>	:接続物理チャネル	
		B1ch または B2ch	
	<target></target>	: ネットワーク名 . 接続先名	
	<dial></dial>	:相手電話番号	

protocol: non-	protocol: non-charge callback request from <target>(<dial>) is accepted</dial></target>			
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO 無課金コール の場合のみ出	バック要求を受理したことを示します。このメッセージはISDN 回線 力されます。		
【パラメタの意味】	<target> <dial></dial></target>	: ネットワーク名 . 接続先名 : 相手電話番号		
protocol: <ch< th=""><th>> is decided as</th><th><target></target></th></ch<>	> is decided as	<target></target>		
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO <ch>におい⁻ のメッセージ</ch>	て着信した相手が認証により <target>と判明したことを示します。こはISDN回線の場合のみ出力されます。</target>		
【パラメタの意味】	<ch><target></target></ch>	: 接続物理チャネル B1ch または B2ch : ネットワーク名 . 接続先名		
protocol: <ch< th=""><td>s is MP bundled</td><td>as answer<number></number></td></ch<>	s is MP bundled	as answer <number></number>		
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO <ch>におい⁻ けられたこと</ch>	て着信した相手が、すでに接続している不特定相手とMPとして結び付 を示します。		
【パラメタの意味】	<ch> <numbert></numbert></ch>	: 接続物理チャネル B1ch または B2ch : 不特定相手番号。0 または 1 となります。		
)回線切断				

(2)	回線切	IJ断
---	---	---	-----	-----

ſ

protocol: disc	connected <ch:< th=""><th>> to <target> : charge=<value>yen</value></target></th></ch:<>	> to <target> : charge=<value>yen</value></target>		
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは			
	ISDN 回線0	D場合のみ出力されます。		
【パラメタの意味】	<ch></ch>	: 接続物理チャネル		
		B1ch または B2ch		
	<target></target>	: ネットワーク名 . 接続先名		
	<value></value>	:通話料金(円単位)		
	<time></time>	: 接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)		
protocol: disc	connected <ch:< th=""><th>> from <target> : charge=<value>yen time=<time></time></value></target></th></ch:<>	> from <target> : charge=<value>yen time=<time></time></value></target>		
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	相手側、また	こは網から回線切断が通知され、回線が切断されたことを示します。この		
	メッセージ	はISDN 回線の場合のみ出力されます。		
【パラメタの意味】	<ch></ch>	: 接続物理チャネル		
		B1ch または B2ch		
	<target></target>	: ネットワーク名 . 接続先名		
	<value></value>	:通話料金(円単位)		
	<time></time>	: 接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)		

protocol: reje	protocol: rejected call from (<dial>) because <reason></reason></dial>			
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	着信通知を打 されます。	E絶したことを示します。このメッセージは ISDN 回線の場合のみ出力		
【パラメタの意味】	<dial></dial>	:相手電話番号		
	<reason></reason>	: 拒否理由		
		permission denied :着信が許可されていなかったための拒否		
protocol: <ch< td=""><td>ı> is not decide</td><td>d as any defined host, but anonymous login is not usable</td></ch<>	ı> is not decide	d as any defined host, but anonymous login is not usable		
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	認証により着信相手判断を行おうとしたが、合致する接続先情報がなく、かつ不料			
	相手着信ができない状態であったため、切断することを示します。このメッセージは			
	ISDN 回線の場合のみ出力されます。			
【パラメタの意味】	<ch>:接網</ch>	売物理チャネル		
	B1c	h または B2ch		

٦

(4)同期確立 / 外れ

protocol: line	synchronization is established
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO 回線の同期確立が完了したことを示します。このメッセージはHSD回線の場合のみ 出力されます。
protocol: line	synchronization is failed
 【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO 回線の同期外れが発生したことを示します。このメッセージはHSD回線の場合のみ

(5)自動発信抑止

出力されます。

protocol: autodial locked by <name></name>				
【プライオリティ 】 【意味】 【パラメタの意味】	LOG_INFO 発信抑止中の <name></name>	Dため、自動ダ1 :抑止の原因 schedule limiter redial	 イヤルを中止しました。 : スケジュール機能による抑止 : 課金制限による抑止 : 3 分間に 2 回を超える再発信のため自動発呼処理を 中止した。 	

(6)着信抑止

protocol: callin rejected by <name></name>		
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO 着信抑止中の	ため、着信処理を中止しました。
【パラメタの意味】	<name></name>	: 抑止の原因 schedule :スケジュール機能による抑止

protocol: ISDN connect limit over [<reason>]

【プライオリティ】 LOG_WARNING 【意味】 課金制御条件の制限を超過して発信しようとしたことを示します。 【パラメタの意味】 : 超過した内容です。以下の情報のいずれかとなります。 <reason> time=<day>:<hour>:<min>:<sec> :時間制限を超過しました。 charge=<charge>yen :課金制限を超過しました。 課金制限および時間制限の両方が超過している場合には、課金制限超過の内容が出力 されます。

(8)連続接続失敗による発信抑止

protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop 【プライオリティ】 LOG_INFO 【意味】 連続して30回の接続に失敗(ISDNでは接続されるがIP通信ができずに失敗の場 合のみ)し、発信を禁止したことを示します。 【パラメタの意味】 <target>:ネットワーク名.接続先名

■ アナログ通信のメッセージ

(1)発信完了

	analog: connected <port> to (<dial>)</dial></port>		1	
【プラ	イオリティ】	LOG_INFO		¢
【意味]	アナログの発	き信により相手と接続したことを示します。	H
【パラ	メタの意味】	<port></port>	: 発信アナログポート(TEL1,TEL2)	
		<dial></dial>	:相手電話番号	

(2)着信完了

analog: connected (<dial1>) from (<dial2>)</dial2></dial1>			
【プライオリティ 】 【意味】 【パラメタの意味】	LOG_INFO アナログの着信により相手と接続したことを示します。 <dial1> :自側電話番号 <dial2> :相手電話番号(未通知の場合、非通知理由)</dial2></dial1>		
	【非通知理田】 "O":サービス提供不可 "P":ユーザ拒否 "S":サービス競合 "C":公衆電話からの発信	Out of area Anonymous call (Blocked number) Interaction with Service Public payphone (Public telephone)	

(3)発信中止

analog: stop calling <port> to (<dial>) <reason>

【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO アナログの発信	言を中止した、または中止されました。		
【パラメタの意味】	<port> <dial></dial></port>	: 発信アナログポート(TEL1,TEL2) : 相手電話番号		
	<reason></reason>	: "normal" 発信したが相手が応答しないため、受話器を置いて発信を中止したことを示します。 : "layer1/2 error" 発信したが同期外れ状態のため、発呼が中止さ		
	1	れたことを示します。 佐山をお戸宮辺がなどが先生。死佐が古山されたこしたこします。		
	detail=xx 発 切断理由(16	≔xx 発信したが回線切断等が発生し発信が中止されたことを示します。 ≹由(16 進数)(切断理由不明時は "")		
analog: abort	calling <port> to</port>	(<dial>) <reason></reason></dial>		

【プライオリティ】	LOG_INFO	
【意味】	アナログで発信	言したが相手より着信拒否を受信したことを示します。
【パラメタの意味】 <port> : 引</port>		: 発信アナログポート(TEL1,TEL2)
	<dial></dial>	:相手電話番号
	<reason></reason>	:detail=xx 切断理由(16進数)。(切断理由不明時は"")

(4)着信中止

Г

analog: abort called (<dial1>) from (<dial2>) <reason></reason></dial2></dial1>			
【プライオリティ 】 【意味】 【パラメタの意味】	LOG_INFO アナログで相手より着信したが、着信を中止しました。 <dial1> :自側電話番号 <dial2> :相手電話番号(未通知の場合、非通知理由)</dial2></dial1>		
	【非通知理由】 "O":サービス提供不可 "P":ユーザ拒否 "S":サービス競合 "C":公衆電話からの発信 <reason> : "normal" 相手 話器を置いたこと:</reason>		「 Out of area Anonymous call (Blocked number) Interaction with Service 信 Public payphone (Public telephone) 相手より着信したが自側で応答しないため、相手が受 ことを示します。

【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO アナログで相手より着信したが着信拒否、または、回線切断等が発生したことを示し ます。		
【パラメタの意味】	<dial1> : 自側電; <dial2> : 相手電; 【非通知理由】 "O":サービス提作 "P":ユーザ拒否 "S":サービス競行 "C":公衆電話から <reason> : detail=</reason></dial2></dial1>	話番号 話番号(未通知の場合、非通知理由) 供不可 Out of area Anonymous call(Blocked number) 合 Interaction with Service らの発信 Public payphone(Public telephone) =xx 切断理由(16進数)。(切断理由不明時は "")	

analog: stop called (<dial1>) from (<dial2>) <reason>
analog: disco	onnected to (<di< th=""><th>al>) charge=<value>ye</value></th><th>n time=<time> <reason></reason></time></th></di<>	al>) charge= <value>ye</value>	n time= <time> <reason></reason></time>
【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	 アナログで相 す。	手と接続後、受話器を	置いて通話相手との接続を切断したことを示しま
【パラメタの意味】	<dial> : 相手電話番号(未通知の場合 【非通知理由】</dial>		影合、非通知理由)
	"O":サービス提供不可		Out of area
	"P":⊐	Lーザ拒否	Anonymous call (Blocked number)
	"S":サ	トービス競合	Interaction with Service
	"C":公	2.衆電話からの発信	Public payphone (Public telephone)
	<value></value>	:通話料金(円単位))
	<time></time>	:接続時間(dddd.h	h:mm:ss の形式)
	<reason></reason>	: "normal" 自側の す。)受話器を置いたことより切断したことを示しま

(6)相手から切断

analog: disco	nnected from (<	dial>) charge= <value>y</value>	ren time= <time> <reason></reason></time>
【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	アナログで相	目手と接続後、通話相手	との接続を切断したことを示します。
【パラメタの意味】	<dial> : 相手</dial>	電話番号(未通知の場	合、非通知理由)
	【非通	知理由】	
	"O":t	"O":サービス提供不可 Out of area	
	"P":二	Lーザ拒否	Anonymous call (Blocked number)
	"S":サービス競合		Interaction with Service
	"C":公衆電話からの発信		Public payphone (Public telephone)
	<value></value>	:通話料金(円単位)	•
	<time></time>	:接続時間(dddd.h	h:mm:ss の形式)
	<reason> :"normal" 通話相</reason>		手が受話器を置いたことにより切断したことを
		示します。	
		detail=xx 切断理由	(16 進数)。(切断理由不明時は "")

(7)着信転送

analog: call d	eflection from (<dial1>) to (<dial2>) <r< th=""><th>eason></th></r<></dial2></dial1>	eason>
【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	アナログであ	5らかじめ設定された相	手から着信したため、別の接続相手へ自動的に転
	送したことを	を示します。	
【パラメタの意味】	<dial1></dial1>	:(着信元)相手電詞	舌番号(未通知の場合、非通知理由)
	【非通	〔知理由】	
	"O":サービス提供不可		Out of area
	"P":ユーザ拒否		Anonymous call (Blocked number)
	"S":サービス競合 Interaction with Service		Interaction with Service
	"C":公衆電話からの発信 Public paypho		Public payphone (Public telephone)
	<dial2></dial2>	: (転送先)相手電詞	舌番号
	<reason></reason>	: "normal" 正常に別	りの接続相手へ転送できたことを示します。
		detail=xx 切断理由	(16 進数)。(切断理由不明時は "")

(8)着信あり

analog: receive call (<dial1>) from (<dial2>) <reason> 【プライオリティ】 LOG_INFO 【意味】 アナログで相手より着信しました。 以降のログで着信完了(connected)着信中止(abort called,stop called)が表示されます。 【パラメタの意味】 <dial1> : 自側電話番号 <dial2> :相手電話番号(未通知の場合、非通知理由) 【非通知理由】 "O":サービス提供不可 Out of area "P":ユーザ拒否 Anonymous call (Blocked number) "S":サービス競合 Interaction with Service "C":公衆電話からの発信 Public payphone (Public telephone) <reason> : 高位レイヤ特性識別 高位レイヤ整合性情報要素が含まれていた場合のみ表示します。 HLC=xx(16進数)

■ オンラインサポートのメッセージ

(1)回線接続

dlinkd: connected - <mode> unknown(<dial>) by onlineSupport</dial></mode>			
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO オンラインt	ナポート処理のために、相手システムと接続したことを示します。	
【パラメタの意味】	<mode></mode>	: 発信 / 着信の識別 to :発信 from : 着信	

<dial>:相手電話番号。サブアドレスが存在する場合は '*' に続けて表示します。

(2)回線切断

dlinkd: disconnected - <mode> unknown : charge=<value>yen time=<time></time></value></mode>				
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	自側より回	線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは		
	ISDN 回線0	D場合のみ出力されます。		
【パラメタの意味】	<mode></mode>	: 切断要求を行った側		
		to :自側		
		from :相手側または網		
	<value></value>	: 通話料金(円単位)		
	<time></time>	: 接続時間(dddd.hh:mm:ss の形式)		

(3)着信拒否

dlinkd: rejecte	d call from unkn	own(<dial>) because <</dial>	eason>	
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	着信通知を拒縛	絶したことを示します	0	
【パラメタの意味】	<dial></dial>	:相手電話番号。サフ	「アドレスが存在する場合は '*' に続けて表示	し
		ます。		
	<reason></reason>	: 拒否理由		
		UUI error	: 接続要求に含まれる UUI が矛盾	
		permission denied	: オンラインサポート処理は非許可	
		dialno error	:非許容の相手からのオンラインサポート要	求
		subaddress error	: 非許容のサブアドレス指定	
		Busy	: オンラインサポート中	

ProxyDNS のメッセージ

(1)ProxyDNS の問い合わせパケット

proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote></remote></ipaddr></qname></type>					
【プライオリティ】	LOG_INFO				
【意味】	発信契機となった	とDNSの問い合	わせパケットの内容を示します	F。 このメッセージは	:
	ISDN 回線の場合	含のみ出力されま	ミす。		
【パラメタの意味】	<type> : </type>	問い合わせタイ	プ	_	
	< type >	番号	説明		
	"A"	1	host address		
	"NS"	2	authoritative server	•	
	"CNAME"	5	canonical name		
	"SOA"	6	start of authority zone]	
	"MB"	7	mailbox domain name]	
	"MG"	8	mail group member		
	"MR"	9	mail rename name]	
	"NULL"	10	null resource recoed		
	"WKS"	11	well known service		
	"PTR"	12	domain name pointer		
	"HINFO"	13	host information		
	"MINFO"	14	mailbox information		
	"MX"	15	mail routing information		
	"TXT"	16	text strings		
	"SRV"	33	Server Selection		
	"ANY"	255	wildcard match		
	"Type[番号]"	上記以外			
	<qname> :</qname>	問い合わせホス	卜名		
	<ipaddr> :</ipaddr>	発信元ホストの	IP アドレス		
	<remote> :</remote>	問い合わせ先ネ	ットワーク名		

付

proxydns: ER	ROR: record type QNAME [<r< th=""><th>e <type>, class <class>, from <address> name>]</address></class></type></th></r<>	e <type>, class <class>, from <address> name>]</address></class></type>
【プライオリティ 】 【意味】 【パラメタの意味】	LOG_WARN 不正と思われ <type> <class> <address> <name></name></address></class></type>	IING vō type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。 : DNS 要求パケットの Type の値 : DNS 要求パケットの Class の値 : DNS 要求発行元の IP アドレス : DNS 要求を行った名前

ftpd のメッセージ

(1)ログイン成功

ftpd: login <user> from <address></address></user>				
【プライオリティ 】 【意味】 【パラメタの意味】	LOG_INFO ftpd へのログインに成功しました。 <user> : ログインユーザ名 <address> : クライアントの IP アドレス</address></user>			

(2)ログイン失敗(認証エラー)

ftpd: <user> login incorrect from <address></address></user>			
【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	ftpd へのログインに失敗しました。		
	無効なユーザ名または間違ったパスワードです。		
【パラメタの意味】	<user> :ログインユーザ名</user>		
	<address> :クライアントの IP アドレス</address>		

(3) ファイル蓄積完了

_

ftpd: <filename> Write complete</filename>		
【プライオリティ】	LOG_INFO	
【意味】	ファイル蓄積(クライアントからのput)によりROMが上書きされたことを示しま す。	
【パラメタの意味】	<filename> :上書きされたファイル名</filename>	

🔲 スケジュールのメッセージ

(1)電話番号変更予約の実施

scheduled: a scheduled:	action: dial numb [<no>] <config></config></no>	er convert [<dial1>] to [<dial2>] : dial number [<dial3>] convert</dial3></dial2></dial1>
【プライオリティ】	LOG INFO	
【意味】	スケジュール	√機能による電話番号変更が実施されたことを示します。
【パラメタの意味】	<dial1></dial1>	:電話番号変更予約情報の変更前電話番号
	<dial2></dial2>	: 雷話番号変更予約情報の変更後雷話番号
	<no></no>	
	<confia></confia>	対象となる構成定義情報の名称
	, e e	<name>は相手ネットワーク名、アクセスポイント名、または相手識</name>
		別名を示します。
		<n>は数字を示します。(詳細は各コマンドの説明を参照)</n>
		wan. <n>.isdn.number.<n></n></n>
		wan. <n>.isdn.numbersend</n>
		remote. <name>.ap.<name>.dial.<n>.number</n></name></name>
		remote. <name>.ap.<name>.called.number</name></name>
		remote. <name>.ap.<name>.called.callback.number</name></name>
		remote. <name>.ap.<name>.callback.number</name></name>
		answer.callback.number
		analog.isdn.number
		analog.numlist. <name></name>
		analog.flex.call.deflection.line
		analog.flex.call.deflection.port1
		analog.flex.call.deflection.port2
		analog.flex.call.deflection.in1
		analog.flex.call.deflection.in2
		analog.nex.call.denection.ins
		analog inumber in 2
		analog inumber in 3
		tel. <n>.dialin</n>
		tel. <n>.number</n>
		tel. <n>.denylist.<n></n></n>
		tel. <n>.permitlist.<n></n></n>
		rcmdinfo.auth
	<dial3></dial3>	:変更する電話番号

(2)電話番号変更の失敗

scheduled: co	onfig size over, convert failed.
【プライオリティ】 【意味】	LOG_INFO スケジュール機能による電話番号変更が実施されましたが、構成定義格納サイズを超 えたため、変更に失敗したことを示します。

🔜 メールチェックのメッセージ

(1) メールチェックの実施

emaild: <user>: mail receive check [by Remote].

【プライオリティ】	LOG_INFO
【意味】	E メールエージェント機能によるメールチェックが実施されたことを示します。リ
	モートメールチェックにより実施された場合は、"by Remote" が付加されます。
【パラメタの意味】	<user> :ユーザ名</user>

(2) メール転送の実施

emaild: <user< th=""><th>>: mail relay t</th><th>0 <to></to></th></user<>	>: mail relay t	0 <to></to>
【プライオリティ】	LOG_INF)
【意味】	Eメールエ ルアドレス	ージェント機能によるメール転送が実施されたことを示します。宛先メー が複数定義されている場合は、宛先メールアドレスごとに出力します。
【パラメタの意味】	<user> <to></to></user>	: ユーザ名 : 宛先メールアドレス

(3)メール一覧送信の実施

emaild: <user>: mail list send to <to> 【プライオリティ】 LOG_INFO 【意味】 Eメールエージェント機能によるメール一覧送信が実施されたことを示します。宛先 メールアドレスが複数定義されている場合は、宛先メールアドレスごとに出力しま す。 【パラメタの意味】<user> : ユーザ名 <to> : 宛先メールアドレス

(4) TEL メールの実施

	emaild: TEL <num>: Tel mail send to <to></to></num>			
	【 プライオリティ 】 【 意味 】	LOG_INFO E メールエージェント機能による TEL メールが実施されたことを示します。		
【パラメタの意味】		<num></num>	:ポート番号	
		<to></to>	:宛先メールアドレス	

(5) サーバの検索(DNS)の失敗(サーバエラー)

emaild: <user< th=""><th>>[<phase>]: <s< th=""><th>erver>: Host name lookup failure.</th></s<></phase></th></user<>	>[<phase>]: <s< th=""><th>erver>: Host name lookup failure.</th></s<></phase>	erver>: Host name lookup failure.
【プライオリティ】	LOG_INFO	
【意味】	Eメールエー	・ジェントが処理を実施したが、構成定義に指定されたメールサーバを発
	見できなかっ	ったことを示します。
【パラメタの意味】	<user></user>	: ユーザ名またはポート番号
	<phase></phase>	: 発生契機 "POP" または "SMTP"
	<server></server>	:メールサーバ名

emaild: <user>[<phase>]: <server>: Unable to connect.

【プライオリティ】	LOG_INFO	
【意味】	Eメールエーシ	^{ジェントが処理を実施したが、構成定義に指定されたメールサーバに接}
	続できなかった	たことを示します。
【パラメタの意味】	<user></user>	:ユーザ名またはポート番号
	<phase></phase>	: 発生契機 "POP" または "SMTP"
	<server></server>	:メールサーバ名

(7)メール送受信時のエラー

Г

emaild: <user>[<phase>]: <message></message></phase></user>				
【プライオリティ】	LOG_INFO			
【意味】	Eメールエージェントが処理を実施したが、メール送受信時に何らかの理由により			
	メールサーバがエラー通知したことを示します。			
【パラメタの意味】	<user> : ユーザ名またはポート番号</user>			
	<phase> :発生契機 "POP" または "SMTP"</phase>			
	<message>:メールサーバが送信するエラーメッセージメールサーバから応答が</message>			
	ない場合は、"timeout" が設定されます。			

■ メール着信通知のメッセージ

(1)メール着信通知メッセージ

missd: mail received. To:<to> From:<from>

【プライオリティ】	LOG_INFO		
【意味】	メール着信通知の受信したことを示します。		
【パラメタの意味】	<to></to>	:メール受信者	
	<from></from>	: メール送信者	

(2) メール着信通知(不定フォーマット:着サブアドレスなし)メッセージ

missd: mail received. Mail:<message>

【プライオリティ】	LOG_INFO
【意味】	メール着信通知(不定フォーマット:着サプアドレスなし)の受信したことを示します。
【パラメタの意味】	<message>:メール着信通知のメッセージ</message>

(3) メール着信通知(不定フォーマット:着サブアドレス付き)メッセージ

missd: mail received. PHONE_NO(dst):<subaddr> Mail:<message>

【プライオリティ】	LOG_INFO
【意味】	メール着信通知(不定フォーマット:サブアドレス付き)の受信したことを示します。
【パラメタの意味】	<subaddr> :着サブアドレス</subaddr>
	<message>:メール着信通知のメッセージ</message>

🖿 マルチ TA のメッセージ

(1)回線接続

mtad: connected <ch> to (<dial>) by multiTA

【プライオリティ】 LOG_INFO 【意味】 発信により相手システムと接続したことを示します。 【パラメタの意味】

(2) 自側からの回線切断

mtad: discon	nected <ch> to (</ch>	<dial>) : charge=<value>yen time=<time></time></value></dial>		
【 プライオリティ 】	LOG_INFO			
【意味】	自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。			
【パラメタの意味】	<ch></ch>	:接続物理チャネル		
		B1ch または B2ch		
	<dial></dial>	: 接続ダイアル番号		
	<value></value>	:通話料金(円単位)		
	<time></time>	: 接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)		

(3)相手または網からの回線切断

mtad: disconnected <ch> from (<dial>) : charge=<value>yen time=<time>

【意味】	相手側、また	は網から回線切断が通知され、	回線が切断されたことを示します。	
【パラメタの意味】	<ch></ch>	:接続物理チャネル		
		B1ch または B2ch		
	<dial></dial>	: 接続ダイアル番号		
	<value></value>	:通話料金(円単位)		
	<time></time>	: 接続時間 (dddd.hh:mm:ss	\$ の形式)	

■ その他のメッセージ

(1)課金情報のクリア

	<name>: ISDN(<type>) totalcharge=<value>yen totaltime=<time></time></value></type></name>			
	【 プライオリティ 】 【 意味 】	LOG_INFO 課金情報をクリ	リアし、統計情	報、課金情報を通知したことを示します。
[【パラメタの意味】 <	<name></name>	:課金情報をな	ッリアしたプログラム
			scheduled	:スケジュール機能によりクリア
		h	httpd	: ブラウザによるクリア
			telnetd	: telnet コマンドによるクリア
		<type> :データま data analog</type>	: データまたは	tアナログの種別を示します。
			data	:データポート
			analog	:アナログポート
			multita	:マルチ TA
		<value></value>	: 総通話料金 (〔円単位〕
		<time></time>	: 総接続時間 ((dddd.hh:mm:ss の形式)

<name>: ERROR: system reset busy.</name>			
【プライオリティ】	LOG_ERROR		
【意味】	リセット処理 ドでリセット	!を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッ 処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。	
【パラメタの意味】	<name> scheduled httpd telnetd</name>	: リセットを実施したプログラム : スケジュールによる電話番号変更後のリセット : プラウザによるリセット : telnetd コマンドによるリセット	

(3)動的定義反映実行

enabled: system configration restarted		
【プライオリティ】	LOG_INFO	
【意味】	動的定義反映が実行されたことを示します。	

(4) IP アドレス重複

enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>

【プライオリティ】	LOG_WARNI	NG
【意味】	LANのIPアト	[、] レス、センカンダリ IP アドレスで設定したネットワークアドレスが
	重複している	ことを示します。
【パラメタの意味】	<no></no>	:lan 定義番号
	<other_no></other_no>	:lan 定義番号



2 分岐モジュラコネクタ	1 本の回線を 2 つに分岐させるためのコネクタです。
DA64、DA128	ディジタルアクセス 64、ディジタルアクセス 128
DHCP (Dynamic Host Configuration	ネットワーク上のホストに対して、IP アドレスやネットマスクなど
Protocol)	のネットワーク構成情報を動的に割り当てるための機能です。
	NetVehicle は、DHCP サーバ機能をサポートしており、
	DHCP クライアント機能を持っているパソコンに対して、自動的に
	IP アドレスなどの情報を割り当てることができます。
	DHCP サーバ
DHCP サーバ	DHCPを用いて、IPアドレスなどの設定を配布・管理するシステ
	ムです。
DION (NEWEB)	「 ここ。 KDDIが提供するインターネット専用線接続サービスです。
DNS (Domain Name System)	IP アドレスとドメイン名を対応させるシステムです
	IP アドレスとドメイン名の対応を管理するコンピュータまたけソフ
	トです
DSIL (Digital Service Unit)	「てす。 NTTの雪託回娘とディジタル通信機哭の閉につかぎます
	そ友換しより。 ディングルリーレス衣直とで吁はれより。
1.72//-	INS イット 64 の1 加サービスです。このサービスをご笑約になる
	と契約者回線留号の他に2 つの電話留号を持つことかできます。動
	作モードを設定することによって、接続しているの端末を鳴り分け
	させることができます。
INS ネット 6 4	NTT が提供する ISDN 通信網サービスです。回線1本につき2つ
	のBチャネル(64Kbps)と、1つのDチャネル(16Kbps)を
	備えています。
IP (Internet Protocol)	通信ブロトコルのひとつです。インターネットで標準的に使われて
	います。
IP アドレス	IP による通信(IP ネットワーク)を行う際、ネットワーク上の機
	器を識別するためのものです。通常は「192.168.1.1」のように、
	ピリオドをはさんだ4つの数字(0~255)で表します。
IP アドレスの静的割り当て	ネットワーク上のホストそれぞれに固有の IP アドレスを割り当て
	ることをいいます。
IP アドレスの動的割り当て	ネットワーク上のホストに、必要に応じて IP アドレスを割り当て
	ることをいいます。
ISDN (Integrated Services Digital	ディジタル通信網の国際標準規格です。
Network)	
LAN (Local Area Network)	構内回線を使用した狭い地域でのコンピュータ・ネットワークで
	す。局部地域通信網とも呼ばれます。企業内では社内 LAN と呼ば
	れます。
LAN カード	Ethernet ポートを持たないパソコンを LAN につなぐために使いま
	す。
MP (Multilink PPP)	INS ネット 64 で提供している B チャネル(64Kbps)2 本を論理
	的に束ねることによって、最大 128Kbps での通信を可能にしま
	す。

NAT (Network Address Translation)	アドレス変換機能ともいいます。NATは、プライベートアドレス とグローバルアドレスを変換する機能です。NetVehicleでは、 NAT機能を拡張したマルチ NAT もサポートしています。
OCN (Open Computer Network)	NTT が提供するインターネット接続サービスです。OCN ダイヤル アップ、OCN エコノミー、OCN スタンダード、OCN エンタープ
	フイスの4種類かめります。
OCNIJJE-	NTTが提供するインターネット専用線接続サービスです。
ODN II/S-	日本テレコムが提供するインターネット専用線接続サーヒスです。
ping	IP による通信(IP ネットワーク)で、疎通確認をするためのコマ ンドです。
WAN (Wide Area Network)	一般の電話回線、ISDN 回線、専用線などを使い、遠隔地の LAN
	どうしを接続するネットワークです。広域情報通信網とも呼ばれま す。
WWW ブラウザ	HTTP (HyperText Transfer Protocol) を用いて取得した文字、
	画像などを表示するためのソフトです。主なものとしてNetscape
	Navigator/ Communicator や Microsoft Internet Explorer な どがあります。
アドレスマスク	IP アドレスを持ったパソコン。ホスト サーバなどのネットワーク
	に接続されている装置のグループを表現する時に使田します。 アド
	レスマスクは例えばあるネットワーク内の端末全部をまとめて表
	日したい時などに便利な書き方です。このマドレフマフクにけ
	ネットワーク主体を示すためのネットマスクと、ローカルなネット
	に、ネットワークの形仏とは無関係に「アナトレス」「留から」+11留
	ましの姉木を指す場合にも使われます。(ここしまと目は2011さ
	トレスの取初の24DII ガバイスグ値であることを示すものです。よ
	に 255.255.255.0 などのように トット衣記 (衣坑 9 る場合も
	例えば、192.168.2.0 のイツトワーク留ちは Class し C 9 から
	ペットマスク値は24(255.255.255.0) じ g_{0}
	ここでサブネットマスクとして 26 (255.255.255.192) を指 定すれば、
	192.168.2.0 ~ 192.168.2.63
	192.168.2.64 ~ 192.168.2.127
	192.168.2.128 ~ 192.168.2.191
	192.168.2.192 ~ 192.168.2.255
	の 4 つサブネットワークが作られます。
	さらにここでのサブネット内の端末のうち、192.168.2.192
	~ 192.168.2.207のIPアドレスを持った16台の端末グルーフ
	を表現したい場合には、アドレスマスク192.168.2.192/28
	(255.255.255.240)と指定します。
	なお、ネットマスクとサブネットマスクは明確な区別なしに使われ
	ることも多いようです。本マニュアルではネットマスクとサブネッ
	トマスクの両方の意味も含めてネットマスクと呼びます。
アナログ回線	NTTの従来の回線網です。NTTでは加入者回線と呼びます。
課金単位時間	無通信監視タイマと連動して単位時間内は回線を切断しないように
	動作させ、通信料金を節約することができます。
カスケード接続	ハノとつしをつなくことをいいます。
加入者回線	
疑似キャッチホン	NTT との契約なしで、キャッチホンと同様の使いかたができます。

グローバルアドレス	インターネット上のホストを識別するために InterNIC などのアド レス管理機構から割り当てられる、唯一無二の IP アドレスです。
グローバル着信機能	NTTのダイヤルインサービスを利用している場合でも、ダイヤルイン
サブアドレス	フ留ちによる呼び方りを行わないようにする機能です。 同一のISDN回線上につないだ複数のISDN機器を呼び分けるとき に使用します。通常の電話番号の末尾に設定しておきます。
	(例:03 - 1111 - 1111 * 001)。
サブネットマスク	ネットマスク
三者通話	通話中に電話がかかってきた場合、三者で通話できるサービスで す。
終端抵抗	ISDN 機器をつなぐ配線を流れるディジタル信号を安定させるため のものです。
詳細設定メニュー	[詳細設定] アイコンをクリックすると、このメニューが表示され ます。
	このメニューから詳細設定とアナログ設定ができます。
専用線接続	ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD)やディジタルアクセス 64
	/ 128(DA64/128)などのディジタル専用線を使ってプロバイ ダと常時接続します。
操作メニュー	[操作]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。
ダイヤルインサービス	NTT が提供するサービスです。会社などの構内にある電話を、外部 から直接呼び出せます。
ダイヤルイン番号	NTT のダイヤルインサービスで、電話機それぞれに割り当てられる 番号です。
ダイヤルトーン	電話機の受話器を上げたときに聞こえる、「ツー」という音のことで す。
ターミナルアダプタ	モデムやアナログ電話機、FAX などのアナログ機器を ISDN 回線に つなぐための装置です。
ダブルフック	通話中に電話機のフックを2回押すことです。
端末型ダイヤルアップ接続	パソコン1台だけでプロバイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダにダイヤルします。接続
苯/===: *	9るにひにIPプトレスか「値割りヨしられより。
有信虹达	かかつしさに電話を受けりに、他の留ちに転送しまり。 通話中の電話を、別の妥思に起送します
通信中転送	週記中の電話を、別の留ちに転送しまり。 TA(ターミナリマダプタ)などな会さず JCDN 回線に支持つなど
ティングル電品機	TA(ダーミナルアダノダナなどを介さり、ISDN 回線に直接フなく ことができる電話機です。
テレホーダイ	NTT が提供するサービスです。午後 11 時から午前 8 時までの深
	夜・早朝時間帯に、あらかじめ指定した2つの電話番号に対してか
	け放題になります。利用にあたっては、NTTとの契約が必要です。
転送元/転送トーキ	かかってきた電話を、別の電話に転送する際、相手にメッセージを
	流すかどうかを指定できます。この場合、NTTとの契約が必要で
	す。'アナロク共通情報」ページの'看信転送」で'する」を選択
	します。ここで転送トーキ「あり」を選択すると、" ただいま電話
	を転送しますので、しばらくお待ちください。" などのメッセージ
	が流れます。転送元トーキ「あり」を選択すると、" 電話が転送さ
	れます。"などのメッセージが流れます。
電池ボックス	NetVehicleの電池ホルダを収納します。
電池ホルダ	NetVehicleのバックアップ電池を収納します。電池ボックス内に あります。
ドメイン名	インターネットに接続されているコンピュータを識別するための名
	前です。例えば「xxx@ .ne.jp」という電子メールアドレス
	を持っている場合なら、「 .ne.jp」がドメイン名になります。
トーン / パルス切り替えスイッチ	ダイヤルする際に発信する信号の種類を切り替えるためのスイッチ

隔り分け番号 i・ナンバーサービスを契約すると2つまで電話書を浸値加できま す。契約者回線番号が隔り分け番号 1 となり、追加番号がそれぞれ、 隔り分け番号 2、3 となります。 ナンバー・ディスブレイ ナンバー・ディスブレイ対応電話機を使用している場合、(使用す る」を選択すると、電話機に相手器号を表示させることができま す。道者の電話機をご刹用のゆ落台は「使用しない」を選択して下さ し、相手がISDN回線の場合は、NTT のINS ナンバー・ディスブ レイサービスを契約していなても、相手番号が適切されます。相 手がアナログ電話網の場合は、INS ナンバー・ディスブレイサービ スを変わしないと和手番号が通知されません。 ドリアドレスからネットワークが出たスト部を分離するための区切り を表わします。例えば、IP アドレスが「192.168.1.1」、ネット マスクが「255.255.255.05.0.0倍8.ネットワーク部は 「192.168.1.ホスト潟道」(1)」になります。 ネットマスク IP アドレスからゴロバイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダにやりします。契約 した台数分のP アドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続と時びます。 ネットマスク NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定題制です。 パブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないて LAN を構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NEtVehicle で停電時のバックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ酸電池 3 本が必要です。 このメニューが表示されます。 そ示 J アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NTTが提供するサービスです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の 4 種類があります。 ホスト部 ネットマスク マレンダイヤル機能 会なので物時提続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ホスト部 ホスト部 ホスト部 ホスト部 ホストが たまの子でで、 メンテナンスメニュー ビス目的にの分イヤルマラ び着紙です。 基本線「マス」 メンテナンスメニュー ビスク ジェクスク マレンダイヤル機能 たまの、PAIN たまの使用していたきます。 ホストが たまのので物時提続に近い形でインターネットができます。 ホストが たまのので物時提続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ホスト部 ホストが モンランスポイントに自動的に同分イヤルマる機能です。 このメニューが表示 されます。 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きた約 3 × 7 cm)、取り付け、取り分しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在での電話機なので使用が主流になっています。 ー般家座の電話機なのででのす。 ジェクジャック		です。通常電話機の底面や背面にあります。
す、契約者回線番号が吸り分け番号1となり、追加番号がそれぞれ	鳴り分け番号	i ・ナンバーサービスを契約すると 2 つまで電話番号を追加できま
時り付着号2、3となります。 ナンパー・ディスプレイ ナンパー・ディスプレイ対応電話機を使用している場合、(使用す 5、意選你可認機を貸利用の場合は「使用しない」を選択して下さ い。相手が「SDN回線の場合は、NTTのINSナンパー・ディスプレイサービスを契約していなくても、相手着号が通知されます。相 手がアナログ電話網の場合は、NTTのINSナンパー・ディスプレイサービ スを契約しないとなくても、相手着号が通知されません。 ネットマスク IP アドレスからネットワーク超とボスト部を分離するための区切り を表わしまず。例えば、IP アドレスが「192.168.1.1」、ネット マスクが「25.255.255.0.0 の場合、キットワーク部は 「192.168.1」、ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ検統 キットワーク型ダイヤルアップ検索 複数のパンコンからプロバイダに接続するためのビゼスです。イ マクスが「25.255.255.0.0 の場合、キットワーク部は 「192.168.1」、ホスト部は「1」になります。 パー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速デジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接触します。料全は定稿がです。 オットマスク パブ 3 とはしのパソコンやワークステーションを108ASE-Tケーブル でつないでしANと構築するときに使う装置です。 パブ 3 とはしたのパソコンやワークステーションを108ASE-Tケーブル でつないでしANと構築するときに使う装置です。 パブ 3 とはしたのパソコンやワークステーションを108ASE-Tケーブル でつないでしたりとが可りつえテーションを108ASE-Tケーブル でつないでしたして停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ総電能を本が必要です。 パブ 3 とはしたのパソコンやワークステーションを108ASE-Tケーブル でつないでしたして使電時のパックアップ目に使用します。単 3 アルカ リ総電能を本が必要です。 パブ 3 とはしたのパソコンやワークステーションを108ASE-Tケーブル でつないでしたして使電時のパックアップ目に使用します。単 3 アルカ リ総電能を本が必要です。 パブ 3 とはしたのアクステーションを108ASE-Tケーブル でつないてしたのするときのの意づつとなって、 第 ファーンタクリックすると、このメニューグホー メンテナンスメニュー フリックスパン NTT が提供するがして、 スクレーズパントラムアクシーグ、コントウェアング、三番通話、 通信中転載を知びですると、このメニューが表示 たるときに使いためたき、登録してあい た別のアクセスポイントレアンクロントウェアング、三番通話、 通信を認知のこのサービスで、コーがでたき、雪調的に回転でする。 無当体が ディヤルレたアクセスポイントレアンマンクルントランスポイントレントンクシーネットができます。 アンクリン マンクランキャンスク アンクリン マンク		す。契約者回線番号が鳴り分け番号 1 となり、追加番号がそれぞれ
ナンパー・ディスプレイ ナンパー・ディスプレイ対応電話機を使用している場合、「使用す る」を選択すると、電話機に相手番号を表示させることができま す。通常の電話機をご利用の場合は「使用しない」を選択して下さ い、相手がISDN回線の場合は、NTTのINS ナンパー・ディスプ レイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。相 手がアナログ電話網の場合は、NTTのINS ナンパー・ディスプ レイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。相 手がアナログ電話網の場合は、NTTのINS ナンパー・ディスプ レイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。和 デがアナログ電話網の場合は、NS ナンパー・ディスプレイサービ スを契約しないと相手番号が通知されません。 ネットマスク IP アドレスがらネットワークがしていまく、パージンパー・ディスプレイサービスを契約していためで、ションパー・ディスプレイサービスです。 数のパソコンからプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。 イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。 キントマスク パイ 192.168.1.1、ホスト部は「1」になります。 (パンタクトマング部 ネットワーク部 アドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続せき呼びます。 パノ 3台以上のパソコンやワークスデーションを10BASE-Tケーブル でつないてしANを構築するときに使う装置です。 パノ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてしANを構築するときに使う装置です。 パノ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてしANを構築するとたのの表型フトウェアです。 メンテナンススニュー パックアップ用電池 NETVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンススニュー パックアップ用電池 電話をかけてきた相手の量を通知する機能です。 スティムウェア NTTが提供するゲールアッブ接続するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスンニュー フレックスホン NTTが提供するゲールマックキャレボッシービスです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するダイヤルアップ検索式のサービスです。通話中の電話を なので第時接続に近い形でインターネットができます。 プレラマスク ディレルマクタートができます。 ホント部 ディンティンスク プレラスマタ ディントのできます。 知道作を取りたきたきの通知する デンティンスク プレラスクタ 電話回線の置かったとき、自動的に回来ます。 第4回転日本 ディンティンキャンオーンキャンオーンキャンボックリックすると、このメニューが表示 する機能です。 第4回転日本		鳴り分け番号 2、3 となります。
る」を選択すると、電話機に相手番号を表示させることができます。通常の電話機をご利用の場合は「使用しない」を選択して下さ い、相手が「ISDN 回線の増合は、NTT のINSナンバー・ディスプレイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。相 手がアナログ電話網の場合は、INTS かパー・ディスプレイサービスを契約しないと相手番号が通知されます。相 手がアナログ電話網の場合は、INTS かパー・ディスプレイサービスを契約しないと相手番号が通知されません。 ネットマスク IP アドレスがらネットワーク部とホスト部を分離するための区切り を表わします。例えば、IP アドレスが「192.168.1.1。ネット マスクが「255.255.255.0」の場合、ネットワーク部は 「192.168.1。ホスト部は「1」になります。 マスクが「255.255.255.0」の場合、キットワーク部は 「192.168.1。ホスト部は「1」になります。 マスク パコンからプロバイダに接続するためのサービスです。イ ンクーネットを利用するたびにプロバイダにながすやルレます。契約 した6数分のIP アドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 ネットマスク パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料名はご範制です。 パブ 3 合以上のバソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつない ICANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 電話をかりてきた相手の番号を通知する機能です。 美示メニュー パックアッブ用電池 電話をかりアククアップ用に使用します。単3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 パックアッブ用電池 電話をいてきた相手の番号を通知する機能です。 テンニュー アックアッブ用電池 電話をいてきた相手の番号を通知する機能です。 ステナンスション アーカウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスシスニュー ファームウェア シンテナンスシズ コー ファームウェア NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 道信中転送、著信転送のつかうます。 プレッツ・ISDN NTT が提供するゲービスの パンディンパン アイク プレッデジスクイマ ブルデダイヤルアッブ接続方式のサービスです。運動的に回線を打 する機能です。 国本属体 マルチャンマクータットができま。 自動的に回線を取 する機能です。 スターズク メンデナンス.1アイコンをクリックク使用がたま、Coのメニューが表示 する様にです。 メンテナンス.1アイコンを マントレンキットゲット でもまっ するです。 ジェック	ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ対応電話機を使用している場合、「使用す
す、通常の電話機をご利用の場合は「使用しない」を選択して下さい、相手がISDN回線の場合は、NTTのINSナンバー・ディスプレイサービスを契約していなくても、相手帯目が通知されます。相手がアナログ電話網の場合は、INSナンバー・ディスプレイサービスを契約していなくても、相手帯目が通知されます。相手がアナログ電話網の場合は、INSナンバー・ディスプレイサービスを変約しないと相手部号が通知されます。れ ネットマスク IP アドレスからネットワーク部と大スト電器分離するための区切りを表わします。例えば、IP アドレスが「192.168.1.1」、ネットマスクが「255.255.0」の場合、ネットワーク部は「112.168.1.1」、ネットマスクが「255.255.0」の場合、ネットワーク部は「112.168.1.1」、ホットレマスクが「255.255.0」の場合、ネットワーク部は「112.168.1.1」、ネットマスクが「255.255.0」の場合、ネットワーク部は「112.168.1.1」、ネットマスクボーントを利用するたびにプロバイダに接続するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロバイダに接続するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロバイダに接続するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロバイダに接続するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロバイダに接続するためのサービスです。マッサップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 ホットマンク パ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接続します。料金は定職制です。 パ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速です。 ハ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速です。 パ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速です。 パ・スーパー・ディジクル線(HSD) NTTが提供する高速です。 パ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速です。 パ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速です。 パ・スーパー マディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接近します。 パ・スーパー マディジタル通信サービスです。 パ・スーパー マディンク パ・スーパー 「ディンク・ディンク プレックスーク NTTが提供するサービスです。コールウェアです。 パ・スーク 「ア・コンククリックを引したきま、空調料 なんでやいうなんでしたくま、目前のにの電話を見います。 このキャントレーンを含いクシートレンクトレーンの表示 アレック 「ア・スパク		る」を選択すると、電話機に相手番号を表示させることができま
い、相手がISDN回線の場合は、NTTのINS ナンパー・ディスプレイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。相手がアナログ電話網の場合は、INS ナンパー・ディスプレイサービスを契約しないとなくても、相手番号が通知されます。相手がアナログ電話網の場合は、INS ナンパー・ディスプレイサービスを契約しないとなくても、相手番号が通知されます。相手がアナログ電話網の場合は、INS ナンパー・ディスプレイサービスを契約しないと相手番号が通知されません。 ネットマスク IP アドレスが「192.168.1.1」、ネットマスクが「255.255.255.0.0 場合、ネットワーク部は「122.168.1.1」、ホットマスクが「192.168.1.1」、ネットマスクが「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.255.0.0 場合、ネットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「192.168.1.1」、ホットマスクが「192.168.1.1」、ホットマスクが「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ネットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスク、「192.168.1.1」、ホットマスク、「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ネットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスク、「192.168.1.1」、ホットマスク、「192.168.1.1」、ホットマスク、「192.168.1.1」、ホットマンク、「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「255.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「250.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスクが「250.255.0.0 場合、ホットワーク部は「192.168.1.1」、ホットマスク ホットマークログがしば使う ホットマーク部は「11になります。」 ホットワーク型がイヤルアップ接続と毎呼びます。 ホットマスク ハイ・スーパー・ディシグクル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接触するときに使う装置です。 ハブ 3 ら以、ロンマク・クスーク・コーンをコーが表示されます。 ハブ 3 ら以、ロンマク・クスーク・コージを示されます。 ハブ 3 ら以、ロンマク・スーク・スーパを示え、主義のでは、ロンマグクリンシンクリークシング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・		す。通常の電話機をご利用の場合は「使用しない」を選択して下さ
レイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます。相 Fがアナログ電話網の場合は、INS ナンバー・ディスプレイサービ スを契約していなくても、相手番号が通知されます。 キットマスク IP アドレスからネットワーク部とホスト部を分離するための区切り を表わします。例えば、IP アドレスが「192.168.1.1」、ネット マスクが「255.255.255.255.0.0 場合、ネットワーク部は 「192.168.1、ホスト部は「1」になります。 キットワーク型ダイヤルアップ接続 キットワーク型ダイヤルアップ接続 キットワークジ ハイ・スーバー・ディジタル線(HSD) ハイ・スーバー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で搭紙します。料金は定鶴刻です。 ハイ・スーバー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で搭紙します。料金は定鶴刻です。 ハイ・スーバー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で搭紙します。料金は定鶴刻です。 パックアップ用電池 NTT が提供するる速です。そこのメニューが表示されます。 パックアップ用電池 製造 8 本が必要です。 発信者智号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー ファームウェア NetVehicle で爆電時のパックアップ用に使用します。単3アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者智号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー ファームウェア NET が提供するなービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4 種類があります。 ハTT が提供するサービスです。定額料 金むので常物皆続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ホスト部 ホスト部 ホスト部 スト部 アレッツ・ISDN NTT が提供するゲイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金むので常物皆続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク ダイヤルレたアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本線「マルチダイヤル」(P61) ゴロバイダとの週間が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラジャック 電話回路の屋内配線上などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		い。相手が ISDN 回線の場合は、NTTの INS ナンバー・ディスプ
ボットマスク デがアナログ電話網の場合は、INS ナンパー・ディスプレイサービ スを契約しないと相手番号が通知されません。 ネットマスク ドアドレスからネットワーク部とホスト部を分離するための区切 を表わします。例えば、IPアドレスが「192.168.1.1」、ネット マスクが「255.255.55.0.0 の場合、ネットワーク部は 「192.168.1.1」、ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ接続 福数のパソコンからブロパイダに経続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダにダイヤルします。契約 した台数分の IP アドレスが割り当てられます。LAN 型ダイヤル アップ接続と時びます。 ネットワーク部 キットマスク パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続しまず。料金は定額制です。 パブ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-T ケーブル でつないて LAN を構築するときに使み装置です。 パックアップ用電池 NEtVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3 アルカ リ蛇電池 8本が必要です。 残信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 ステメニュー 「表」了アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フォング 通信中電話像のフックを10月神すことです。通話中の電話を保留 にするときに使ります。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、看信転送の4 種類があります。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 道信中転送 名ので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスク マルチダイヤルの ブは焼きるサービスです。」目前のに回線を切断 する機能です。 スト部 キットマスク マルチダイヤルアクシーシントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントにつながらないとき、このメニューが表示 されます。 エンタイマック プロバイダシンテジュノントロンを分のりまた、このメニューが表示 されます。 ジェアマク 電話の側の屋の上のまででたのの機能です。 この場合で第日本ので常時登録したったりまったいとき、このメニューが表示 されます。		レイサービスを契約していなくても、相手番号が通知されます、相
スを契約しないと相手器号が通知されません。 ネットマスク ドアドレスからネットワーク部とホスト部を分離するための区切り を表わします。例えば、ドアドレスが「192.168.1.1,ネット マスクが「255.255.255.0」の場合、ネットワーク部は 「192.168.1,ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ接続 複数のパソコンからブロパイダに接続するためのレビスです。イ ンターネットを利用するたびにブロパイダになイヤルします。契約 した台数分のドアドレスが割り当てられます。LAN 型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 「192.168.1,ホスト部とびにブロパイダに学れたいします。契約 した台数分のドアドレスが割り当てられます。LAN 型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 パックアッブ用電池 NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 パックアッブ用電池 NTT が提供するときに使う装置です。 パックアッブ用電池 NTT が提供するときに使う装置です。 パックアッブ用電池 NetVehicle で停電等のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ乾電池 8本が必要です。 発信者器号通知 電話をかけてきた相手の器号を通知する機能です。 ステムウェア NTT が提供するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フレックスホン NTT が提供するための内蔵メラ、 フレックスホン NTT が提供するためしてます。 フレックスホン NTT が提供するゲイヤレアッブ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク フレッグ パンス アイン シンテナンスメニュー アレッグマンス アレークレックターネットができます。 ネットマスク ブレッグスやり アレークレック フレックク アレック フレックク アレーク <tr< td=""><td></td><td>手がアナログ雷話網の場合は INSナンバー・ディスプレイサービ</td></tr<>		手がアナログ雷話網の場合は INSナンバー・ディスプレイサービ
ネットマスク ドアドレスがらネットワーク部とホスト部を分離するための区切り を表わします。例えば、IPアドレスが「192.168.1.1 太 ネット マスクが「255.255.255.0.5 の場合、ネットワーク部は 「192.168.1 太 ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ接続 複数のパソコンからプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダにダイヤルします。契約 した台数分のIPアドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続と時びます。 ネットワーク部 キットマスク パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 パブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-T ケーブル でつないてLANを構築するときに使う装置です。 パブ 3 台以上のパンコンやワークステーションを10BASE-T ケーブル でつないでLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NEtVenicleで停電時のパックアップ用に使用します。単3アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー アームウェア NetVenicle ど標作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー ファムウェア NetVenicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フレックスホン NTT が提供するガービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信電法のフリック にBDN NTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク マレッグ iSDN NTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク オンドがイヤル機能 ブロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー 「メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)取り付け、取り外しには電気通信電電時の、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		フを契約したいと相手番号が通知されません
ボットワークスク ドットワークスパイ、ドアドレスが「192,168.1.1」、ネット マスクが「255,255,255.0」の場合、ネットワーク部は 「192,168.1.」、ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ接続 複数のパソコンからプロバイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダに接ぶるためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダに接ぶすためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダにダイヤルします。契約 した台数分のドアドレスが創り当てられます。LAN 型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 、キットマスク パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 ハブ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてLAN を構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicleで停電時のバックアップ用に使用します。単 3 アルカ リジ電池 8本が必要です。 発信者番号通知 電話をがいサワクステンシンを2000年まままままままます。 パックアップ用電池 NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 ジェンユー 表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。, メンテナンスメニュー フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 適信中転送、着信載送の4種類があります。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 適信中転送、着信載送の4種類があります。 フレック、ISDN NT Tが提供するダイヤルアッブ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ホスト部 メットマスク マルチダイヤル機能 グイヤルレモンクセスパイントに自動的にの様をです。 基本編「マルチダイセル」(PS1) 無通信電気視々マ ブロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 モジュラジャクク 電話回線の置いのです。 モジュラジャクの使用が主になっています。 一般なっていチャクの使用する、壁面に取り付けられたモジュラゲーブルの マルチャクリークなってもの関ロなってためのでは、たまたまたでのでいます。 モジュラジャクク 電話時で電気の本	ネットマスク	IP アドレスからネットワーク部とホスト部を分離するための区切り
まなりのよな、「カバム、「トーレス」の場合、ネットワーク部は 「192.168.1」、ホスト部は「1」になります。 権数のパソコンからプロバイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロバイダに好がすわいします。契約 した台数分のIPアドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 スーパー・ディジタル線(HSD) ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないTCLANを構築するときに使う装置です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないTCLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NEtVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者署号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー ファームウェア NetVehicle を操作するとの内蔵がフトウェアです。 メンテナンスメニュー フレックスホン NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク アレック、ISDN NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク 東海信空気 グロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー 「メンテナンスス」「アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約 3 × 7cm)、取り付け、取りかしには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー 般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		
マットワーク型ダイヤルアップ接続 「192.168.1、ホスト部は「1」になります。 ネットワーク型ダイヤルアップ接続 複数のパソコンからプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。イ ンターネットを利用するたびにプロパイダに接続するためのサービスです。 ネットワーク部 ネットマスク パイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 ハブ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リを電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー 【表示】アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、者信転送の4 種類があります。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、者信転送の4 種類があります。 フレック、ISDN NTT が提供するサイレアッブ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントに自動的にビダイヤルする機能です。 ボル目を開催をつなくための機具(大きさ約 3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		
オットワーク型ダイヤルアップ接続 複数のパソコンから「古船本「丁」に接続するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロパイダに移転するためのサービスです。インターネットを利用するたびにプロパイダにダイヤルします。契約した台数分のIPアドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤルアップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 ホットマスク ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接続します。料金は定額利です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを 10BASE-T ケーブルでつないて LAN を構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカリ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示] アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー [表示] アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三書通話、通信中転送、増信転送の1日増すことです。通話中の電話を保留にするときに使います。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三書通話、通信中転送、通信中転送 4 種類があります。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、こ書通話、通信中転送 4 電気ので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルレたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておいたた別のアクセスポイントにこうからないとき、全額和 ボロービスグママ プロパイダどの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断する機能です。 素加減(ビグロッカタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× アンスメニュー デンスコノアイレンに電気通信工事担任者資格が必要です。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般回線の屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュランラケーブルの差込口です。		(1021681 = ±7 kmt [1 kmth]) の場合、ホットリーノーのは
キットワーク型クイベルアック技術に と数のパインにな扱いするにののクーレくてす。、契約 ンターネットを利用するたびにプロバイダにダイヤルします。契約 アップ技続とも呼びます。 ネットマスク ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを 10BASE-T ケーブル マウアップ用電池 NETVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3 アルカ リ乾電池8本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー 「表示」アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー 「表示」アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 フレックスホン NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 プレック、ISDN NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 グイヤルレアップ技続方式のサービスです。定額料 水スト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 グイヤルレアップ技続方式のサービスです。定額料 水スト部 ホットマスク マルチダイヤル アリッククターネットができます。 ホッマスク アレチダイヤルしょの間 メンテナンスメニュー 「メンテナンス」」アインとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー 「メンテナンス」」アインシケリックオージンをクリックオージューが表示 ホットマスク 「シージテンス」」アインタクリックすると、このメニューが表示 ボージョンをクリッククリックラックを、このメニューが表示	ネットローク刑ダイヤルマップ培結	「92.100.1」、小人「叩は 」」になりより。 海物のパハコンかにプロバイダに按結するためのサービスです。イ
ウシーキッドレスが割り当てられます。LAN型ダイヤル アップ接続とも呼びます。 ネットワーク部 ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続しまず。料金は定額制です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4 種類があります。 スト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルレレたアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 ボンテナンスメニュー 「シンテナンスプーンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 東通信監視タイマ プロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー 「シンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐため機具(大きさ約 3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信車単任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	ネットワーク型ライヤルアック接続	後数のハンコンからフロハイアに接続するためのサービスとす。1
P ップ提続とも呼びます。 ネットマスク ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専 用線で接続します。料金は定額制です。 ハプ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-Tケーブル でつないてLANを構築するときに使う装置です。 バックアップ用電池 NetVehicleで停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてさた相手の番号を通知する機能です。 そ示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 アームウェア NetVehicleを操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン 通信中転送、着信転送の4 種類があります。 フレックスホン NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク マルチダイヤル機能 ゲイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P61) プロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 ジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約 3 × てでm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		ノダーネットを利用するたびにフロハイダにダイヤルします。 突然
オットワーク部 ネットマスグ ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTTが提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接続します。料金は定額制です。 ハブ 3台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-TケーブルでつないでLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3アルカリ乾電池 8本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通信中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレックスホン NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントに自動的に耐いする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) 評価信監視タイマ ブロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンス】アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラジャックの使用が主流になっています。 ・ れます。 モジュラジャック 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で ・現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ・ 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		した自数方のIP アドレスが割り目でられより。LAN 空ダイヤル フップ接続にた販びます
ペットマインの ペットマインの ハイ・スーパー・ディジタル線(HSD) NTT が提供する高速ディジタル通信サービスです。特定の地点を専用線で接続します。料金は定額制です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを10BASE-TケーブルでつないでLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3アルカリ乾電池8本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンデナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留にするときに使います。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、通信中転送、着信転送の4 種類があります。 フレッツ・ISDN NTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料金ので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントに自動的にするとき、意動的に回線を切断する機能です。 メンテナンスメニュー 「メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 素本編「マルチダイヤル」(P61) プロパイダとの通信市・定時間なかったとき、自動的に回線を切断する機能です。 メンテナンスメニュー 「メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ギンラテナンスメニュー 「メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなくための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要です。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線和などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		アッノ接続とも呼びます。
ハイ・スーパー・ティシダン線(FBSD) NTI が提供する高速ディシダン地間・ワーとくす。特定の地点を等用線で接続します。料名は定額制です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステーションを 10BASE-T ケーブルでつないで LAN を構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 Net Vehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3アルカリ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア Net Vehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー スンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 NTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 無適信監視タイマ ブロパイダとの適信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要です。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュライーブルの差込口です。	イットワーク部	
用線で接続します。料準は足額同です。 ハブ 3 台以上のパソコンやワークステッヨンを10BASE-Tケーブル でつないでLANを構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単3アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレッツ・ISDN N T が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P61) 第本編「マルチダイヤル」(P61) 無通信監視タイマ ブロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	バイ・スーハー・ティングル線(HSD)	NIIが提供する局迷ナイングル通信サービスです。特定の地点を専
ハン 3 旨以上のハシゴンやヴーグステーションを108ASE-1 ヴェノル でつないで LAN を構築するときに使う装置です。 パックアップ用電池 NetVehicle で停電時のパックアップ用に使用します。単 3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレッツ・ISDN N T Tが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 オスト部 キットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) 無通信監視タイマ プロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7 cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		用線で接続しより。科金は定額制でり。
C')ないでLANを構築するどきに使う装置です。 バックアップ用電池 NetVehicle で停電時のバックアップ用に使用します。単3アルカ り乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 ハレックスホン NTTが提供するダイヤルフップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的に回線を切断 する機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) ガロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		3 台以上のハシゴンやリークステーションを 10BASE-1 ゲーフル
ハックアック用電池 NetVenicle C停電時のハックアック用に使用します。単3 アルカ リ乾電池 8 本が必要です。 発信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示] アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVenicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレッツ・ISDN NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		でつないでLANを構築するときに使つ装直です。
第名信者番号通知 電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4 種類があります。 フレッツ・ISDN N T Tが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) 無通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	ハックアッフ用電池	NetVehicle で停電時のハックアッフ用に使用します。単3アルカ
 発信者番号通知 電話をかけてさた相手の番号を通知する機能です。 表示メニュー [表示] アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 ファームウェア NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニュー フレックスホン フレックスホン ハTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレッツ・ISDN NTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておいた別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) 第通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断する機能です。 メンテナンスメニュー エジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3×7cm)取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要です。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュラケーブルの差込口です。 		リ乾電池8本が必要です。
表示メニュー[表示] アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。ファームウェアNetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニューフッキング通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。フレックスホンNTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。フレッツ・ISDNNTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 とンテナンスメニューエジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	発信者番号通知	電話をかけてきた相手の番号を通知する機能です。
ファームウェアNetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。 メンテナンスメニューフッキング通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。フレックスホンNTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。フレッツ・ISDNNTT が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 とンテナンスメニューメンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	表示メニュー	[表示]アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。
メンテナンスメニュー フッキング 通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。 フレックスホン NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。 フレッツ・ISDN NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホスト部 ネットマスク マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 無通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	ファームウェア	NetVehicle を操作するための内蔵ソフトウェアです。
フッキング通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留 にするときに使います。フレックスホンNTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4種類があります。フレッツ・ISDNNTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ホットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておいい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマブロパイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。メンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		メンテナンスメニュー
にするときに使います。フレックスホンNTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の 4 種類があります。フレッツ・ISDNN T T が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマブロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニューメンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	フッキング	通話中に電話機のフックを1回押すことです。通話中の電話を保留
フレックスホンNTT が提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、 通信中転送、着信転送の4 種類があります。フレッツ・ISDNN T T が提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニューメンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7 cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		にするときに使います。
通信中転送、着信転送の4種類があります。フレッツ・ISDNNTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニューメンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	フレックスホン	NTTが提供するサービスです。コールウェイティング、三者通話、
フレッツ・ISDNNTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料 金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。メンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)、取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		通信中転送、着信転送の4種類があります。
金なので常時接続に近い形でインターネットができます。 ネットマスクホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニューメンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	フレッツ・ISDN	NTTが提供するダイヤルアップ接続方式のサービスです。定額料
ホスト部ネットマスクマルチダイヤル機能ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61)無通信監視タイマプロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。メンテナンスメニュー[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。モジュラコネクタ電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7cm)取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		金なので常時接続に近い形でインターネットができます。
 マルチダイヤル機能 ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておいた別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断する機能です。 メンテナンスメニュー エジュラコネクタ モジュラゴネクタ モジュラジャック モジュラジャック マリカン マリカン マンテナンス マンテナンス マンテナンス マンテナンス アイコンをクリックすると、このメニューが表示されます。 モジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュラケーブルの差込口です。 	ホスト部	ネットマスク
た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。 基本編「マルチダイヤル」(P.61) 第通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 × 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	マルチダイヤル機能	ダイヤルしたアクセスポイントにつながらないとき、登録しておい
基本編「マルチダイヤル」(P.61) 無通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		た別のアクセスポイントに自動的にダイヤルする機能です。
 無通信監視タイマ プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断 する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 x 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。 		基本編「マルチダイヤル」(P.61)
する機能です。 メンテナンスメニュー [メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	無通信監視タイマ	プロバイダとの通信が一定時間なかったとき、自動的に回線を切断
 メンテナンスメニュー 【メンテナンス】アイコンをクリックすると、このメニューが表示 されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。 		する機能です。
されます。 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	メンテナンスメニュー	[メンテナンス]アイコンをクリックすると、このメニューが表示
 モジュラコネクタ 電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3× 7cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要です。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュラケーブルの差込口です。 		されます。
7 cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。	モジュラコネクタ	電話回線の屋内配線と電話機をつなぐための機具(大きさ約3 ×
す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。 モジュラジャック 一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		7cm)。取り付け、取り外しには電気通信工事担任者資格が必要で
モジュラジャック ー般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ ラケーブルの差込口です。		す。現在ではモジュラジャックの使用が主流になっています。
ラケーブルの差込口です。	モジュラジャック	一般家屋の電話線用などで使用する、壁面に取り付けられたモジュ
		ラケーブルの差込口です。



付録

DSU,	アナログポート関連
Q1.	U 点インタフェースとは何ですか?
Q2.	DSUを無効にして、既設の DSU に接続することはできますか?
Q3.	TA や G4FAX など、他の ISDN 機器が接続できますか?
Q4.	DSU折り返し機能はありますか?
Q5.	NetVehicle を設定する前に、アナログポートにつないだ電話は使えますか?
Q6.	アナログポートごとに電話番号を割り当てられますか?
Q7.	今まで使っていた番号をそのまま使うことはできますか?
Q8.	アナログポートごとにダイヤルイン設定は可能ですか?
Q9.	ダイヤルインサービスを使わずに、アナログポートに優先順位をつけられますか?
Q10.	フレックスホンに対応していますか?
Q11.	MP機能を使っているときに電話がかかってきたらどうなりますか?
Q12.	停電時でも電話が使えますか?
10BA	, SE-T ハブについて
Q13.	5 台以上のパソコンをハブポートにつなげられますか?
ネット	ワーク構成について
Q14.	『端末型接続』と『ネットワーク型接続』にはどんな違いがありますか?
Q15.	NetVehicle に ISDN 回線を介して TA + パソコンから接続できますか?
Q16.	OCN エコノミーや OCN ダイヤルアクセスやフレッツ ISDN でも利用できますか?
Q17.	NetVehicle どうしで接続できますか?
Q18.	PHS からの着信はできますか?
Q19.	一方をプロパイダ、一方を会社のルータに(同時に)つなぐことはできますか?
Q20.	複数のプロバイダを利用できますか?
Q21.	パソコン通信にも使えますか?
サポー	ト機能について
Q22.	複数台のパソコンから同時にインターネットにアクセスできますか?
Q23.	NetVehicle の LAN には最大何台のパソコンが接続できますか?
Q24.	どんなプロトコルをサポートしていますか?
Q25.	MPとは何ですか?
Q26.	DHCP とは何ですか?
Q27.	DNSとは何ですか?
Q28.	接続する相手を認証することはできますか?
Q29.	データ圧縮機能をサポートしていますか?
Q30.	マルチダイヤル機能とは何ですか?
Q31.	テレホーダイ機能とは何ですか?
Q32.	使用状況 / 稼働状況などを表示できますか?
Q33.	SNMPをサポートしていますか?
Q34.	発信専用にできますか?
NetVe	- ehicle の設定について
Q35.	回線(ISDN/専用線)に接続していなくても設定できますか?
Q36.	NetVehicleの設定にはどんなプラウザが利用できますか?
Q37.	IP アドレスを設定する場合、使ってはいけない IP アドレスはありますか?
Q38.	認証 ID / パスワードに日本語は使えますか?
Q39.	FTP だけデータを通すことはできますか?
Q40.	ポート番号によるフィルタリングはできますか?
Q41.	WAN 側に IP アドレスを割り当てられますか?
Q42.	WAN 側に IP アドレスを割り当てない unnumbered 設定はできますか?
Q43.	着信側になったときに、動的に IP アドレスを割り当てることができますか?
Q44.	無駄な回線接続要求を止める方法は?
Q45.	時刻を設定することはできますか?
セキュ	リティについて
Q46.	セキュリティはどのように確保しますか?
Q47.	発信元の電話番号を区別して着信許可 / 拒否することができますか?
Q48.	CHAP や PAP を使用していますか?
Q49.	特定のパソコンからインターネット接続を禁止することはできますか?
	1

Q50.	特定のパソコンのみインターネットからアクセスできるようにしたい。		
Q51.	インターネットから LAN 上のサーバへのアクセスを禁止したい。		
運用につ	いて		
Q52.	NetVehicle で利用できるのはどんな端末ですか?		
Q53.	回線をつなぐにはどうしたら良いのですか?		
Q54.	ブラウザを終了すると回線は切れますか?		
Q55.	プラウザ以外から手動切断する方法はありますか?		
Q56.	複数の人が同時にメールを読むことは可能ですか?		
Q57.	プロキシサーバを使いたい。		
Q58.	Windows®のネットワークコンピュータで WAN の先の相手のコンピュータを見ることはできますか?		
Q59.	他の機種で DHCP サーバを動かしているけれど問題ないですか?		
Q60.	電源はどうやって切ったら良いのですか?		
ファーム	ムウェアのバージョンアップについて		
Q61.	ファームウェアのバージョンアップ情報はどうすれば入手できますか?		
Q62.	ファームウェアのバージョンアップ対応製品と未対応製品では、その後、機能差はありますか?		
Q63.	バージョンアップ方法とは?		
Q64.	インターネットに接続していない場合のバージョンアップ方法とは?		
パソコン	ンについて		
Q65.	Windows® 95/98、WindowsNT® で DHCP クライアント機能はどうやれば使えますか?		
Q66.	DHCP サーバ機能を利用しない場合、パソコンの設定はどうやればできますか?		
	(Windows® 95/98、WindowsNT®、Macintosh)		
Q67.	IP アドレスを設定する場合、使ってはいけない IP アドレスはありますか?		
NAT (マルチ NAT) について		
Q68.	NATとは何ですか?		
Q69.	NAT の設定方法は?		
Q70.	(基本 / 静的 / 動的) NAT の違いは何ですか?		
Q71.	NAT機能を利用した場合、FTP が使えなくなるのですか?		
Q72.	NAT 機能を利用した場合、UDP アプリケーションは利用できますか?		
Q73.	NATを使っている場合に、IP フィルタリングはどのタイミングで実行されますか?		
Q74.	OCN エコノミーで NAT を使うにはどうやればできますか?		
ログ関連	車について		
Q75.	どんなログを表示できますか?		
Q76.	syslog は使えますか?		
Q77.	syslog のファシリティのコードは何ですか?		
Q78.	syslog でどんな情報(プライオリティ)が入手できますか?		
マルチ	TAEONT		
Q79.	マルチ TA 機能って何?		
Q80.	TAとはなにが違うの?		
Q81.	どんな環境で利用できるの?		
Q82.	どうやって使うの?		
Q83.	どういうときに使うの?		
Q84.	無通信監視機能はありますか?		
1			

DSU、アナログポート関連

Q1. U 点インタフェースとは何ですか?

- A. 屋内に配線されたケーブルを挿入するためのインタフェースです。
 ISDN網は、以下のような経路をたどります。この屋内配線で設置された口から伸びるケーブルをDSUが 受けるインタフェースのことをU点インタフェースといいます。
 NTTの交換機 - 電線 - 屋内配線 - [DSU - ISDN機器]
 []内は利用者施設です。
- Q2. DSU を無効にして、既設の DSU に接続することはできますか?
 - A. できます。

付 録 **Q3.** TA やG4FAX など、他の ISDN 機器が接続できますか?

- **A.** できます。
- **Q4.** DSU 折り返し機能はありますか?

A. あります。 ISDN 回線を新規に申し込む場合には、『(DSU 折り返し)機能あり』でお答えください。

Q5. NetVehicle を設定する前に、アナログポートにつないだ電話は使えますか?

A. ご利用できます。 ただし、設定するまでは『グローバル着信』と『電話(モデム)』しか利用できません。ダイヤルインサー ビスやFAXをご利用する場合は、利用形態に合わせた設定をお早めに行ってください。

- **Q6.** アナログポートごとに電話番号を割り当てられますか?
 - A. ダイヤルイン契約、またはi・ナンバー契約をしていただくか、サブアドレスを設定する ことで割り当てられます。(P.226)
- **Q7.** 今まで使っていた番号をそのまま使うことはできますか?
 - ▲、可能です。

アナログ回線から ISDN 回線への『同番移行』が可能な地域であれば、今お使いの電話番号をそのまま利 用できます。

Q8. アナログポートごとにダイヤルイン設定は可能ですか?

A. 設定できます。(P.228)

- **Q9.** ダイヤルインサービスを使わずに、アナログポートに優先順位をつけられますか?
 - **A.** つけられます。(P.196)
- **Q10.**フレックスホンに対応していますか?
 - A. 対応しています。(P.210)
- Q11. MP 機能を使っているときに電話がかかってきたらどうなりますか?
 - **A.** 電話も受けることができます。

アナログ使用時縮退機能によって、電話用に2Bのうち1Bを解放します。ただし、アナログ使用時縮退機 能を使わない設定になっているか接続先が別々の場合、またはISDN回線契約上『通信中着信通知サービ ス』のご契約をされていない場合、回線は自動的に縮退されません。

Q12. 停電時でも電話が使えますか?

A. 以下のようになります。

1. ISDN S/Tポートに接続されたディジタル電話機は乾電池が装着されているときのみご使用になれます。 2. TEL1 ポートに接続された電話機は、乾電池が装着されているときのみご使用になれます。 10BASE-T ハブについて

Q13.5 台以上のパソコンをハブポートつなげられますか?

A. ハブを増設することによりつなげられます。

ネットワーク構成について

Q14. 『端末型接続』と『ネットワーク型接続』にはどんな違いがありますか?

A. IP アドレスの割り当てかたに違いがあります。

[端末型接続契約]

- TA またはモデム + PC1 台が接続する契約です。
- 端末型ダイヤルアップ契約という場合もあります。
- プロバイダのアクセスポイントに接続するごとにIPアドレスが動的に割り当てられるため、事前にIPアドレスをパソコンに設定する必要がありません(固定にできません)。
- [ネットワーク型接続契約]
- LAN を単位とした接続する契約です。
- LAN 型接続契約等という場合もあります。
- 事前に IP アドレスを各パソコンに設定しておく必要がありません。
- (補) RetVehicle を利用する場合、パソコン1台しか接続できない端末型接続契約であっても、NAT機能を用いることで複数のパソコンからインターネットに接続することができます(接続先のプロバイダがNAT機能の使用を禁止しない限り可能)。
- Q15. NetVehicle に ISDN 回線を介して TA + パソコンから接続できますか?

▲. できます。(P.136)

Q16. OCN エコノミーや OCN ダイヤルアクセスやフレッツ ISDN でも利用できますか?

A. 利用できます。

Q17. NetVehicle どうしで接続できますか?

- A. NetVehicle どうしの(ネットワーク型)接続は可能です。(P.73) ただし、2台のNetVehicle それぞれを「かんたん設定」で設定しただけではつながりません。受信側の NetVehicle に、以下のどちらかの設定を行ってください。
 - 方法 1. 認証プロトコルを使用しない。
 - 方法 2. 認証 ID とパスワードを設定する。
- Q18. PHS からの着信はできますか?

A. できます。(P.136)

Q19. 一方をプロバイダ、一方を会社のルータに(同時に)つなぐことはできますか?

▲. できます。(P.79)

- **Q20.** 複数のプロバイダを利用できますか?
 - ▲. マルチルーティング機能を使えばできます。(P.123)

Q21.パソコン通信にも使えますか?

A. 使える場合もあります。

インターネットサービスプロバイダと契約している場合、ニフティサーブなどにインターネット経由 (r2.nifty.ne.jpにtelnetなど)でアクセスできます。

また、この他にもISDN回線経由の接続をサポートしていれば、直接アクセスできる場合もあります。詳 しくはご利用のパソコン通信会社のサポート窓口などにお問い合わせください。

サポート機能について

Q22. 複数台のパソコンから同時にインターネットにアクセスできますか?

A. できます。アクセス可能な台数は利用形態により異なります。

-			
	接続形態	NAT 使用形態	同時接続制限
	端末型接続	基本 NAT	1 台(早い者勝ち)
		動的 NAT	最大 256 セッション
		静的 NAT	最大 256 セッション + マッピングした情報数
	ネットワーク型接続	使わない	ネットワークのすべての端末
		基本 NAT	割り当てられたグローバル IP アドレスの数
		動的 NAT	最大 256 セッション
		静的 NAT	最大 256 セッション + マッピングした情報数

Q23. NetVehicleのLANには最大何台のパソコンが接続できますか?

A. ネットワークのルールに従えば、接続台数の制限はありません。

例えば、192.168.1.0/255.255.255.0のネットワークであった場合、192.168.1.1 ~ 192.168.1.254の254台のうち、NetVehicleの1台分を差し引いた253台までのパソコンが接続 できます。

Q24. どんなプロトコルをサポートしていますか?

A. インターネットプロトコル(IP)をサポートしています。 IP(Internet Protocol)は、その名のとおりインターネットで通信を行うためのプロトコルです。イン ターネットに接続する場合にはこのプロトコルが必要不可欠です。AppleTalk、IPX/SPX、FNA、SNA など、IP以外の通信プロトコルではご利用いただけません。

Q25. MP とは何ですか?

A. MP(Multilink PPP)は複数の回線を束ね、回線速度を高速化する技術です。
 例えば、ISDN回線(2B=64Kbps × 2本)を束ねて128Kbpsの速度を持つ1つの回線に見立てる機能です。回線の通信状況に合わせてMPは空き回線を利用し、複数回線(ISDNの場合、2本)を1つの回線に見立てて回線速度を高速化し、通信状態を良くするプロトコルです。
 NetVehicleの場合は、ISDNを1本(2B)収容できますので、64Kbpsの回線を2本を1本に見立てて128Kbpsの回線速度を作り出します。ただし、MP利用時の回線使用料金は2本分かかります。

⁽地) RetVehicleのDHCPサーバ機能を利用すると、最大32台までIPアドレスなどの情報を自動的に割り当てられます。33台以上パソコンがある場合は、33台目からIPアドレスなどの情報をそれらに個別に設定してください。

Q26. DHCP とは何ですか?

A. DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)は、IP アドレスなどの情報を割 り当てるためのプロトコルです。 これを利用することにより、管理元(DHCPサーバ)から各パソコン(DHCPクライアント)に対し、IP アドレスやゲートウェイアドレスなどネットワークの各種設定を自動化できます。ネットワーク環境が変 化した場合でも、管理元の設定を変更することでパソコン側の設定も変更できます。NetVehicleには DHCPサーバ機能が搭載されています。(P.133)

Q27. DNS とは何ですか?

 A. DNS(Domain Name Service)は、ホスト名(あるいは端末名)とIPアドレスを管理 するデータベースです。
 DNSにアクセスすることによって、そこに登録されている世界中のアドレス情報を取り出すことができま す。例えば、よく使われているWebやe-mailで表記されるホスト名(例えば、www.fujitsu.co.jp、 ftp.fujitsu.co.jp)はこのデータベースを使い、IPアドレスに変換されます。Webなどのアプリケーショ ンは検索してきた結果(IPアドレス)を利用して通信することができるようになります。

Q28. 接続する相手を認証することはできますか?

A. PAP または CHAP により認証できます。(P.73)

Q29. データ圧縮機能をサポートしていますか?

- ▲. 以下の圧縮方式をサポートしています。
 VJ 圧縮
 ただし、データ圧縮機能は、接続開始時の交渉で、相手が同意した場合のみ有効になります。
- Q30. マルチダイヤル機能とは何ですか?
 - A. 接続先の電話番号を3つまで登録して、1つ目の電話番号が話中であれば、2つ目の電話 番号に自動的にダイヤルする機能です。話中でつながりにくいプロバイダに接続する時に 有効です。
- Q31. テレホーダイ機能とは何ですか?
 - A. 自動回線切断機能()を簡単な操作で停止させて、指定した時間内は、回線を切断しないようにする機能です。NTTのテレホーダイサービス利用時に効果的です。
 - 一定時間(無通信監視タイマの設定:初期設定1分)回線上の通信がない状態が続くと、回線使用料を余分に払わないようにするために自動的に回線を切断する機能です。
- Q32. 使用状況 / 稼働状況などを表示できますか?
 - ▲ 表示メニュー(P.259)で表示できる情報はWWWブラウザを介して表示/出力ができます。
- **Q33.** SNMP をサポートしていますか?
 - **A.** サポートしていません。

Q34. 発信専用にできますか?

A. できます。

詳細設定メニューのルータ設定で「回線情報」をクリックし、「回線情報設定」ページの[ISDN情報]の 中の「着信動作」の設定で「すべて禁止」を選択します。

NetVehicleの設定について

Q35.回線(ISDN/専用線)に接続していなくても設定できますか?

A. 設定できます。

NetVehicle が回線設置より早く手元に届いても、事前に設定できます。 回線が設置されるまでは、NetVehicle を使って LAN 環境の構築などを行ってください。

Q36. NetVehicleの設定にはどんなブラウザが利用できますか?

- A. Netscape Navigator Version 3.0 (ただし Netscape6 を除く) 以降と Microsoft Internet Explorer Version 4.0 以降です。
 Microsoft Internet Explorer Version 3.0 で NetVehicleの設定を行うと、設定した情報が正しく 設定されないことがあります。
- Q37. IP アドレスを設定する場合、使ってはいけない IP アドレスはありますか?

A. 以下の3種類のIPアドレスは使わないでください。

- すでにに利用されている IP アドレス
 IPネットワークでは、IPアドレスが世界中で必ず1つであることを条件に構成されています。プライベートアドレスを使って接続する端末型接続の場合でも、NAT機能を用いて世界中で一つしかないIPアドレス(グローバルアドレス)に変換します。
- ネットワーク部を示す IP アドレス(0 ブロードキャスト)
 ネットワーク部(そのまま)+ホスト部がすべて0(2進数表記)のIP アドレス
- ブロードキャストアドレスを示す IP アドレス(1 ブロードキャスト)
 ネットワーク部(そのまま)+ホスト部がすべて1(2進数表記)のIP アドレス

ネットワーク部 / ホスト部の求めかたは以下のとおりです。 ネットワーク部 =IP アドレス & ネットマスク(論理積) ホスト部 =IP アドレス & (not ネットマスク)(論理積と排他)

例えば、NetVehicleのデフォルト IP アドレスである、192.168.1.1/255.255.255.0(24bit)の 場合、ネットワーク部 / ホスト部は以下のとおりです。

この場合、以下のようになります。

NetVehicleのIPアドレス =192.168.1.1 (ホスト1番) ネットワークアドレス =192.168.1.0 (ホスト部:0000000) ブロードキャストアドレス =192.168.1.255 (ホスト部:1111111)

Q38. 認証 ID / パスワードに日本語は使えますか?

▲ 使えません。

NetVehicleで扱えるのは英数字と記号(ただし、2バイト文字は除く)だけです。プロバイダからもらったパスワードが日本語の場合、プロバイダに依頼して英数字に変更してください。

- Q39. FTP だけデータを通すことはできますか?
 - **A.** IP フィルタリングを機能を使えばできます。
- Q40. ポート番号によるフィルタリングはできますか?
 - A. できます。

NetVehicleのIPフィルタリングは、IPアドレス / ポート番号 /TCP 接続要求を対象にするか (TCPのみ) などの設定が可能です。フィルタリング動作としては、透過 / 遮断 / 透過 (接続中のみ) があります。

Q41. WAN 側 IP アドレスを割り当てられますか?

▲.割り当てられます。

詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックし、「相手情報設定」ページの[ネットワーク情 報一覧]から「ネットワーク情報設定」ページを開き、「WAN側IPアドレス」の設定で「設定する」を選 択し、かつ、IP アドレスを入力してください。

Q42. WAN 側 IP アドレスを割り当てない unnumbered の設定はできますか?

A. できます。

unnumbered 設定を行う場合、詳細設定メニューのルータ設定で「相手情報」をクリックし、「相手情報 設定」ページの[ネットワーク情報一覧]から「ネットワーク情報設定」ページを開き、「WAN 側 IP アド レス」の設定で「設定しない」を選択します。

- **Q43.** 着信側になったときに、動的に IP アドレスを割り当てることができますか?
 - ▲ 割り当てられます。最大2つまで割り当てることができます。(P.136)
- **Q44.** 無駄な回線接続要求を止める方法は?

A. 回線ログと IP フィルタリングを利用します。

回線ログには発信契機となったパケット情報がページに出力されます。この情報を元にIPフィルタリングを行います。

例えば、

Protocol:ICMP192.168.1.3 (xxx) 164.71.2.5 (yyy)

という行が回線ログのページ上に複数個表示されたとします。この場合、このパケットを遮断することで、 回線の無駄な発信が止められると考えられます。

次に IP フィルタリングの設定ページ(詳細設定)を表示します。設定画面の各項目を埋めます。

動作 遮断 プロトコル ICMP

Q&A

付

[送信元情報]	
IP アドレス	192.168.1.3
アドレスマスク	32
ポート番号	なにも指定しない
[宛先情報]	
IP アドレス	164.71.2.5
アドレスマスク	32
ポート番号	なにも指定しない
TCP 接続要求	どちらでも可

再起動後(できれば電源を切ってから)、一定時間放置したあと、再度回線ログを確認してください。上記の情報が表示されていないことが確認できると思います。

Q45. 時刻を設定することはできますか?

- A. 端末から時刻を取得、タイムサーバから時刻を取得、または任意の時刻を設定の3通りの 方法で設定できます。
 - 操作メニューの「時刻設定」にてパソコンから時刻を取得、または、任意の時刻を設定することができます。
 - 詳細設定メニューでルータ設定の「装置情報」クリックし、「装置情報設定」ページの[タイムサーバ情報]の設定で、「使用する」を選択し、かつ、「プロトコル」「タイムサーバIPアドレス」「自動時刻設定 間隔」を設定すると、NetVehicleからの時刻問い合わせにより自動的に時刻を合わせます。 また、[タイムサーバ情報]が設定されている場合、操作メニューの「時刻設定」にて、タイムサーバからの時刻を取得の「設定」ボタンをクリックすることによって、即時に取得することもできます。

(補足) 電源を切ると時刻情報が失われます。

セキュリティについて

Q46. セキュリティはどのように確保しますか?

- A. 発信者番号チェック、CHAP/PAP、IP フィルタリング、NAT などの機能で確保できま す。(P.106)
 - 発信者番号チェック:接続先の電話番号が登録されているものかどうかを確認。もし登録されていなければ回線は接続されません。
 - CHAP/PAP:回線接続のプロトコル(PPP)で、接続を制御するための認証方式です。
 - IP フィルタリング:特定の IP アドレスのみ透過(逆に遮断)し、不要な通信を遮断できます。
 - NAT: NetVehicleを介してLAN 側とインターネット側のIP アドレスを変換して、LAN 側のアドレス をインターネット側から見えなくします。

Q47.発信元の電話番号を区別して着信許可 / 拒否することができますか?

A. できます。(P.76)

なお、初期設定の状態では、事前に登録していない接続先からの着信要求は拒否するようになっています。

Q48. CHAP や PAP を使用していますか?

▲. 使用しています。

NetVehicleは2点間で回線を接続するためPPPというプロトコル(手順)で行われますが、この処理の 途中でCHAP/PAPといった認証プロトコルを使用します。NetVehicleでは認証処理は以下のようになっ ています。 [発信時]

相手を認証する手順をふみません。

相手が認証を要求してきた場合は、手順に従い自側の認証 ID/パスワードを送出します。 [着信時] 相手を認証します(認証をしない設定にすることも可能)。

相手が認証を要求してきた場合は、手順に従い自側の認証 ID / パスワードを送出します。

Q49. 特定のパソコンからインターネット接続を禁止することはできますか?

A. 『IP フィルタリング (詳細設定)』を行うことで実現可能です。

例えば、192.168.1.3 から Net Vehicle を介してインターネット接続できなくする場合の設定内容は以下のようになります。

プロトコル	すべて
動作	遮断
IP アドレス	192.168.1.3
アドレスマスク	255.255.255.255

Q50. 特定のパソコンのみインターネットからアクセスできるようにしたい。

A. 『IP フィルタリング (詳細設定)』を行うことで実現可能です。

例えば、192.168.1.0/24のネットワークの192.168.1.3へのアクセスを許す場合の設定内容は以下のようになります。

[優先順位 1]	
プロトコル	すべて
動作	透過
IP アドレス	192.168.1.3
アドレスマスク	255.255.255.255
[優先順位 2]	
プロトコル	すべて
動作	遮断
IP アドレス	192.168.1.0
アドレスマスク	255.255.255.0

Q51. インターネットから LAN 上のサーバへのアクセスを禁止したい。

A. NAT機能を利用することで、実現可能です。

NAT機能はNetVehicleを介してインターネットにアクセスする段階で、元のIPアドレスを別のIPアドレスに振り替えてインターネット上のサーバと通信するための機能です。 パソコンのIPアドレス(プライベートアドレス)を、違うIPアドレス(グローバルアドレス)に変換して 通信するため、LANからインターネットに向かってアクセスできても、インターネットからLANに向かっ

てアクセスできません(IP アドレスの変換テーブルに変換情報がないため)。

IPフィルタリング機能を使って細かい設定をすることなく、インターネットからのアクセスを止められます。

Q52. NetVehicle で利用できるのはどんな端末ですか?

A. 以下の条件がそろっていれば、パソコン、ワークステーションはほとんどご利用いただけます。

- Ethernet ポート、または Ethernet アダプタを備えている。
- IP プロトコルをサポートしている。

Q53.回線をつなぐにはどうしたら良いのですか?

A. アプリケーションを起動して、そのままインターネットにアクセスしていただければ回線 はつながります。

例えば、ブラウザを例にしますと、以下の手順で回線が接続されます。

- 1. www.fujitsu.co.jpを指定します。
- 端末はwww.fujitsu.co.jpのIPアドレスがわからないので、DNSサーバに対してwww.fujitsu.co.jpのIPアドレスが何であるかを問い合わせます。DNSサーバに対して要求を送る時には、ルーティングテーブルを見て NetVehicle にデータを転送すれば良いことを判断します。
- データを受け取った Net Vehicle は、ルーティングテーブルを見て回線の向こう側に DNS サーバが いることを判断した結果、回線を接続する必要があると理解し、回線を接続します。

Q54. ブラウザを終了すると回線は切れますか?

A. ブラウザを終了させただけでは切れません。

自動回線切断機能は、ある一定の時間ISDN回線上にデータが一つも流れなかったとき、はじめて回線切断 処理を行います。このため、ブラウザをはじめとするアプリケーション終了時には回線は切断されません。 ただし、NetVehicleの操作メニューで「手動切断」処理を行うことで、任意のタイミングで回線を切断で きます。

なお、前記「一定時間」は設定できます。設定項目の名前は『無通信監視タイマ』です。

Q55. ブラウザ以外から手動切断する方法はありますか?

A. ありません。

緊急時は、回線側のケーブルを抜けば接続状態にある回線を切断できます。

Q56. 複数の人が同時にメールを読むことは可能ですか?

A. プロバイダのサービスに依存します。

例えば、プロバイダで、接続用のID一つに対して最大5個のメールアカウントを利用できるサービスがあるとします。このサービスを利用すれば、NetVehicle経由で複数の人が同時にメールを読めます。

Q57. プロキシサーバを使いたい。

▲.ご利用いただけます。

設定方法は、お使いのブラウザによって違います。「noProxy」や「Proxyサーバを使わない」などの項目 にNetVehicleのIPアドレスを設定し、NetVehicleのみプロキシサーバを使わない設定にしてください。 ■ Netscape Communicator 4.7 の場合は、以下のように設定します。

「編集」メニューから「設定」を選択する。 設定画面の「カテゴリ」で「詳細 - プロキシ」を選択する。 「手動でプロキシを設定する」を選択し、[表示]ボタンをクリックする。 「HTTP」にプロバイダの Proxy サーバを指定します。 例外の「次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない」に Net Vehicleの IP アドレス (192.168.1.1)を指定する。 Microsoft Inernet Explorer 5.5の場合は、以下のように設定します。

[ツール]メニューから「インターネットオプション」を選択する。
 インターネットオプション画面の「接続」タブで、LANの設定の「LANの設定」ボタンをクリックする。
 プロキシサーバーの「プロキシサーバーを使用する」が選択されていることを確認し、[詳細]ボタンをクリックする。
 「HTTP」にプロバイダの Proxy サーバを指定する。
 例外の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に Net Vehicle の IP アドレス (192.168.1.1)を指定する。

- **Q58.** Windows[®]のネットワークコンピュータでWANの先の相手のコンピュータを見ることは できますか?
 - A. ISDN 回線を介した場合、見られません。 Imhostsファイルに、接続先のコンピュータのIPアドレスとホスト名を登録し、「検索」機能でホストを 検索してください。 Imhostsファイルを使用する代わりに、NetVehicleのProxyDNS機能で接続先のコンピュータのIPア ドレスを登録しておくこともできます(P.127)。
- Q59. 他の機種で DHCP サーバを動かしているけれど問題ないですか?
 - A. NetVehicleのDHCPサーバ機能は止めてください。 NetVehicleのDHCPサーバ機能より、UNIXサーバやWindowsNTサーバなど他の機種の方が、より細かい情報をパソコンに割り当てることができます。NetVehicleのDHCPサーバ機能は停止して、既存のDHCPサーバをそのまま使用されることをお勧めします。

- **Q60.** 電源はどうやって切ったら良いのですか?
 - A. 通常運用では電源スイッチをそのまま切っていただいても、NetVehicle本体には影響を 与えません。

∕∖注意

ファームウェアのバージョンアップ作業を行っている場合は絶対に電源を切らないでください。

ファームウェアのバージョンアップについて

Q61.ファームウェアのバージョンアップ情報はどうすれば入手できますか?

- A. バージョンアップ情報は NetVehicle のサポートページで広報します。
 NetVehicleのサポートページ(http://telecom.fujitsu.com/jp/products/nv/)では、バージョンアップ時期以外にも、追加・拡張された機能を紹介していきます。定期的にご覧ください。
- **Q62.**ファームウェアのバージョンアップ対応製品と未対応製品では、その後、機能差はありま すか?
 - A. バージョンアップを行っていただければ、同一機種ならば機能差はありません。 例えば、バージョンアップ対応製品が出荷されたあとでも、それ以前から店頭に並んでいる商品は旧バー ジョンの可能性があります。そのような製品を購入された場合にも、ファームウェアをバージョンアップ していただくことで機能を拡張できます。

Q63. バージョンアップ方法とは?

A. NetVehicle がインターネットに接続されていればできます。(P.266)

Q64. インターネットに接続していない場合のバージョンアップ方法とは?

A. ftp サーバを稼働させてください。

1. ftp サーバを準備します。

UNIX サーバをお持ちの方は適当なユーザを作っていただければ可能です。Windows® 95の場合、Microsoft 社が提供しているパーソナルウェブサーバを利用すると簡単です。

2. 最新ファームウェアを入手します。

ニフティサーブのインターネット接続サービスを利用してNetVehicle用のファームウェアを入手する場合は、以下の手順で行います。

ニフティサーブ接続後の画面表示の例
> GO INTERNET
インターネット INTERNET
1.インターネットについて
2. 利用方法
3.Q&A コーナー
4.NIFTYMANAGER と WWW ブラウザー
5.ftp
6.fj/tnn news group (netnews)
7.telnet
8. フォーラム / ステーション
9. インターネットパイロットコーナー
> 5
ftp FTP
1. ご案内 / 利用方法
2.archie
3.anonymous ftp
4.ftp
> 3
anonymous ftp AFTP
1. 任意のサイトに入る
2.ftp.web.ad.jp に入る
3.ftp.iij.ad.jp に入る
> 1
ホスト名(ドメイン名または URL 例:ftp://ftp.web.ad.jp/pub/README) :
ftp://ftp.fujitsu.co.jp/pub/NV/firm/S20SOFT.ftp
ホスト名 : ftp.fujitsu.co.jp
ファイル名:/pub/NV/firm/S20SOFT.ftp

3. LAN 上の FTP サーバに、入手したファイルを置く。

同一のファイル名にしておくと便利です。ここでのファイル名は「/pub/NV/firm/S20SOFT.ftp」です。

4. NetVehicleの「ファームウェア更新情報」をLAN上のftpサーバに向ける。

■ 設定メニューで「詳細設定」の「装置情報」をクリックします。

- ■「装置情報設定」ページの[ファームウェア更新情報]の中の「転送元ホスト名」に、FTP サーバのIP アドレスを入力します。
- ■「ファイルロケーション」(ファイル名も含む)を変更した場合、正しいことを確認してください。
- ■[更新]ボタンをクリックします。
- ■[設定反映]ボタンをクリックします。

5. ファームウェアを更新する。

- ■[メンテナンス]アイコンをクリックします。
- メンテナンスメニューで「ファームウェア更新」をクリックします。
- 指示に従い、ボタンをクリックしていきます。
- 設定内容表示ページが表示されたら、内容に間違いがないことを確認して[OK]ボタンをクリックします。
- ここからバージョンアップ処理が行われます。
 (バージョンアップ中には電源を切らないように注意してください。)
- バージョンアップ終了を告げるメッセージが表示されると完了です。

パソコンについて

- **Q65.** Windows¹95/98、WindowsNT¹、MacintoshでDHCPクライアント機能はどうやれ ば使えますか?
 - A. 製品に添付されているマニュアルを参照してください。
- **Q66.** DHCP サーバ機能を利用しない場合、パソコンの設定はどうやればできますか? (Windows[®] 95/98/Me、WindowsNT[®]、Macintosh)
 - A. 製品に添付されているマニュアルを参照してください。
- Q67. IP アドレスを設定する場合、使ってはいけない IP アドレスはありますか?
 - ▲. 以下の3種類のIPアドレスを使ってはいけません。(P.297)
 - すでに利用されている IP アドレス
 - IPネットワークでは、IPアドレスが世界中で必ず1つであることを条件に構成されています。プライベートアドレスを使って接続する端末型接続の場合でも、NAT機能を用いて世界中で一つしかないIPアドレスに変換します。
 - ネットワークアドレスを示す IP アドレス(0 ブロードキャスト)
 - ネットワーク部 (そのまま) + ホスト部がすべて 0 (2 進数表記)の IP アドレス
 - ブロードキャストアドレスを示す IP アドレス(1 ブロードキャスト)
 - ネットワーク部 (そのまま) + ホスト部がすべて1(2進数表記)のIP アドレス

NAT (マルチNAT) について

Q68. NAT とは何ですか?

A. Network Address Translation の略です。 簡単に言えば、NetVehicleと同じLANにつながっているパソコンのIPアドレスが、NetVehicleを通っ てインターネットに出て行く時に、違うIPアドレスになって出て行く機能です。 NetVehicleではNAT機能を拡張したマルチNATをサポートしています。 Q69. NAT の設定方法は?

A.詳細設定の相手情報から行います。

かんたん設定で端末型接続を選んだ場合、動的NATが動作するように設定されますが、それ以外のNAT 機能を利用する場合は、必ず詳細設定で動作を設定する必要があります。

Q70.(基本/静的/動的) NAT の違いは何ですか?

▲. 同時接続できる台数、機能制限に以下のような違いがあります。

NATの種類	同時接続制限 (セッション数)	備考
基本NAT	割り当てIPアドレス数	割り当て時間内は外部を起点とした通信も可能
動的NAT	256セッション	外部を起点とした通信は不可能
静的NAT	256セッションとマッピン	プライベートアドレス (とポート)をグローバ
	グした情報	ルアドレス (とポート) にマッピングできる / マッ
		ピングしたアドレス(とポート)に関しては、
		外部を起点とした通信も可能

Q71. NAT 機能を利用した場合、FTP が使えなくなるのですか?

A. NetVehicleのNAT機能ならば大丈夫です。

本来のNAT機能の場合、IP 通信の要となる IP ヘッダ (葉書などの住所 / 郵便番号)部分に書き込まれて いるプライベートアドレスをグローバルアドレス (またはその逆)に変換する機能です。

しかしFTPの場合、パソコンがIPヘッダの上位層(葉書でいうと文章)でローカルIPアドレス(住所)を 伝え、サーバは教えられた"ローカルIPアドレス(プライベートアドレス)"にデータを送信しますが、存 在しない(あるいは存在してもサービスを望んでいない)ため、通信は失敗に終わります。

そこでNetVehicleのNAT機能は、FTP通信を見つけると上位層のローカルIPアドレス(プライベート アドレス)をグローバルアドレスに書換えて正しく通信できるようにしています。

Q72. NAT 機能を利用した場合、UDP アプリケーションは利用できますか?

A. StreamWorks、RealPlayer、VDOLive などが利用できます。

UDP 通信は TCP 通信と違い、コネクション確立を行わない通信です。このため、大量データ転送を送り 込む動画転送アプリケーション(RealAudio など)に利用されます。

一般的なNAT機能を利用している場合、ローカルIPアドレス(プライベートアドレス)とグローバルアドレスが1対1に対応しないため、外部を起点とした通信は行えません。このため、動画などのサーバを通信起点としたUDPアプリケーションには本来対応できません。

しかし、NetVehicleのNAT機能は、回線接続一定時間(アドレス保持タイマ)後、回線切断前であれば ローカルIPアドレス(プライベートアドレス)とグローバルアドレスが1対1対応しているため、 StreamWorks、RealPlayer、VDOLiveには対応しています。また、マルチNAT機能("基本NAT"ま たは"静的NAT")を利用することで、複数端末が同時に外部接続し、UDPアプリケーションは特定の1 台または割り当てられているグローバルアドレスの数の端末で楽しめます。

ただし、インターネットホンの類はご利用いただけません。インターネットホンもftpと同様、上位層で ローカルIPアドレス(プライベートアドレス)をサーバに送出しているアプリケーションであり、なおか つ、データのやりとりのしくみが非公開であるため、対応ができまません(インターネットホンはアプリ ケーション間で互換性がない場合が多く、また、独自仕様の通信を行っています)。

[NetVehicle のインターネットホンへの対応状況]

- Microsoft NetMeetingの音声 / 画像通信は利用不可(マルチTA 機能でご利用いただけます。)
- CU SeeMe は利用可能

上記以外は未確認です。

Q73. NAT を使っている場合、IP フィルタリングはどのタイミングで実行されますか?

▲、プライベートアドレスを使って行われます。

つまり、LANからインターネット上に向かう場合は、NAT機能でアドレスが変更される前にフィルタリン グ対象であるかどうかをチェックします。また、インターネットから LAN に向かう場合は、NAT機能で アドレス変換されたあとでフィルタリング対象であるかどうかをチェックします。 どちらの場合でも、遮断処理の対象になったパケットは通信対象からはずれますから、不要なパケットが

Q74. OCN エコノミーで NAT を使うにはどうやればできますか?

流れて発信契機あるいは無通信監視タイマの対象から外れます。

A。グローバルアドレスが割り当てられるので、静的 NAT を利用すると効果的です。 OCN エコノミーの場合、DNS サーバや WWW サーバなどに特定の IP アドレスに割り振られるので、静 的NATを用いてサーバのプライベートアドレスをグローバルアドレスにマッピングし、外部からの通信が できるようになります。

ログ関連について

Q75. どんなログを表示できますか?

A. 以下のログが見られます。

[表示メニューで確認できる内容]

■ 回線接続状況: 現在の接続先情報が表示されます(回線状態(1B通信/MP通信)、接続形 態(発信/着信)、接続先(名前/ダイヤル番号)、回線使用率(送信/受信)、 通信時間(接続時間) IP アドレス)。

- 課金情報: 電源投入(または再起動)後の回線使用料金が表示されます。
- 回線を介した通信のプロトコルごとの内訳が表示されます。 ■ IP 統計情報:
- メール着信通知: NetVehicle メール着信通知機能を使用している場合、メール着信通知の情 報が表示されます。
- メールチェック: POP3プロトコルを使用してメールの着信を確認した情報が表示されます。
- チャネル統計情報: 回線接続の情報が表示されます(発信回数、発信(接続)失敗回数、接続先 話中回数)。
- 回線ログ: 回線接続に関する情報が表示されます(接続処理時間、接続契機パケット、回 線接続失敗理由)。
- システムログ情報: 電源投入後のログが表示されます。
- ルーティング情報: ルーティングテーブルが表示されます。
- 現在時刻: 現在の時刻(設定時刻)が表示されます。TIME サーバと連動させたり、手 動で入力できます(電源切断ごとに初期化されます。初期日時は1970/01/ 01/00:00:00
- 経過時間情報: 電源投入後の時間が表示されます。

[メンテナンスメニューで確認できること]

- バージョン情報: ファームウェアバージョンを表示します。
- PPP フレームトレース: 回線接続ネゴシエーションを表示します。
- エラーログ情報: エラーログが表示されます。
- 構成定義情報: 設定情報が表示されます。

Q76. syslog は使えますか?

▲、使えます。システムログを設定できます。

付

Q77. syslog のファシリティのコードは何ですか?

▲ 23(個人が割り当てできる数)が設定されます。

Q78. syslog でどんな情報 (プライオリティ)が入手できますか?

- A. 以下の情報が入手できます。
 - LOG_ERR エラーメッセージ
 - LOG_WARN 警告メッセージ
 - LOG_NOTICE エラー以外のシステムメッセージ
 - LOG_INFO 回線情報など

マルチTA について

Q79. マルチTA機能ってなに?

A. NetVehicle でTA と同じように通信する機能です。Windows[®] 95/98/2000のダイ ヤルアップネットワークの仮想プライベートネットワークの機能を使って、TA を使った PPP 接続と同等の通信を行う機能です。

Q80. TA とはなにが違うの?

- ▲ いろいろ違います。
 - まず、接続方法が違います。

TAの場合には、一般的にはパソコンのシリアルポートとTAのシリアルポートをシリアルケーブルを使っ て接続します。マルチ TA 機能は、パソコンの LAN ポートと NetVehicle の HUB ポートを LAN ケーブ ルを使って接続します。

このため、TA はシリアルケーブルで接続した1台のパソコンからしか使えませんが、マルチTA はLAN に接続されていますので、LAN 上のどのパソコンからでも使うことができます。

また、TAを利用する場合にはシリアルポートの速度によってはISDNの性能を生かしきれない場合があり ますが、マルチTAの場合にはパソコンとNetVehicleの間を10MbpsのLANで接続しますから、ISDN の性能を生かしきることができます。

いくつか、TA なら可能なことでもマルチ TA で不可能なことがありますので注意してください。

- パケット通信はできません。
- 着信やコールバックはできません。
- MP 通信はできません。
- 専用線では使えません。
- 非同期通信はできません。
- RVS-COM は使えません。
- AT コマンド操作はできません。

Q81. どんな環境で利用できるの?

A. Windows[®] 95/98/2000 から利用できます。 Windows[®] 98/2000 の場合には、Windows[®] 98/2000 があらかじめ持っている機能を利用します。 Windows[®] 95 の場合には、以下のソフトウェアが必要です。

■ Windows[®] 95 ダイヤルアップ ネットワーク 1.3 アップグレード Microsoft のホームページよりダウンロードしてインストールすることで入手できます。

Q82. どうやって使うの?

A. TA やモデムでの接続と同じように使います。 接続をする場合には、ダイヤルアップネットワークから接続アイコンを選んで接続します。 切断をする場合には、接続ウインドゥから「切断」を選んで切断します。 TA やモデムでの接続と同じですね。

Q83. どういうときに使うの?

A. NATを利用すると不都合がある場合や、IP以外のプロトコルを利用する場合にお使いく ださい。

プロバイダとの端末型ダイヤルアップ契約では、NetVehicle でNATを使わないと通信できませんが、 NATを使ってしまうと通信できないアプリケーションもいくつか存在します。

また、NetVehicleはIPルータですので、IP以外のプロトコルは利用できません。例えばIPXやNetBEUI などは利用できません。

マルチTAは通常のTAと同等の通信を提供しますから、NATは使われませんし、Windows®がサポート しているプロトコルであればどのプロトコルでも通信が可能です。

Q84. 無通信監視機能はありますか?

A. NetVehicle は無通信監視は行いません。 Windows[®] 95/98の機能を使えばできます。









 静的NAT情報設定
── [ネットワーク情報設定へ戻る]











英数字

あ

相手情報設定		2 1
アクセスサーバ機能	1	36
アナログ共通情報		55
アナログダイヤルイン	2	36
アナログポート 190,	1	95
アナログポート 1 / 2 情報		57
エラーログ情報	2	68
オンラインサポート	2	69

か

回線情報設定		16
回線接続状況	2	59
外線発信規制	1 :	94
回線ログ情報	2	59
課金情報	2	59
課金制御機能	1	66
課金単位時間	1 (66
カスタマコントロール機能	2	16
疑似キャッチホン	2	02
疑似三者通話	2	06
疑似着信転送	2	04
疑似通信中転送	2	08
疑似迷惑電話お断り	2	00
基本 NAT	!	99
基本 NAT 機能	1 (05
キャッチホン・ディスプレイ	2	21
グローバルアドレス		98
グローバル着信	2	28
経過時間情報	2	59
月間 / 週間予約設定		52
コールバック機能	1	45

さ

サブアドレス 143, 183, 227,	247
三者通話	210
識別着信機能	195
識別着信情報	63
識別着信情報設定	67
識別着信情報設定	
(発信者番号非通知着信)	66
識別着信情報設定 (公衆電話着信)	65
識別着信情報設定 (デフォルト定義)	64
時刻設定	259

付 録

システムログ情報
詳細コード
詳細設定メニュー14
スケジュール機能 184
スケジュール情報51
スタンバイモード 190, 241, 247
静的 NAT 9 9
静的 NAT 機能
静的 NAT 情報設定 3 1
セキュリティ 106
設定変更用暗証番号
接続先情報設定
ソースアドレスルーティング70
ソースアドレスルーティング機能72,123
操作メニュー
送出着信番号情報 62
装置情報設定

た

ターミナルアダプタ(TA)183
ダイヤルアップネットワーク 156, 159
ダイヤルイン
ダイヤルインサービス
ダブルフック
着信転送
チャネル統計情報
通信中転送
テレホーダイ
転送トーキ
転送元トーキ 210
電話番号変更予約設定53
動的 NAT
動的 NAT 機能 105
時計の設定

な

ナンバー・ディスプ	レイ			
	200,	219,	241,	247
ネットワーク情報設定	Ê			22

は

パスワード情報設定	37
発信規制情報設定 (発信許可)	61
発信規制情報設定 (発信抑止)	60
発信者番号通知 2	223
発信者番号通知サービス 1	45
表示メニュー 2	59
ファームウェアの更新	68

ファイアウォール	106
不特定相手情報設定	32
プライベートアドレス	98
フレックスホン	
フレックスホン自動切替え機能	2 1 5
プロバイダ	70, 123
ポートルーティング機能	123
ポートルーティング情報設定	28
ボイスワープ	216
ホストデータベース情報 49,	132, 133
ホストデータベース情報設定	5 0

ま

マルチ NAT	
マルチ NAT 機能	
マルチ TA 機能	153
マルチ TA 情報	5 4
マルチルーティング機能	123, 133
ミキシングモード	
無課金コールバック	145
無通信監視タイマ	
無鳴動着信機能	
メール一覧送信機能	169, 177
メールチェック機能	169, 170
メール着信通知	
メール着信通知機能	169, 183
メール転送機能	169, 174
メンテナンスメニュー	
モデムダイヤルイン	

せ

6

リバースパルス	240
リモートパワーオン機能	143
リモートメールチェック機能 169,	172
リング音	195
ルーティング情報	259
ルーティング情報設定(LAN 情報)	. 20
ルーティング情報設定	
(ネットワーク情報)	. 29
留守モード動作設定	187
ログインパスワード	95
NetVehicle-S20 取扱説明書 応用編

P3NK-E172-04

 発行日
 2002年8月

 発行責任
 富士通株式会社

Printed in Japan

・本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。

- ・本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 当社はその責を負いません。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。